小学館版 少年少女 学習まんが

日本の歴史

監修/児玉幸多 学習院大学名誉教授

20 アジアと太平洋の戦い ●昭和前期

●まんが

あおむら　純

1941年、山口県に生まれる。アニメーションの作画などをへて現在にいたる。歴史まんがの分野で大活やくし、少年少女のファンも多い。

20巻にご協力いただいた方がた

●監修
児玉幸多（学習院大学名誉教授）

●まんが
あおむら純
●シナリオ
西原和海

●考証
石井謙治（日本海事史学会名誉会長）
小泉和子（生活史研究所代表）
鈴木友也（日本美術刀剣保存協会専務理事）
高田倭男（高田装束研究所所長）
玉井哲雄（千葉大学名誉教授）

●指導（教育現場の立場から）
高山博之（京都教育大学名誉教授）

●指導・執筆・協力
荒川章二（静岡大学情報学部教授）
黒羽清隆（元静岡大学教育学部教授）
寺田近雄（旧軍史料研究家）
高橋千劔破

●取材協力・写真掲載協力・資料提供
内山書店　宇津木恵子　江戸東京博物館　NHK放送博物館　大阪城天守閣　(財)大阪国際平和センター　(財)原爆の図丸木美術館　国立科学博物館　佐々木雄悟　参議院事務局広報室　台東区立下町風俗資料館　秩父宮記念スポーツ博物館　峠鷹志　日本オリンピック委員会　広島平和記念資料館　広島平和文化センター　毎日新聞社　(財)三笠保存会

●イラスト
中西立太　深山のぼる　山根篤
●作画協力
浅原一義　板垣真誠　大岡龍二　小井土繁　小杉彰　小林進　小山春夫　阪上吉英　坪井幸一　馬場秀夫　森正　山本貴久雄　長谷川人志
●装丁・レイアウト
功野真矢　佐野恒雄(CSJ)　DOMDOM　成澤哲夫（NED）

●版下
大山デザイン　昭和ブライト　タナカデザイン
●編集協力
エディトリアル・プランニング　真英社　風人社　銀杏社
●編集担当
柏原順太　川田仁一　宮部良雄　八巻孝夫
（五十音順・敬称略）

小学館版 少年少女 学習まんが

日本の歴史

20

アジアと太平洋の戦い

●昭和前期

監修/児玉幸多　まんが/あおむら純

この巻の歴史年表

巻数	時代	年代
1	旧石器（岩宿）	前3万
		前1万
	縄文（紋）	前1000
2	弥生	紀元1
		100
		200
		300
	古墳	400
		500
	飛鳥	600
		700
3	奈良	
4	平安	800
		900
5		1000
		1100
6		
7	鎌倉	1200
		1300
8	南北朝	
9	室町	1400
10	戦国	1500
11	安土桃山	1600
12	江戸	
13		1700
14		
15		1800
16		
17	明治	
18		1900
19	大正	
20	昭和・前期	
21	昭和・後期～平成	

●この巻には、青色の部分の時代・年代が、かかれています。

時代・年号　和

昭和　六　七　八　一二　一二

西暦

●1931　●1932　●1933　●1936　●1937

日本のおもなできごと

軍部が台頭し、日本は戦争への道をたどる。

「満州事変」がおこり、翌年、「満州国」がつくられる。

「上海事変」がおこる。

リットン調査団が「満州事変」の現地調査をおこなう。

五・一五事件がおこり、政党政治がおわる。

リットン調査団の報告を不満とし、**日本は国際連盟を脱退**する。

このころから、社会主義運動に対する弾圧が強化される。

二・二六事件がおこり、軍部の意見が政治をうごかす。

ベルリンオリンピックで日本選手が活やくする。

日中戦争がはじまる。

民主主義や自由主義が圧迫される。

西暦

●1932　●1933　●1934　●1937

世界のおもなできごと

イギリス・ブロック経済体制をつくる。

アメリカ、ニューディール政策を開始する。

ヒトラーがドイツ総統となる。

●このころ、ファシズムがさかんとなる。

中国で第二次国共合作が成立する。

昭

一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇

●1938 ●1939 ●1940 ●1941 ●1942 ●1943 ●1944 ●1945

国家総動員法の制定、物資の配給制実施で戦争体制が強まる。

国民徴用令（徴兵法）が公布される。

日独伊三国同盟がむすばれる。

日ソ中立条約をむすび、**日本は太平洋戦争をおこす。**

日本軍はマニラ、シンガポールを占領する。

ミッドウェー海戦で日本がやぶれる。

ガダルカナル島にアメリカ軍が上陸する。

物資の不足で配給制が強化され、国民生活が苦しくなる。

日本軍、ガダルカナル島から撤退する。

アッツ島の日本守備隊が全滅する。

東京で大東亜会議がひらかれる。

第1回学徒出陣がおこなわれる。

学童疎開が実施され、学徒・女子挺身隊勤労令が公布される。

神風特別攻撃隊の攻撃がはじまる。

東京などが大空襲によって焦土となる。

アメリカ軍、沖縄本島に上陸。日本軍の沖縄守備隊が全滅する。

広島・長崎に原子爆弾が投下される。

ソ連が中立条約をやぶって、日本に宣戦を布告する。

ポツダム宣言を受諾して、日本は無条件降伏をする。

天皇が「終戦」詔勅を放送する。

●1938 ●1939 ●1940 ●1941 ●1943 ●1944 ●1945

ドイツ、オーストリアを併合。

ミュンヘン会議が行われる。

ドイツ、ポーランドに侵入する。第二次世界大戦はじまる。

ドイツ、パリを占領する。

独ソ開戦する。

大西洋憲章ができる。

ビルマが独立する。

イタリアが降伏する。

連合軍、ノルマンジー半島に上陸する。

ヤルタ会議が行われる。

ドイツが降伏する。

ポツダム宣言が出される。

国際連合ができる。

はじめに

日中・太平洋の十五年戦争

◆広島と長崎

一九四五年八月六日、広島に、そして九日には長崎に原子爆弾が投下されました。

この二つの日づけは、みなさんにも、ぜひ記憶していただきたいと思います。広島の平和記念資料館を、みなさんも、いつか一度はたずねる機会があることでしょう。ここには、原爆のおそろしさをしめす資料が展示されています。これらを目にした人はだれでも、「戦争だけは、ぜったいにいや！」と、心からさけびたくなるはずです。

日本が戦争をしたのは、もう半世紀ばかり昔のことになります。原爆の被害にみられるような悲惨な体験を、なぜ日本人がしなければならなかったのか。

――この本で、じっくりと考えていくことにしましょう。

◆十五年戦争

第二十巻では、昭和初期から敗戦までをあつかいます。昭和のはじめの二十年

間は、ひとことでいえば、「戦争の時代」だったと特色づけることができるでしょう。

アメリカやイギリスを相手とした「太平洋戦争」は、一九四一年に始まりました。

しかし日本は、それ以前からずっと中国と戦っていたのです。中国との戦争が、「満州事変」（一九三一年）から始まったとみなしますと、日本は、あしかけ十五年間も戦争をつづけたことになります。

ですから、「太平洋戦争」もふくめ、この戦争を「十五年戦争」とよぶこともあります。ほんとうに長いあいだ、日本人は戦争をやってきたわけですね。

◆こどもと戦争

近代の戦争は、「総力戦」とよばれます。昔は、兵士だけが戦っていればよかったのですが、近代では、国民のすべてが、何らかのかたちで戦争に参加せざるをえなくなっているという意味です。女性やこどもも、例外ではありません。

この本では、戦争のもと、こどもたちが、どのような毎日をおくっていたかも、具体的にえがかれています。今のみなさんの、平和なくらしと、よく比較してみてください。

みなさんのおじいさん、おばあさんがたは、戦争中のことを、しっかり記憶していらっしゃるはずです。その思い出話を、ぜひ聞かせてもらうといいですよ。

もくじ

- この巻の歴史年表
- はじめに
- おもな登場人物

第1章 中国への侵略と二・二六事件

- 「満州事変」
- 上海事変と爆弾三勇士
- 五・一五事件
- 二・二六事件
- 大画面・決起した兵たち

第2章 日中戦争

- 蘆溝橋事件
- 日独伊三国同盟が成立
- 零戦の登場
- 対米英開戦決定

第3章 太平洋戦争

- 大画面・真珠湾攻撃
- 太平洋諸島を進攻
- ミッドウェー海戦
- アメリカ軍の反抗

第4章

日本の降伏

- 山本五十六長官の戦死
- 学童疎開
- 東京大空襲
- 特攻隊と沖縄戦
- 原爆投下と日本の降伏

日本の歴史パノラマ年表

おもな登場人物

※この巻に登場するおもな人物を紹介します。登場人物をくわしく知るための事典として、役立たせてください。

第1章

犬養 毅（一八五五～一九三二年）

普通選挙運動を推進し、藩閥内閣に反対する。五・一五事件で暗殺される。

石原莞爾（一八八六～一九四九年）

関東軍作戦参謀として満州事変を主導し、「満州国」建設に大きな力をそそぐ。

松岡洋右（一八八〇～一九四六年）

国際連盟会議の首席全権として、日本の連盟脱退を宣言し、大陸侵略をおしすすめる。

幣原喜重郎（一八七二～一九五一年）

中国革命運動に際し、外相として中国尊重の外交をとり「幣原外交」といわれる。

第2章

毛沢東（一八九三～一九七六年）

中華人民共和国を樹立させ、中国共産党国家主席になる。のちに文化大革命を指導する。

ハル（一八七一～一九五五年）

太平洋戦争勃発直前の、日米交渉における最終案を提出したアメリカの国務長官。

近衛文麿（一八九一～一九四五年）

蘆溝橋事件を日中の全面戦争に発展させ、さらには戦争解決を放棄する。

野村吉三郎（一八七七～一九六四年）

海軍軍人から外相をへて駐米大使となり、戦争勃発後、アメリカと国交調整に努力する。

20 アジアと太平洋の戦い
●昭和前期

第3章

山本五十六
（一八八四～一九四三年）

連合艦隊司令長官。日米開戦に反対しながらも、太平洋戦争の総指揮をとる。

南雲忠一
（一八八七～一九四四年）

真珠湾攻撃を指揮した航空艦隊旗艦「赤城」の司令長官。のち、サイパンで戦死。

武夫※

戦争に巻き込まれていく日本の典型的な家族の一員。明るく、野球が好きな少年。

武夫の姉※

戦時下に家事を手伝い、弟武夫のめんどうをみる姉。志願する学生におもいをはせる。

第4章

マッカーサー
（一八八〇～一九六四年）

米軍司令官として対日戦争を指揮し、連合国最高司令官として日本を敗戦に追いやる。

東条英機
（一八八四～一九四八年）

参謀総長、陸軍相、首相と重職を経て強大な権力をきずき、軍事体制強化をはかる。

ローズベルト
（一八八二～一九四五年）

チャーチル、スターリンとの協調を保ち、連合国の成立にあたったアメリカの大統領。

ヒトラー
（一八八九～一九四五年）

ドイツでナチスの独裁体制を確立し、日独伊三国同盟をむすんで大戦を指導。

（注）※は仮空人物です。

小学館 eBooks

第一章

中国への侵略と二・二六事件

――一九三〇年代――

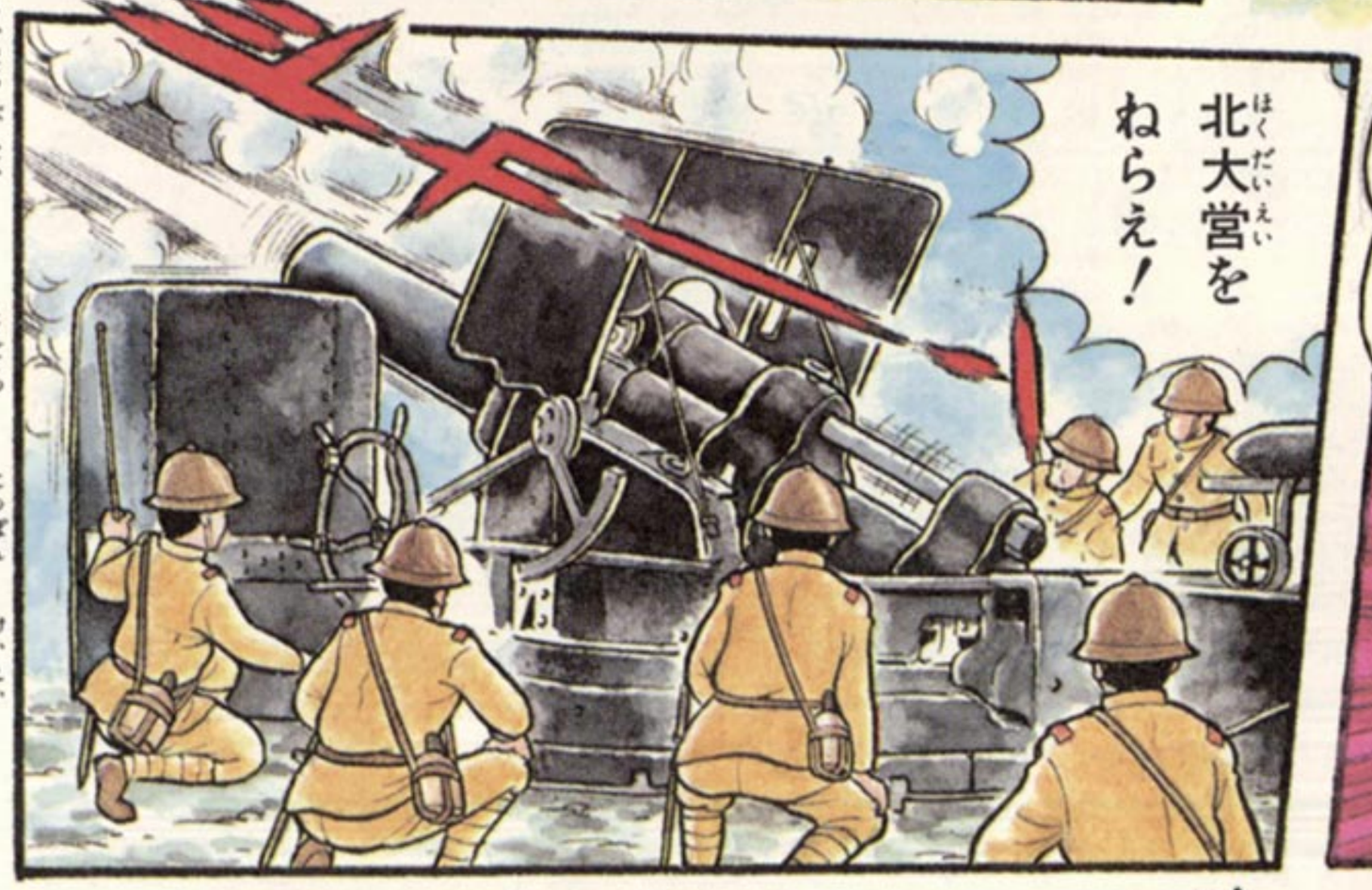
中国大陸、*「満州」――

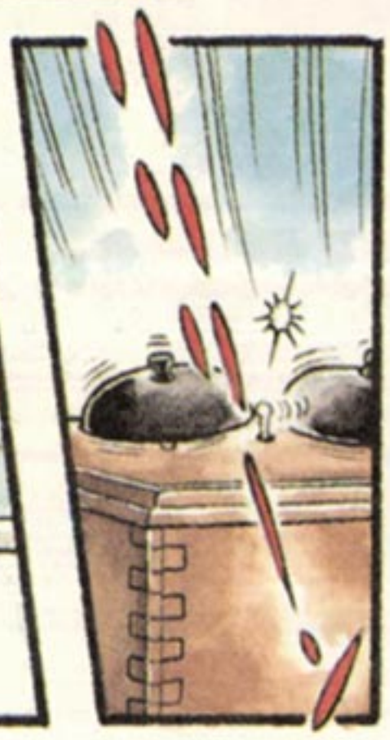
一九三一年(昭和六)九月十八日夜。*奉天(フォンティエン)に近い*柳条湖(リョウティアオフ)――

*「満州」…中国(中華人民共和国)東北部と内モンゴル自治区北東部にわたる地域。

*奉天…中国遼寧省の省都瀋陽の旧名。

*柳条湖…日本では一般に柳条溝とよばれてきたが、柳条湖が正しい。



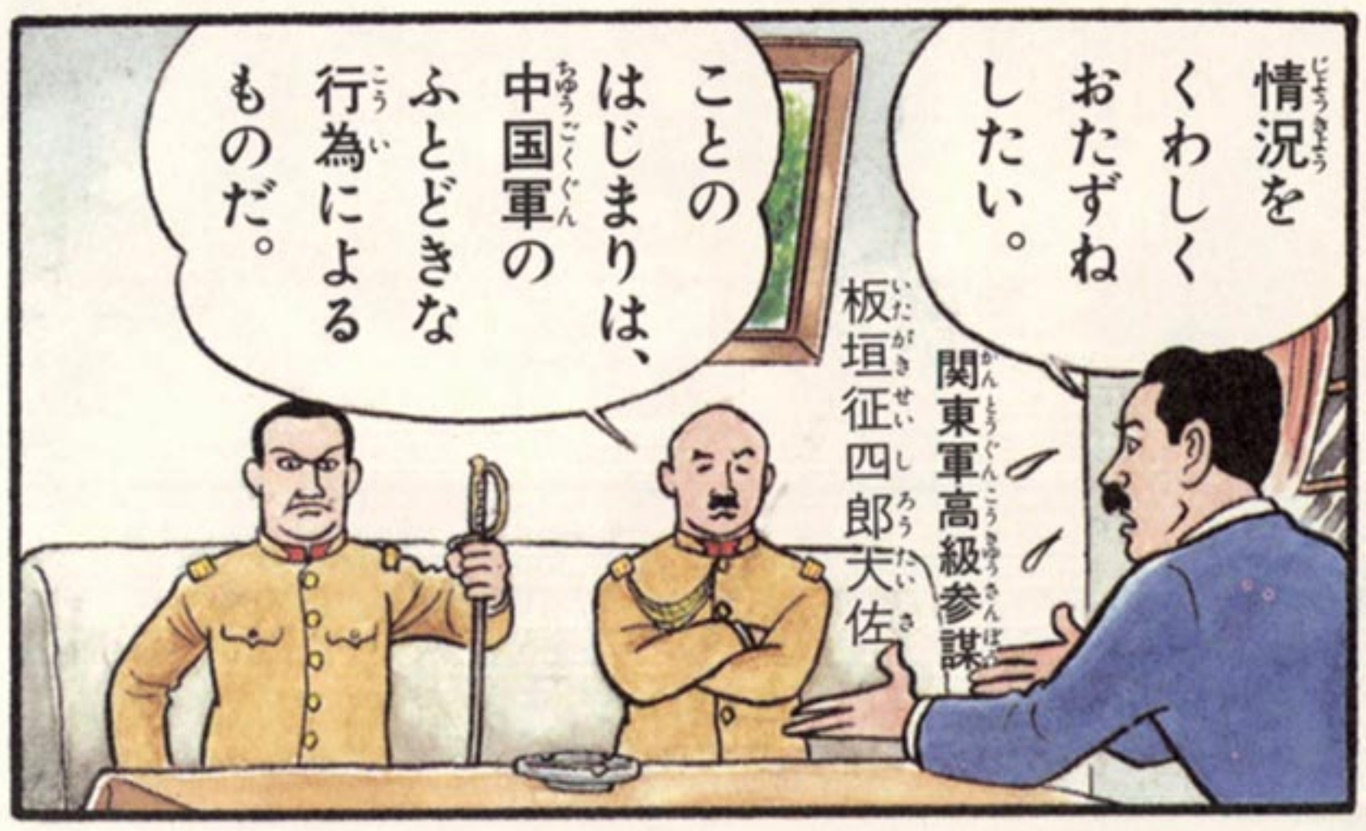


*関東軍…「満州」に駐留した陸軍の最強部隊。

*「満鉄」…日本が経営していた「南満州鉄道株式会社」の略称。

*北大営…奉天の中国軍の兵営。

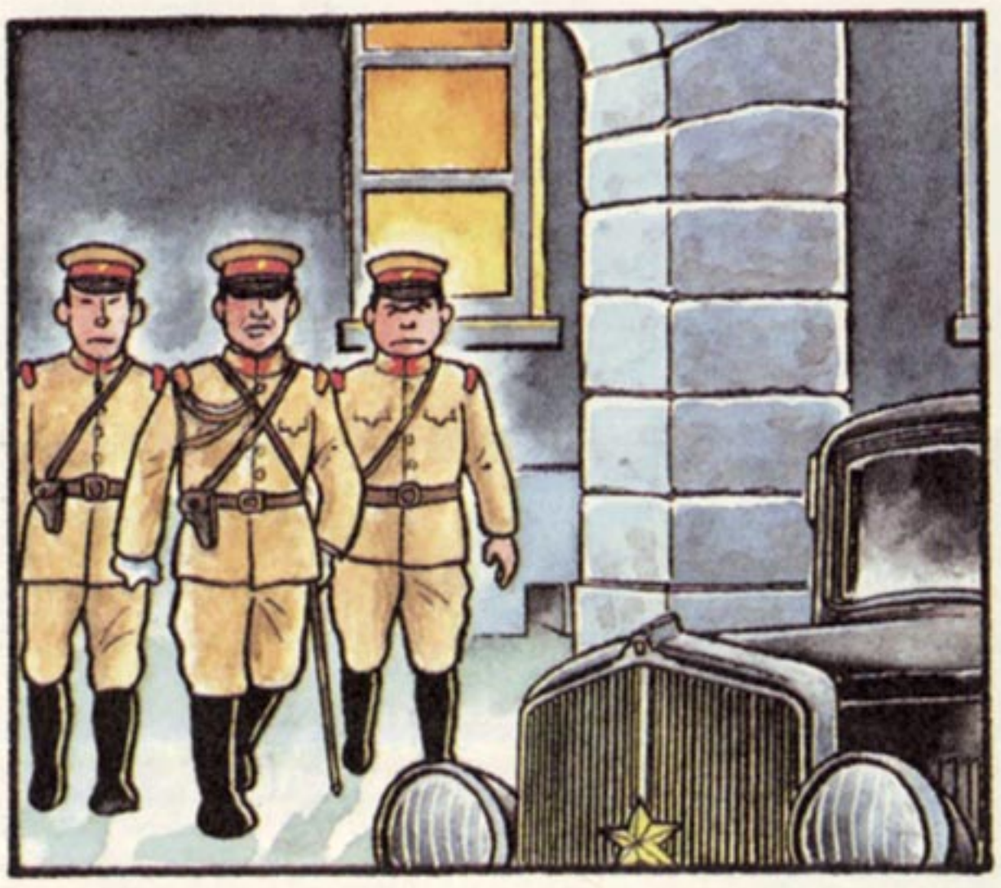
*総領事…条約をむすんだ相手国に駐在している外交官の監督。

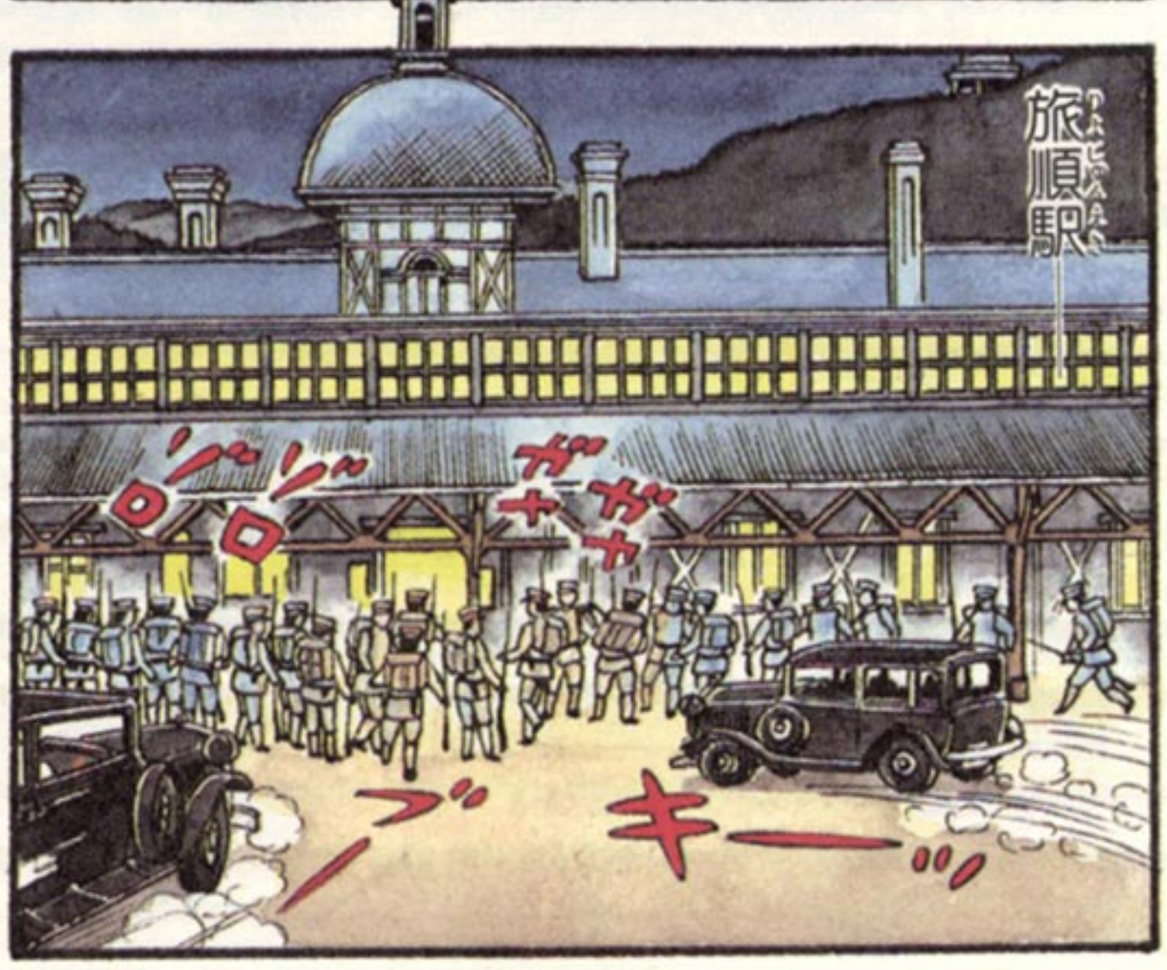


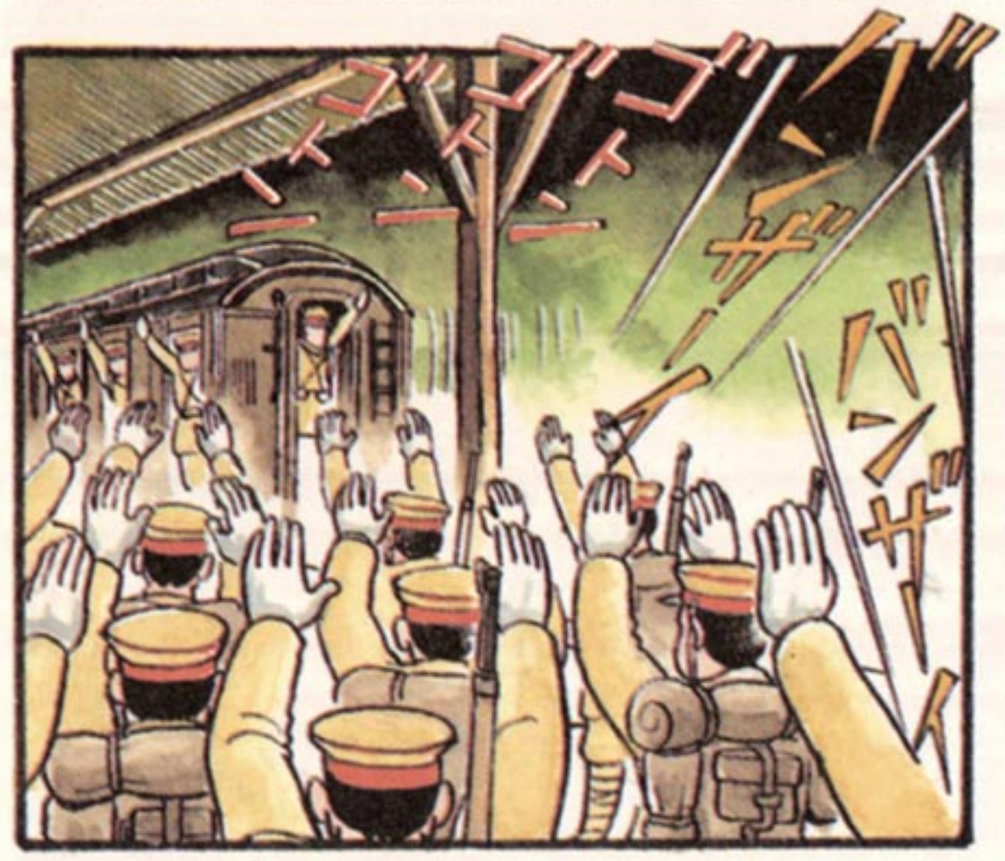
＊参謀…作戦を指導する軍人。ふつうは少佐以上の士官。

＊大元帥陛下…軍隊の最高責任者としての天皇陛下。

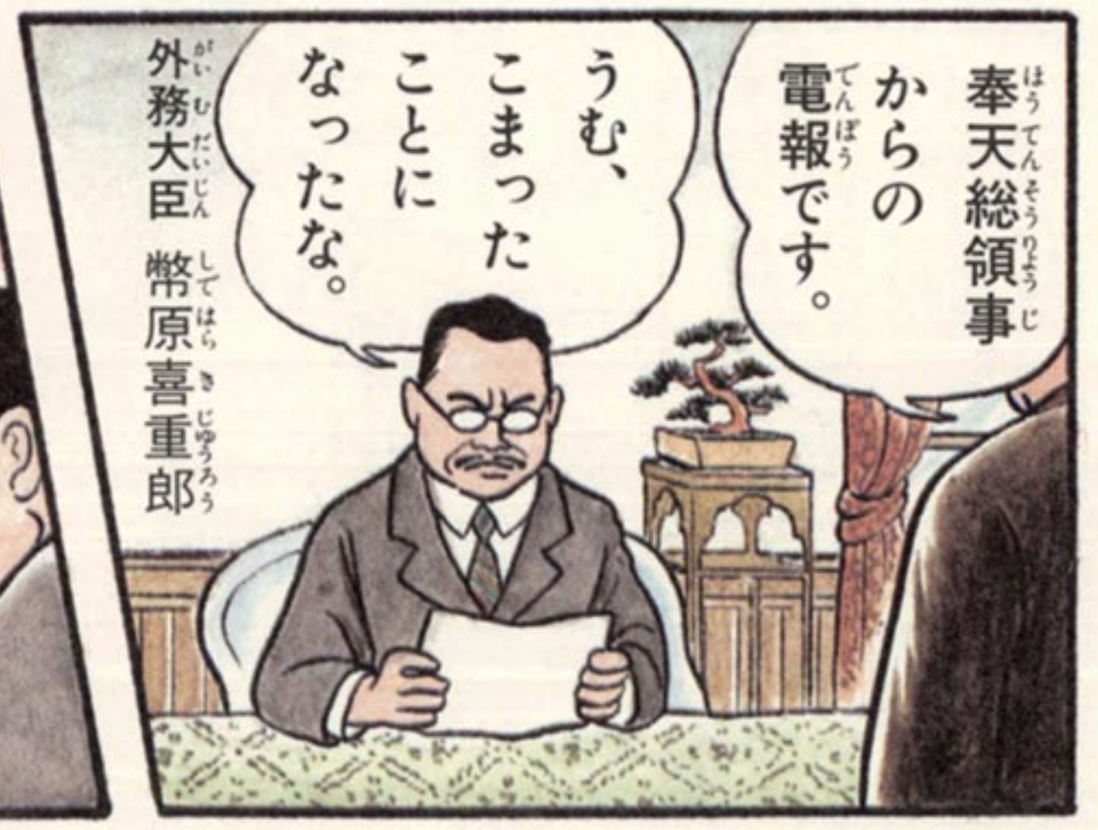
＊旅順…中国東北部、遼東半島南端の都市。







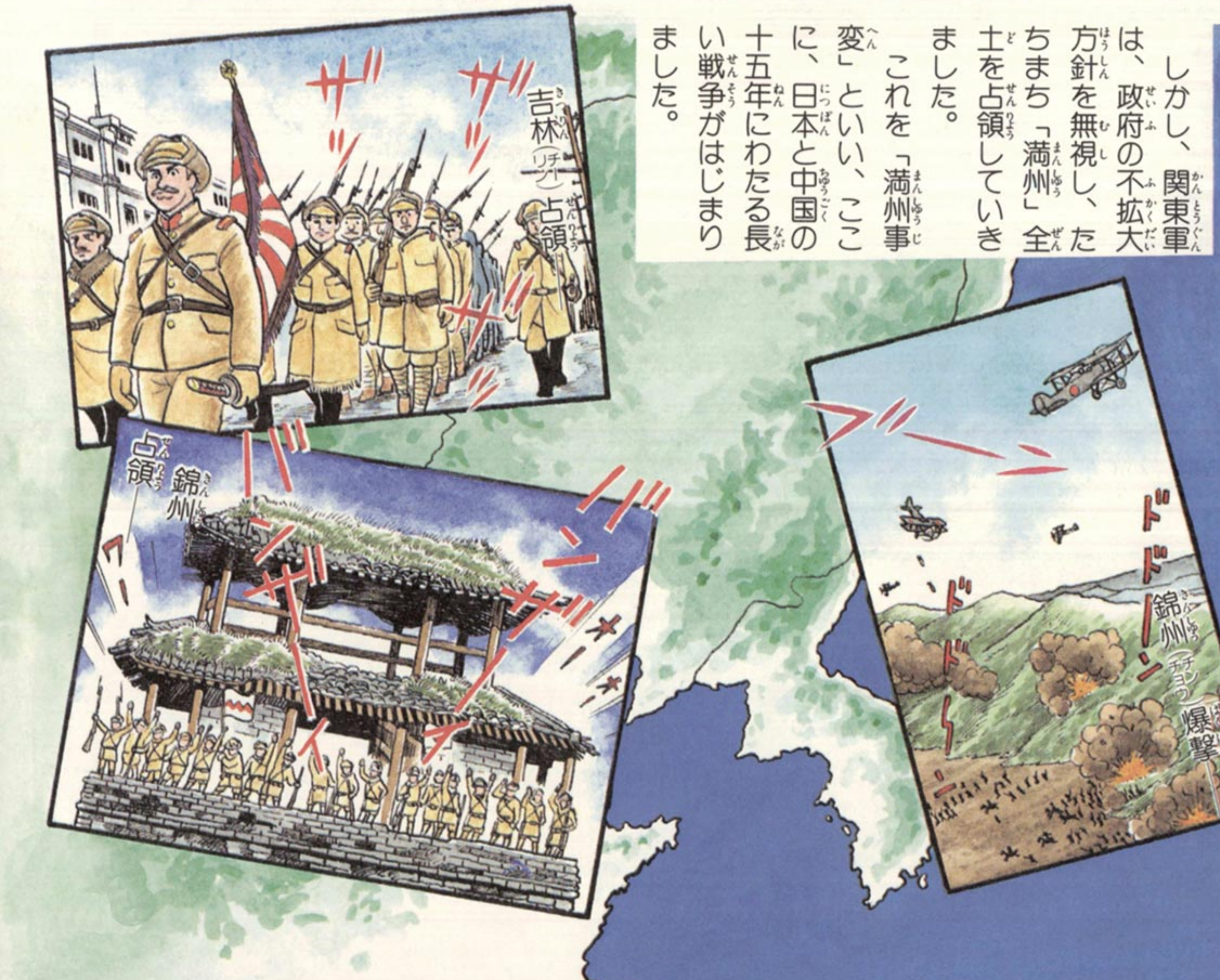
*「満蒙」…「満州」と東部内蒙古。*日露戦争…第十八巻第三章参照。

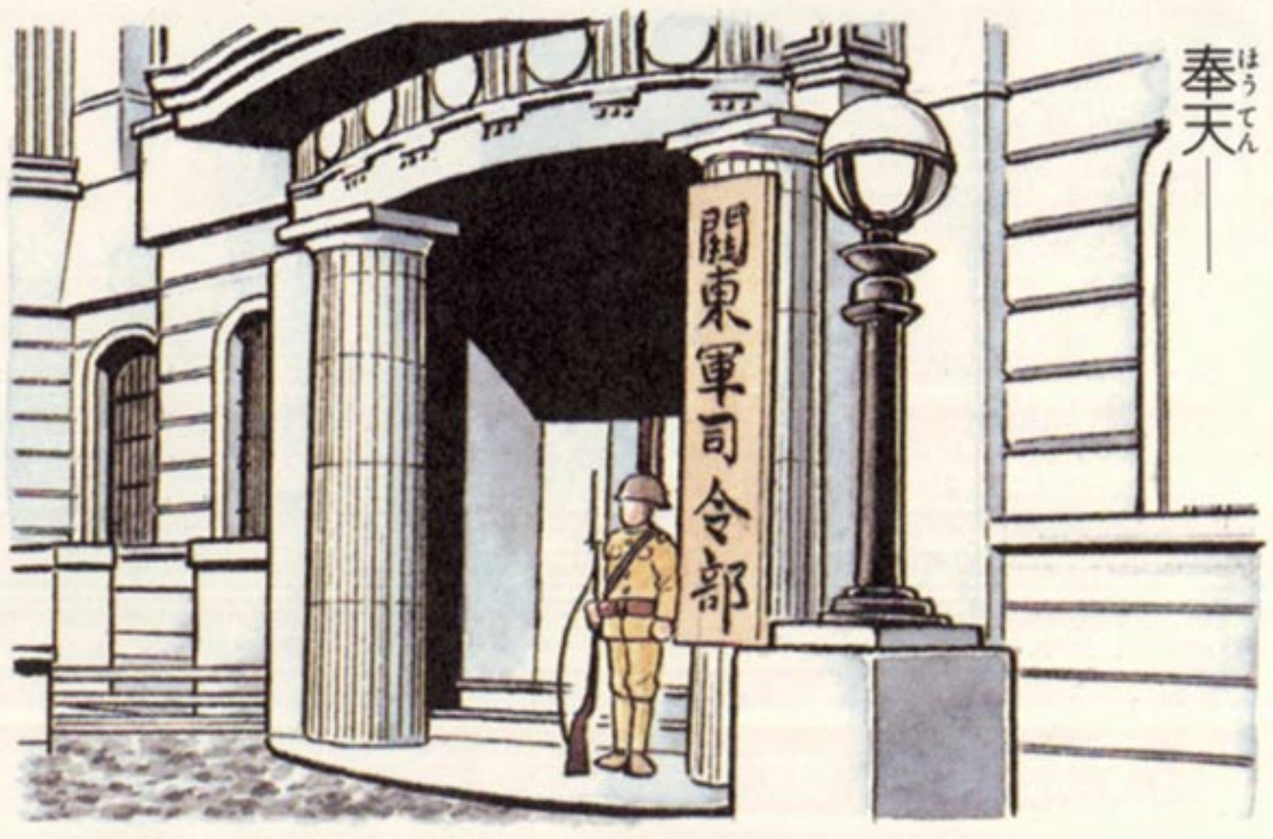


＊張作霖爆殺…第十九巻第四章参照。

しかし、関東軍は、政府の不拡大方針を無視し、たちまち「満州」全土を占領していきました。

これを「満州事変」といい、ここに、日本と中国の十五年にわたる長い戦争がはじまりました。





半年後の一九三二年(昭和七)三月、関東軍は、*清朝最後の皇帝溥儀を元首にすえ、「満州国」を独立させました。しかし、じっさいには「満州国」の政治や経済は、日本の支配下におかれたのです。

「満州国」皇帝 溥儀

「満鉄」がほこった特急*「あじあ」号

**清朝…一六一六年から一九一一年までつづいた中国の国家。

*あじあ号…大連～新京(長春)間七〇一・四キロを八時間半で走った。当時世界有数の列車。

「満州国独立」の少し前のころ、*上海――

日本帝国主義者の牙は、今や*東北三省をもぎとろうとしている。

*上海…中国東部、揚子江河口にある中国最大の都市。*東北三省…中国東北部の遼寧省（奉天省）・吉林省・黒竜江省。*東洋鬼子…日本のやつら。*内山完造…上海に日本人のための書店をひらき、中国文化人とも交流し、日本と中国の友好を深めた。*九・一八事件…「満州事変」のこと。

一九三二年(昭和七)一月、上海で日本軍の謀略をきっかけに中国人と衝突し、日本軍が上陸。中国軍とのはげしい戦いがはじまりました。これを「上海事変」といいます。

上海事変は、世界の目を「満州事変」からそらせるために、日本軍がひきおこしたといわれています。

*魯迅…(一八八一～一九三六)…中国の代表的文学者で、代表作に「阿Q正伝」がある。

*老板…上海語で店主。

二月二十二日、上海郊外の廟行鎮――

ダダダダ！

うっ。

敵の陣地はきわめてかたい。

ダ！ ダ！ ダ！

おまえたち、爆薬筒をつかって、あの鉄条網を爆破してくるのだ！

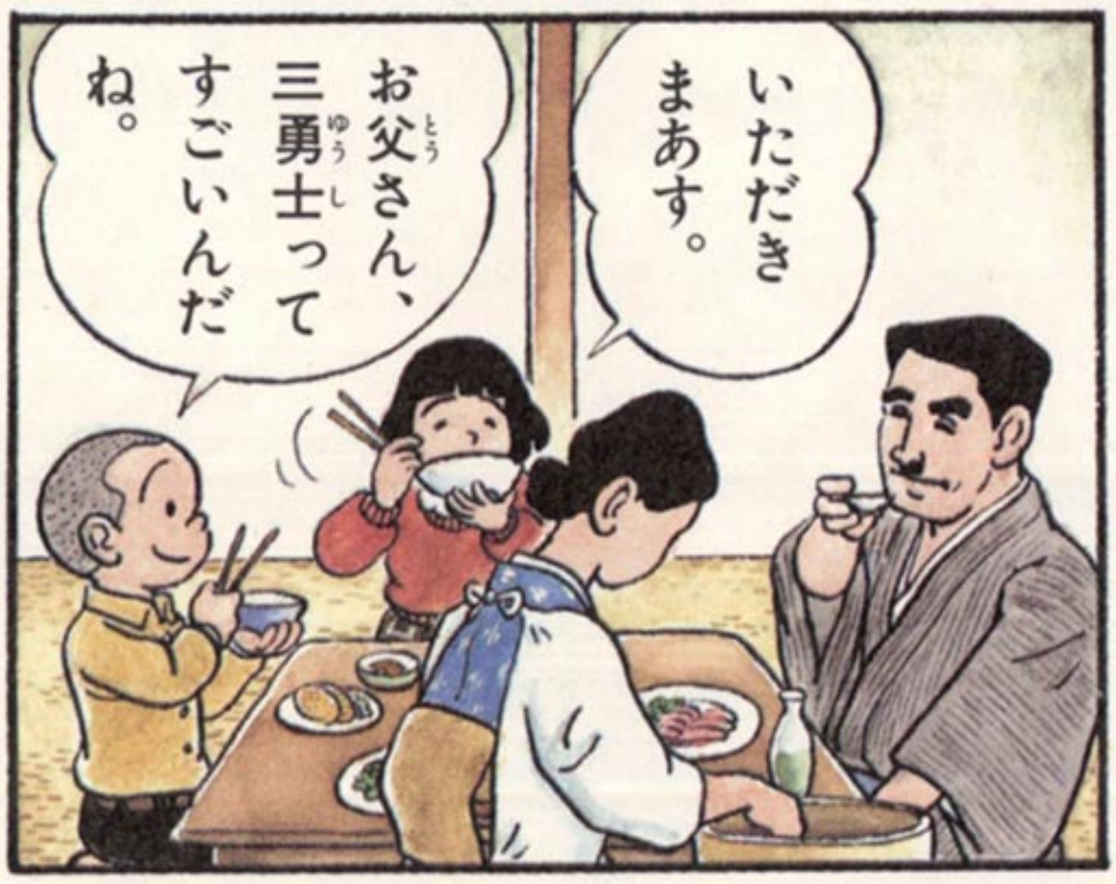
はっ。

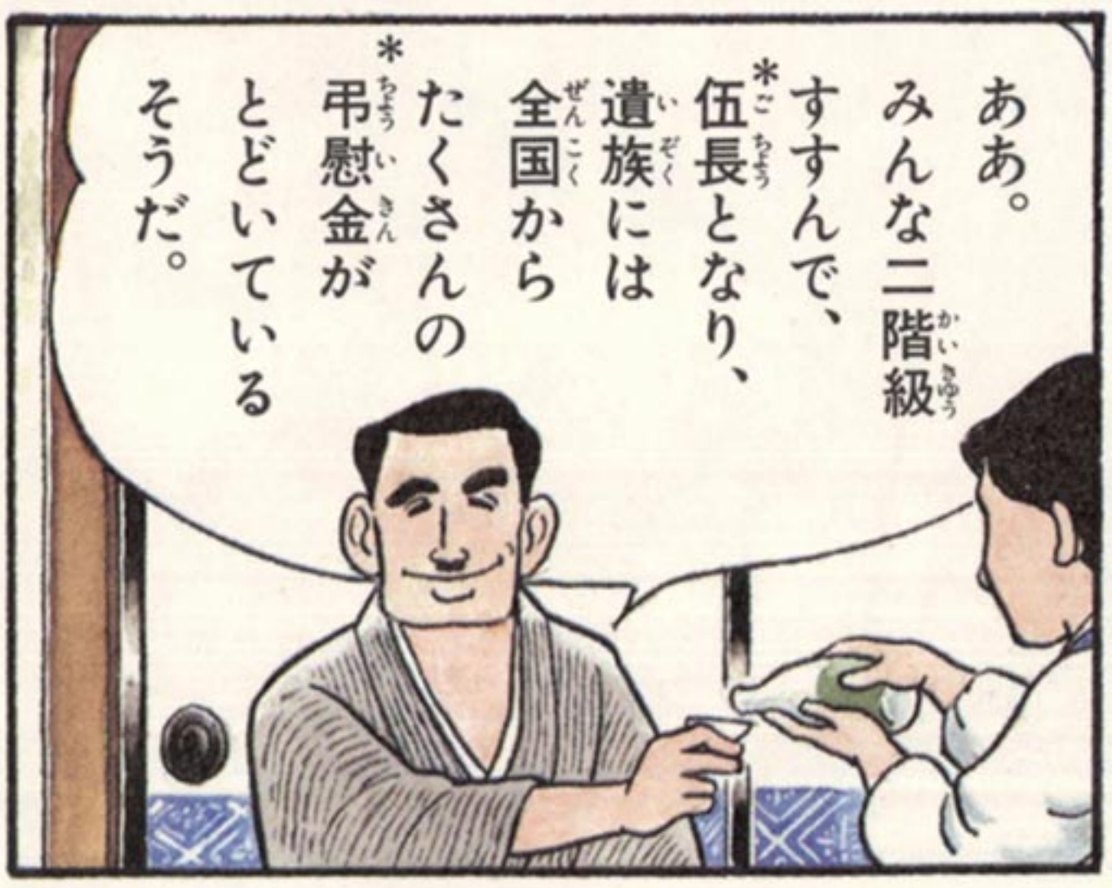
ダダダダ

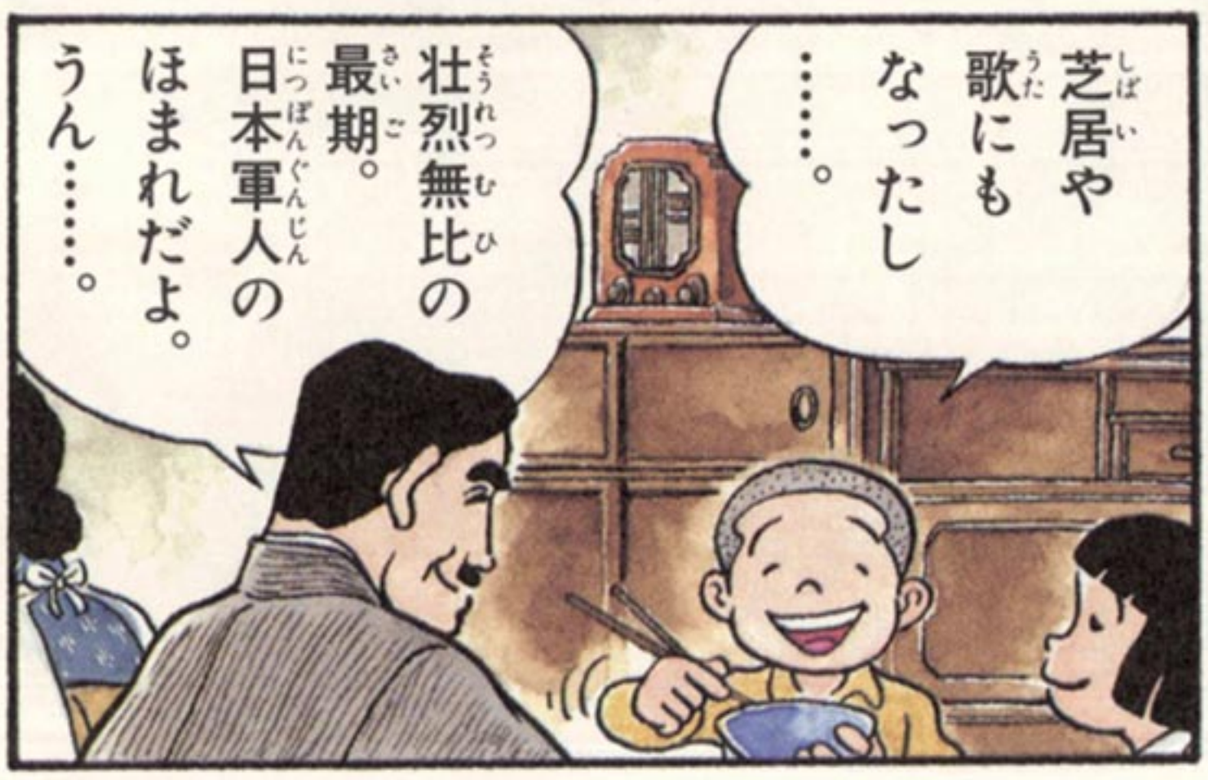
ピュン ピュン

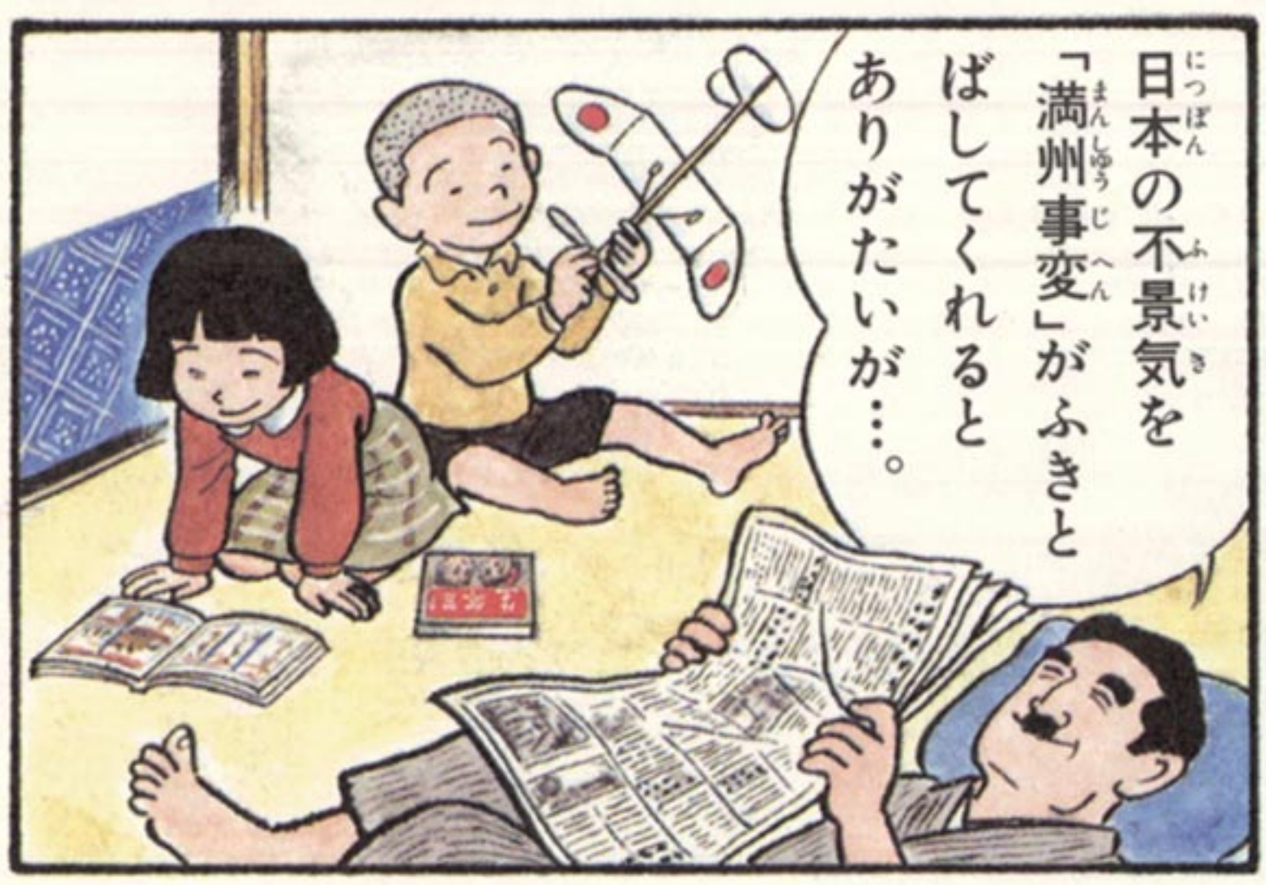
ドカーン

このとき戦死した三人の兵士は、「爆弾三勇士」とよばれて、日本中で大評判になりました。







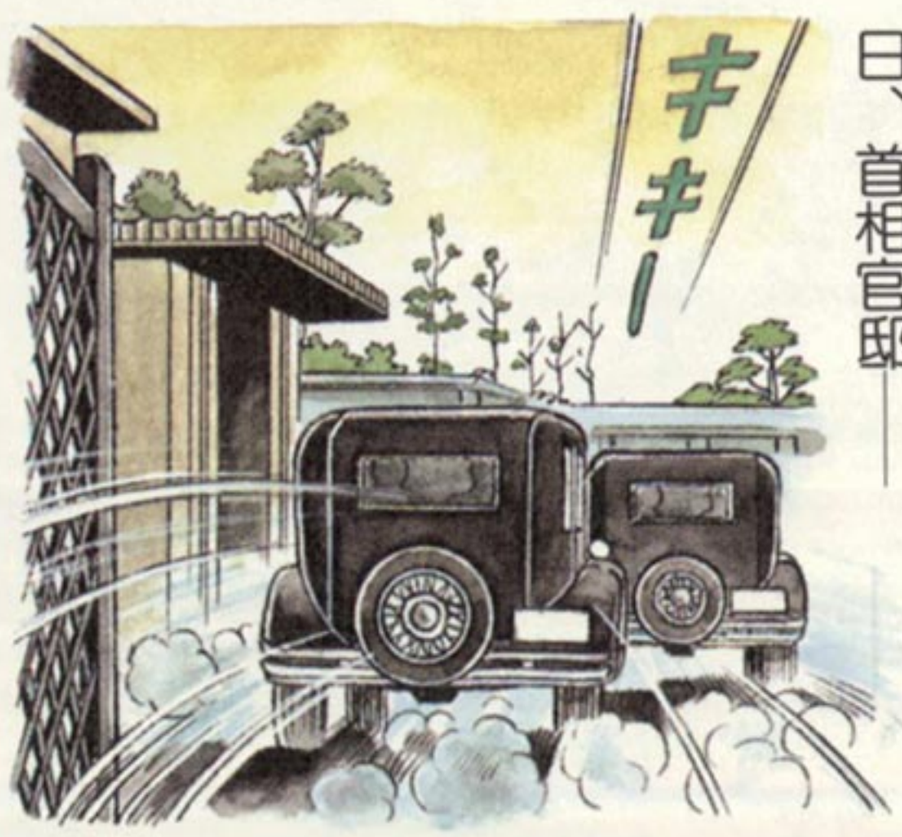


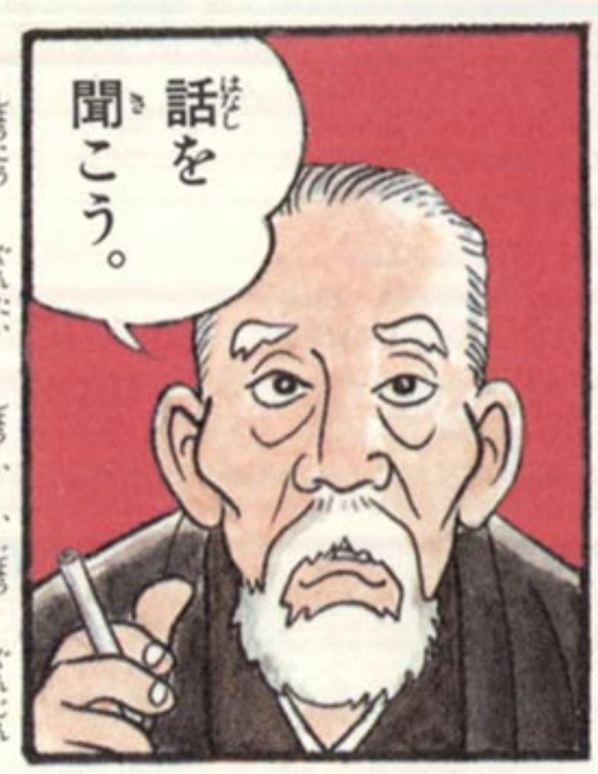
*伍長…兵長の上、軍曹の下の階級。

*弔慰…死者をとむらい、遺族をなぐさめること。

ところで、このころ、政治家や実業家が暗殺される事件がつづいておこっていました。

一九三二年(昭和七)五月十五日、首相官邸——

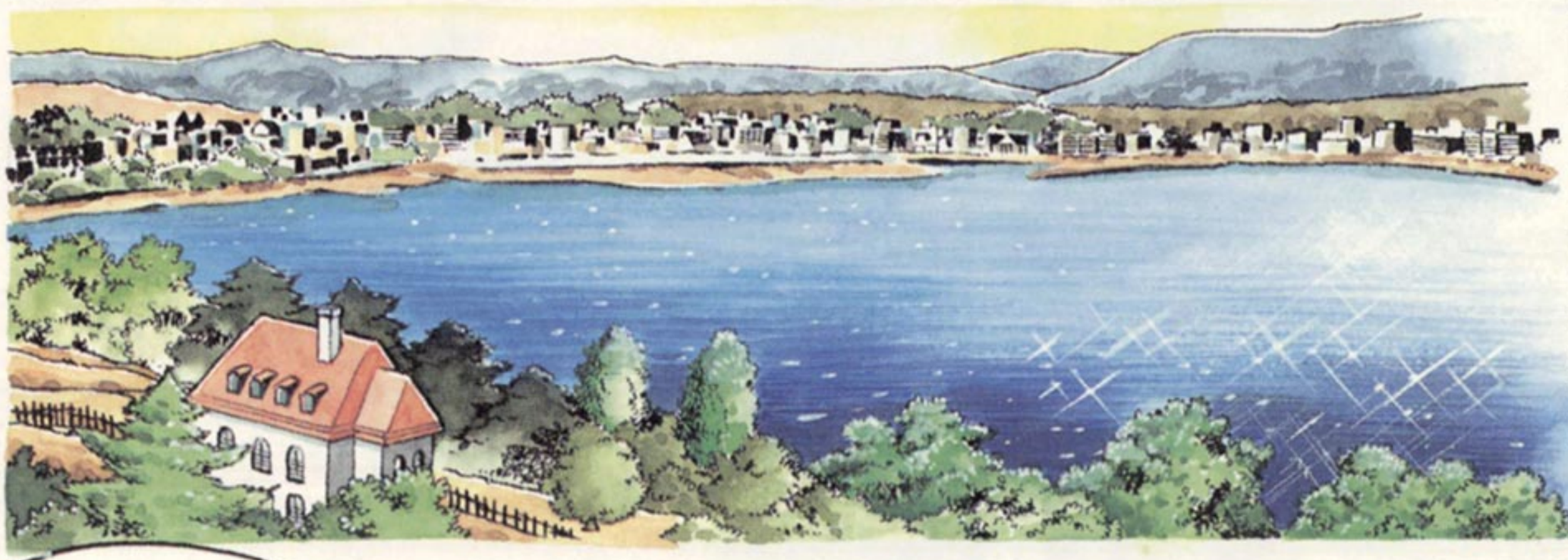


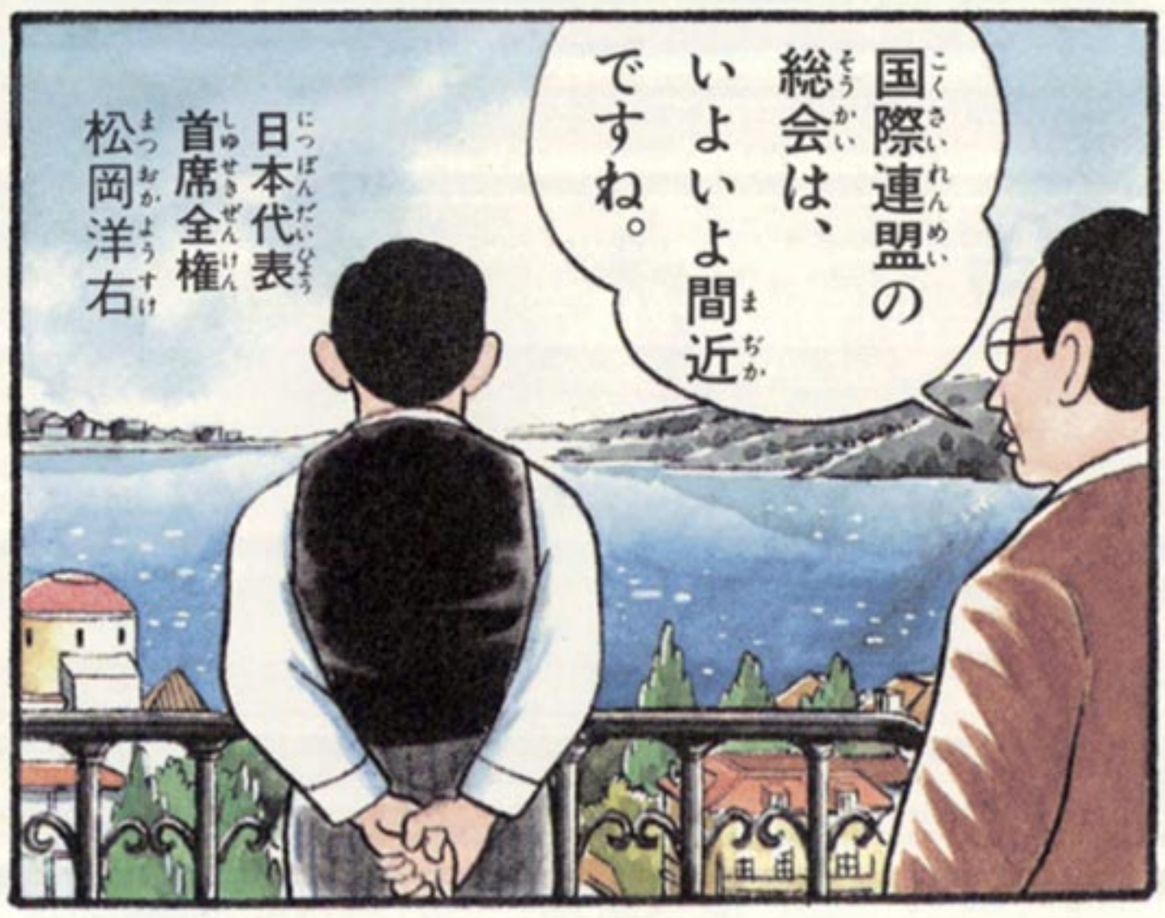


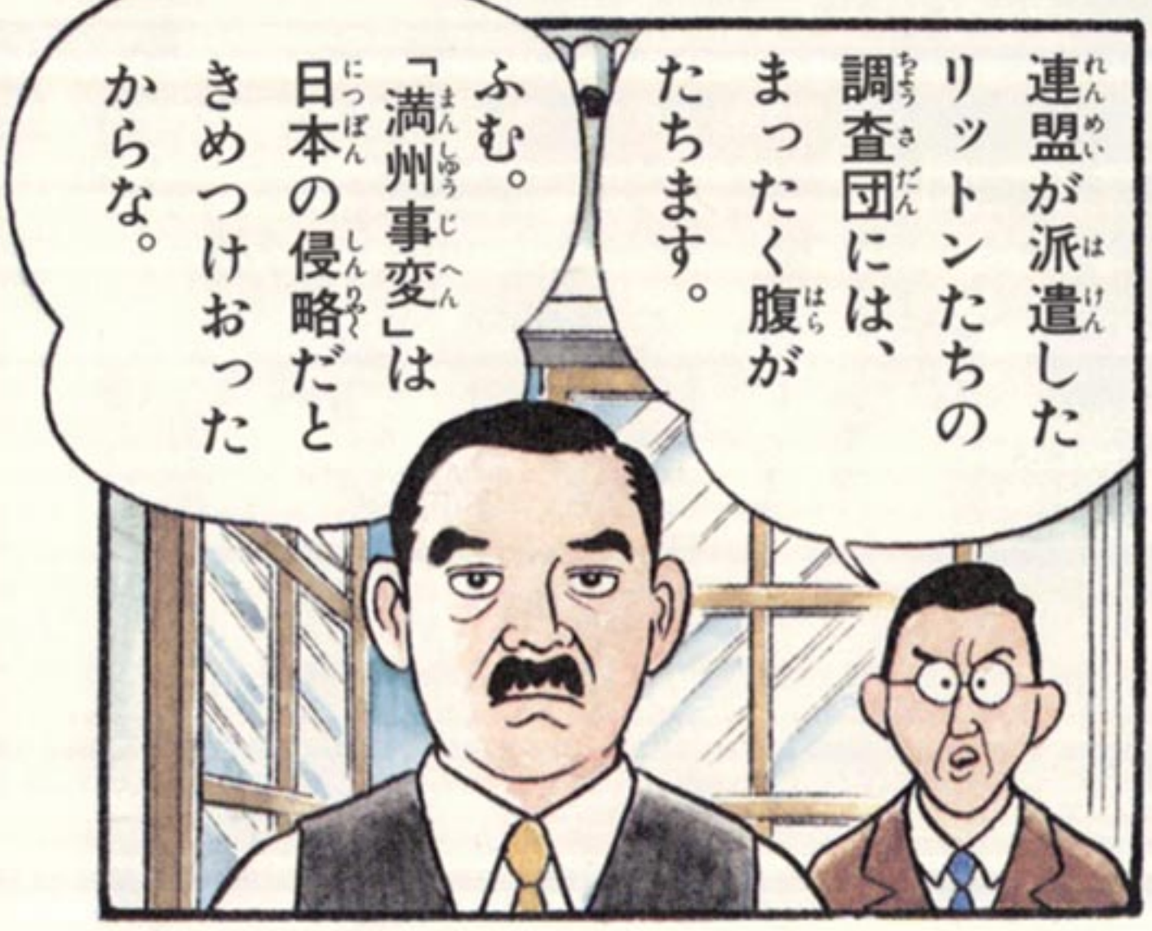
*将校…軍隊で少尉以上の軍人。

この「五・一五事件」は、政治のあり方に不満をもっていた海軍の青年*将校が中心になっておこしたものです。これにより、一九二四年(大正一三)以来の政党内閣のルールは、おわりをむかえました。

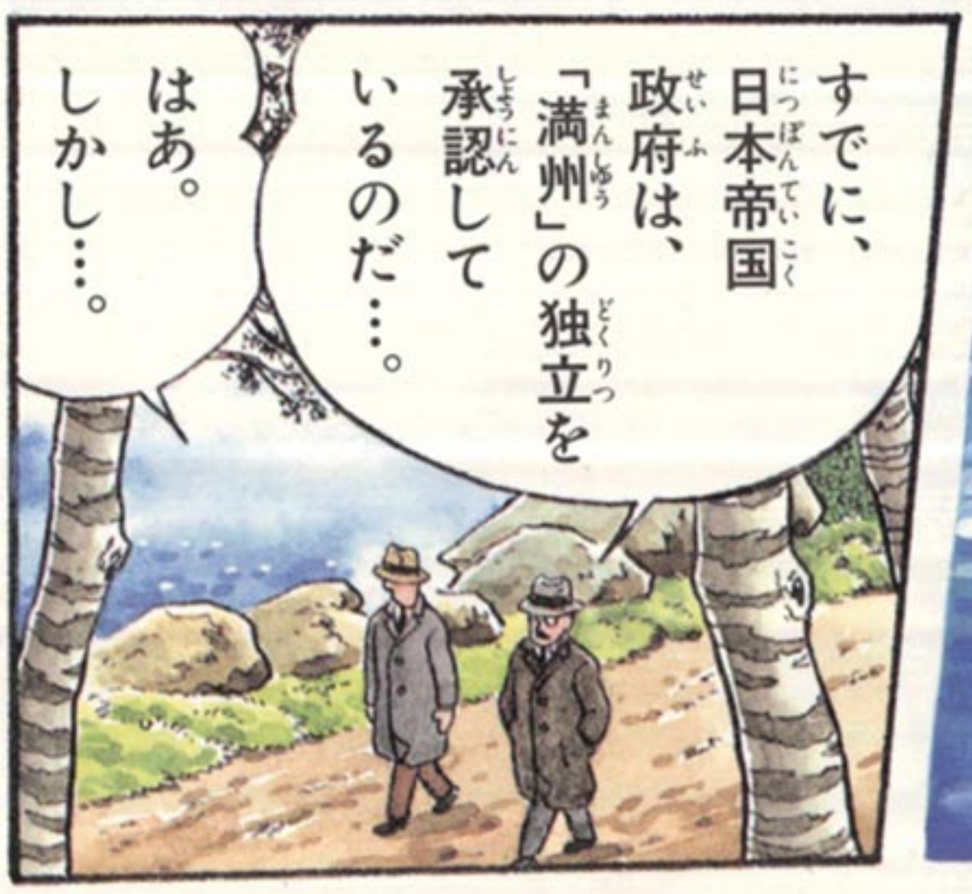
一九三三年(昭和八)二月、
ジュネーブ*、レマン湖畔——

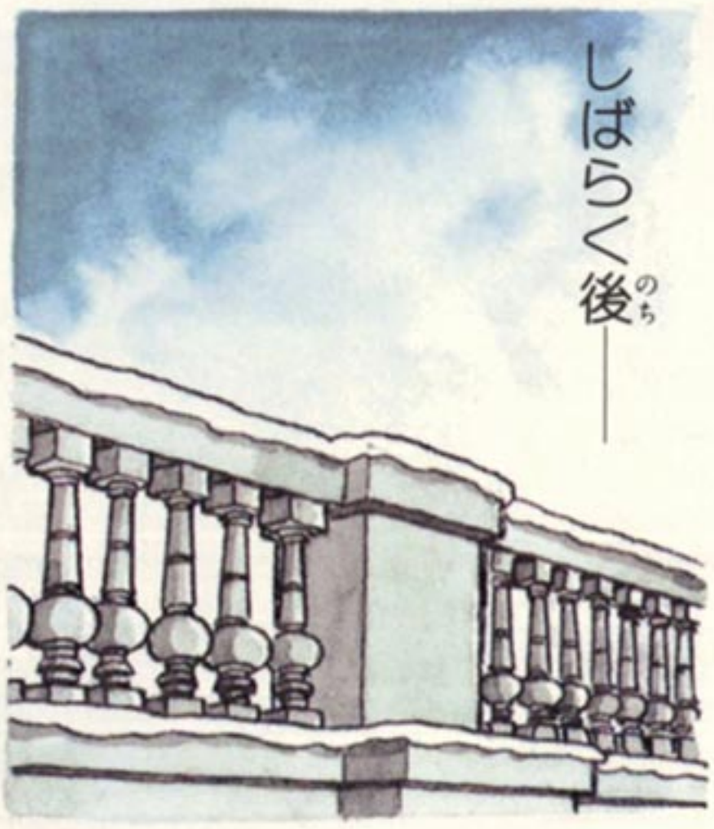


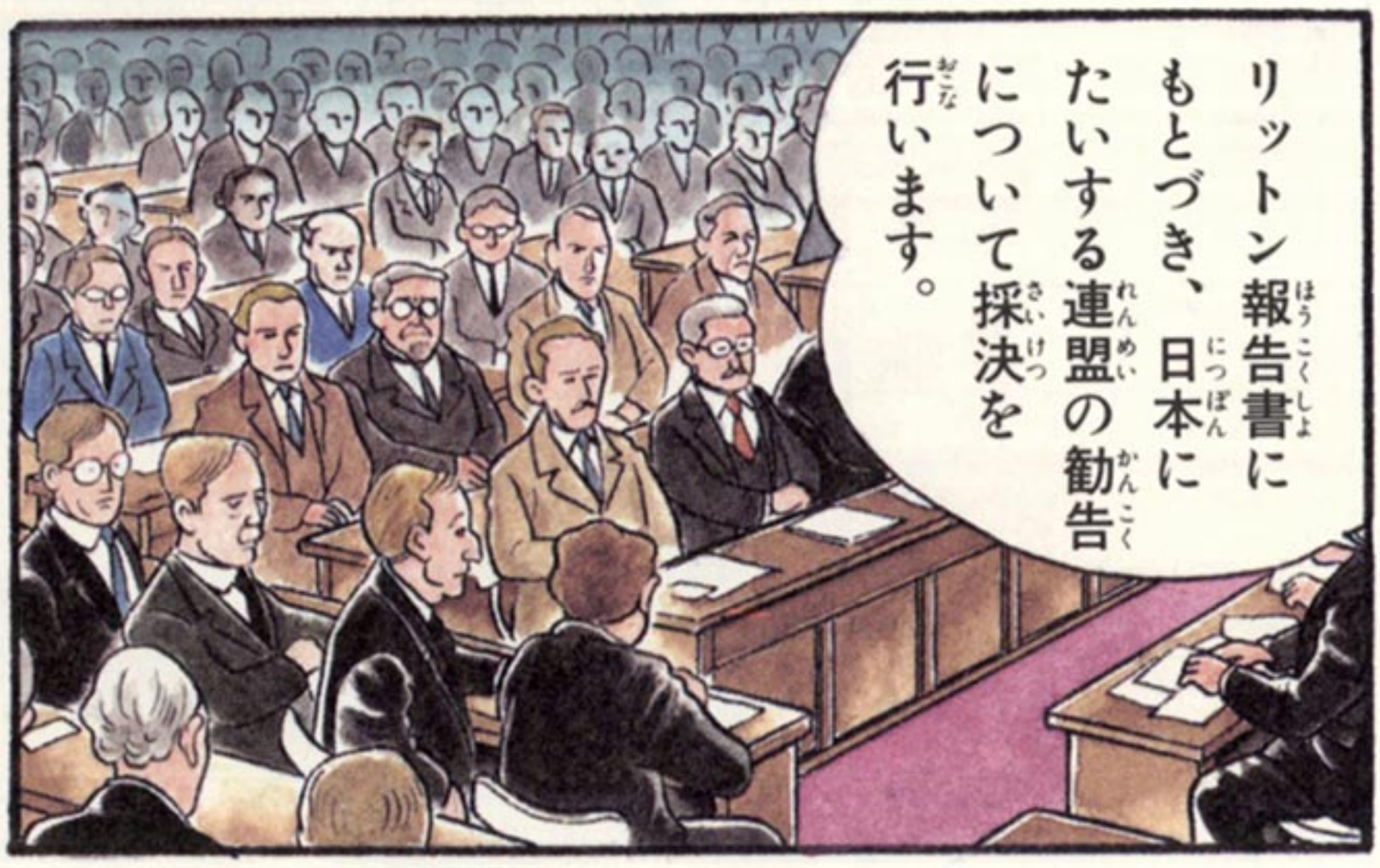


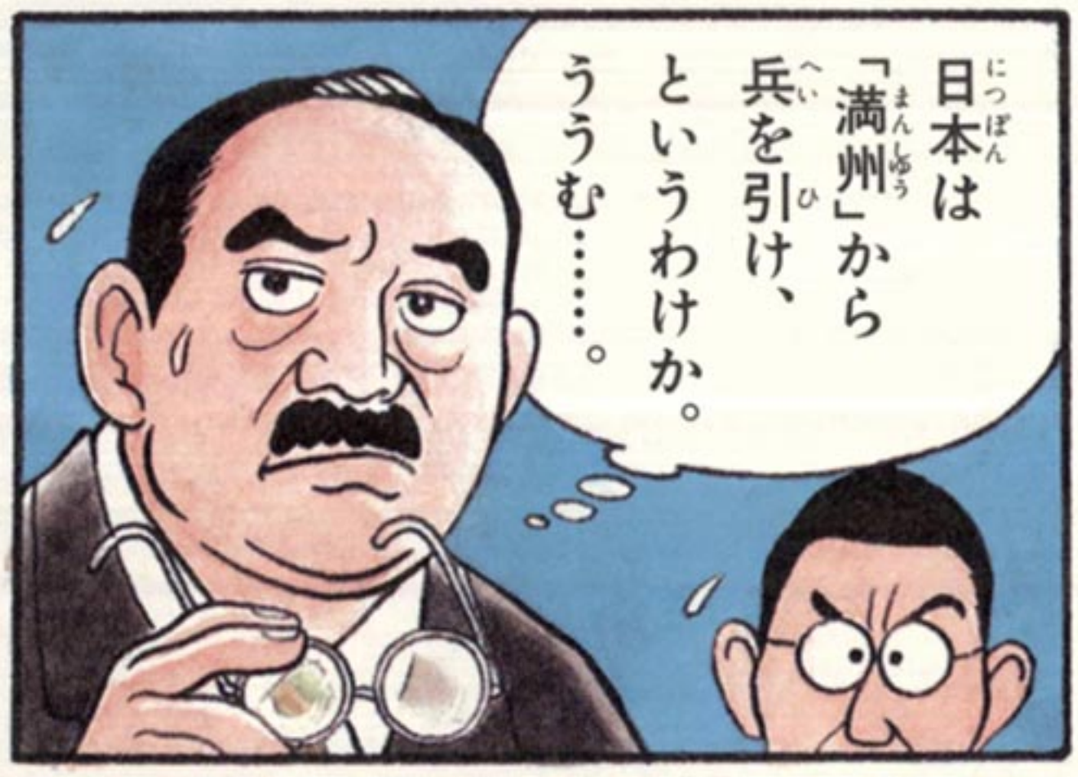


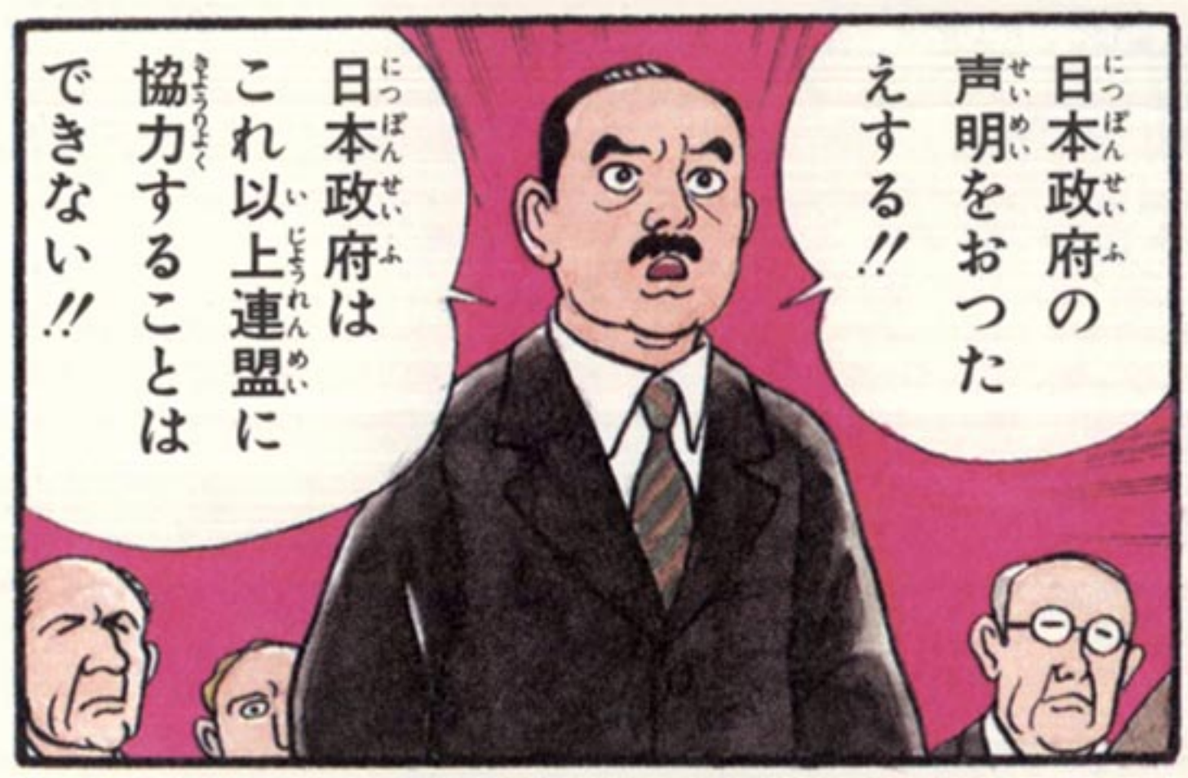
*ジュネーブ…スイス、ジュネーブ州の州都。観光地と国際機関があるので有名。

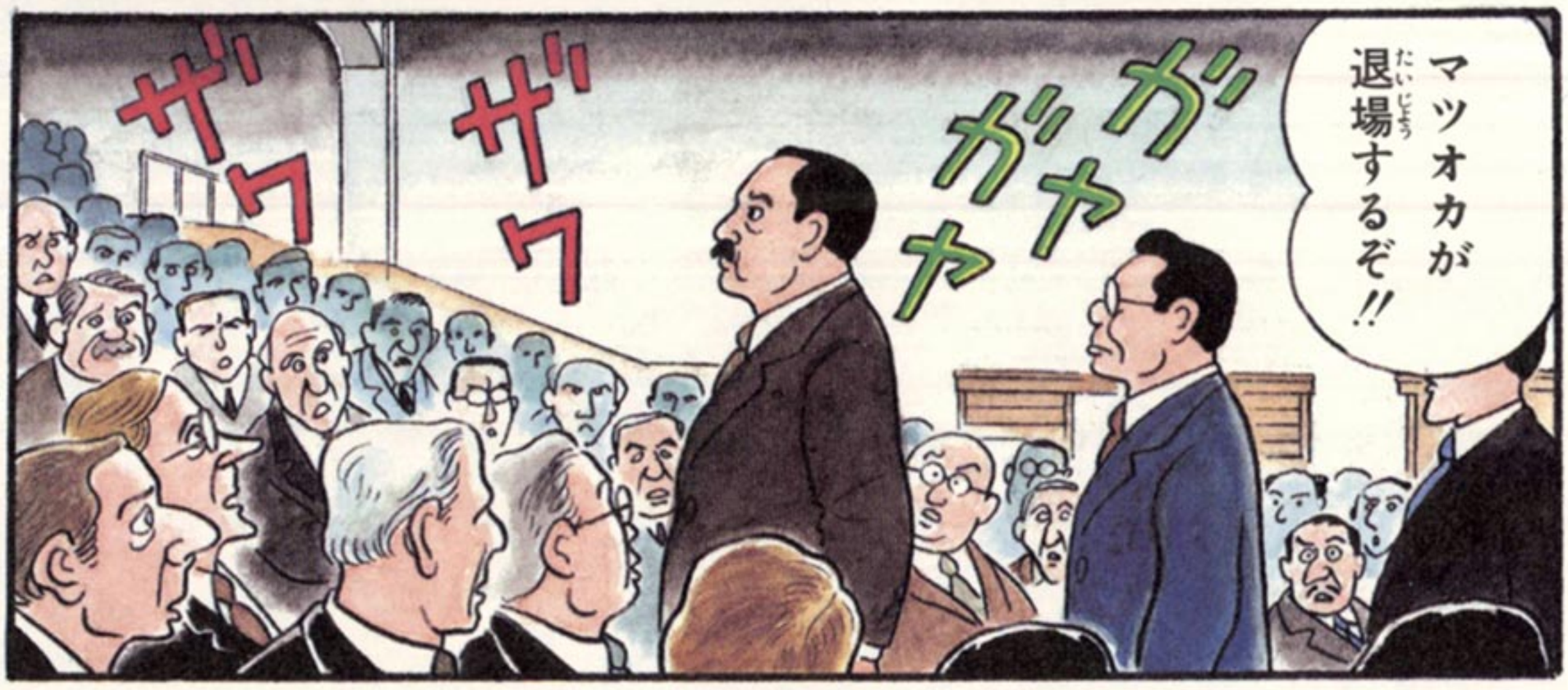












約一か月後、日本政府は国際連盟脱退を正式に声明し、日本は、国際政治のなかでしだいに孤立していくことになります。

そして国内では、社会主義運動にたいする弾圧が強まりました。

プロレタリア作家の*小林多喜二は警察によって虐殺されました。

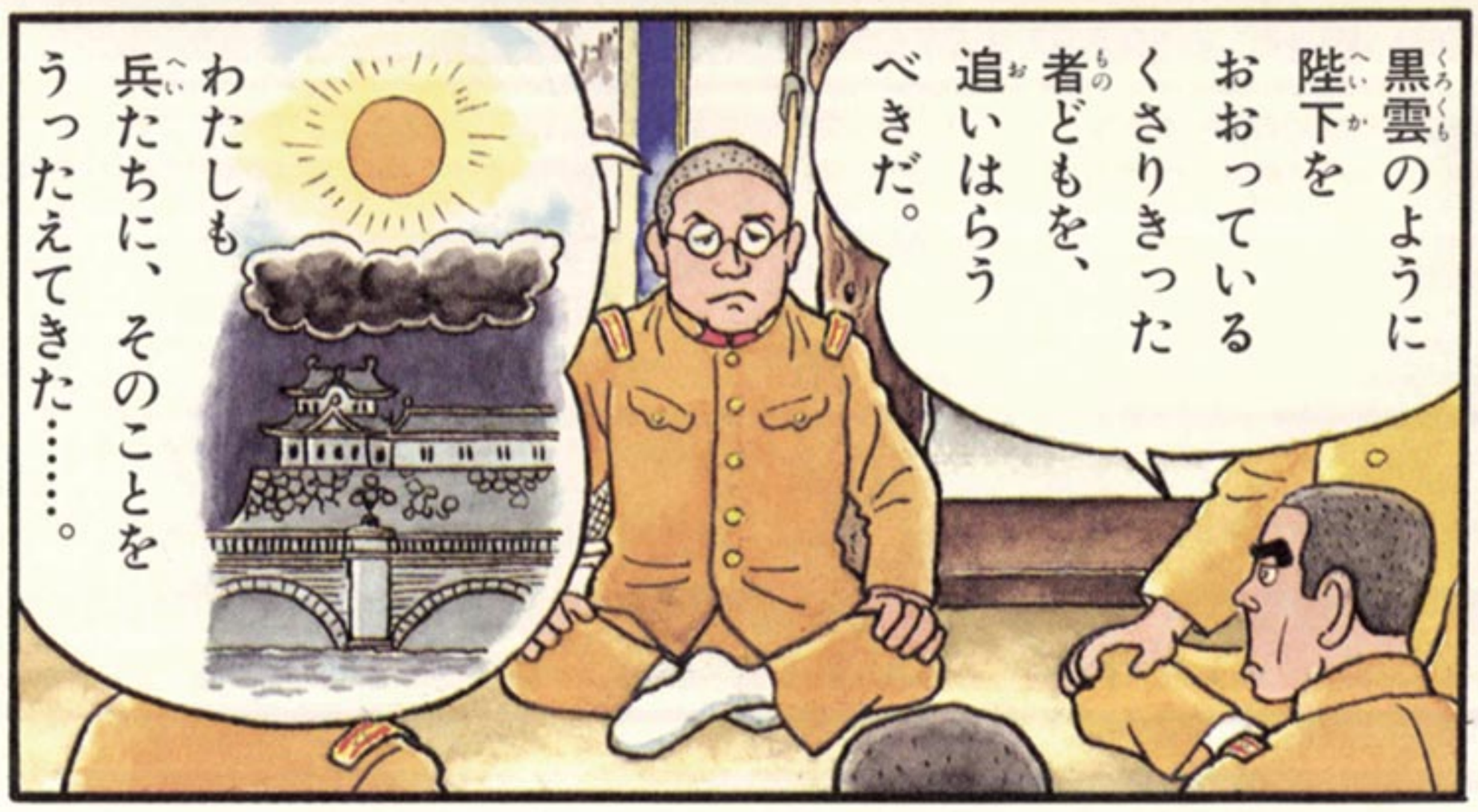
また、学問・言論の自由もうばわれ、大学の自治がうしなわれました。

一方、老いも若きも「東京音頭」をおどりまくったり、おもちゃのヨーヨーにむちゅうになるなど、奇妙な流行が見られました。

これは、戦争が少しずつ生活の中にしのびより、社会が暗くなっていくことを感じた人びとが、その不安をわすれ、重苦しさからのがれようとしたことのあらわれかもしれません。

*小林多喜二…労働者の社会運動を文学にあらわした小説家。代表作は「蟹工船」。

*幕僚…大将や司令官に直属する参謀将校。



*北一輝…大正・昭和初期の国家主義者。その思想は青年将校に大きなえいきょうをあたえた。

*君側の奸…君主のそばにいる悪者。

*大尉…中尉の上、少佐の下の階級。

一九三六年(昭和一一)二月二十六日の明け方——

ただ今より歩兵第三連隊第六中隊は昭和維新の行動を開始する！

ザ ザ ザ

岡田啓介首相官邸——

総理をうちとったぞ！

タ タ

斎藤実内大臣邸——

天誅！

ダ ダ ダ ダ

高橋是清蔵相邸——

天誅！

パ パ

渡辺錠太郎教育総監邸——

ううっ。

ダ ダ

陸相官邸を占拠せよ!!

尊皇討奸

＊総理…このとき暗殺されたのは首相の義弟で、岡田首相は無事だった。

この日行動をおこしたのは、陸軍の青年将校のひきいる約千五百名の兵士でした。反乱軍は、政府や軍部の重要人物を襲撃した後、首相官邸などのある東京の心臓部を占拠しました。これを「二・二六事件」といいます。

政府は、首都東京とその近県に戒厳令*をしきました。

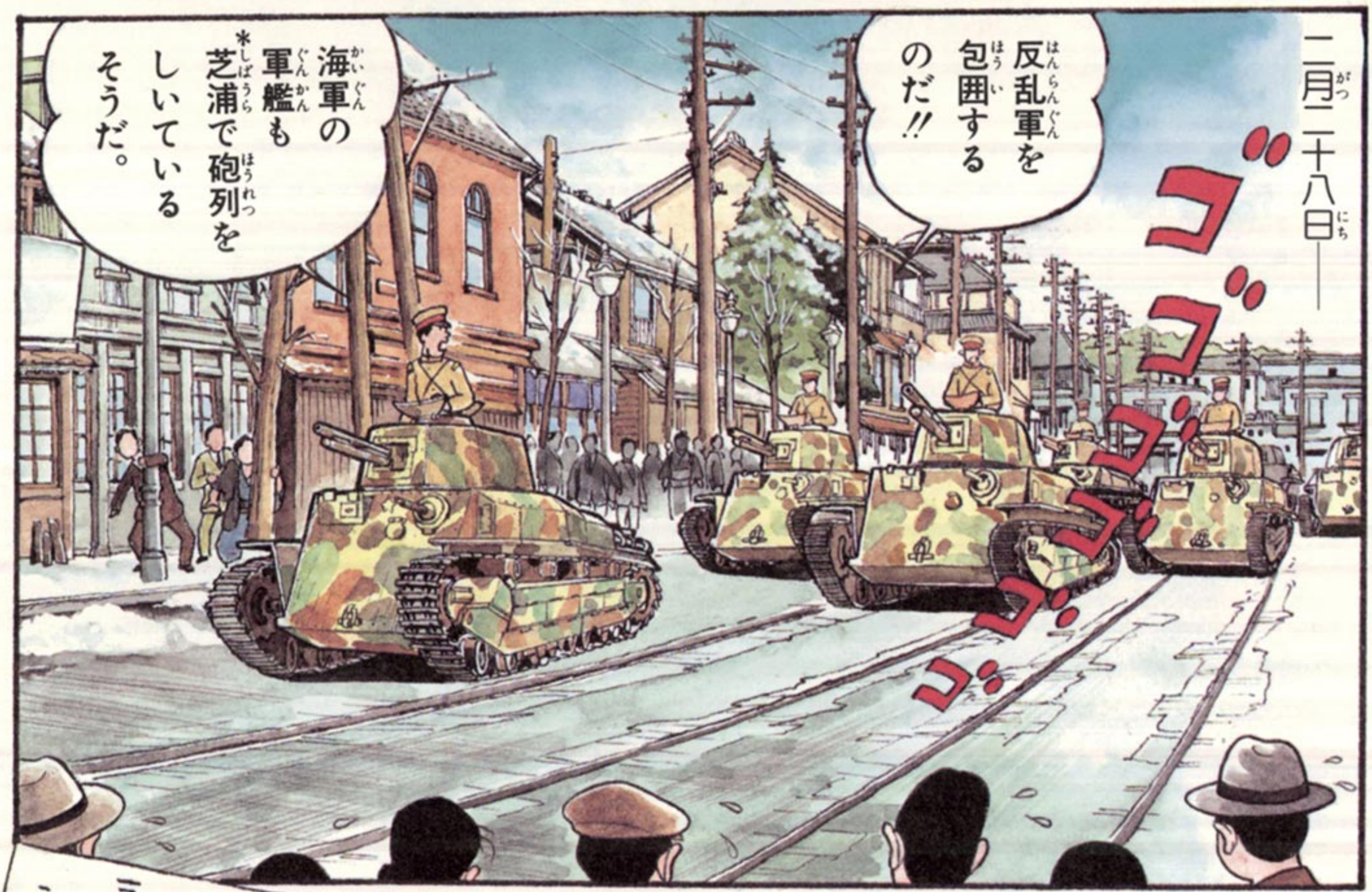
*戒厳…戦争など非常時に、軍司令官が行政権・司法権をあつかうこと。

官庁街のおもな地域はすべて占拠したぞ!!

昭和維新をさえぎる賊をとりのぞくのだ!!

尊皇討奸

さて、陸軍では、反乱軍のあつかいについて、なかなか意見がいっちしませんでした。



*奉勅命令…法律によらない天皇の命令。

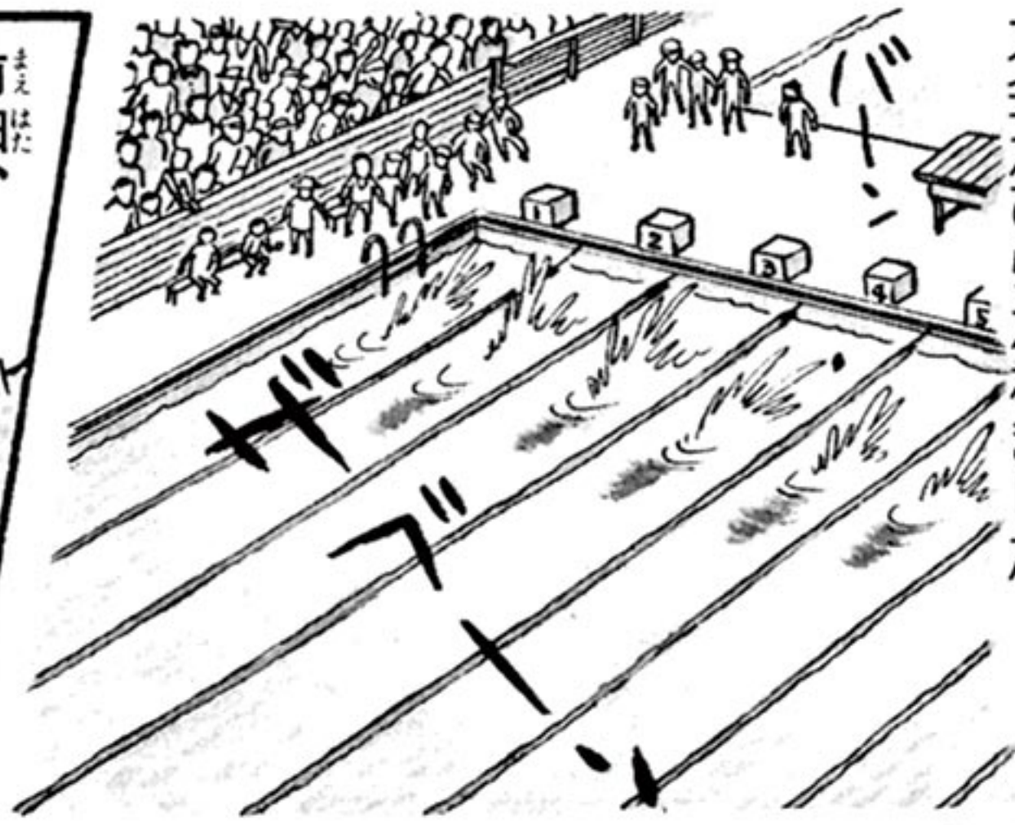
*芝浦…東京都港区の東部。東京湾に面する。

青年将校たちは、軍法会議にかけられ、十七名が銃殺刑になりました。

北一輝は、直接にかかわっていませんでしたが、かれらの思想的指導者とみられ、やはり処刑されました。

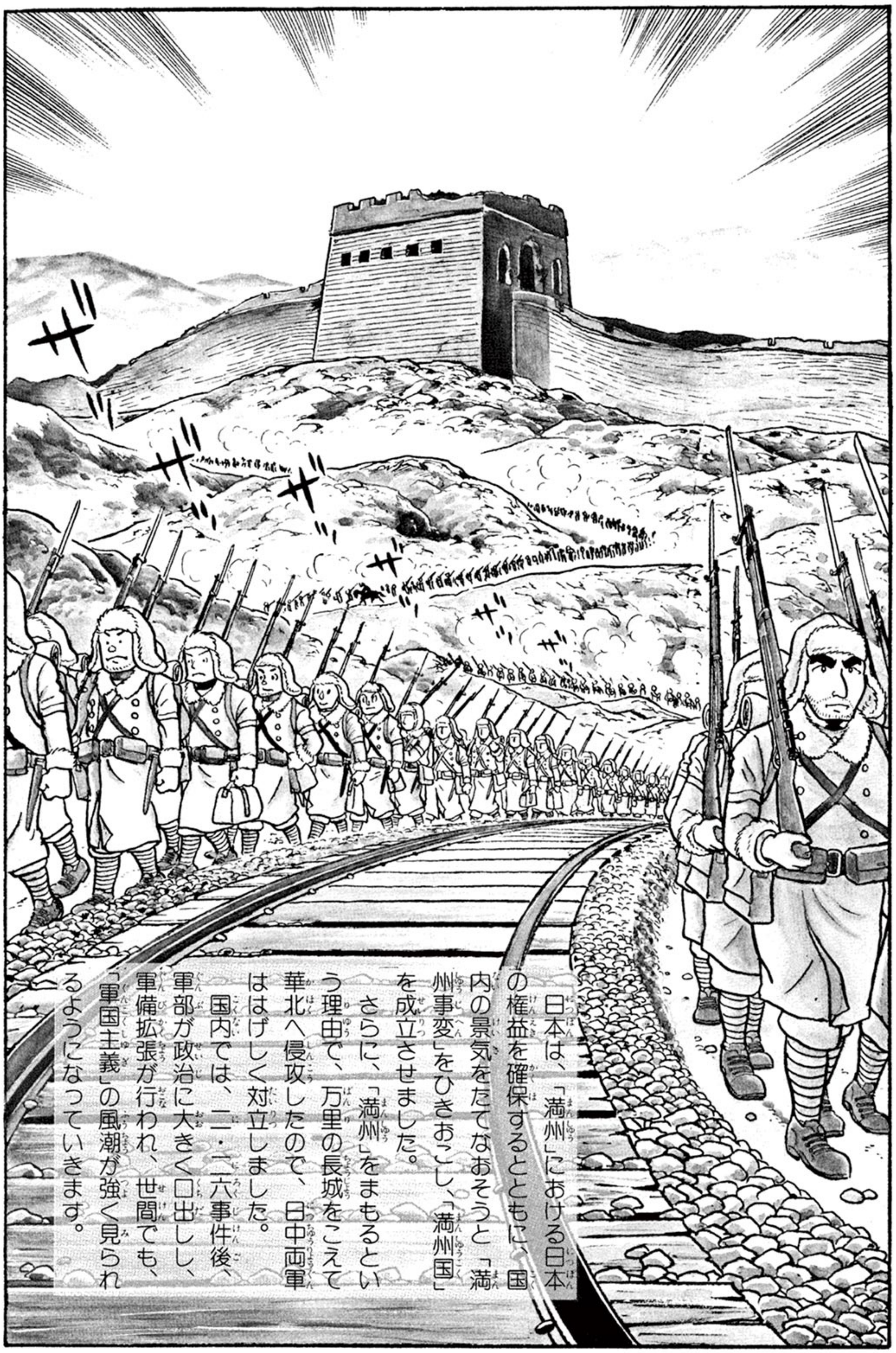
＊ベルリン…ドイツの首都。

ところで、この年の八月、＊ベルリンで第十一回オリンピック大会がひらかれました。



＊広田首相…広田弘毅。二・二六事件の後、一九三六年三月から一九三七年一月まで首相となる。

＊組閣…大臣をきめ、内閣を組みたてること。



日本は、「満州」における日本の権益を確保するとともに、国内の景気をたてなおそうと「満州事変」をひきおこし、「満州国」を成立させました。

さらに、「満州」をまもるという理由で、万里の長城をこえて華北へ侵攻したので、日中両軍ははげしく対立しました。

国内では、二・二六事件後、軍部が政治に大きく口出しし、軍備拡張が行われ、世間でも、「軍国主義」の風潮が強く見られるようになっていきます。

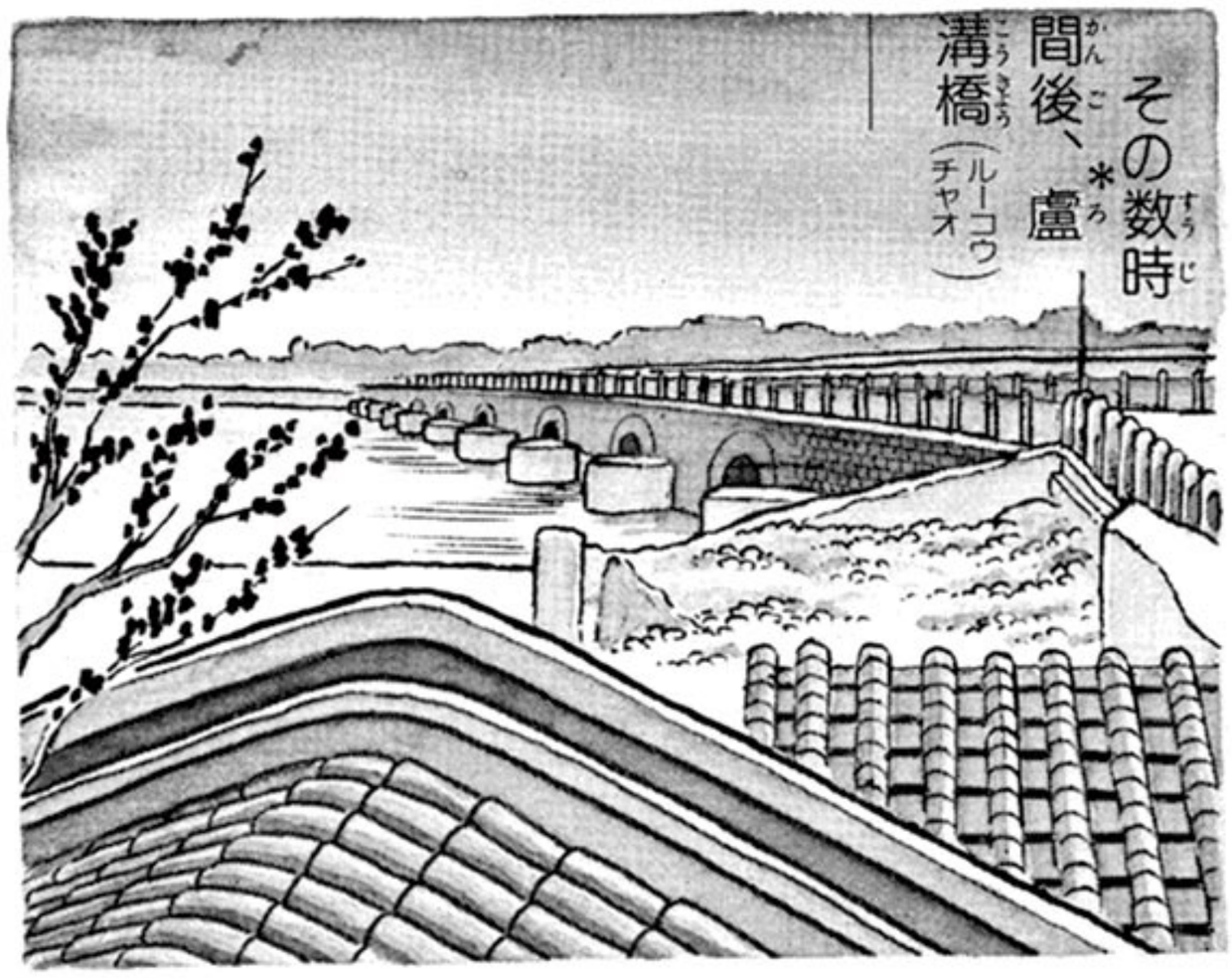
小学館 eBooks

第二章

日中戦争

――一九三〇～四〇年代――

一九三七年(昭和一二)七月八日未明、中国の北平(北京)の日本軍駐屯部隊本部——



*盧溝橋…北京の西、永定河にある橋。マルコ＝ポーロにちなみ、マルコ＝ポーロ・ブリッジともよばれている。

*牟田口大佐…歩兵第一連隊長の牟田口廉也。

*一文字山…盧溝橋近くの小さな丘。

こうして盧溝橋付近でついに日中間の戦闘がはじまりました。しかし、中国側は日本軍への攻撃をみとめず、この事件の原因については、今もなお議論が続いています。

ズバーン
ズバーン
ズバーン

うっ。

それっ、突撃だ!!

＊石原少将…参謀本部第一部（作戦部）作戦部長の石原莞爾。

東京の三宅坂、参謀本部――

＊武藤大佐…参謀本部第一部作戦課長の武藤章。

政府では――

すでに、中国は大軍をうごかしているもようです。

そうですな。

陸相 杉山元

首相 近衛文麿

これは中国の計画的な行動にちがいありません。

よろしい。重大決意をもって断固たる措置をとりましょう。

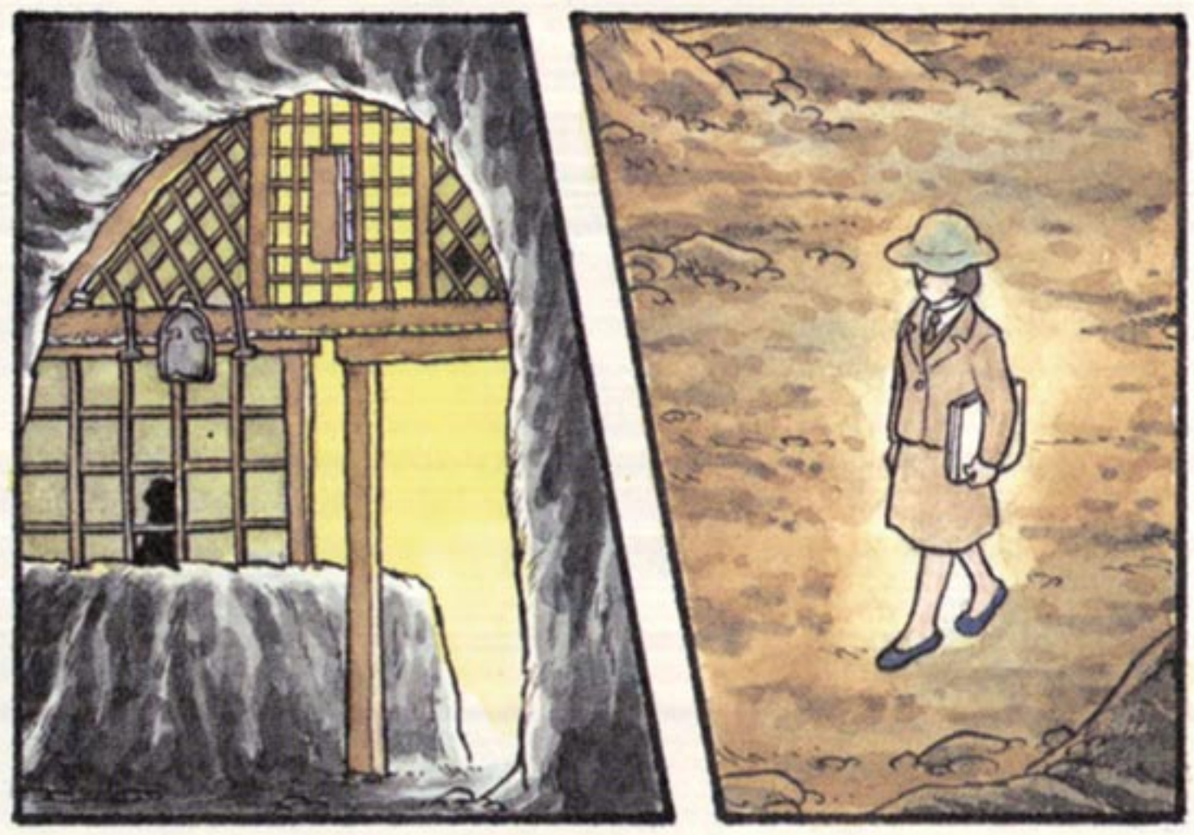
そして中国では――

*華北…中国の北部。

*上海…第一章参照。

*延安…中国北部山西省にある町。

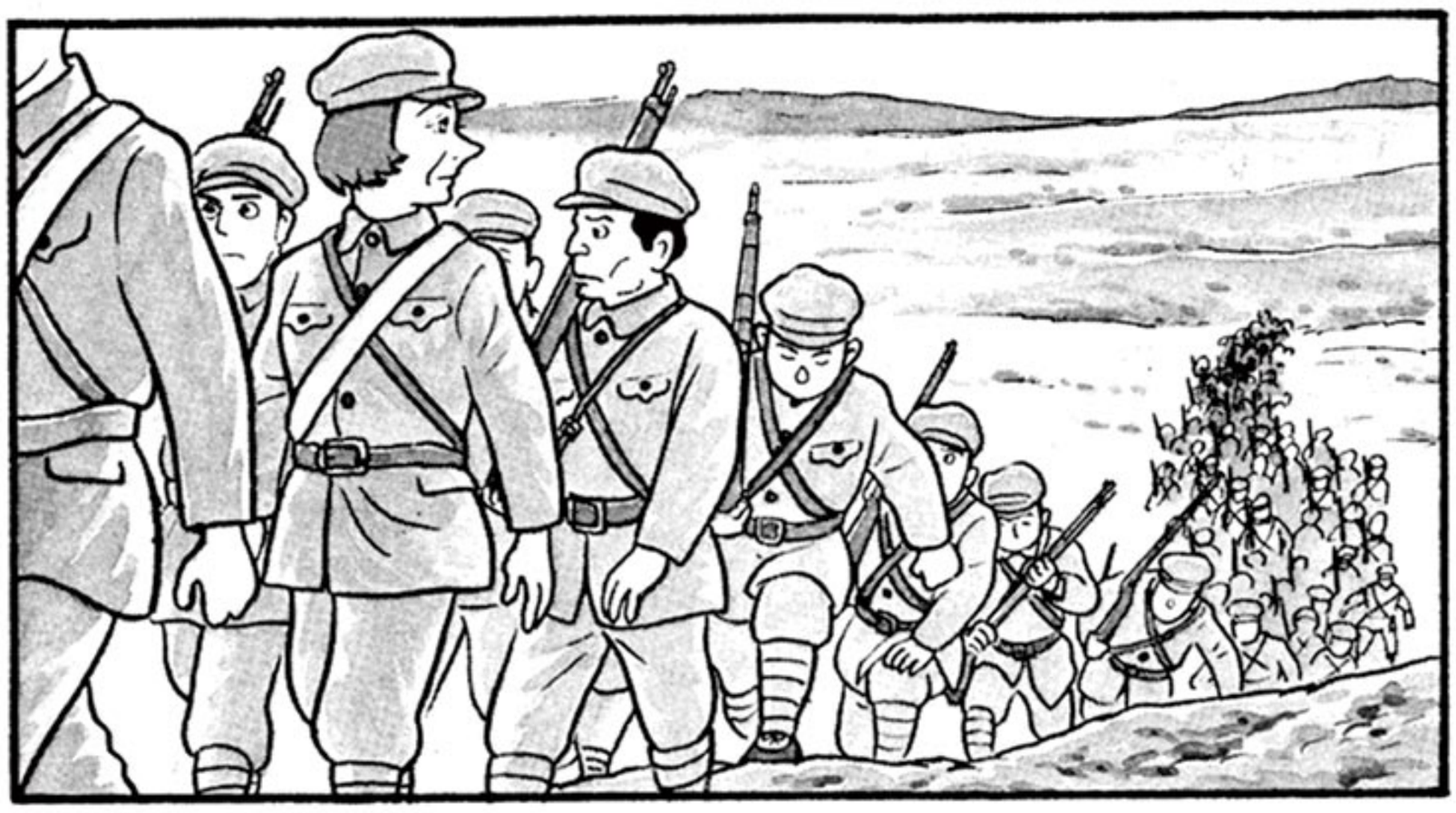
*スメドレー…アメリカ人ジャーナリスト。



*毛沢東…中国共産党主席。

*八路軍…中国国民革命軍第八路軍の俗称。

*朱徳…中国共産党紅軍総司令。



蔣介石の中国国民党と毛沢東の中国共産党は、長い間内戦をつづけていましたが、一九三六年（昭和一一）停戦し、盧溝橋事件のあと、両党はともに日本とたたかうことをきめたのです。これを「国共合作」といいます。

*クリーク…小川。

*トーチカ…コンクリートなどでつくった防御陣地。

十二月はじめ、日本軍は南京城を総攻撃しました。

ドカー

ドドドー

ドー

ドドー

バー

ドー

おっ、日の丸があがったぞ。

よし、突撃だ！

ドカー

ドー

ドー

ドー

ドー

バー

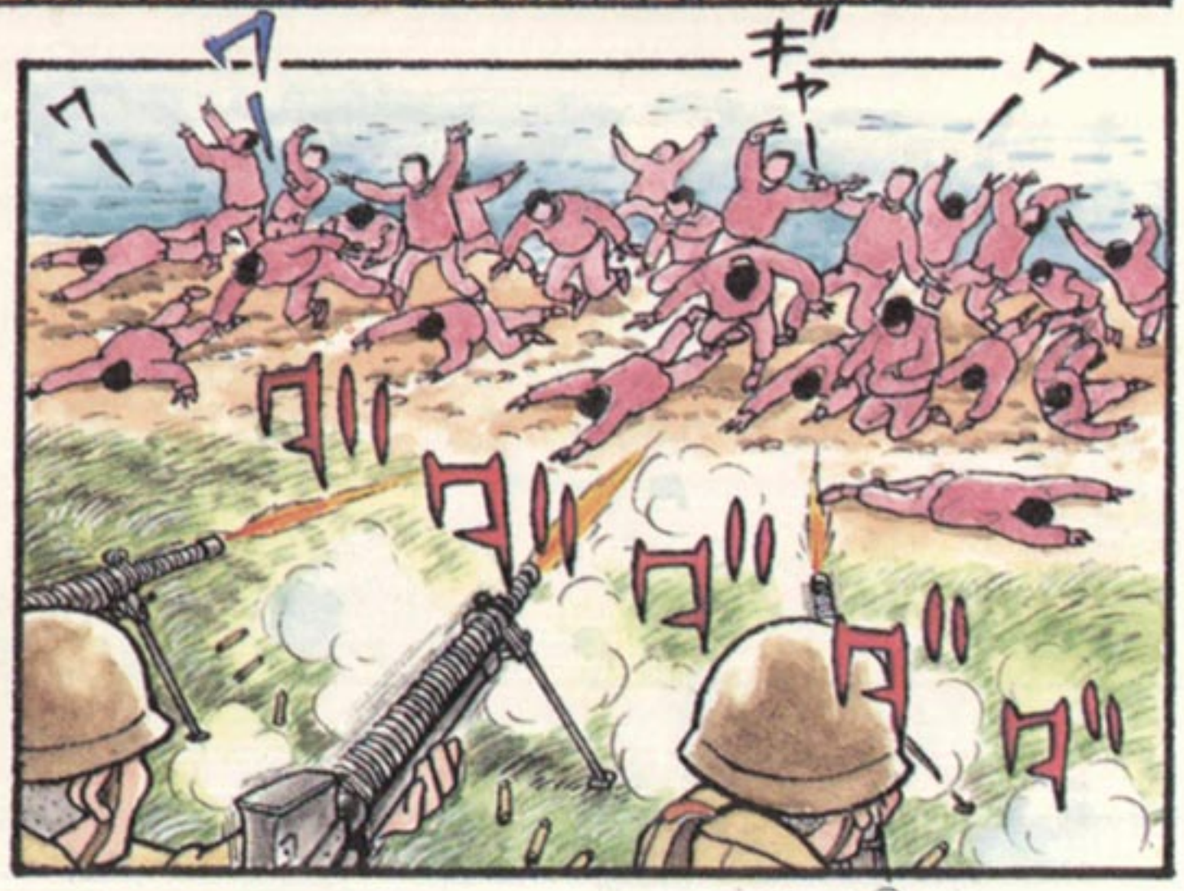
ドー

ドー

ドー

ド

十二月十三日、日本軍は、中華民国政府の首都南京を占領しました――



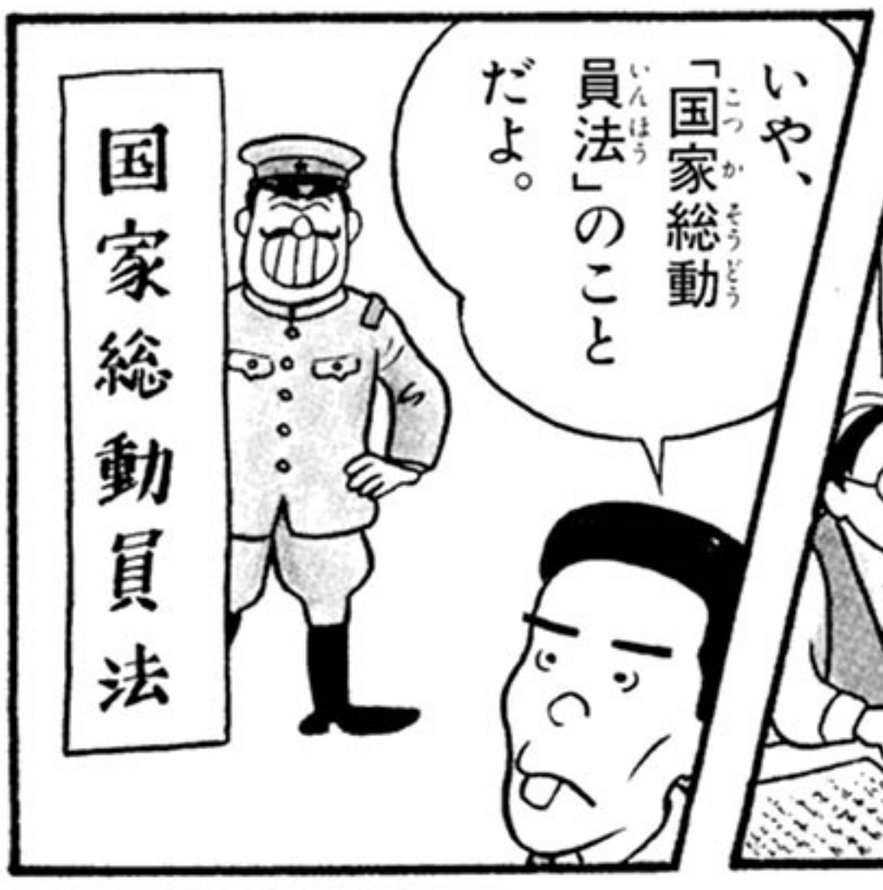
*皇軍…天皇の軍隊。

南京で虐殺された中国人は、戦後の東京裁判の記録によると十一万人以上にもなります。その中には、多くの市民もいました。

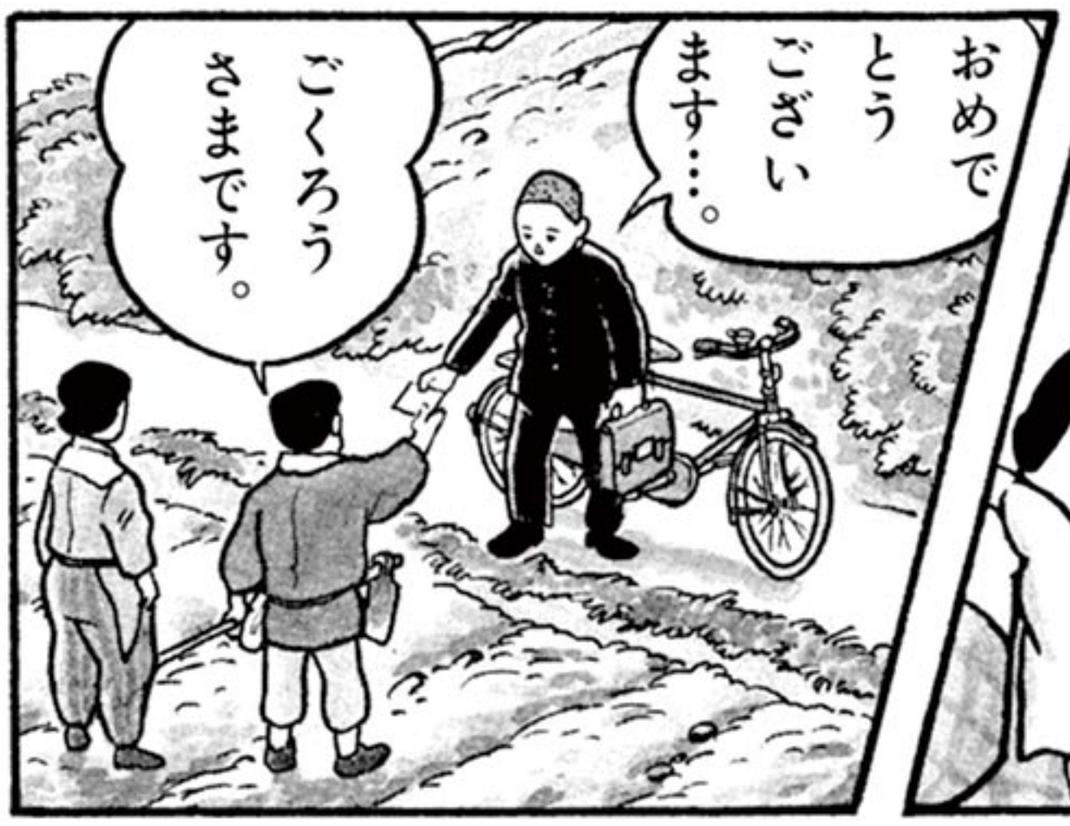
日本では、南京の占領をいわって、盛大なちょうちん行列がくりひろげられました。

一九三八(昭和一三)年一月——

四月——



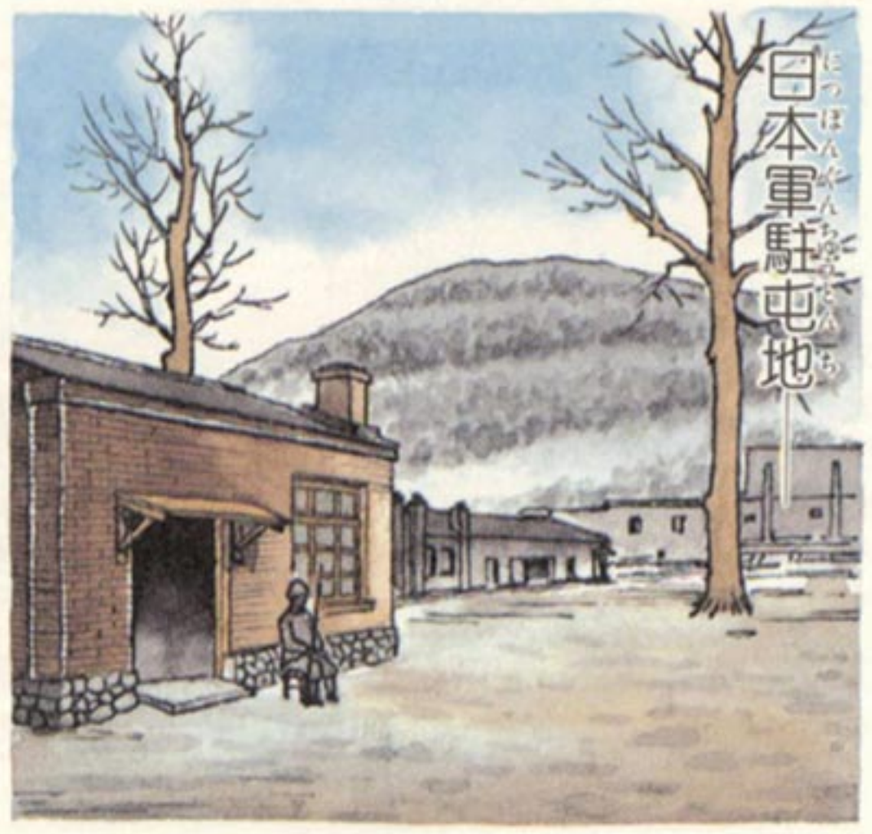
＊軍需…軍事上必要なもの。



*赤紙…日本軍の召集令状。赤い紙をつかったのでこうよばれた。

*ベコ…牛。

*徐州徐州と～…戦時歌謡「麦と兵隊」（作詞：藤田まさと、作曲：大村能章）より。
中国大陸を行軍する日本兵の姿を描き、当時大ヒットとなった。


日本軍駐屯地

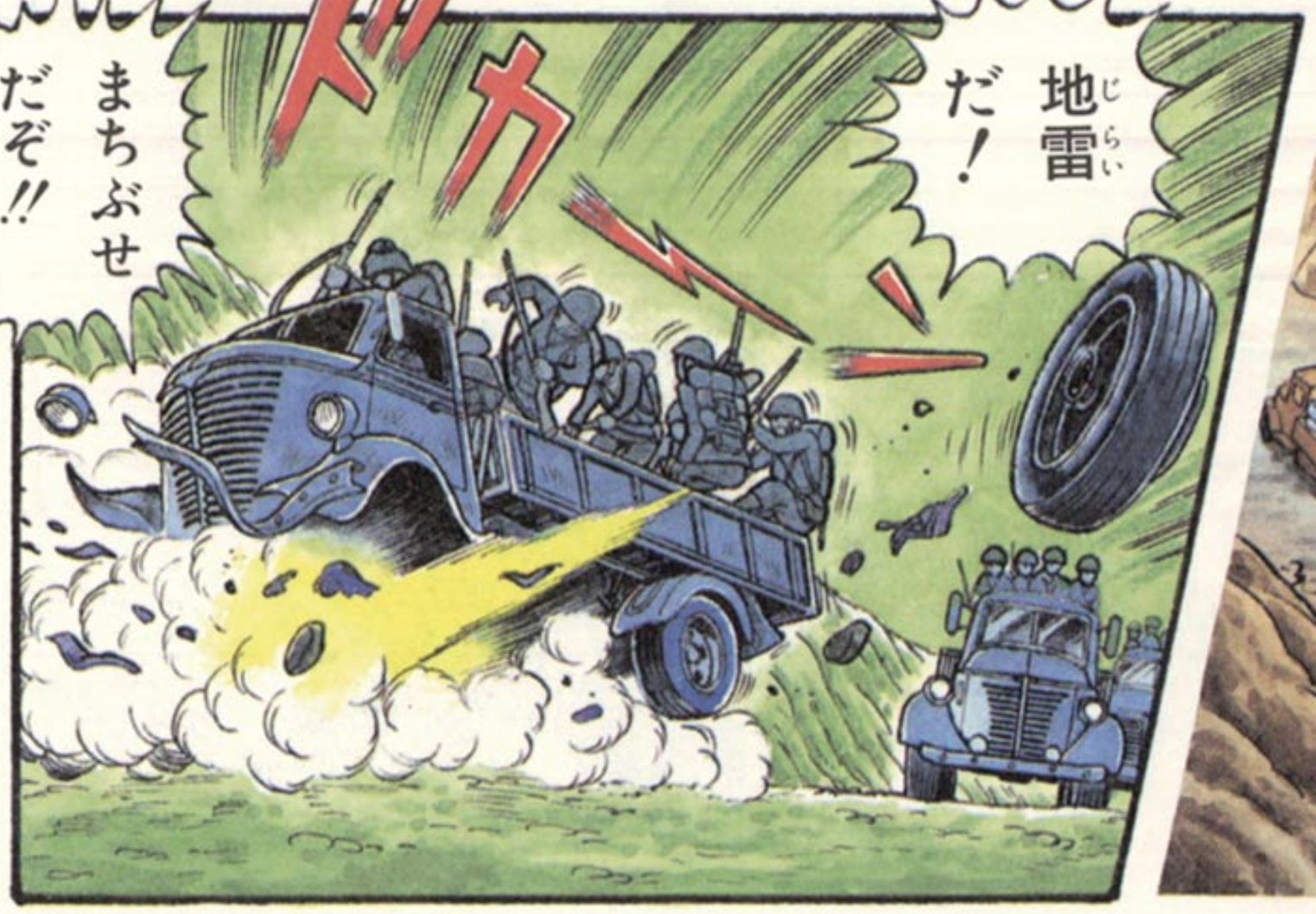
わが軍の占領地域は広がったが、さて……。
はあ…？

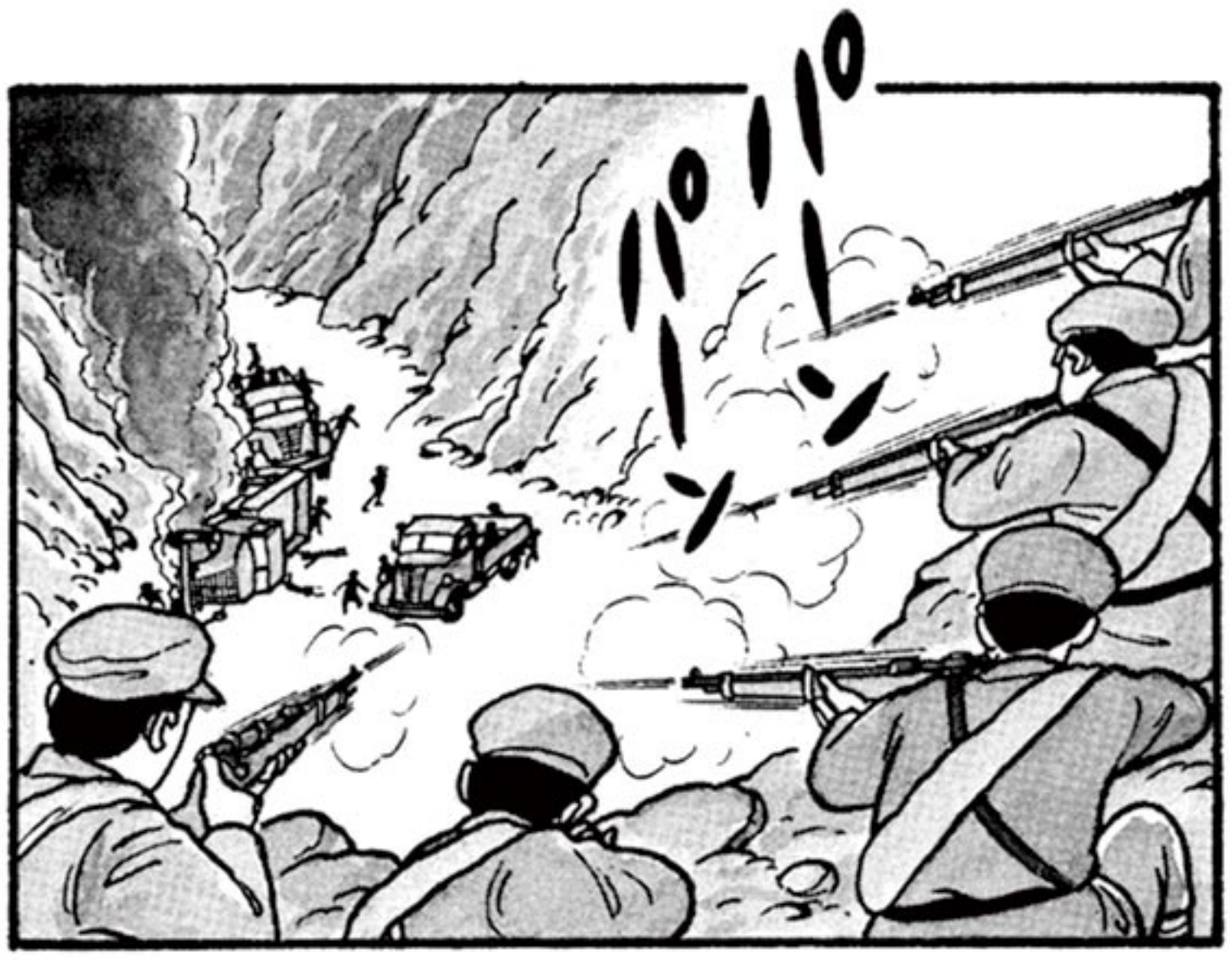
こちらのにらみがきくのは、鉄道沿線のごくかぎられた地域だ。
点と線を確保しているにすぎません。
コン
コン

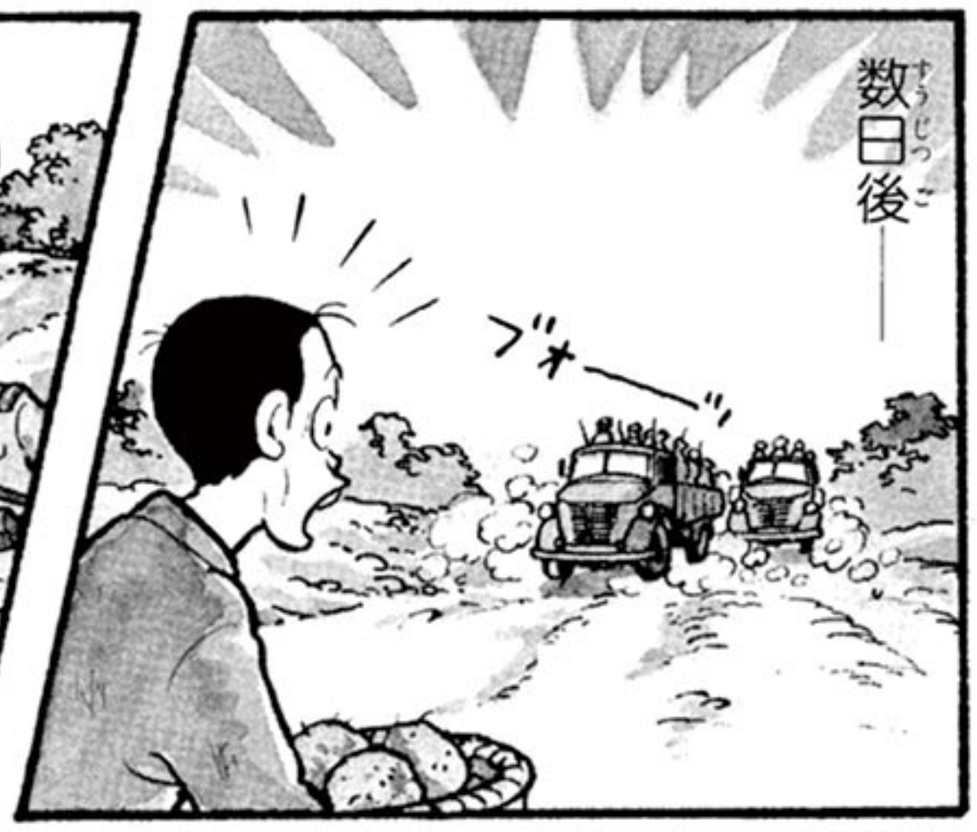
報告いたします。
東十五キロ地点の線路が、敵に破壊されました。

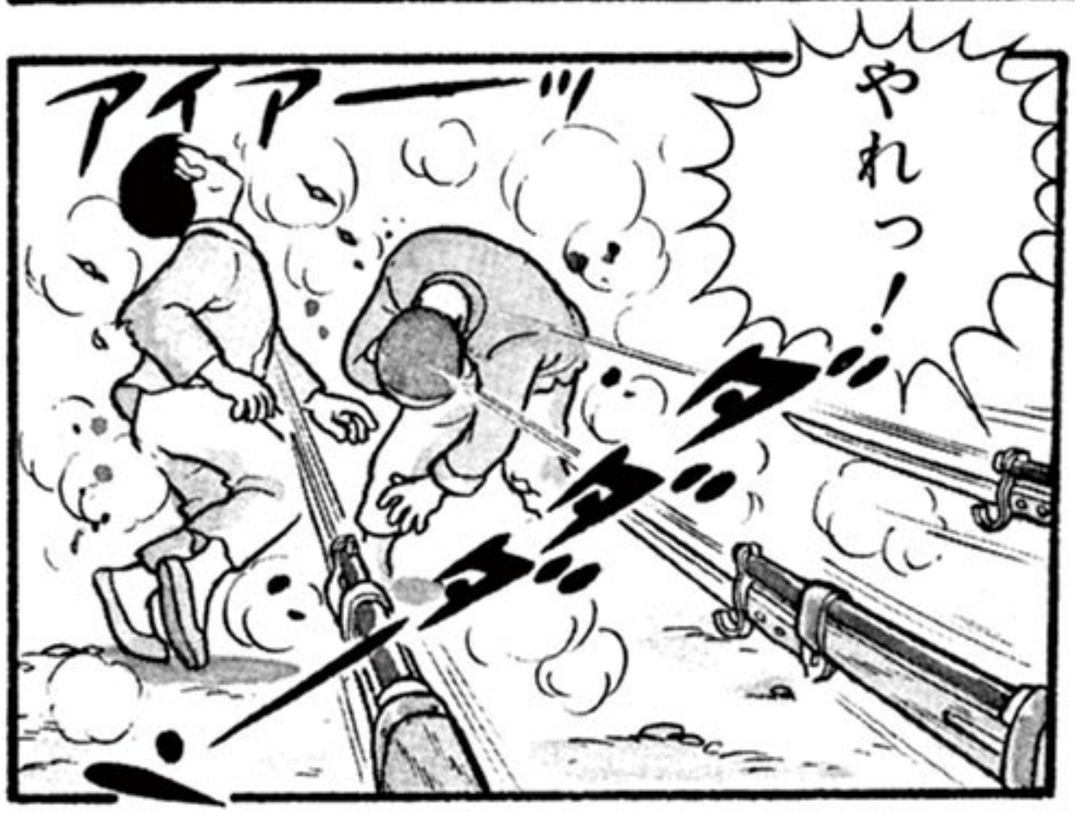
また八路軍のしわざだ。この間も、通信線をずたずたにされた。
やつらときたら、じつに神出鬼没ですからな。
近いうちに、やつらの拠点を討伐するのだ！
はっ。

ゴ
ト
ト
ト


地雷だ！
ドカ
まちぶせだぞ!!







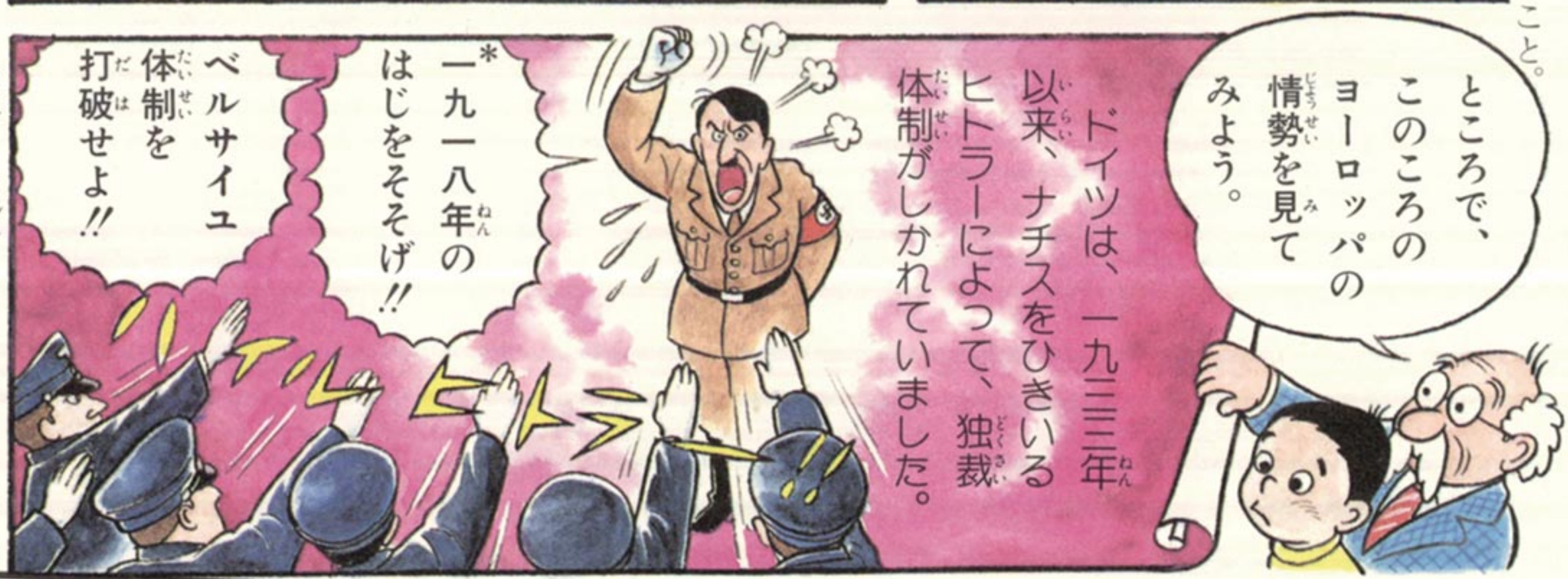
こうした日本軍の暴行を、中国人は、後に「*三光作戦」とよびました。「三光」とは、「ころしつくし、うばいつくし、やきつくす」という意味です。

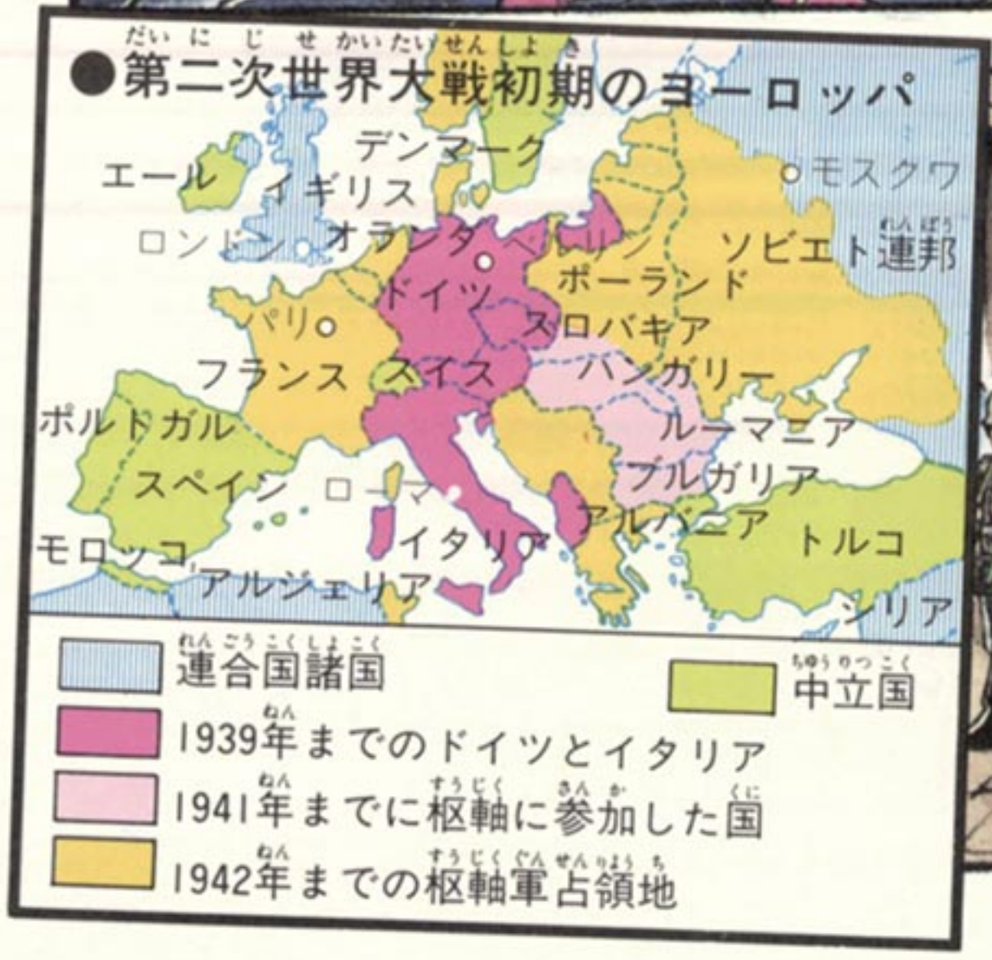
*三光…三光の「光」は、中国語で「……しつくす」という意味。

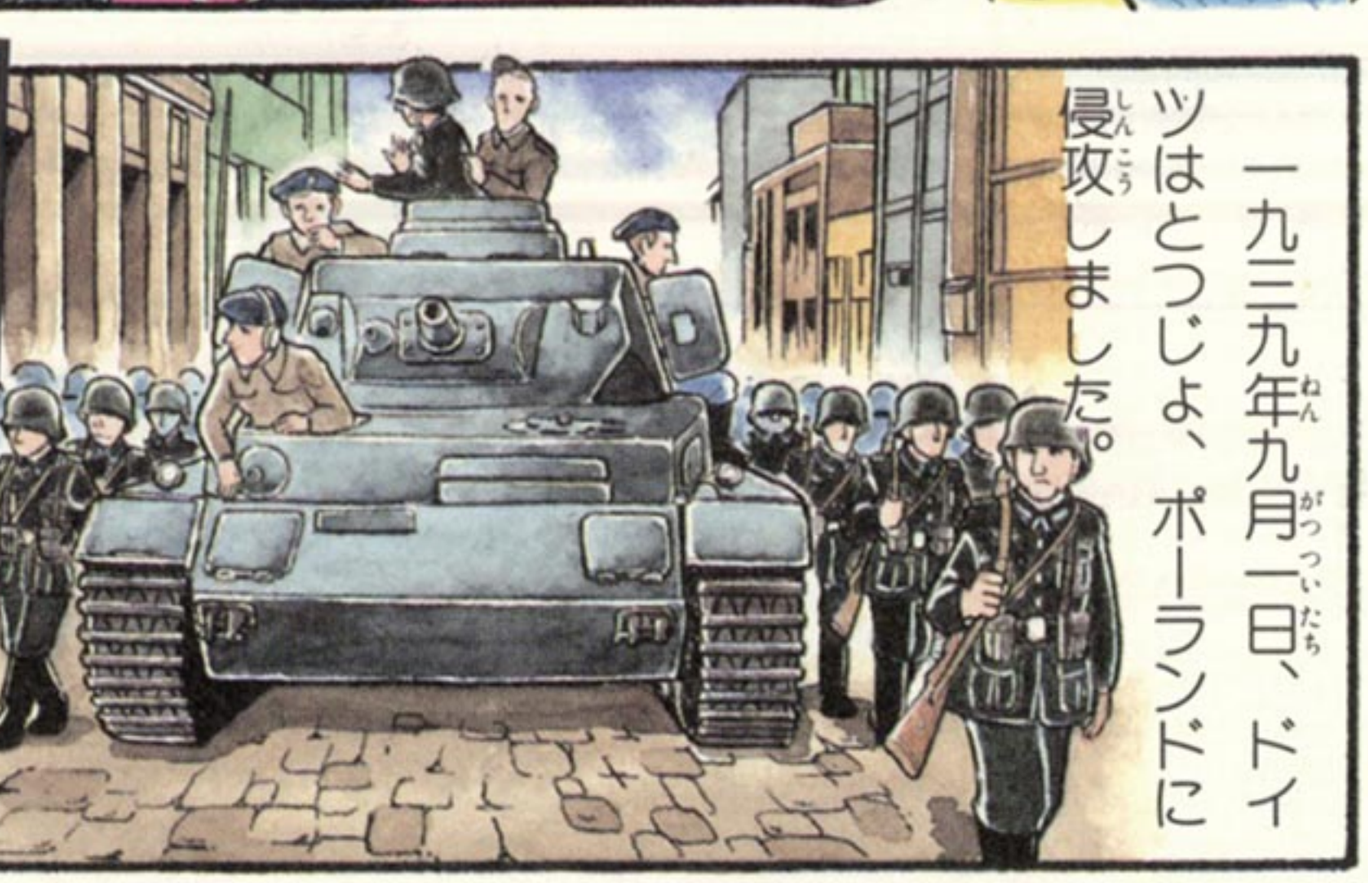
*日の丸弁当…白いごはんのまん中に、梅干を一つ入れた弁当。

＊千人針…千人の女性が、敵弾よけのいのりをこめて、布に一針ずつぬうこと。

＊一九一八年のはじ…第一次世界大戦の敗北の結果、海外植民地をうしない、領土を削減されたこと。







一九三九年九月一日、ドイツはとつじょ、ポーランドに侵攻しました。

*英…イギリス　*仏…フランス　*独…ドイツ　*伊…イタリア　*枢軸…いちばんだいじな所。中心

蔣介石が抵抗できるのは、ビルマや*仏印を通って重慶に送られている英・*米の援助物資のためです。

南京
上海
重慶
漢口
援蔣ルート
援蔣ルート
インド
ビルマ
タイ
仏印

なるほど…。この援蔣ルートをたたけば、今度こそ蔣介石も降参するでしょう。

*仏印…フランス領インドシナ。

そして、日・独・伊の「軍事同盟」をむすび、英・仏のアジアでの力を弱めることです。

それは、アメリカをけん制することにもなる……。

さらに、北の安全を保障するため、ソ連とも手をにぎるべきでしょう。

うむ、そうか。南方に進出し、*蘭印の石油などをかく得する……。

*米…アメリカ　*蘭印…オランダ領インドネシア。「蘭」はオランダのこと。

一九四〇年(昭和一五)九月、日・独・伊の三国同盟が成立しました。

翌年三月、松岡外相はドイツを訪問しました。

ヒトラー

これでドイツも、アメリカをけん制できます。

ドイツからの帰り、松岡はモスクワをたずね、日ソ中立条約の締結に成功しました。

日本国民に、どうぞよろしく。

ソ連共産党書記長スターリン

東京――

松岡外相…か。まるで英雄あつかいだなあ。

おっと、あぶない！

プップッ

木炭自動車か……。ガソリンも不足してきたんだな……。

ブッ

物資の不足時代……か。

ぜいたくは敵だ！

だんな、ヘアースタイルは、例の翼賛型で……？

よせやい！

「大政翼賛会」は政党を解散し、国民的な政治組織としてつくられたが……。

あれは、国民の行動をしばるための組織だな…。

その結果として、砂糖とマッチが切符制となり、冬には炭も…。

衣類は、綿製品が禁止になり、*スフが代用され……。

一九四一年には、米が配給制になり、おとなの一日*二合三勺ときめられました。

鉄や銅が、軍需産業につかわれたので、鉄製品や銅製品も、しだいに姿をけしていきました…。

せんたくしたら、ちぢんじゃった。

砂糖

そのうち、バリカンも木製になりますよ。

ちがいない。ひどい話さ、あはははは…。

*スフ…くずわたや木材などでつくった繊維。

*二合三勺…尺貫法の容積の単位。一合は一・八デシリットル、一勺は〇・一八デシリットル。

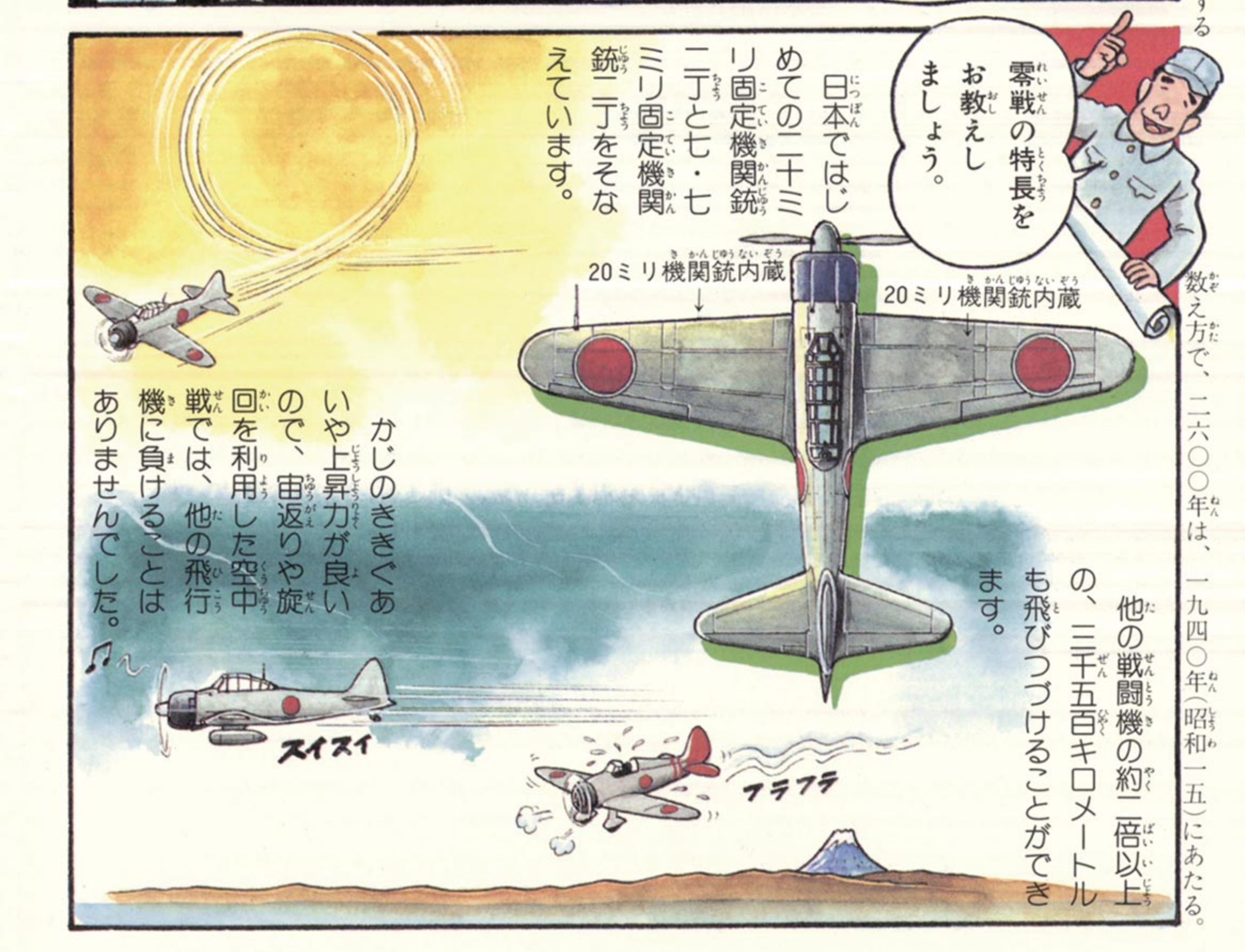
銃器や弾丸・軍艦・飛行機などを製造する軍需産業は、このころ政府や軍部の手あつい保護があって大きく成長しました。また、国民徴用令によって、多くの国民が軍需工場に動員されることになりました。

ここでは、海軍の*零戦をつくっています。

この零戦は、*皇紀二六〇〇年に、海軍で正式に採用されたので、二六〇〇の最後の〇をとって、「零式艦上戦闘機」と名づけられました。それを略して零戦とよんでいるのです。

わしも、ここに引っぱられました。

*零戦…俗称で零戦ともいう。*皇紀…神武天皇即位の年を元年とする数え方で、二六〇〇年は、一九四〇年(昭和一五)にあたる。

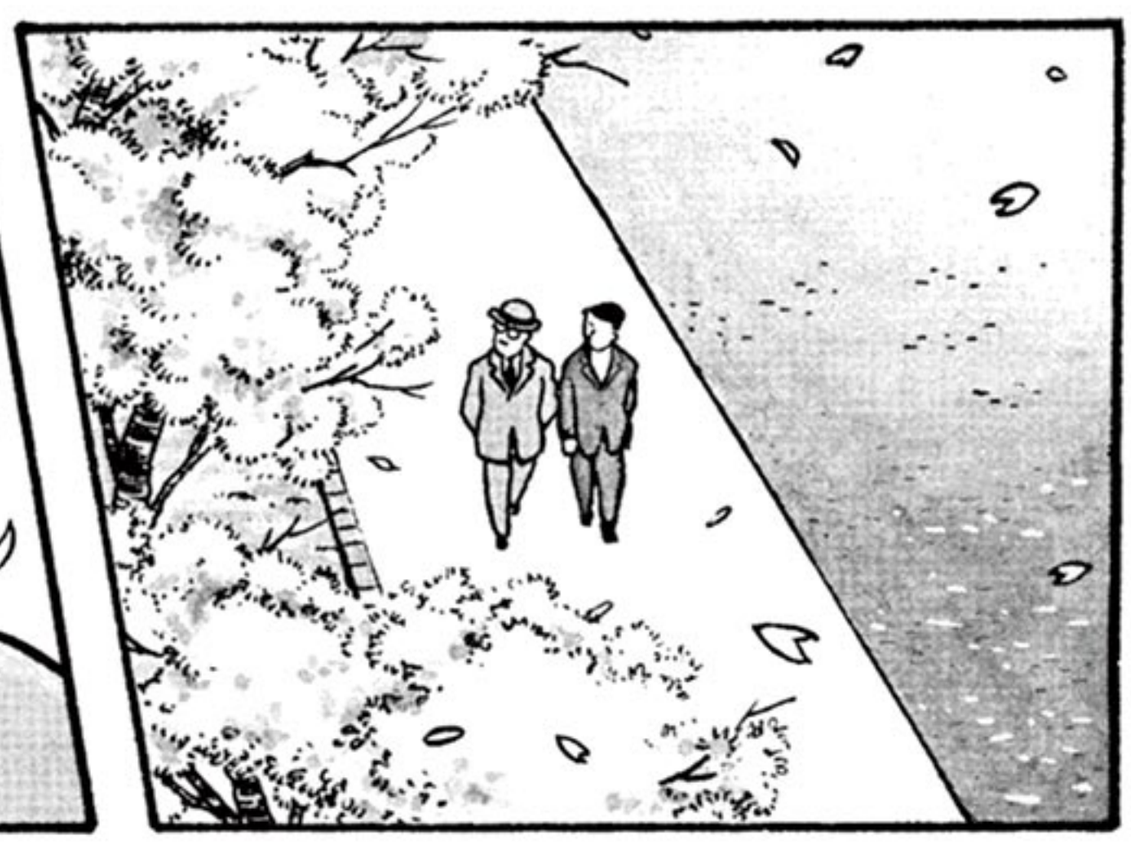


他の戦闘機の約二倍以上の、三千五百キロメートルも飛びつづけることができます。

このほか、多くの特長をそなえた零戦は、これから後、日本軍の主力戦闘機として活やくをつづけます。

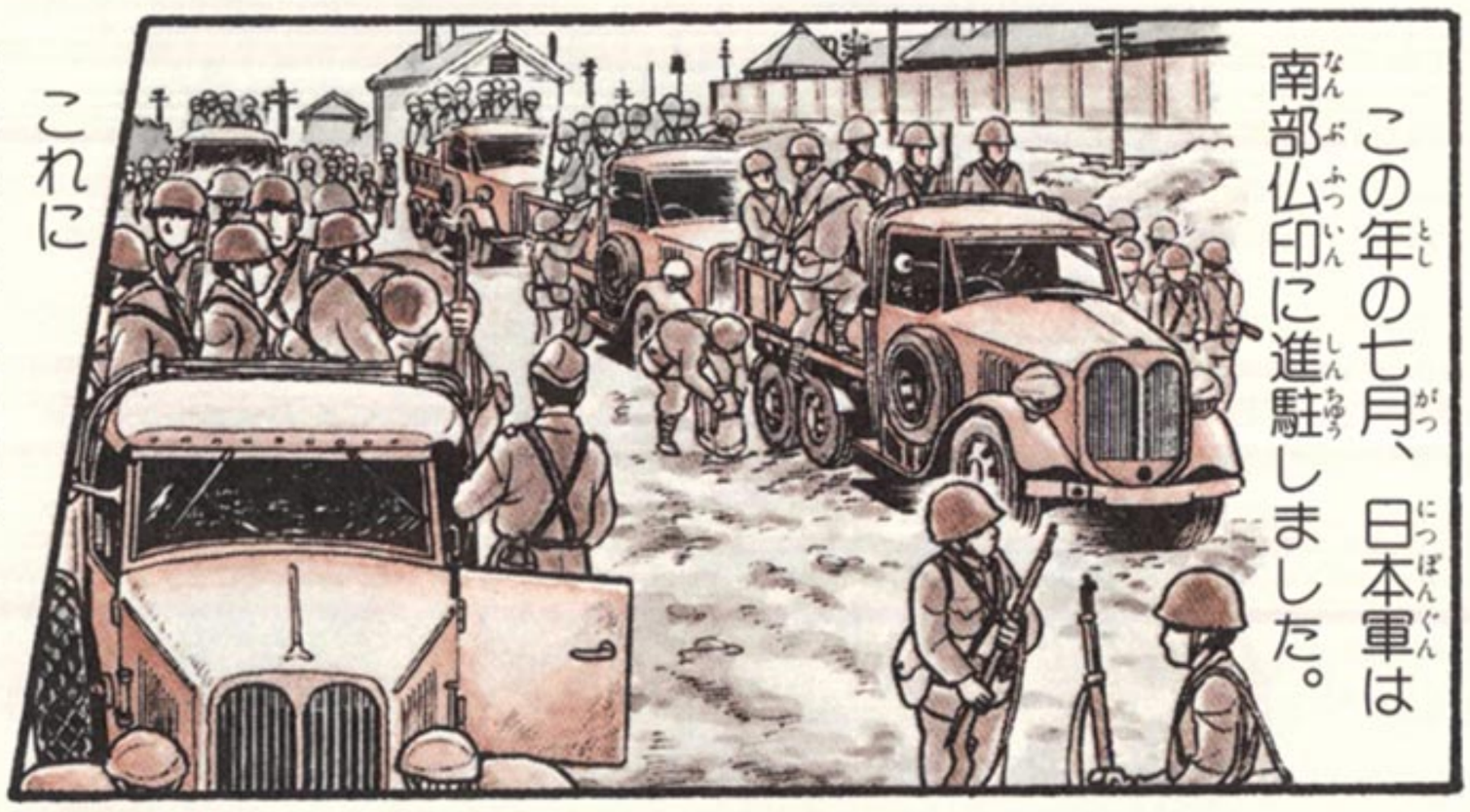
太平洋戦争初期の世界一優秀な国産の戦闘機でした。

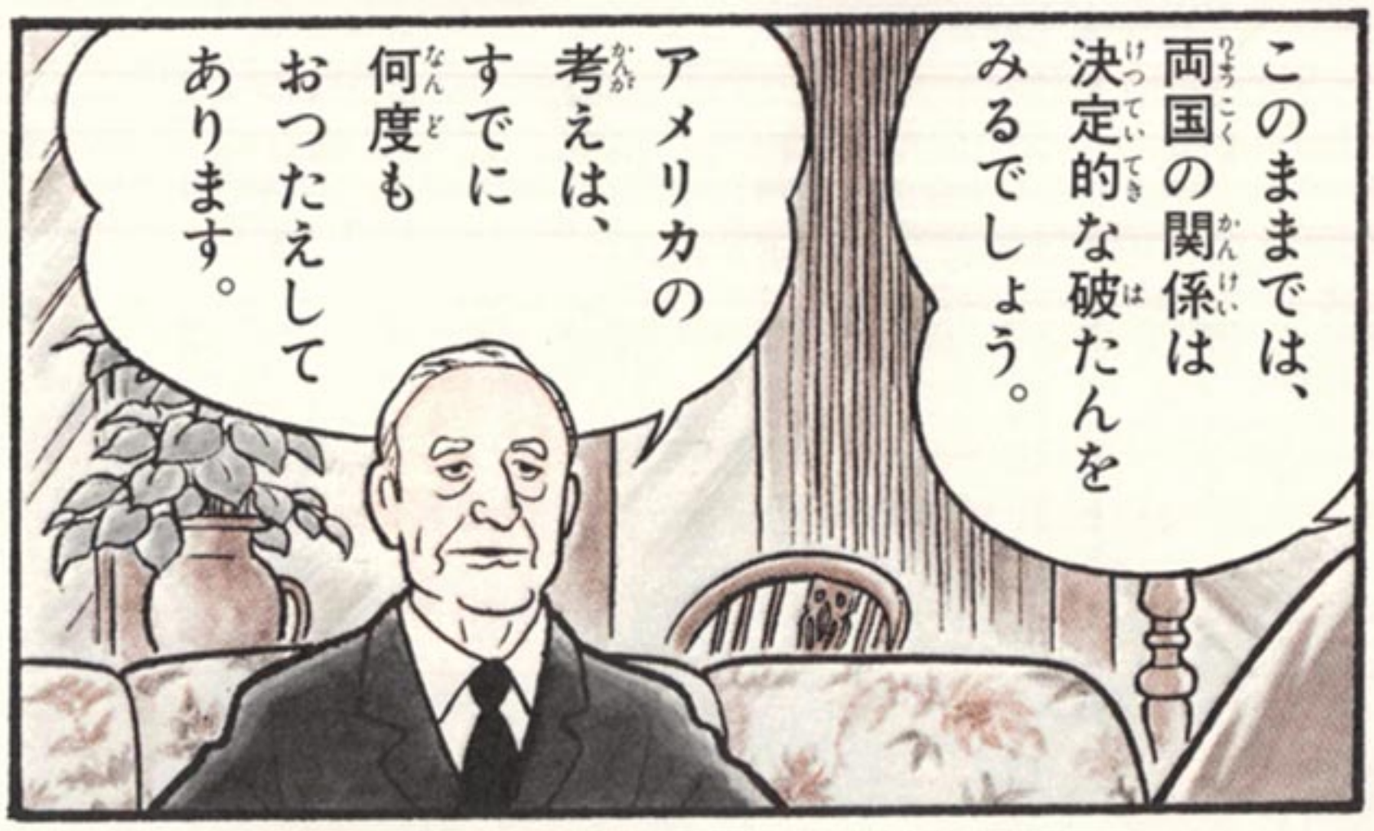
一九四一年(昭和一六)ワシントン——

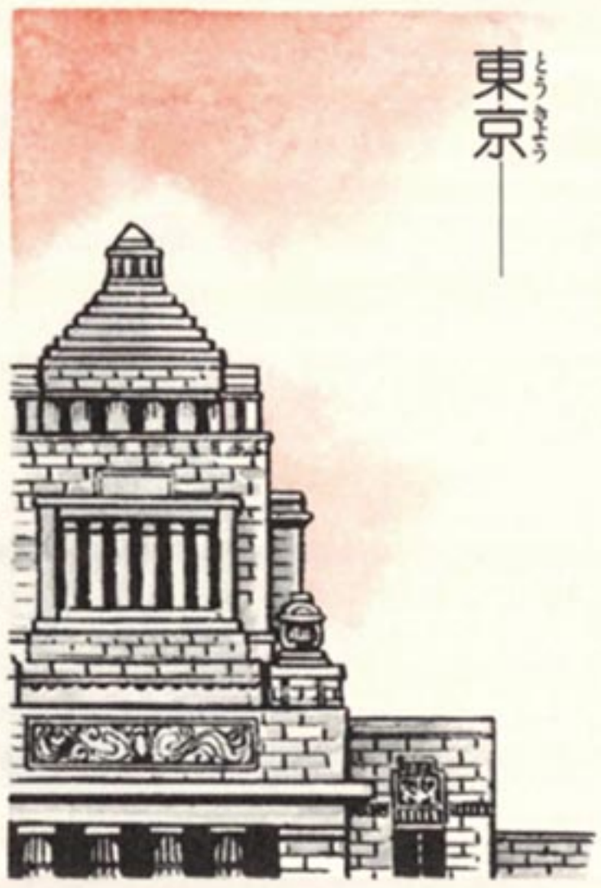


*尾崎行雄…一九〇三～一九一二年の東京市長。第十九巻第一章参照。

*進駐…他国に軍隊が進入し、とどまること。







*軍令部…海軍の最高命令機関。
*陸相…陸軍大臣
*ローズベルト…ルーズベルトともよばれる。

けっきょくその年の十月、日米交渉のゆきづまりのため、近衛公は身を引き、東条英機が首相となりました。

そして、十一月二十七日――

外相 東郷茂徳

日米交渉について、ハル国務長官からの最終案が、昨日出されました。

日本軍は中国、仏印から撤退せよだと…!?

それに、三国同盟を破棄せよだと…!!

つまり、日本は「満州事変」前の状態にもどせといっているわけです。

アメリカの最後通告か……。

もはや、戦争以外にはありません。

さっそく*御前会議をおねがいしよう。

*御前会議…天皇の前で、重大な国策を決定する会議。

十二月一日、御前会議がひらかれ、ここに、対英米蘭開戦が正式に決定されました。

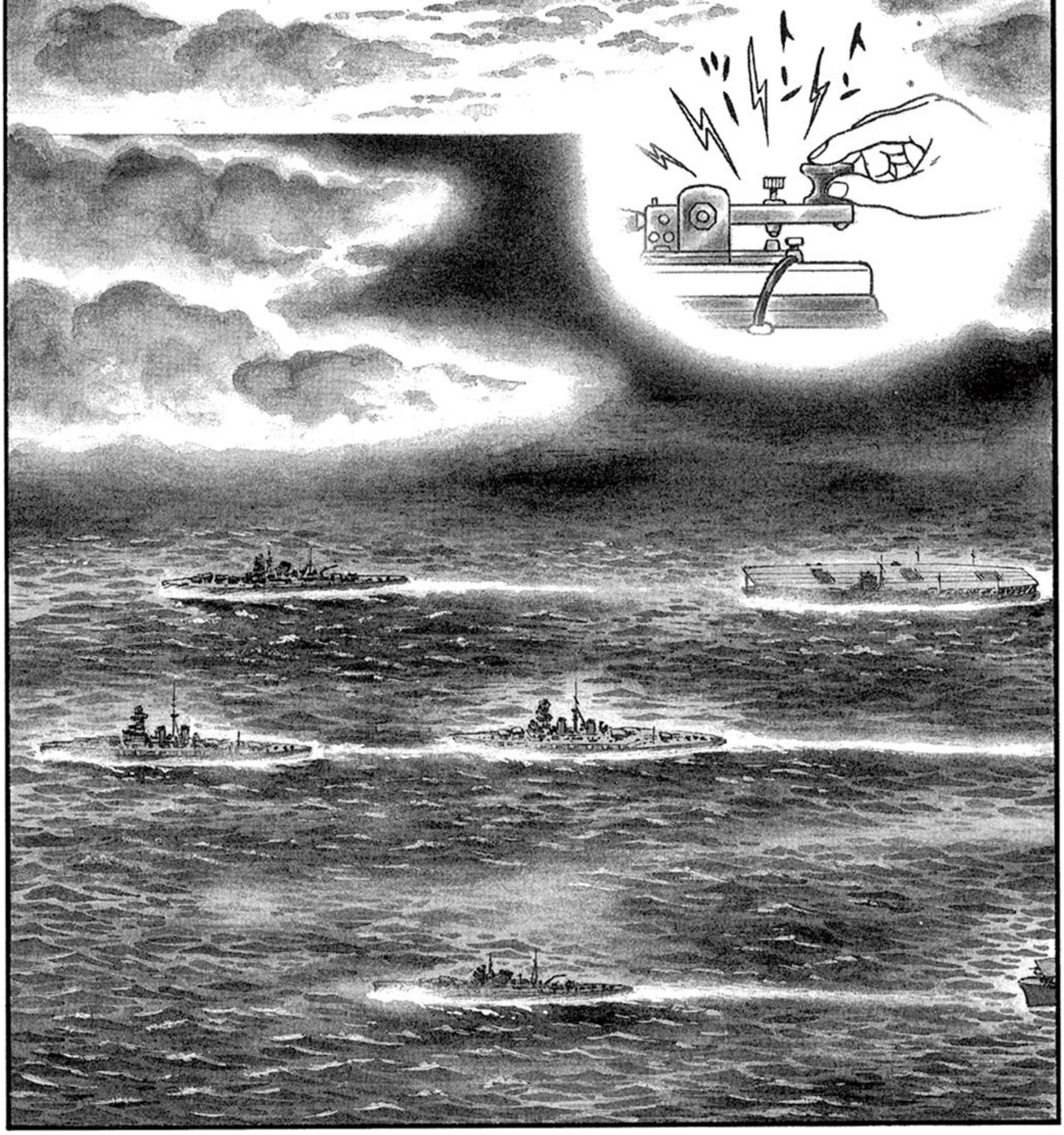
ですから、もはやアメリカとたたかうしか道はありません。

盧溝橋事件をきっかけとしてはじまった、全面的な日中戦争は、軍部の予想以上に長期戦となりました。国内でも、国民生活にたいする統制がいちだんと強くなっていきました。

そうしたなかで、ヨーロッパでの第二次世界大戦勃発と同時に、日本は、ドイツ・イタリアと同盟をむすび、東南アジアへの侵略をはかります。しかし、それはアメリカの反発をまねき、日本は苦境に追いこまれていきます。

そのため日本は、日中戦争や東南アジア侵略などの解決をみないまま、新たにアメリカとの開戦をきめざるをえなくなったのです。

国民は、今まで以上にきびしい戦時下の生活をつづけることになったのです。



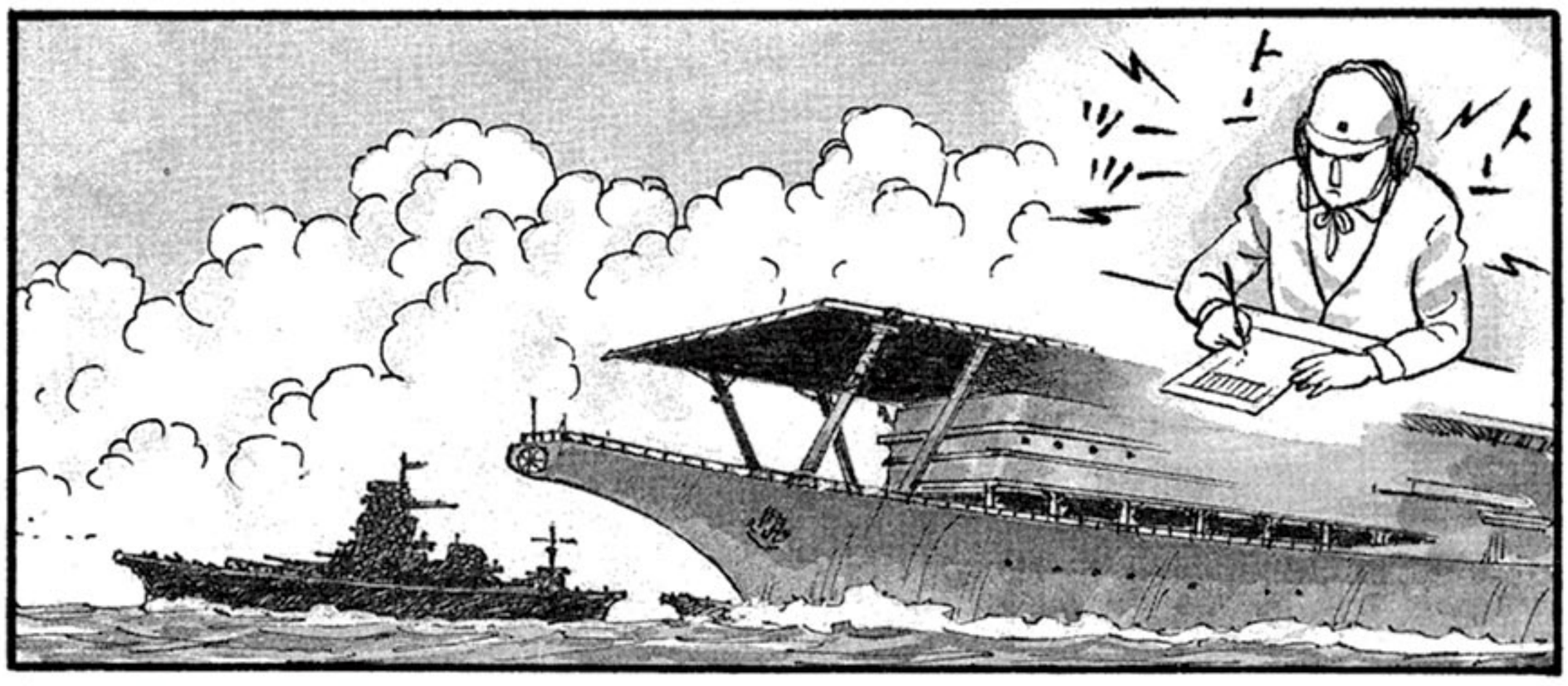
小学館 eBooks

第三章

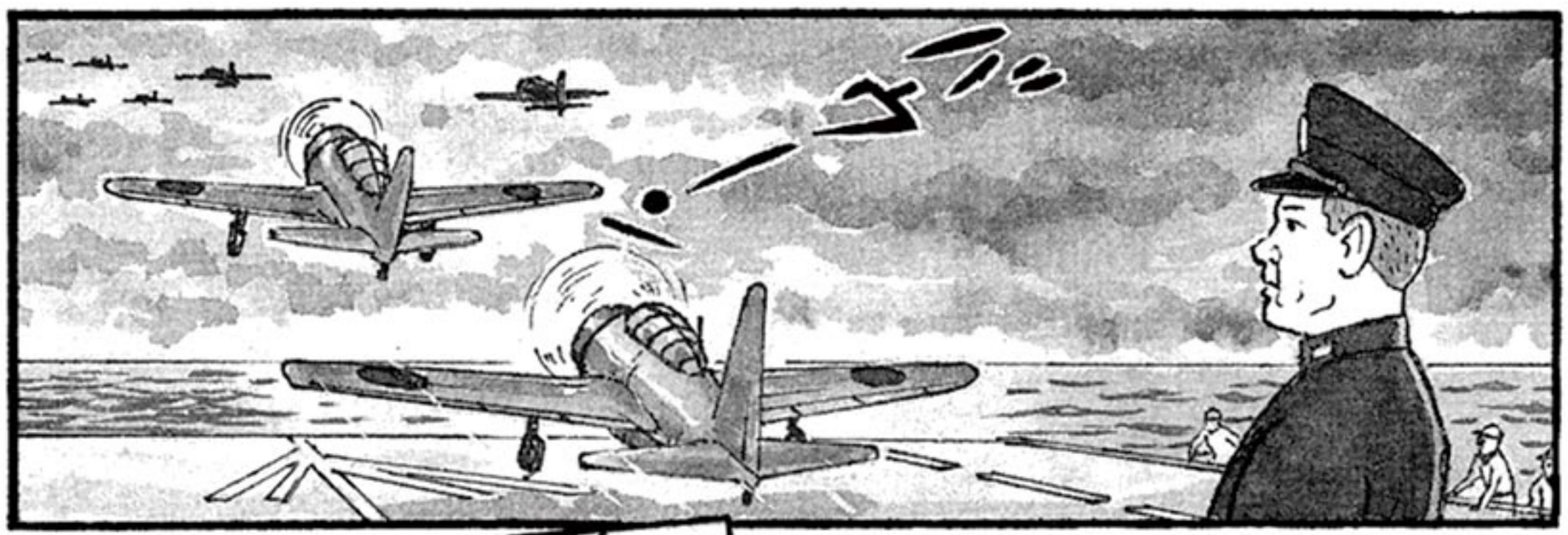
太平洋戦争

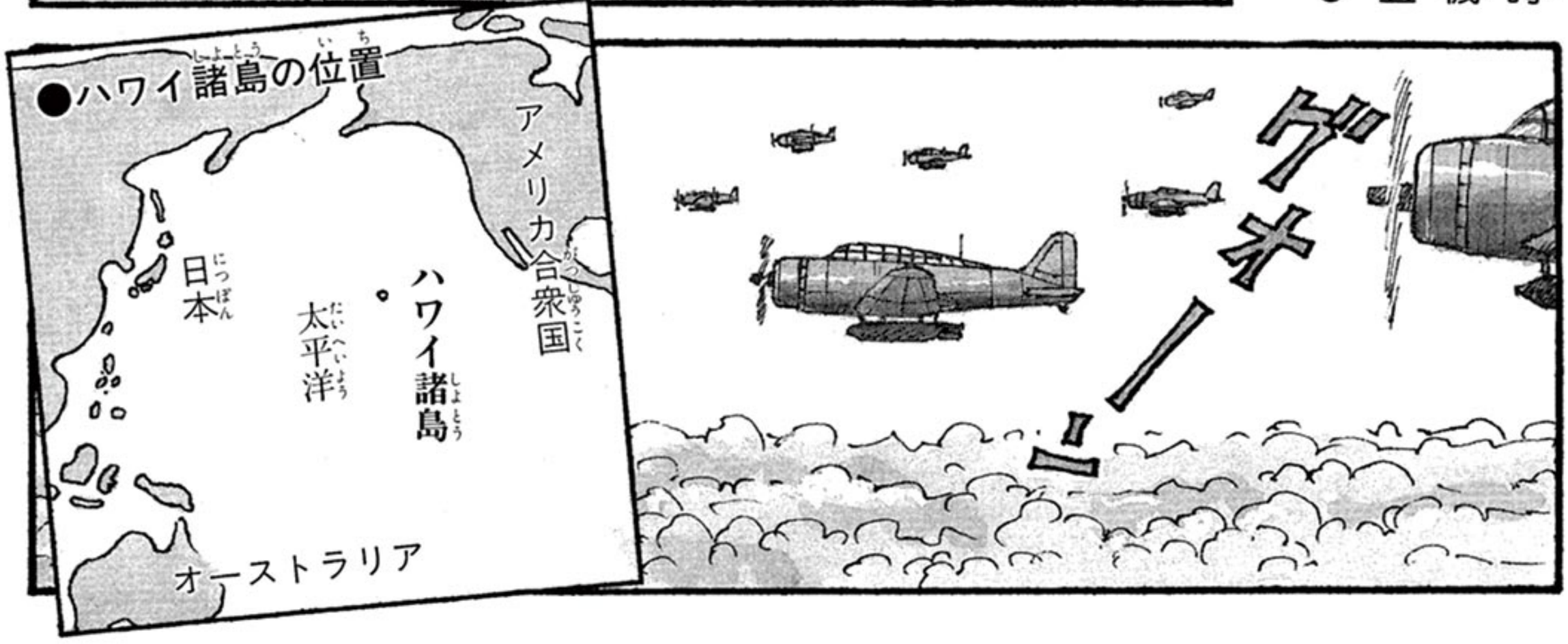
――一九四一年～四三年――

日本海軍の機動部隊は、一九四一年(昭和一六)十一月すえ、すでにハワイへとむかっていました。

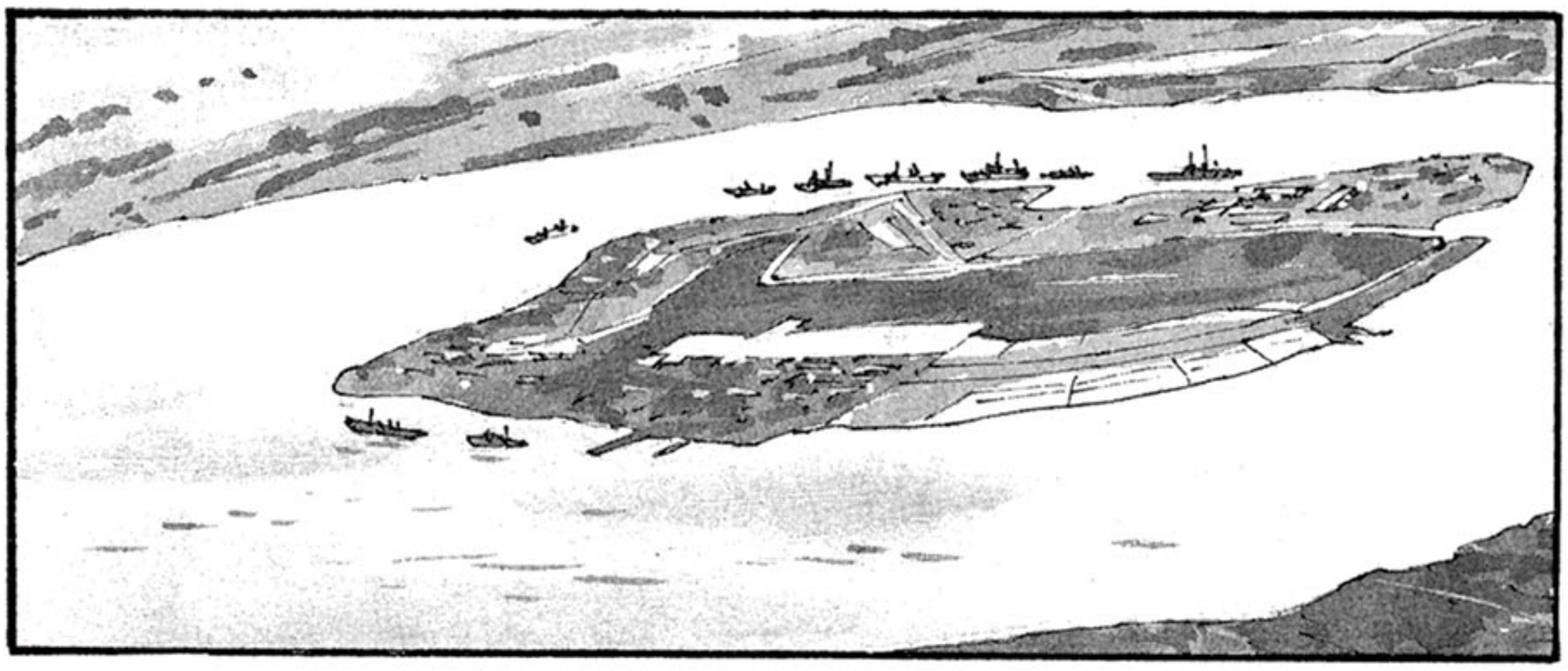


十二月八日、日本時間午前一時三十分、機動部隊の攻撃機三百五十機がつぎつぎと飛び立っていきました。



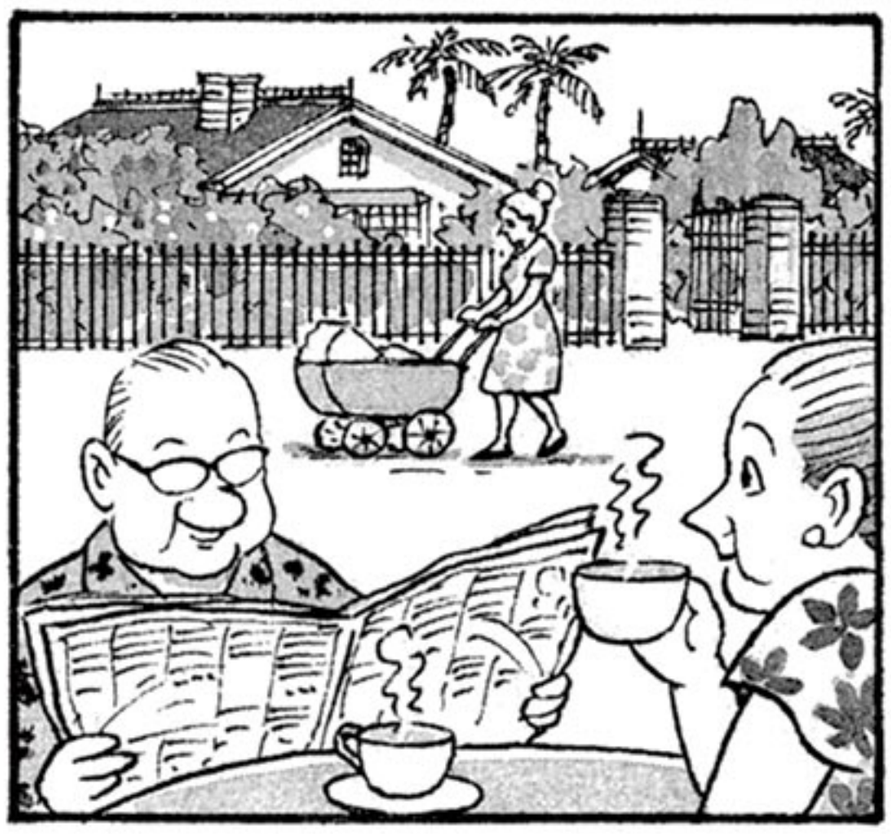


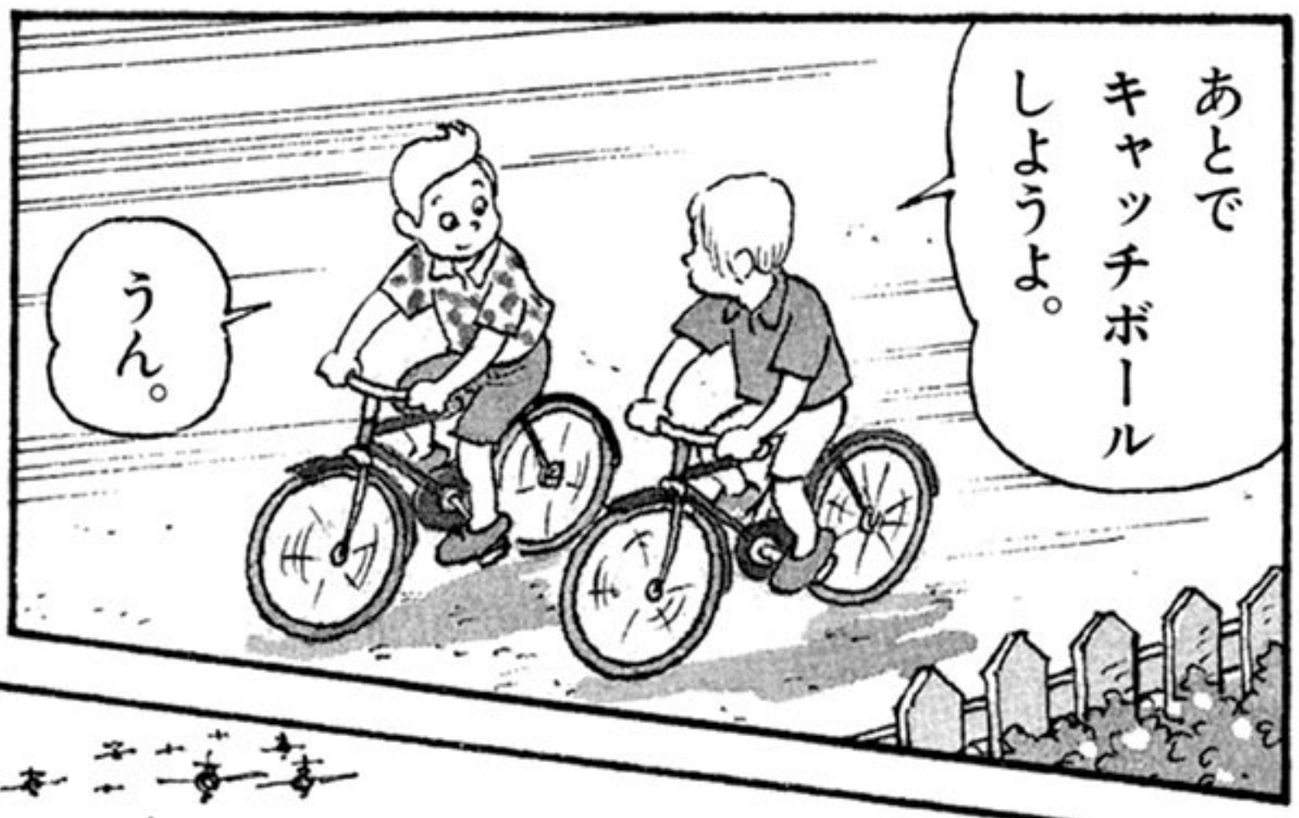
ハワイ諸島のオアフ島。その*真珠湾には、アメリカの太平洋艦隊が停泊していました。

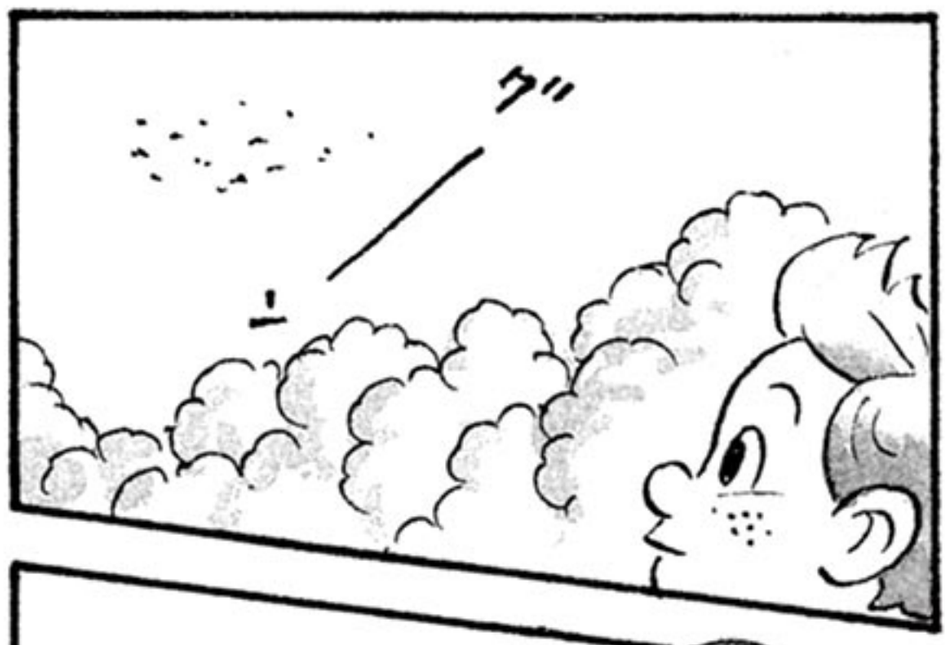


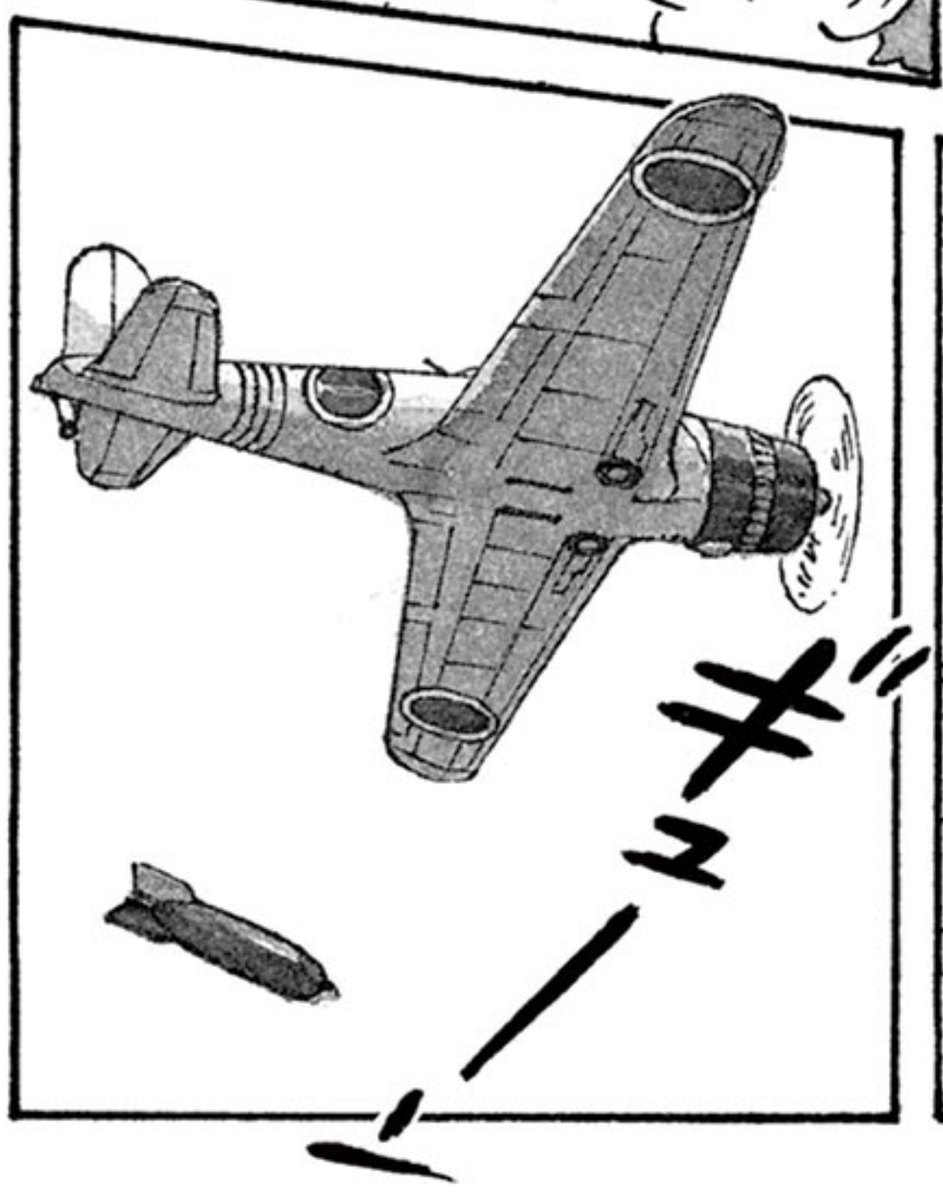
*真珠湾…英語でパールハーバーという。

ハワイでは七日(日曜日)の朝にあたります。



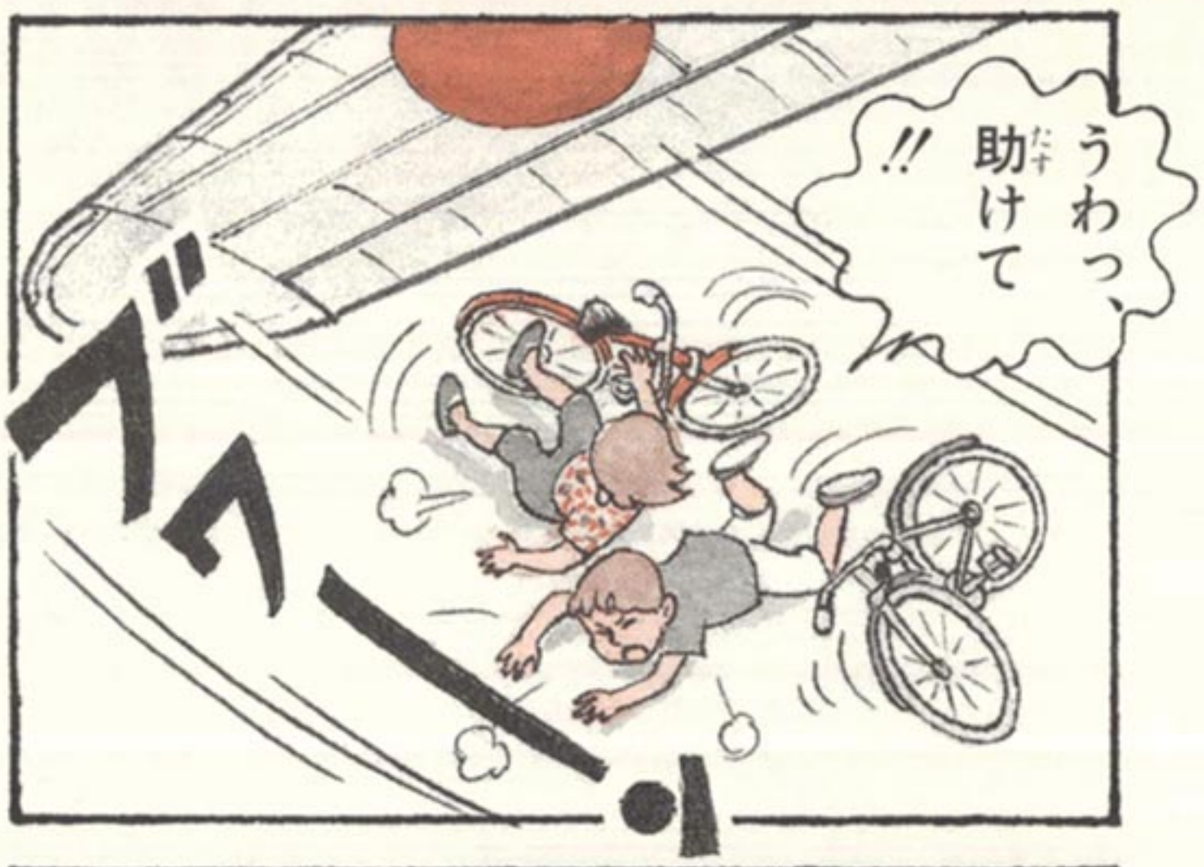






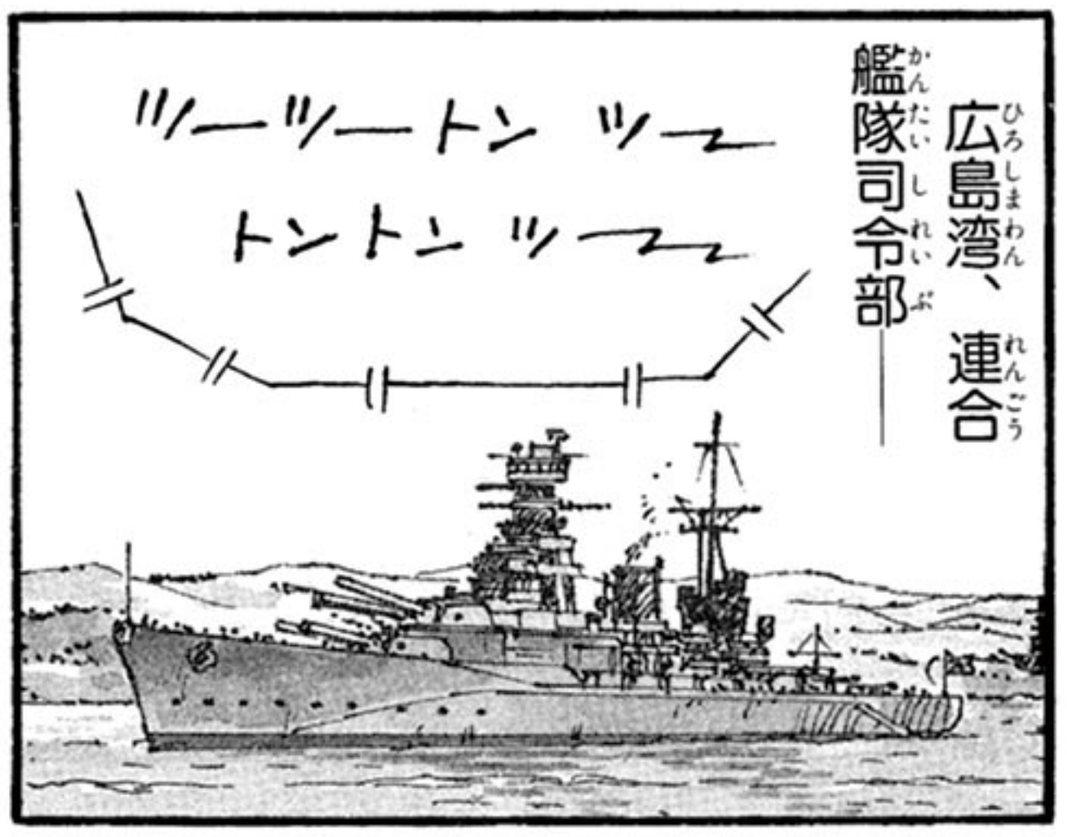
ゴオオオオオ…

グ

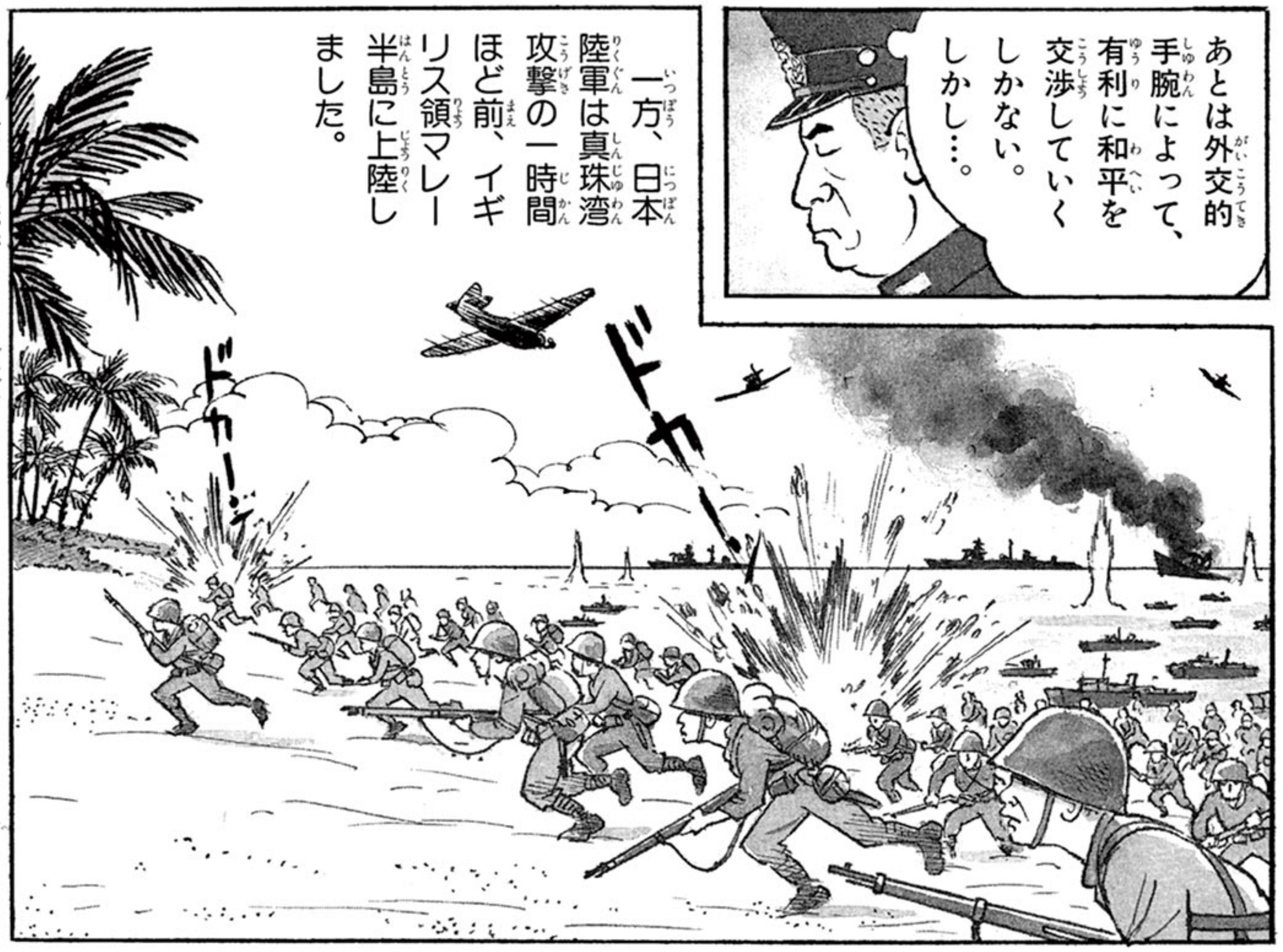


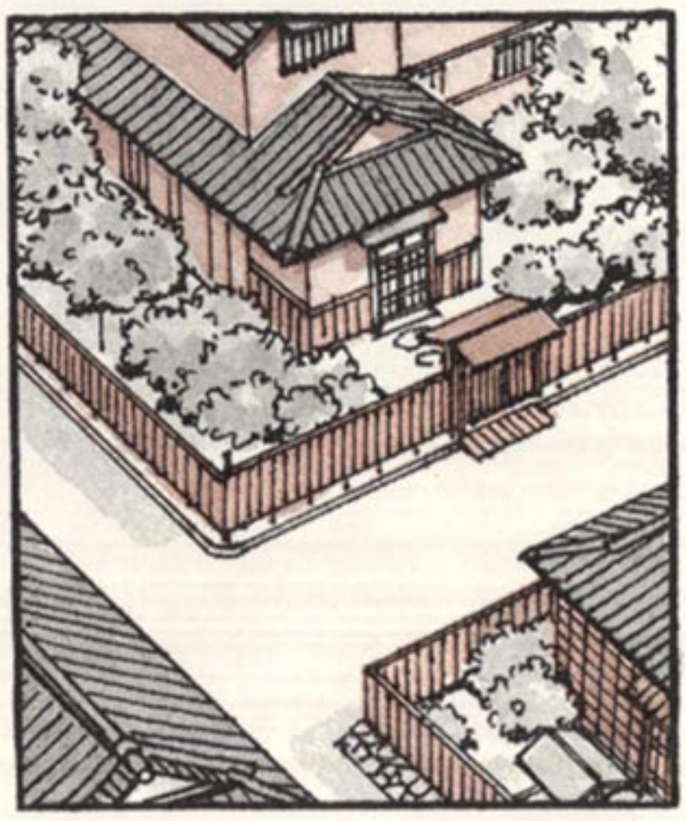
ドーカーン
ズーン
ウォ

ドガーン!
敵機は去ったぞ。おい、しっかりしろ。
うわっ、第二波の攻撃だ!!
グオーン
ドドド



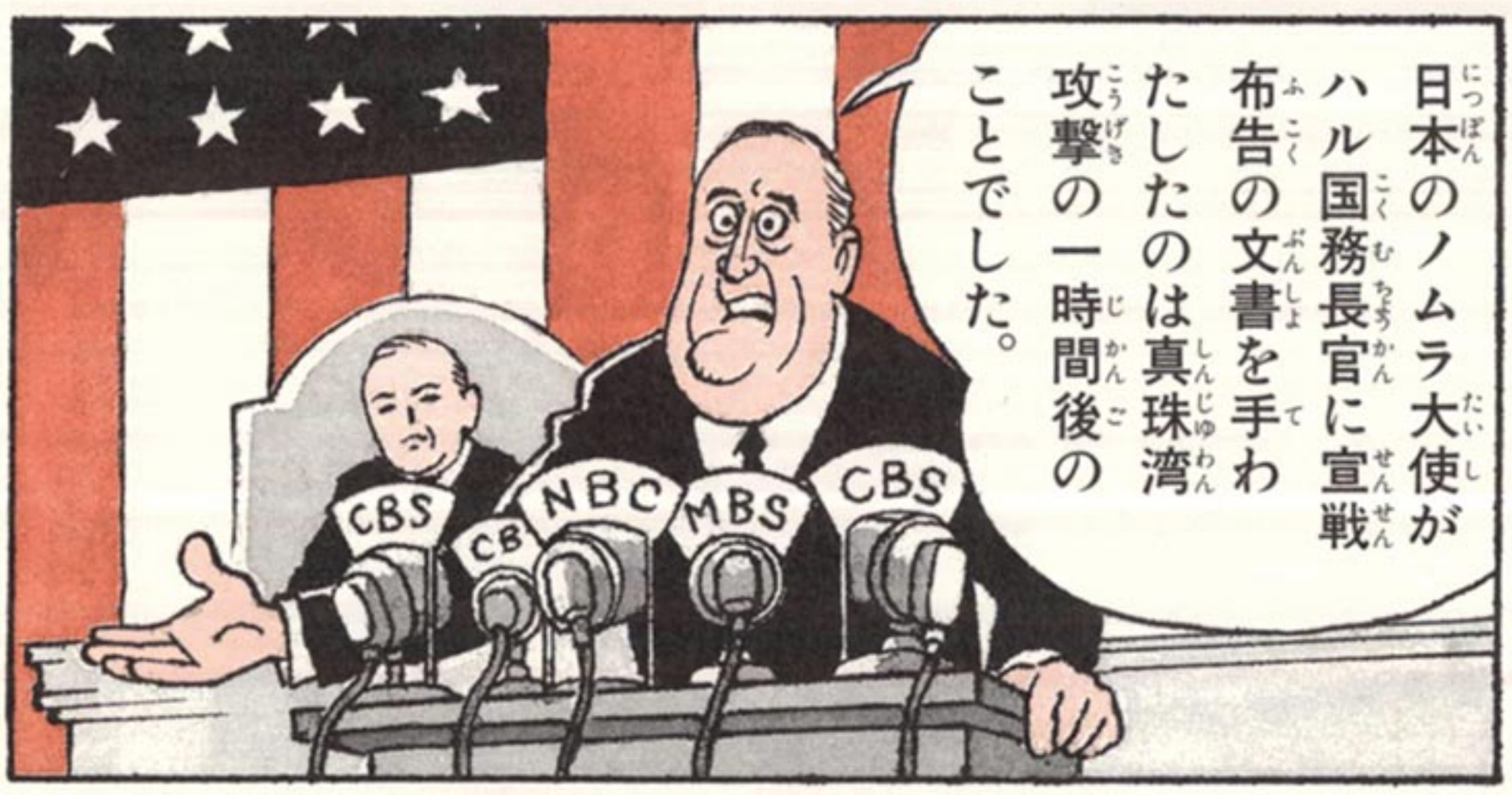
*空母…航空母艦の略。多くの飛行機をのせ、艦上で発着させる軍艦。

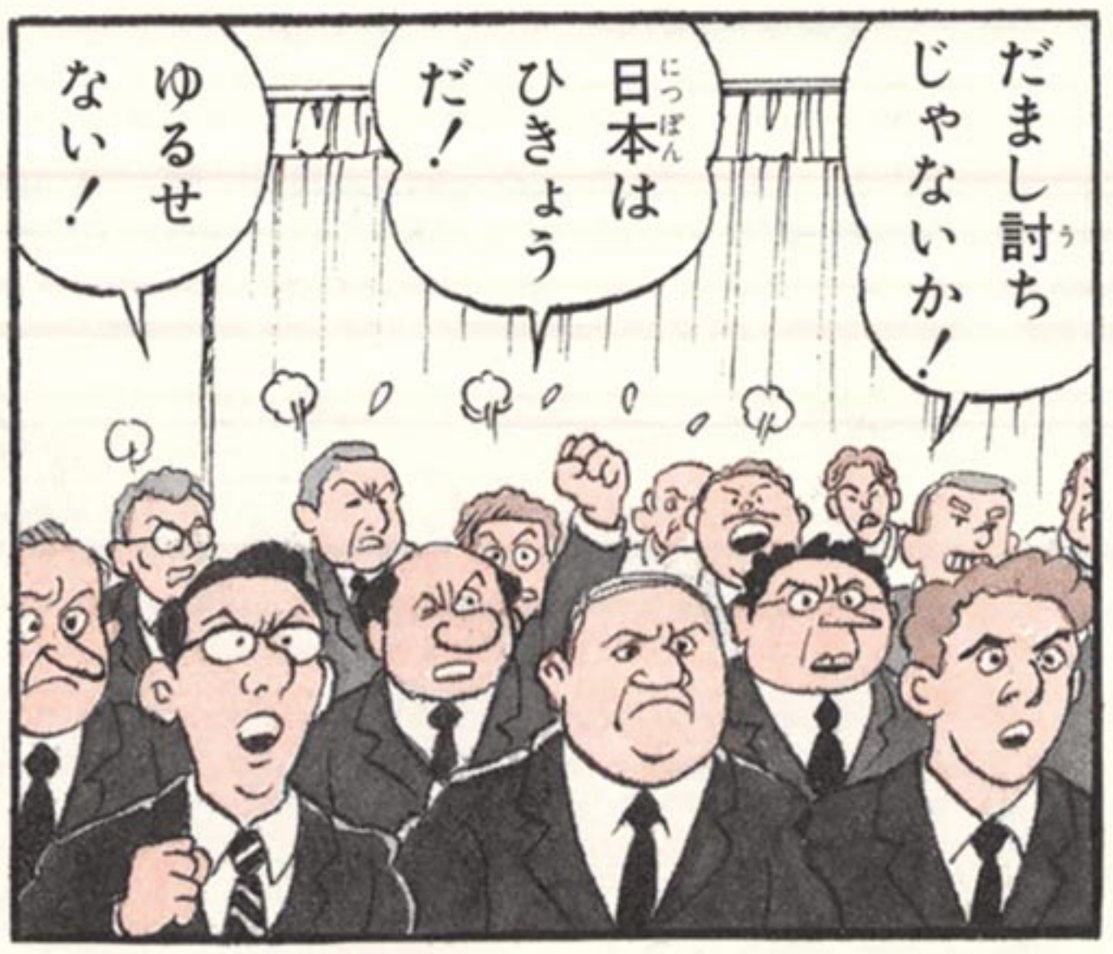




*大本営…天皇のもとにおかれた戦争を指導する最高機関。*支那事変…日中戦争の日本側のよびかた。

＊詔勅…天皇の命令を伝える文書。





＊リメンバー、パールハーバー…「真珠湾攻撃をわすれるな」という意味。

十二月十日、シンガポールを出航したイギリス東洋艦隊を日本機が発見、攻撃しました。このマレー沖海戦で日本軍は、不沈戦艦といわれたプリンス・オブ・ウエールズをはじめ、イギリス東洋艦隊を壊滅させました。

ドドドド

パ！

さらに、太平洋で日本軍は十二月から翌年一月にかけ、アメリカ領のグアム島、ウェーク島、オーストラリア領のラバウル（ニューブリテン島）などを占領しました。

そして、マレー半島に上陸した日本軍は、いっきにシンガポールへと進撃しました。

イギリス軍は南へにげていく。

おれたち＊銀輪部隊がすぐに追いつくぞ。

＊銀輪部隊…自転車にのった歩兵部隊。

翌年一月三十一日、日本軍はジョホールバルを占領――

この*水道の向こうがシンガポールです。

ドドーン！

うむ、数日中に総攻撃だ。

*水道…両側の陸地が接近しているところ。海峡。

二月十五日、日本軍はシンガポールを占領――

*華僑…外国に居住している中国人。とくに中国商人。

イギリス軍は降伏するのかしないのか。イエスか、ノーか。

…イエス。しかし、日本兵は女性や子ども、そして英国の一般市民をまもってくれるのか。

ところが――

シンガポールの*華僑は、日本に敵対する者が多い。てっていに取りしまるのだ。

はっ！

おまえら、イギリス軍といっしょに戦ったな。

と、とんでもない！

あやしいやつは、トラックにのせろ。

どうか、見のがしてやってください。

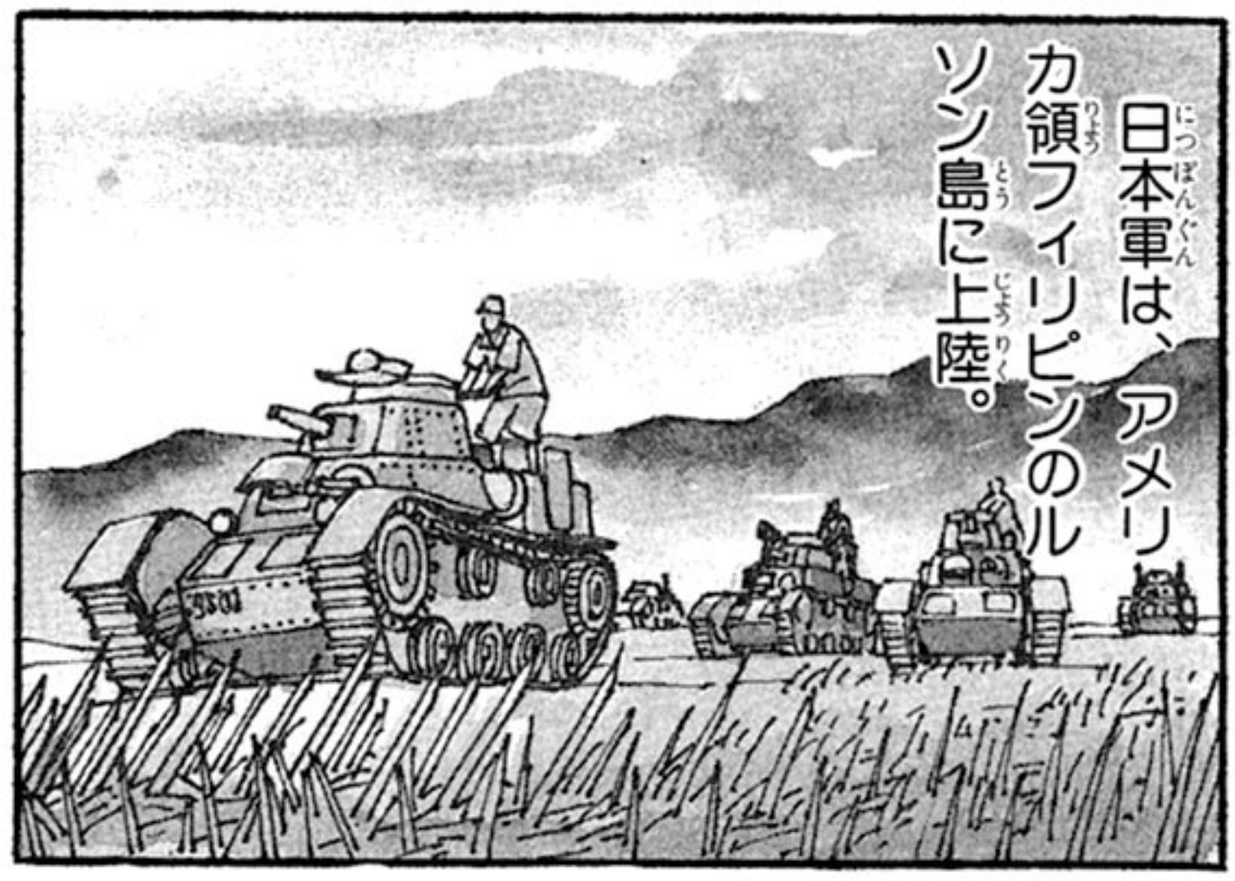
おれは何もやっていない…。

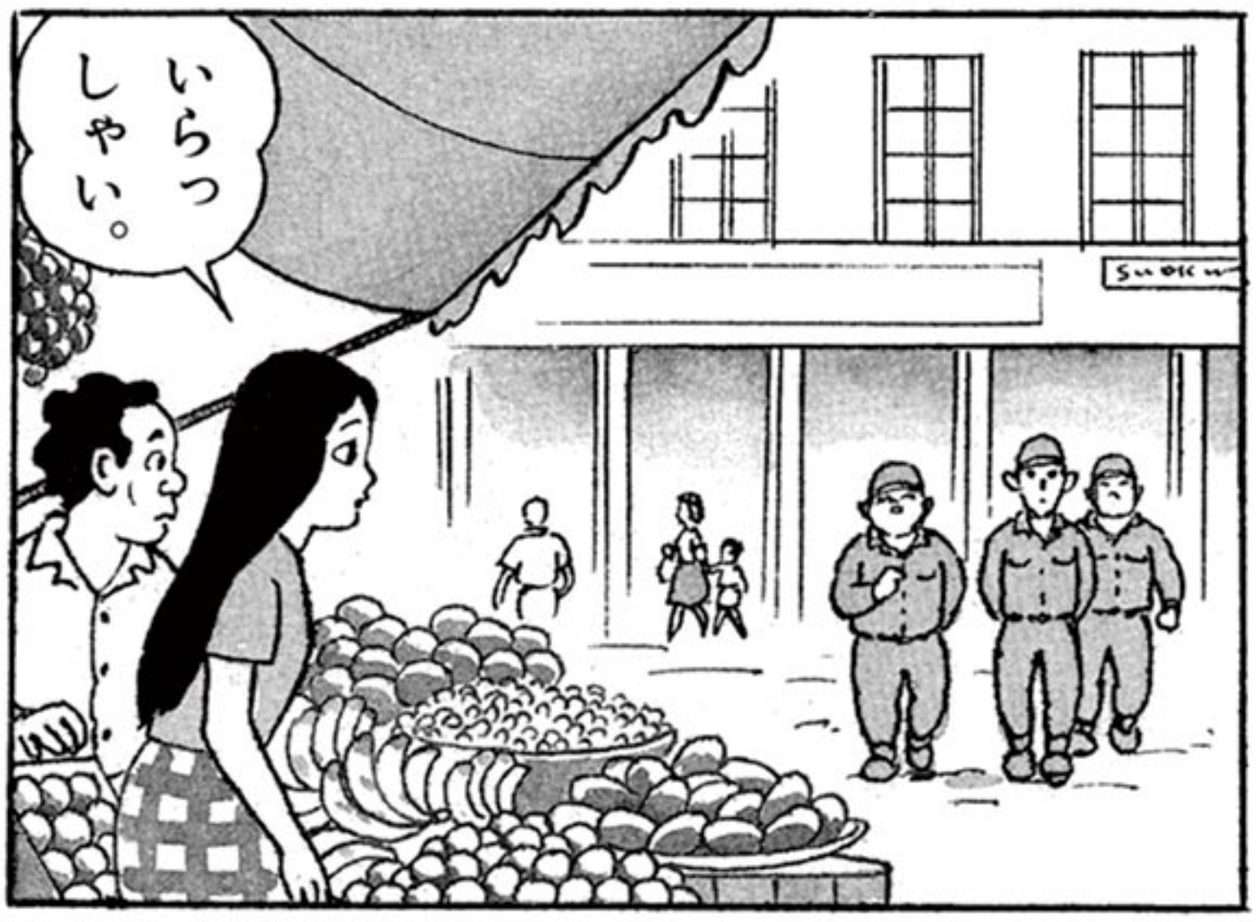
ブーン

ダダダダダ

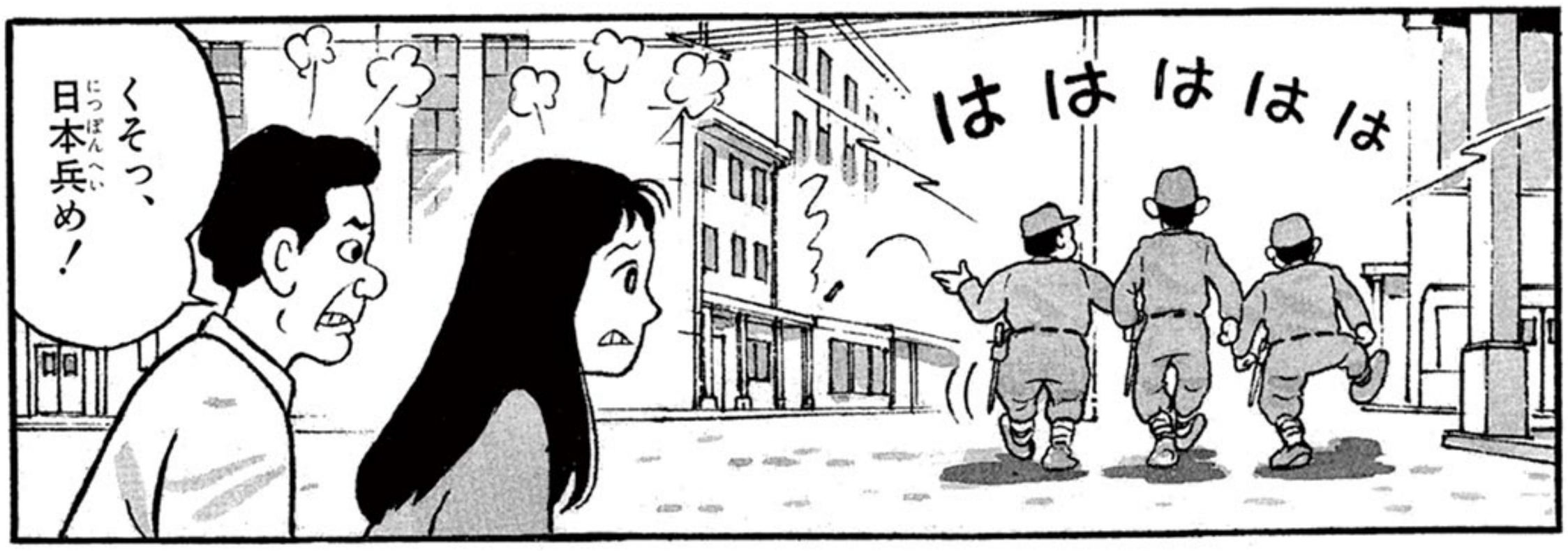
うわっ。

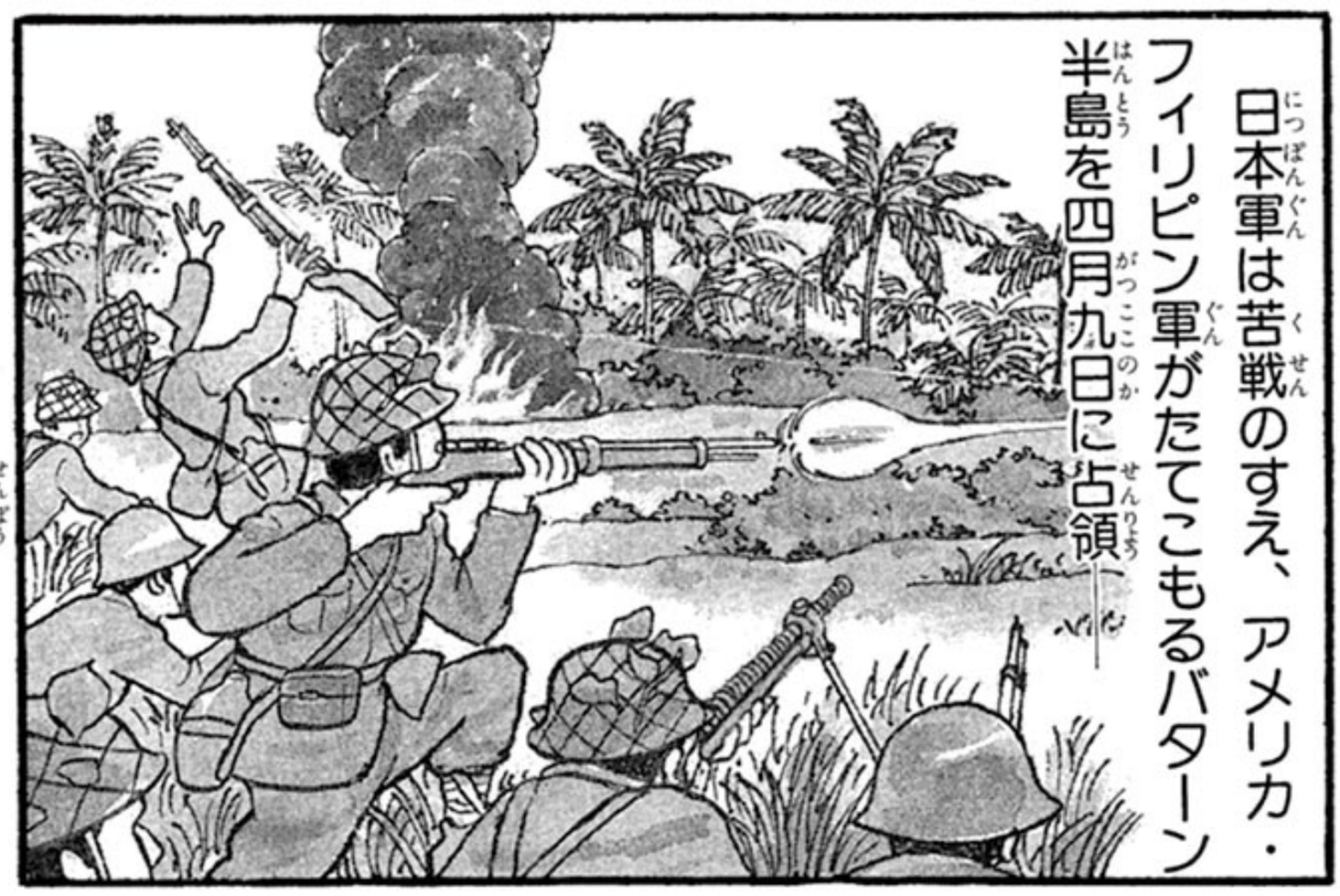
こうして、シンガポールでは数千、または数万の華僑が無差別に虐殺されたのでした。





*バターン半島…マニラ湾の西にある半島。





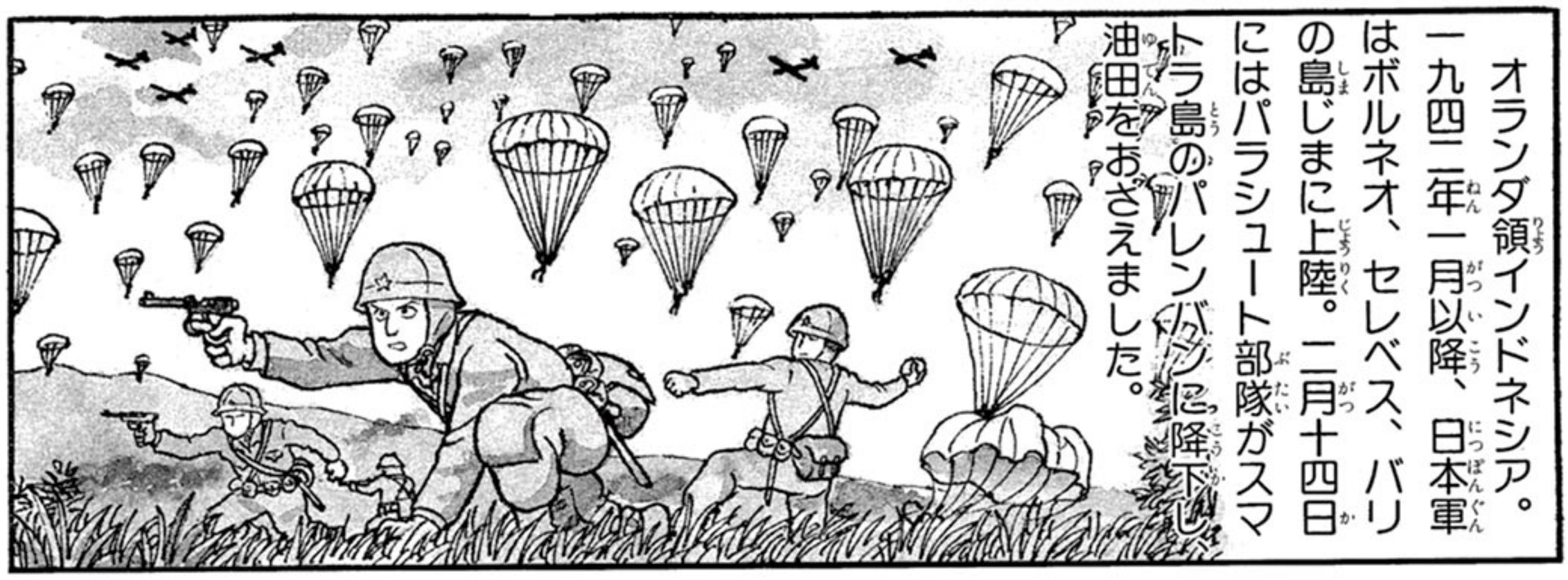
*ゲリラ…住民が小部隊で外敵をふいにおそったりする戦法。

*コレヒドール島…マニラ湾口に浮かぶ小島。

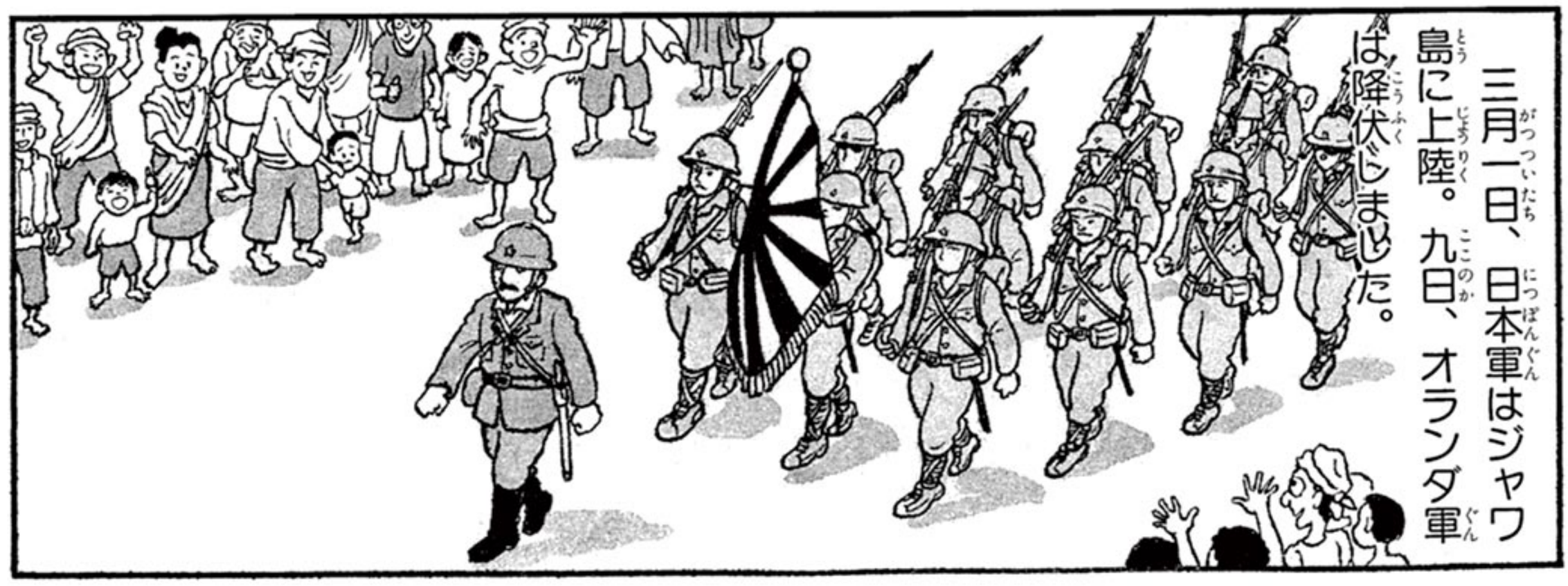
アメリカ軍司令官のマッカーサーは三月十一日、すでにコレヒドール島を脱出していました。

このとき日本軍は、アメリカ軍とフィリピン軍の捕りょを移動させるため、暑い日ざかりのもと、食糧も水も十分にあたえないで八十キロも歩かせ、たくさんの捕りょを死なせました。この事件は「バターン死の行進」とよばれています。

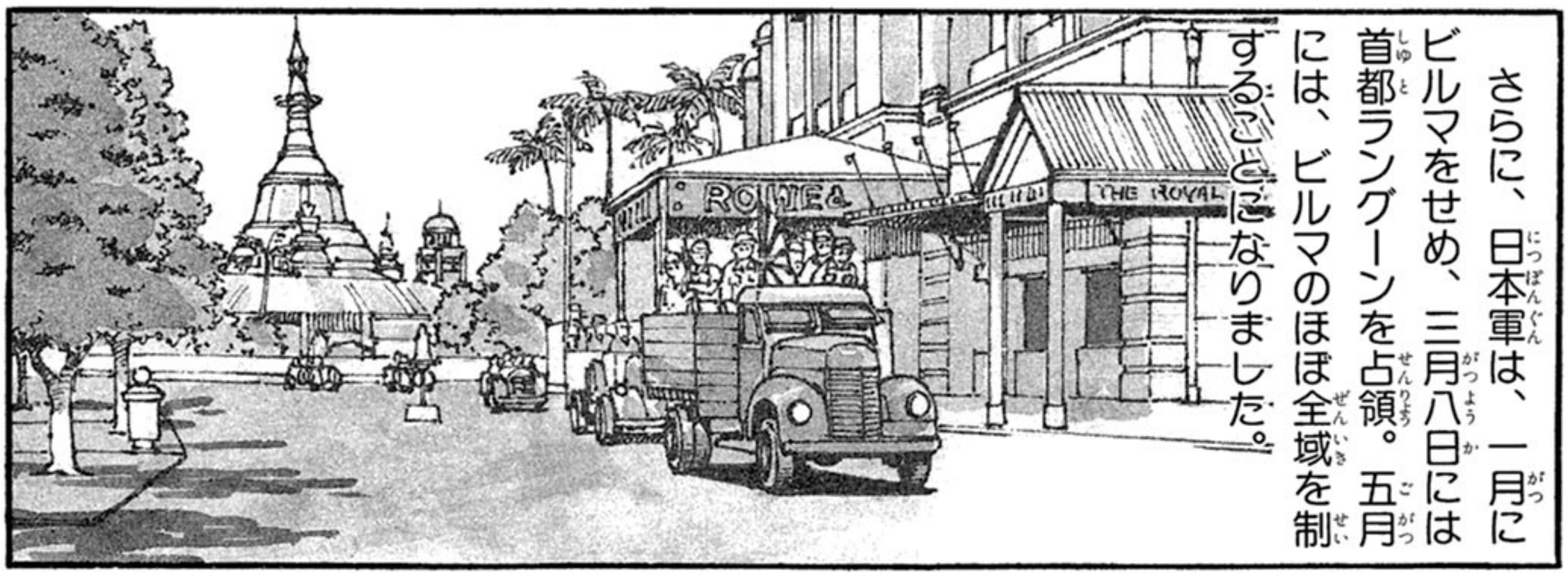
オランダ領インドネシア。一九四二年一月以降、日本軍はボルネオ、セレベス、バリの島じまに上陸。二月十四日にはパラシュート部隊がスマトラ島のパレンバンに降下し油田をおさえました。



三月一日、日本軍はジャワ島に上陸。九日、オランダ軍は降伏しました。



しかし、日本のねらいは石油をはじめとする、この国の天然資源と労働力でした。



さらに、日本軍は、一月にビルマをせめ、三月八日には首都ラングーンを占領。五月には、ビルマのほぼ全域を制することになりました。

しかし、日本軍の支配が実際にはじまると、期待は急速にうすれていきました。

こうして、日本軍は戦争を開始して半年の間に、こんなに広い地域を占領することになったんじゃよ。

●太平洋戦争地図

ソビエト連邦
満州国
新京
北京
中華民国
南京
重慶
日本
東京
アッツ島
ミッドウェー島
硫黄島
沖縄島
太平洋
ハワイ諸島
サイパン島
フィリピン
ビルマ
タイ
フランス領インドシナ
マレー
スマトラ
ボルネオ
ジャワ
ニューギニア
ガダルカナル島
オーストラリア

1941年、日本の勢力範囲
連合国側
1942年、夏、日本軍の侵出範囲
おもな海戦
日本軍の進路
連合国軍の進路

この戦争を日本政府は*大東亜戦争とよんだんですね。

今は、ふつう太平洋戦争とよんでるわ。

*大東亜戦争…日本政府が太平洋戦争をよぶときに用いたことば。東亜はアジアの東部。

日本軍の大勝利に国民は大よろこびでしたが、そのさなか、政府や軍部をひやりとさせたのが——

ただいまあ！

お昼ごはん少し待ってね。

おや？

ポポ！ポポ

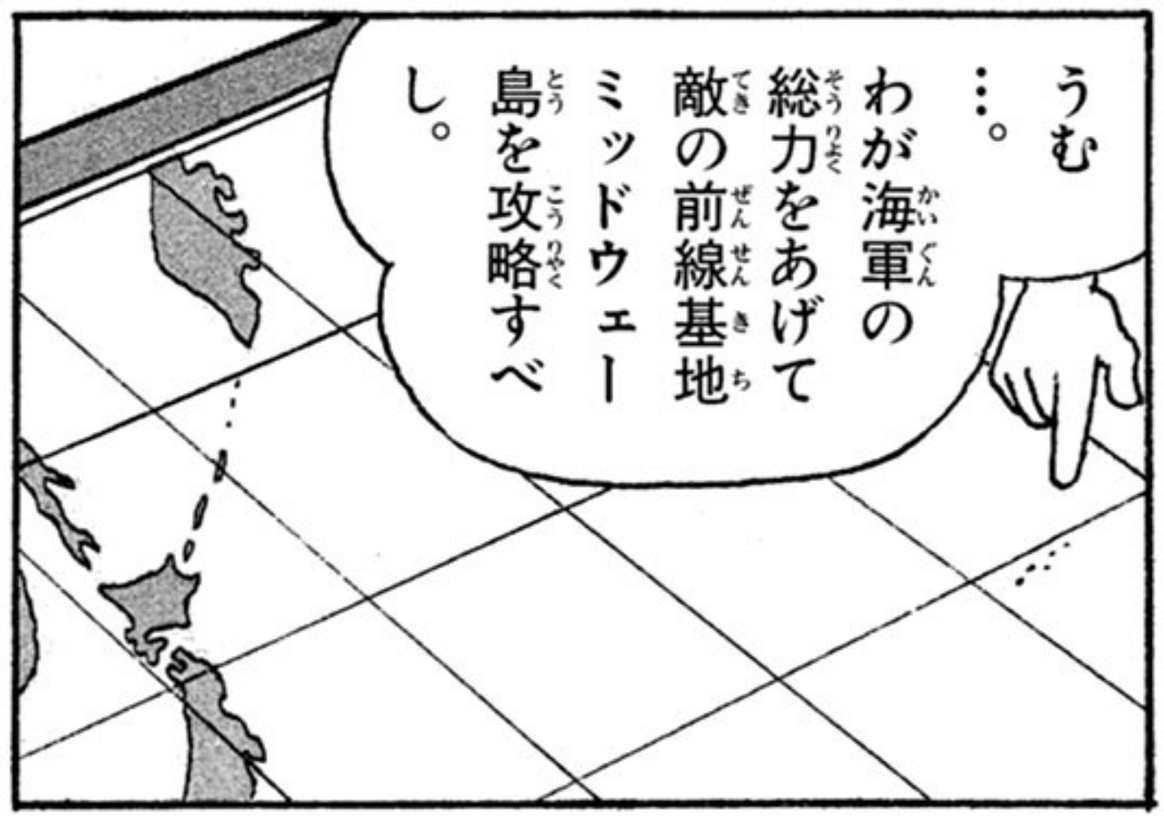
高射砲だ……。敵機だぞ。

あ、もう行っちゃった。

空襲警報だぞ！

敵機だ！

退避しろ早く早く！



五月二十六日、
艦船三百五十せき、
飛行機一千機、兵
員十万の大艦隊が
ミッドウェー島に
むかって出撃しま
した。

今回は、わたしも
大和にのって指揮を
とることにする。

連合艦隊司令長官
山本五十六大将

機動部隊の作戦は
わたしにおまかせ
ください！

南雲忠一中将

このミッドウェー
海戦で、日本は
空母四せき、
飛行機三百二十機、
兵員三千五百名を
うしなうなど
大敗北をきっし
ました。
ドーン

戦場の後方にいた主力部隊では

ええっ、機動部隊が大敗北!?

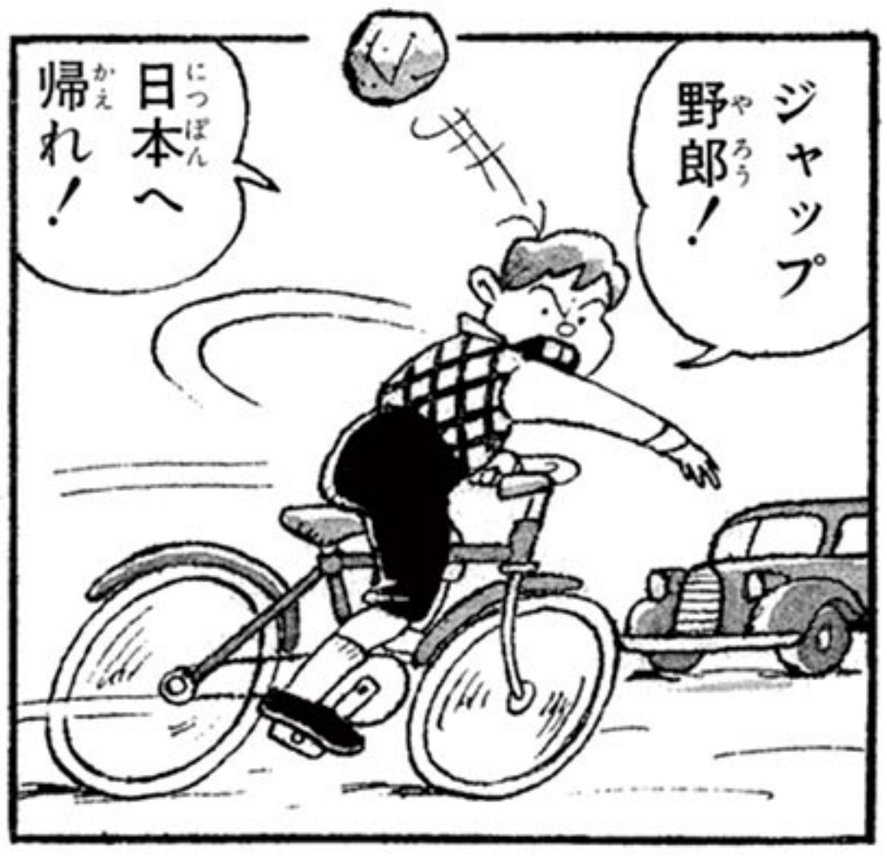
作戦は中止だ！

これからはアメリカが有利にたつかもしれない……。

アメリカにいる日本人はどうなったんだろう？

日本にいるアメリカ人と交換で帰国することができるんだって。

一九四二年八月、第一回目の交換船で野村大使はじめ、日本人八百名近くがアメリカから送還されました。



おれたちだって、この国に忠誠をちかったアメリカ国民なのに…。

日系アメリカ人は、みんな危険分子にみられているわ。FBIや警察に逮捕された人たちも多いし…。

もう、商売もできやしない。

ポー

一九四二年三月、アメリカ政府は西海岸地域にすむ日系人に立ちのき命令を出しました。

自分で持てるだけの荷物しかゆるされないなんて、ひどい！

家も家具も捨て値で売りとばしてきた。

おれたちどうなるんだ？

どこへつれて行こうってんだ。

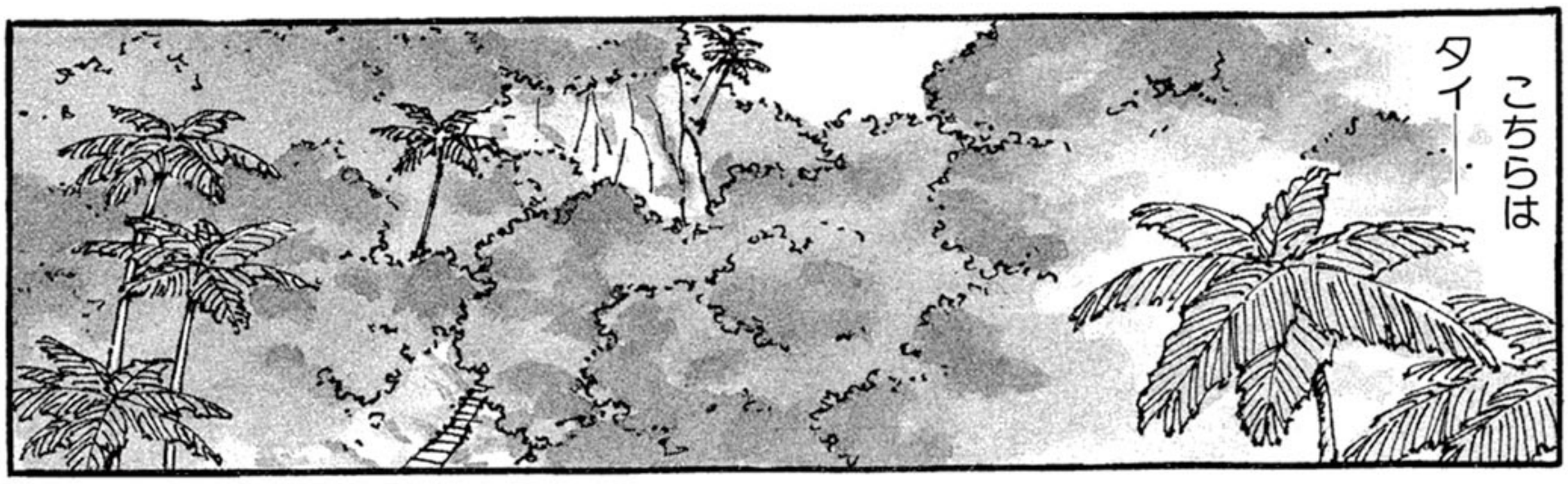
あれがおまえたちの強制収容所だ。

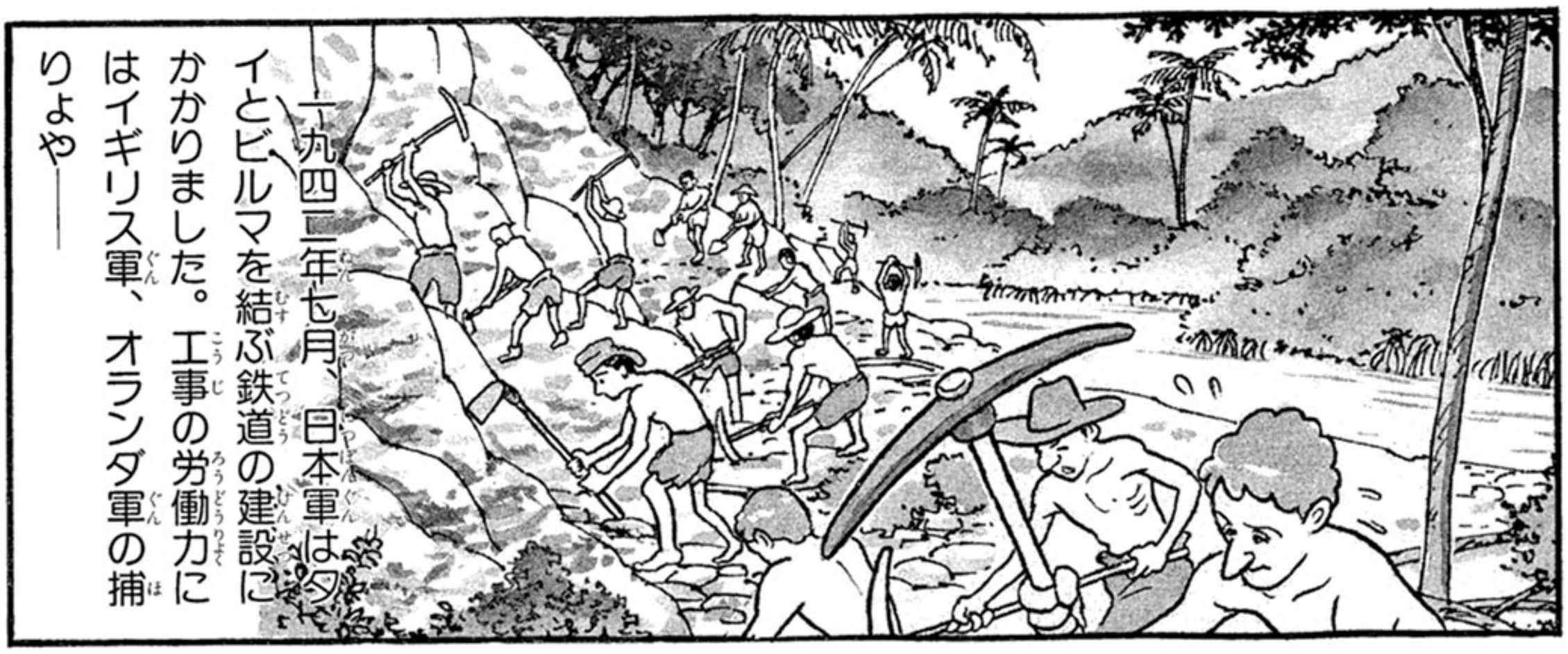
こんな砂漠に……。

脱出するものは射殺する！

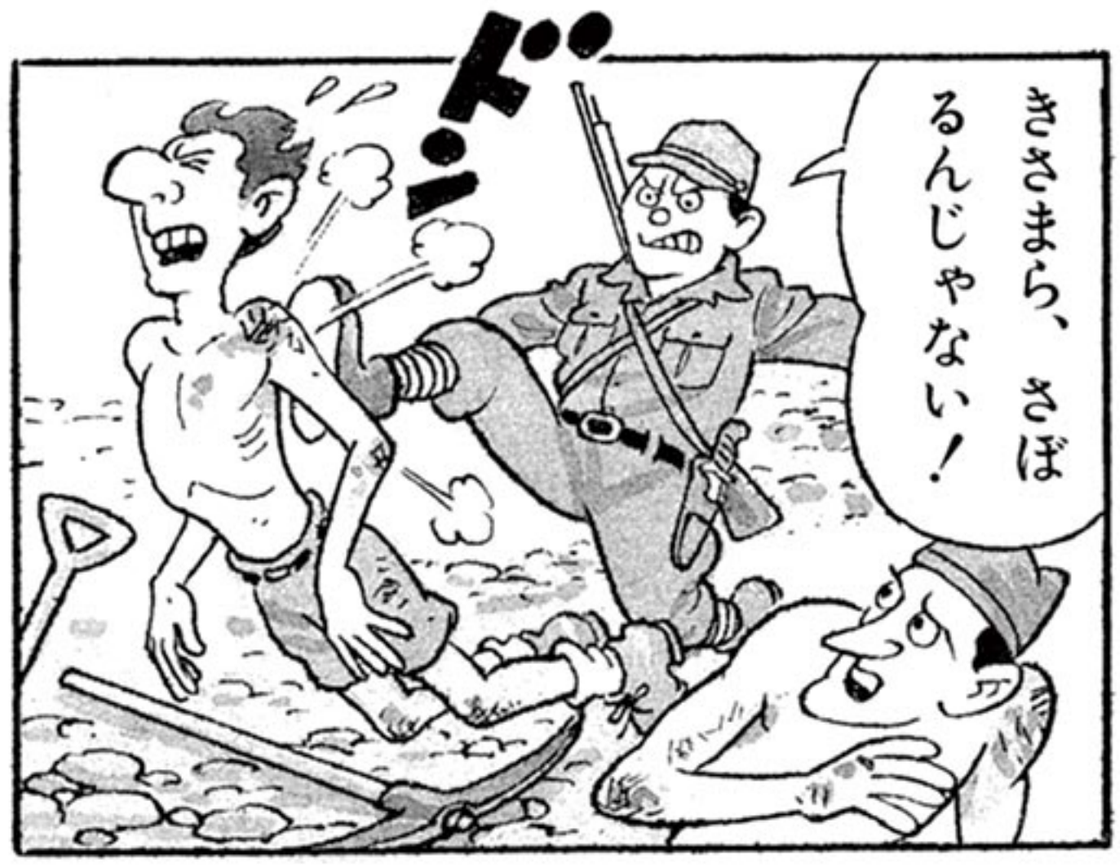
こんなひどいところに…。

こうして、十二万人をこえる日本人がアメリカ各地の強制収容所におくりこまれ、苦難の日々を強いられたのです。





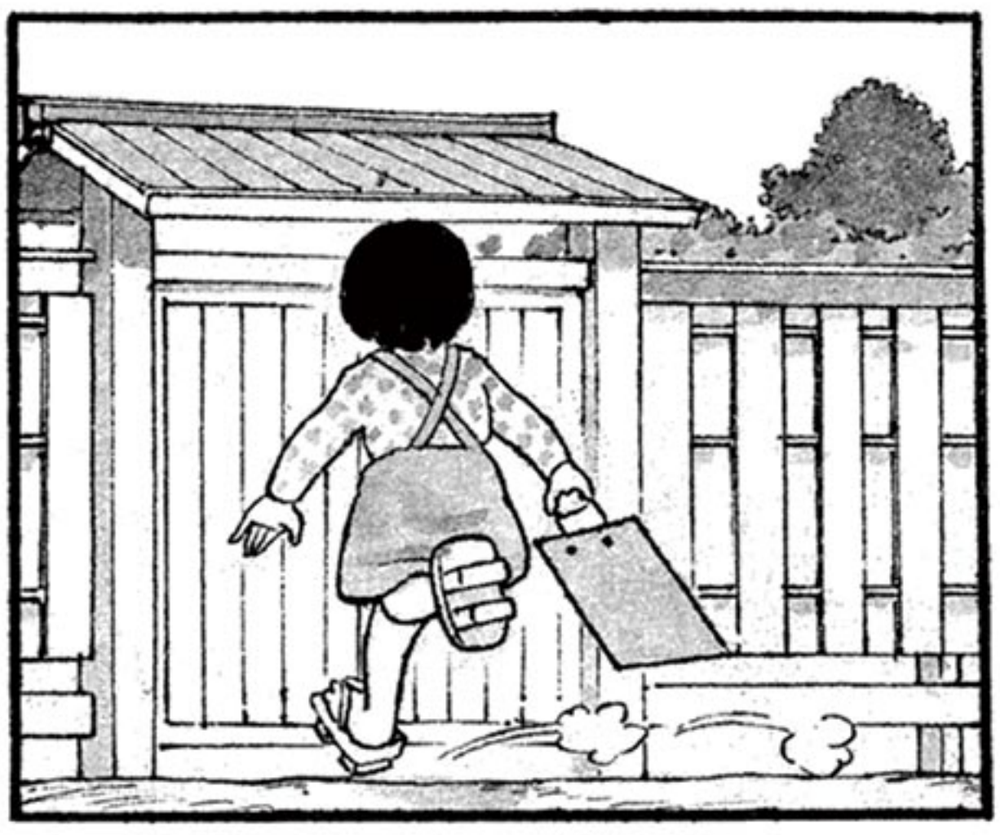
*インパール…インド東部のビルマに近い都市。日本軍のインド侵攻作戦をインパール作戦とよんだ。

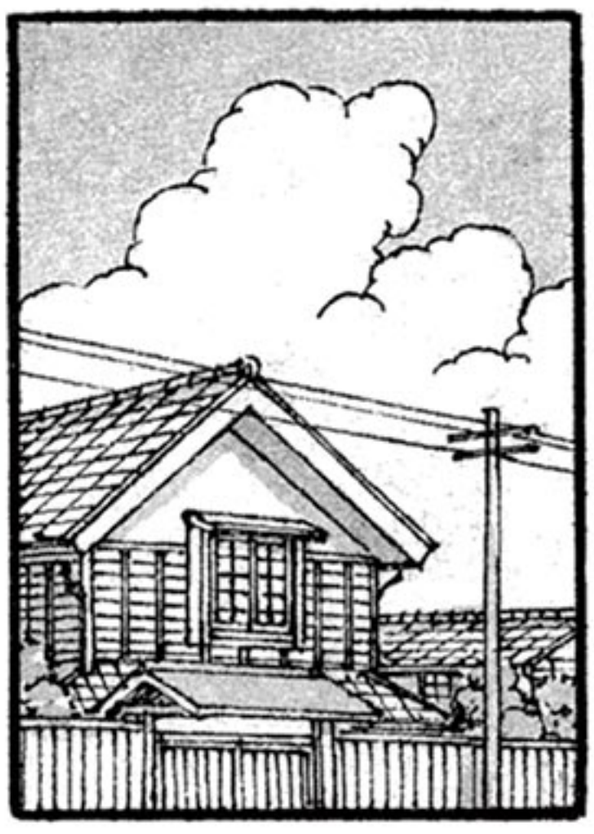


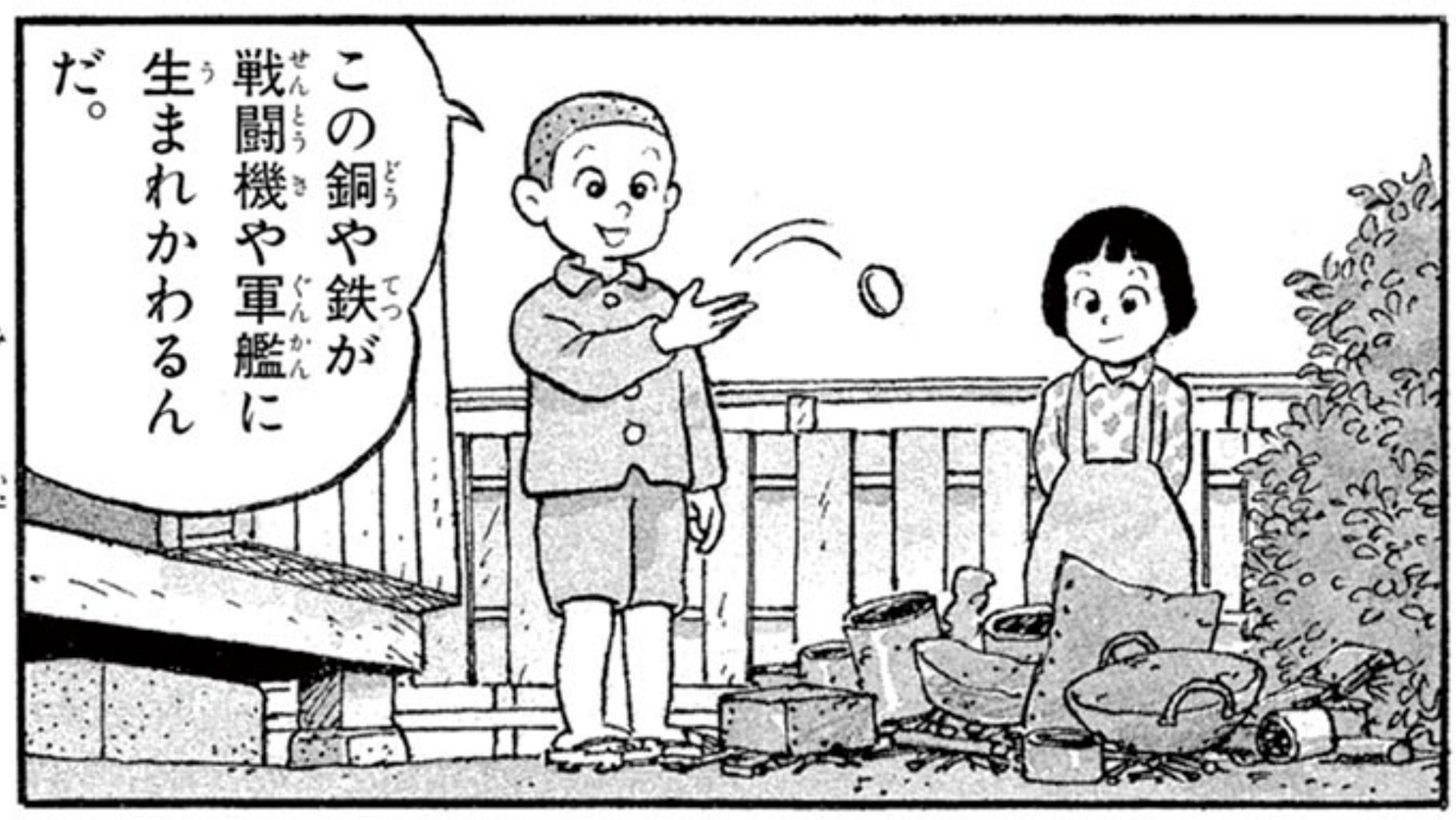
*マラリア…マラリア病原虫によっておこる熱帯の伝染病。高熱の発作をくりかえし、死にいたることもある。

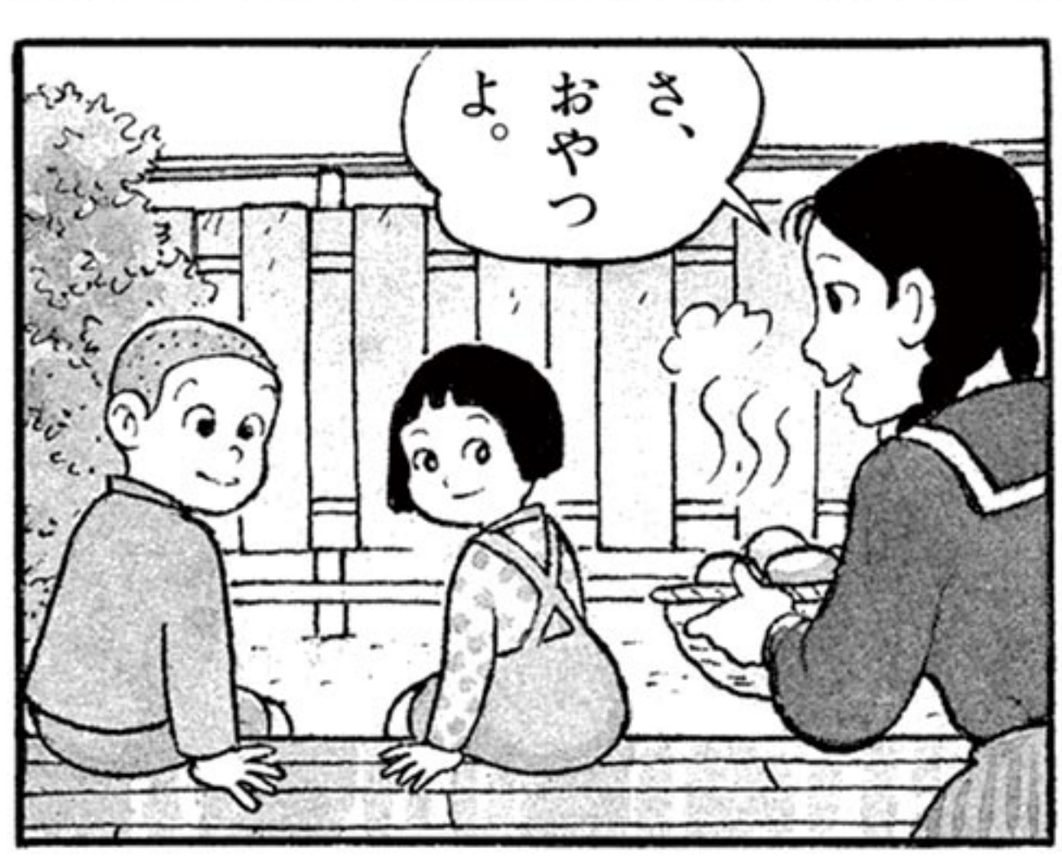
全長四百十五キロのこの「泰緬鉄道」は、わずか一年三か月で完成しました。工事中に栄養失調や伝染病で死亡した捕りょは一万人以上、現地人労働者の死亡は数万をかぞえました。

バンザーイ
バンザーイ
バンザーイ









*回覧板…町内の家ごとにじゅんじゅんにおくって見る、板につけたおしらせ。

そのころ、南太平洋のガダルカナル島(イギリス領ソロモン諸島)では、日本軍とアメリカ軍との間に血みどろの戦いがつづいていました。

ビスマーク諸島
ラバウル
ソロモン諸島
ニューブリテン島
ニューギニア
ポートモレスビー
ガダルカナル島

一九四二年七月、日本軍は航空基地をつくるため、この島に上陸しました。

八月、アメリカ軍が上陸。日本軍は飛行機を捨て、ジャングルにげこみました。

日本軍はつぎつぎと兵員を島におくりこみましたが——

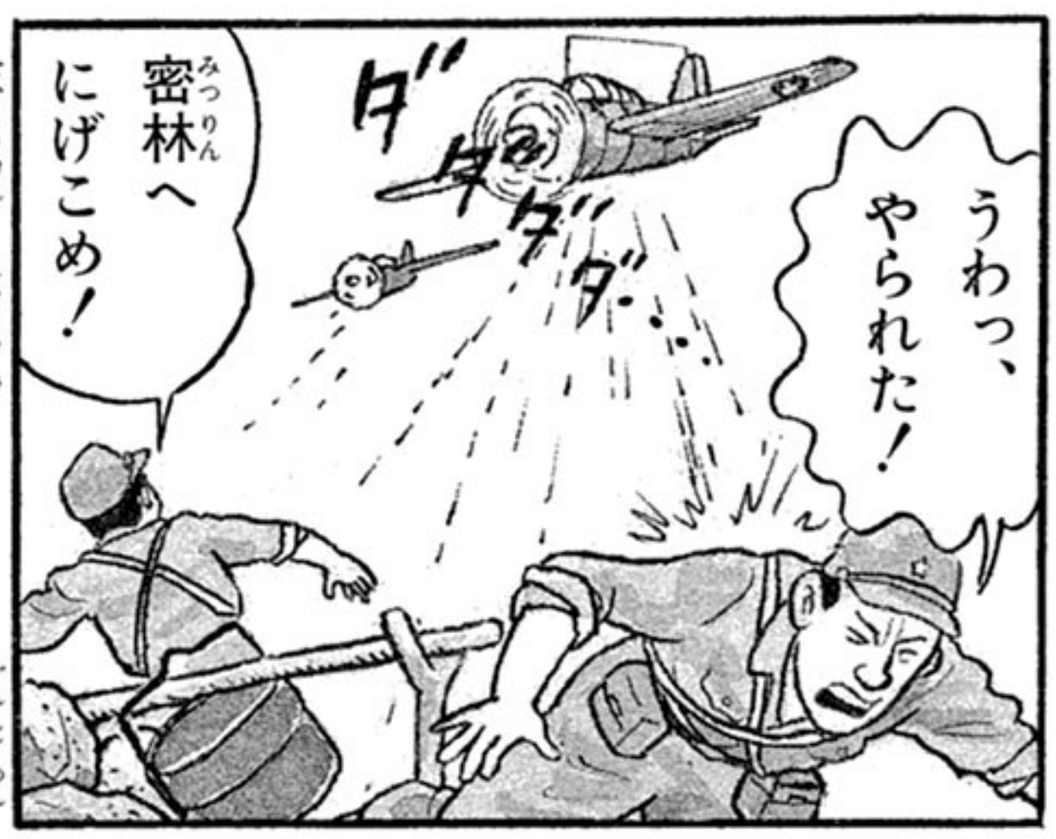
ドカーン

いずれもアメリカ軍の反撃にあい、作戦は失敗しました。

飛行場をうばい返せーっ！

また、ガダルカナル島の近海では日米の艦隊が三度にわたって戦いました。この「ソロモン沖海戦」で日本軍は多くの戦艦や空母、輸送船と航空機をうしないました。

ドドド



*制空権…航空機によって、軍事面で空中を支配する力。*制海権…同じく海上を支配する力。

*ガ島…ガダルカナル島のこと。

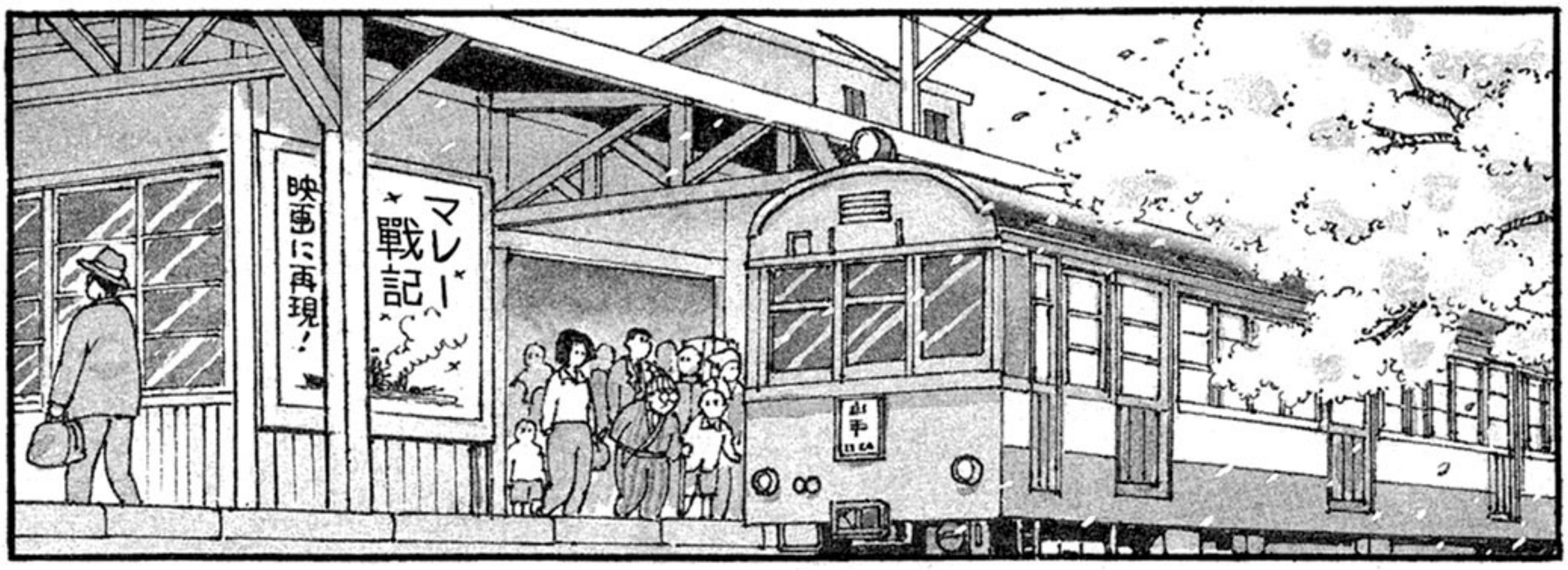
一九四三年(昭和一八)二月、ガダルカナル島の生きのこり兵一万は、ようやく退却することができました。ガダルカナル島での死者は二万人、うち一万五千人が餓死、または病死でした。

海岸に集合だぞ。

おれは動けない…。

救いの駆逐艦がくるんだ。

たのむ、死なせてくれ。

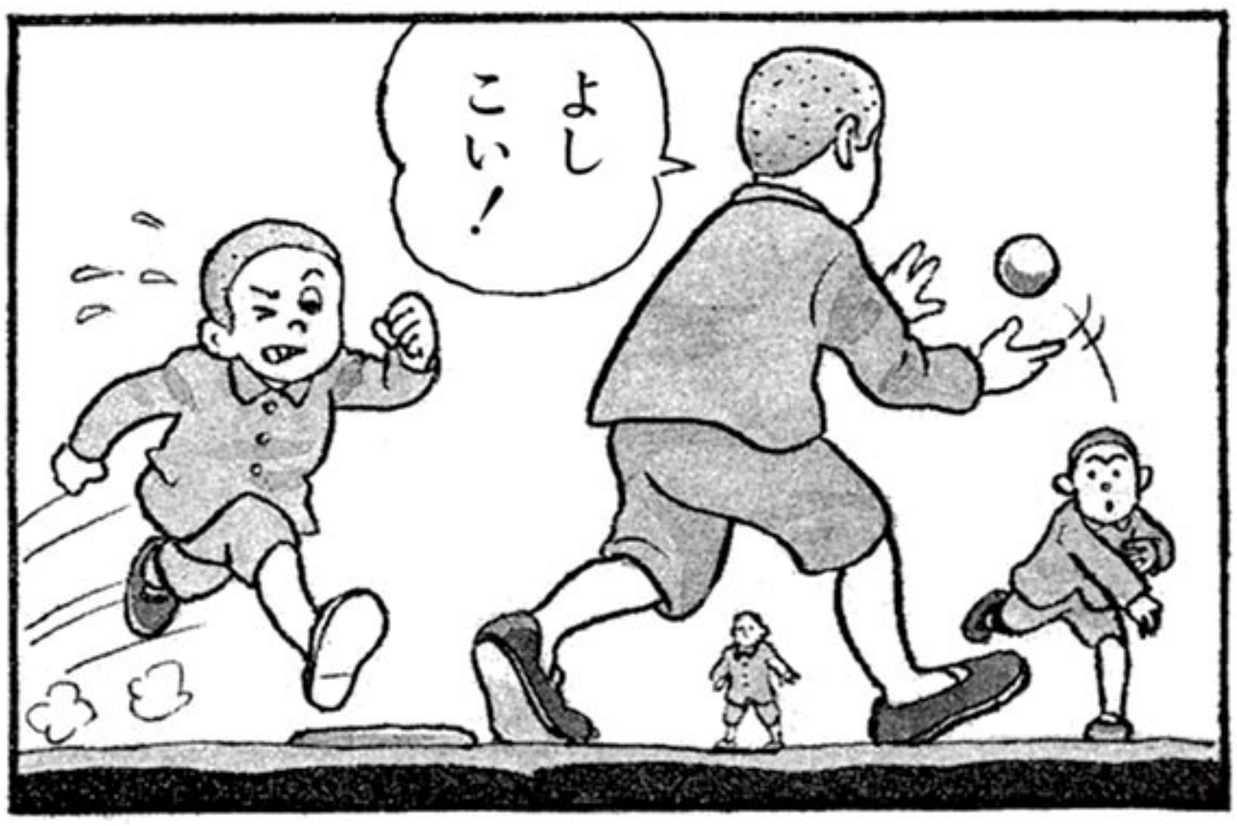

映画に再現！
マレー戦記

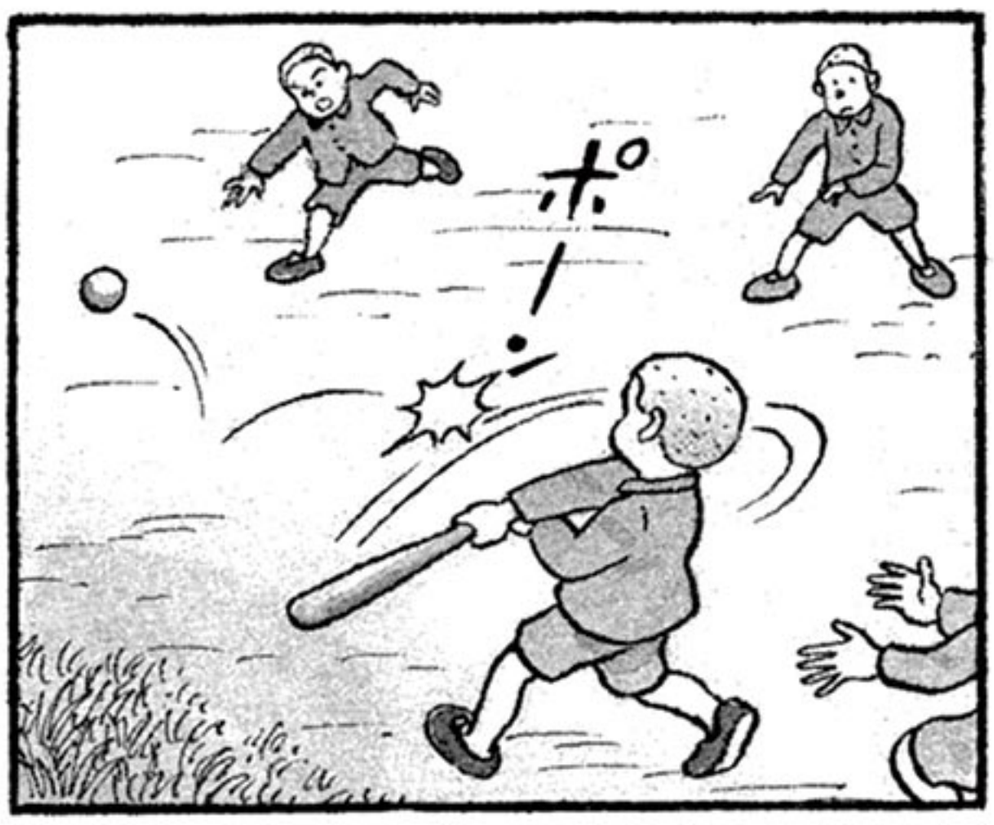
ガ島の日本兵は「転進」したんだってね。
東亞和平
うん、そういうけどな…。

ジロリ

ほんとうは退却なのに、軍部は「転進」だなんてごまかして…。

今日、野球やる約束だったろ。
あ、ごめん。


よしこい！


ポ！

ひけっ。

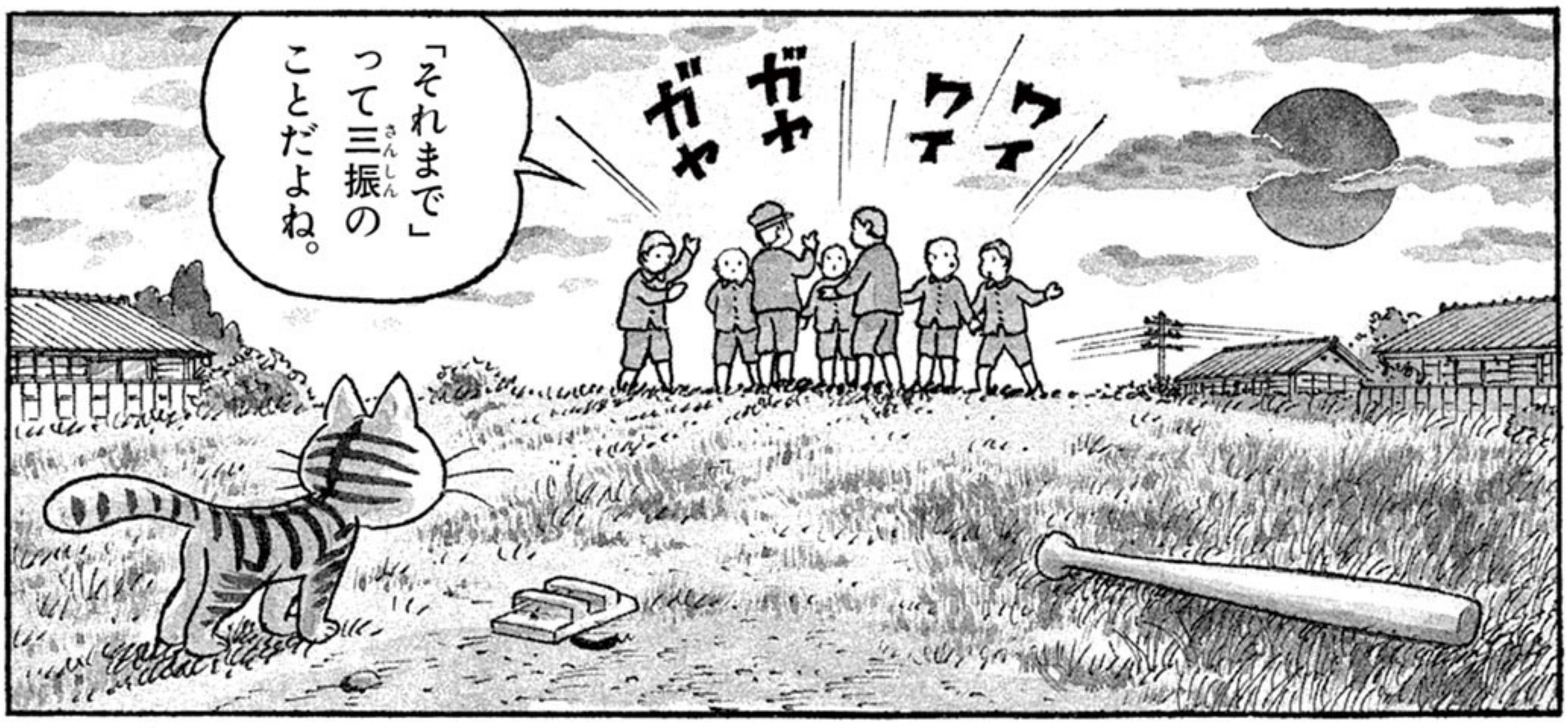
今のセーフだよ。
英語は敵性語だからつかっちゃだめ。セーフは「よし」、アウトは「ひけ」だったろう。

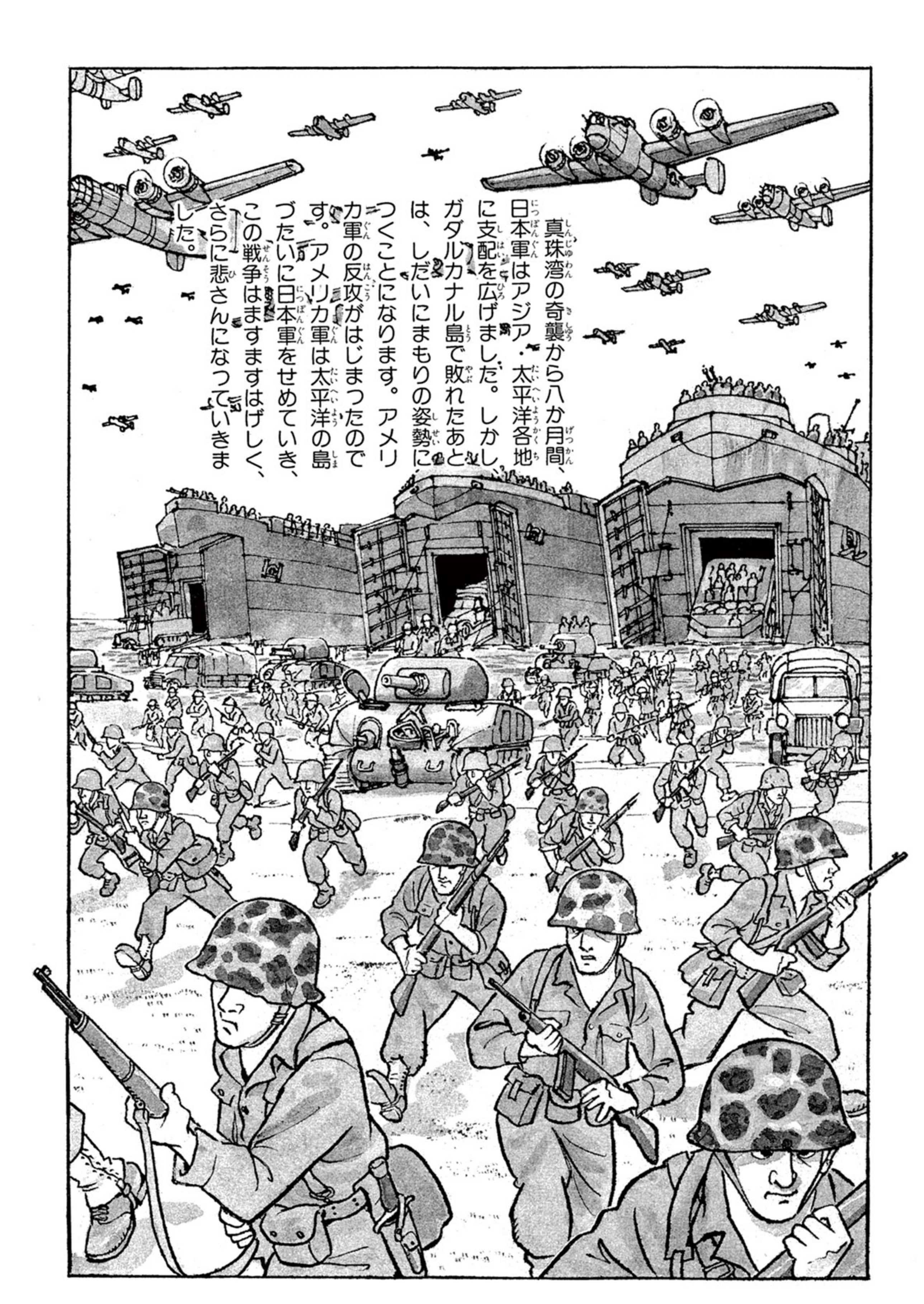
じゃあ、「よし」だ。
いや、「ひけ」だ。

武ちゃんだめ、だめ。

「だめ」って今のが「ファウル」なの？
いや、ケンカはだめってこと。

はい、それまで。


クァ
クァ
ガヤ
ガヤ
「それまで」って三振のことだよね。



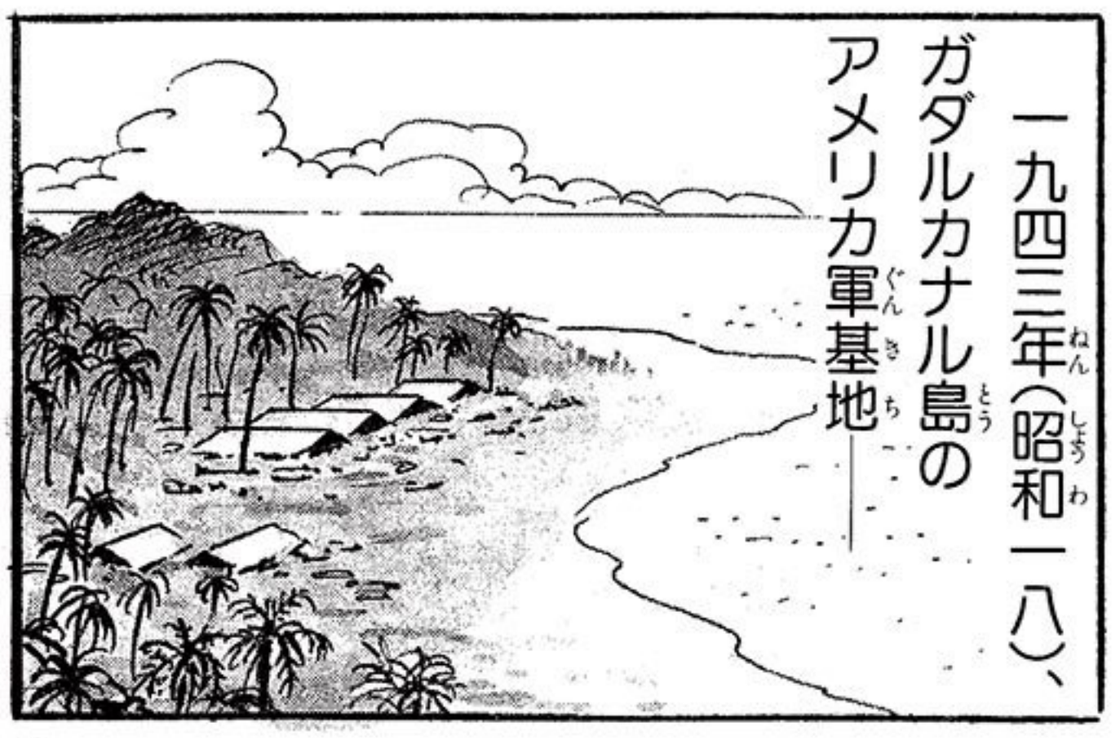
真珠湾の奇襲から八か月間、日本軍はアジア・太平洋各地に支配を広げました。しかし、ガダルカナル島で敗れたあとは、しだいにまもりの姿勢につくことになります。アメリカ軍の反攻がはじまったのです。アメリカ軍は太平洋の島づたいに日本軍をせめていき、この戦争はますますはげしく、さらに悲さんになっていきました。

小学館 eBooks

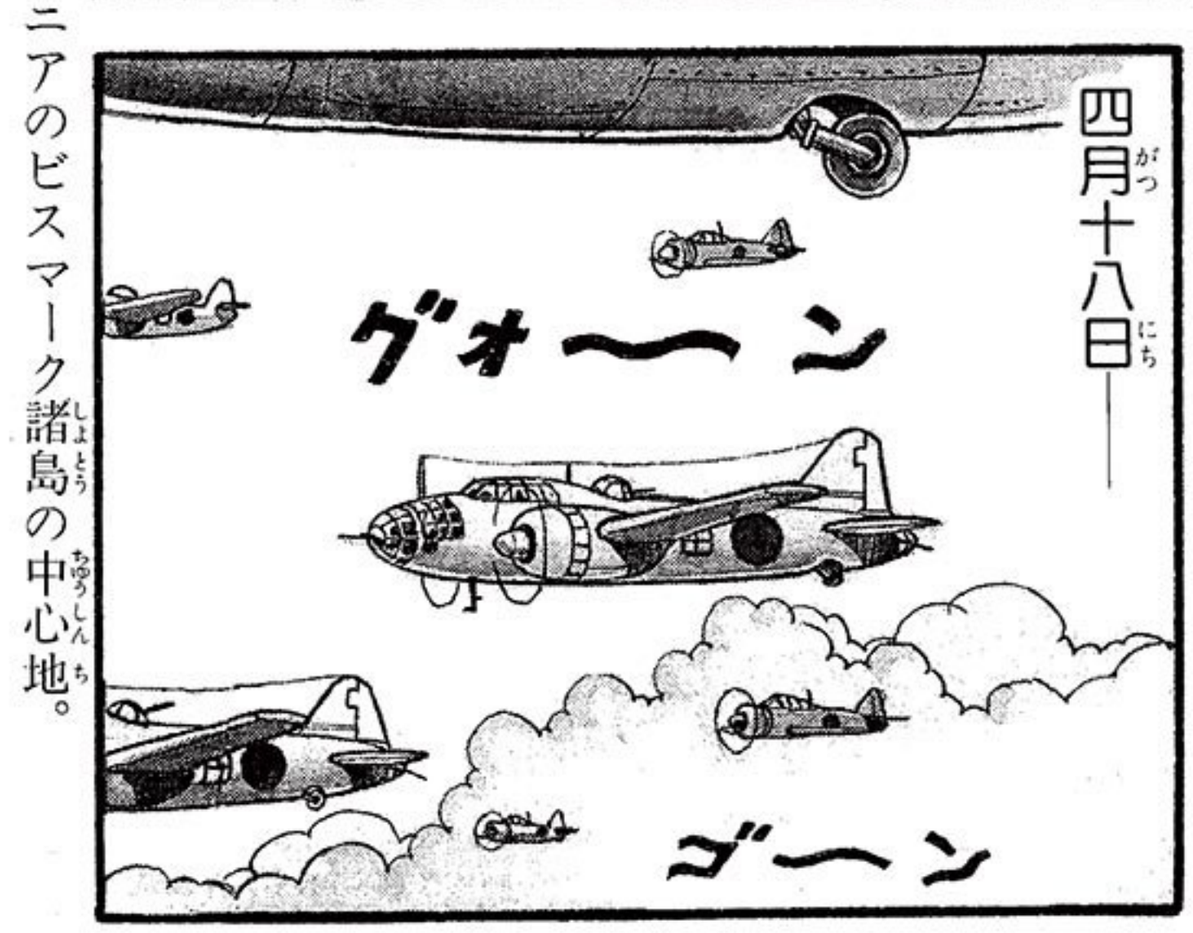
第四章

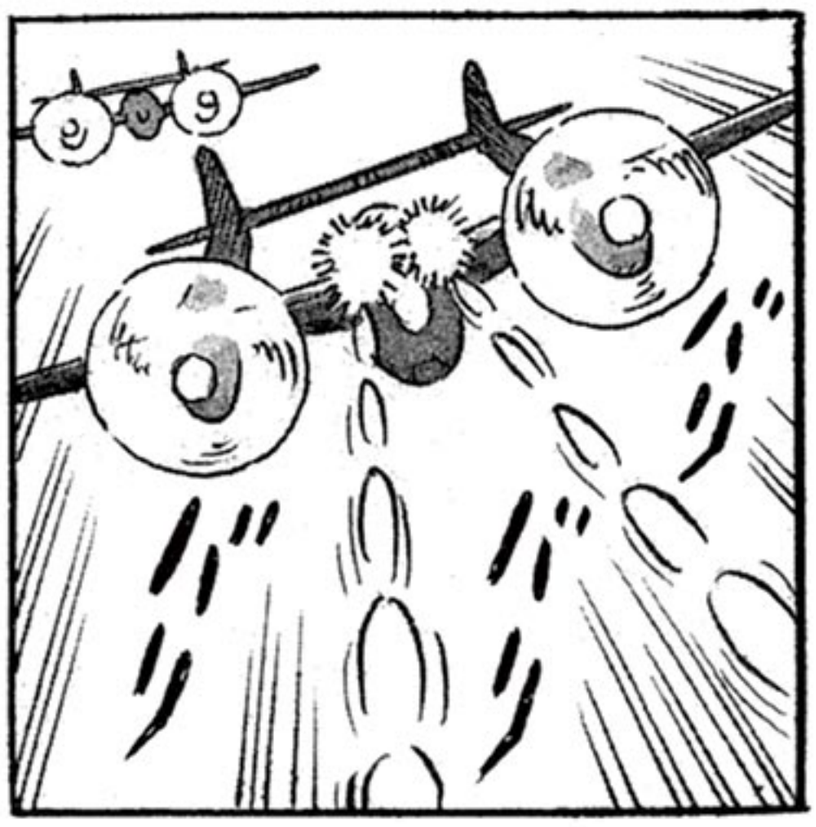
日本の降伏

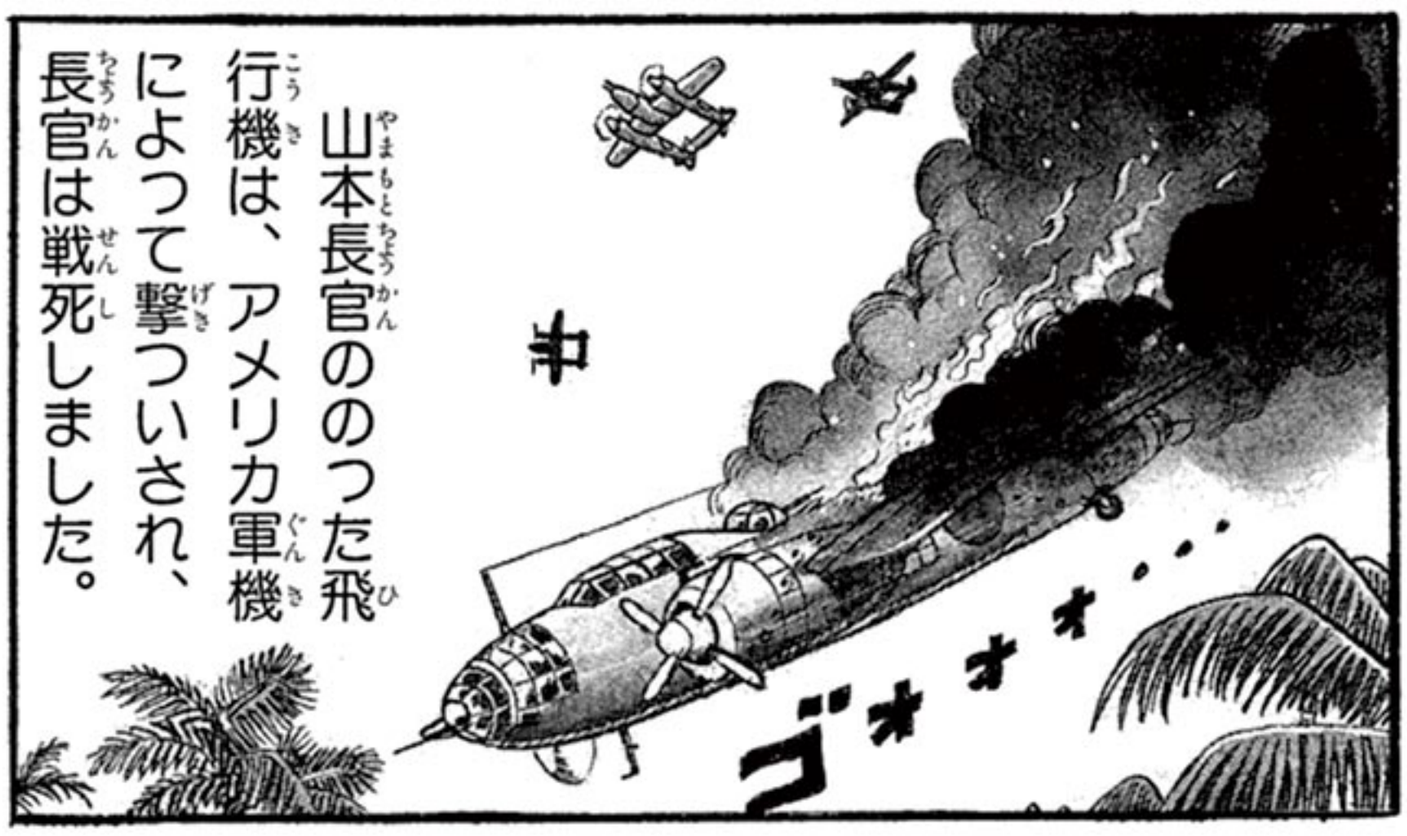
――一九四三年～四五年――



*ラバウル…ニューギニアのビスマーク諸島の中心地。







国民の動ようをおそれた大本営は、この日から三十三日間ふせていましたが、五月二十一日に山本五十六の死を発表。国民は深い衝撃をうけました。

*アッツ島…アラスカ半島につづくアリューシャン列島の島。

日本は一九四三年八月にビルマを、十月にフィリピンを独立させました。しかし、どちらの政府も日本軍におさえられていました。

ビルマ国首相バー・モー

フィリピン大統領ホ・セ・ラウレル

インドネシアでは、独立がゆるされませんでした。

ア・イ・ウ・エ・オ…。

パチ

以前の支配者だったオランダは、インドネシア語を禁じていましたが、今では自由につかえるようになりました。

本語學校

そのため、この国では民族意識がとても高まっています。

この国も一日も早く独立したいと望んでいるんでしょうね。

しかし、日本はこの国に日本語をおしつけてもいるんだからねえ。

はあ…、それは……。

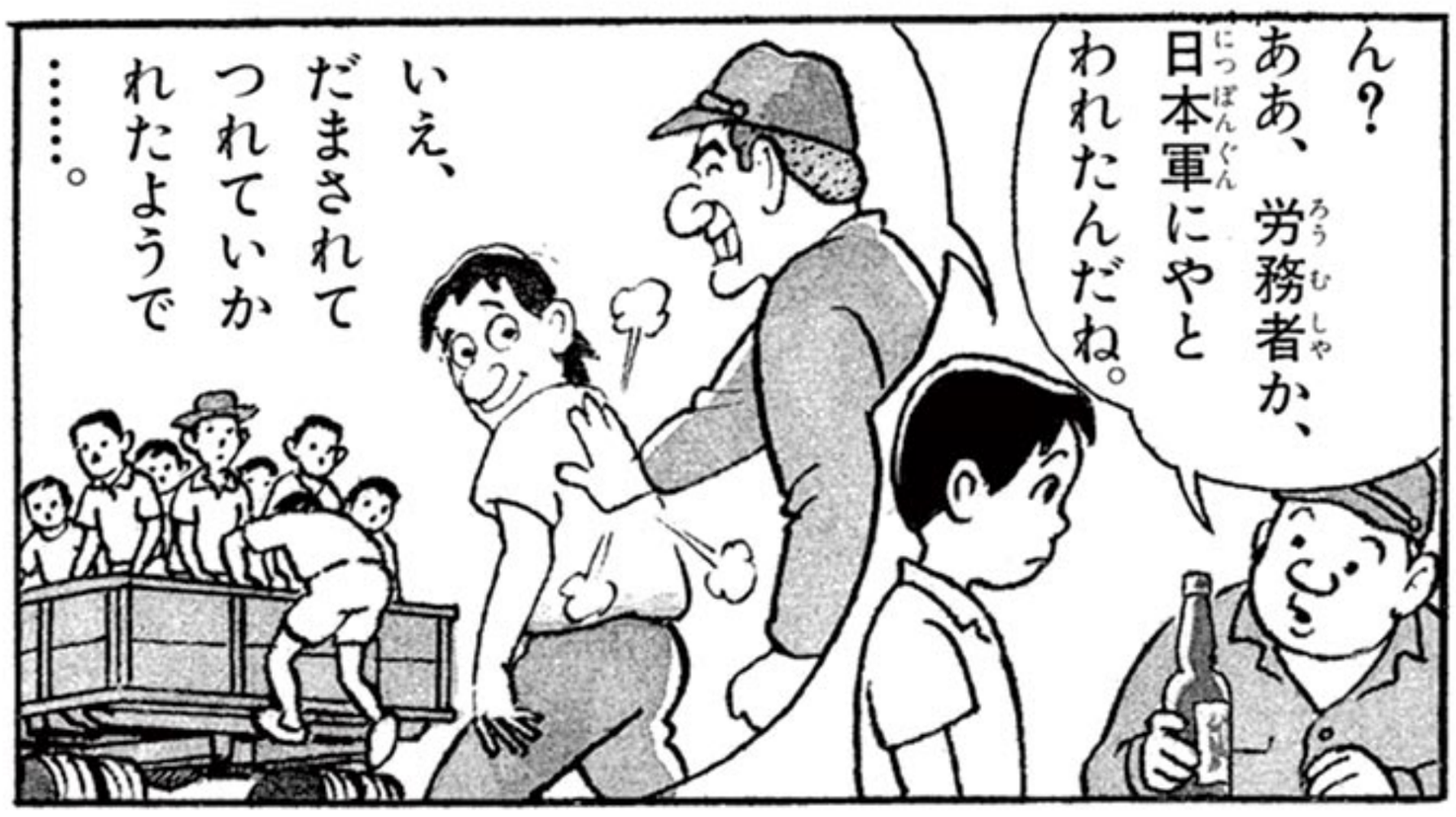
これからのアジアは日本が指導者となって……。

日本ノ皆様ビールブドウシュあります

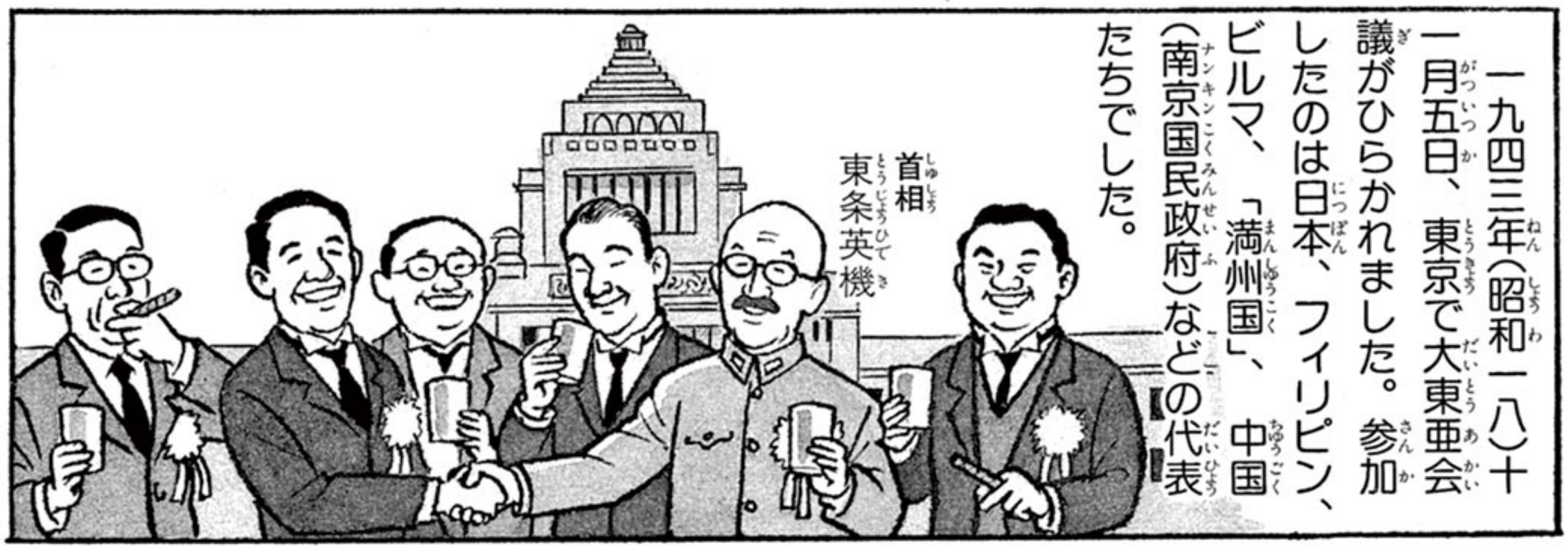
日本軍に占領されてから、どこの国でも経済がとても混乱しているね。

うん、これまでは白人の支配下ながらそれなりに安定していたんだから…。

失礼します。



インドネシアでは、数十万の人たちが、日本軍によって東南アジアの各地に強制的につれていかれ、はげしい労働にしたがわされました。



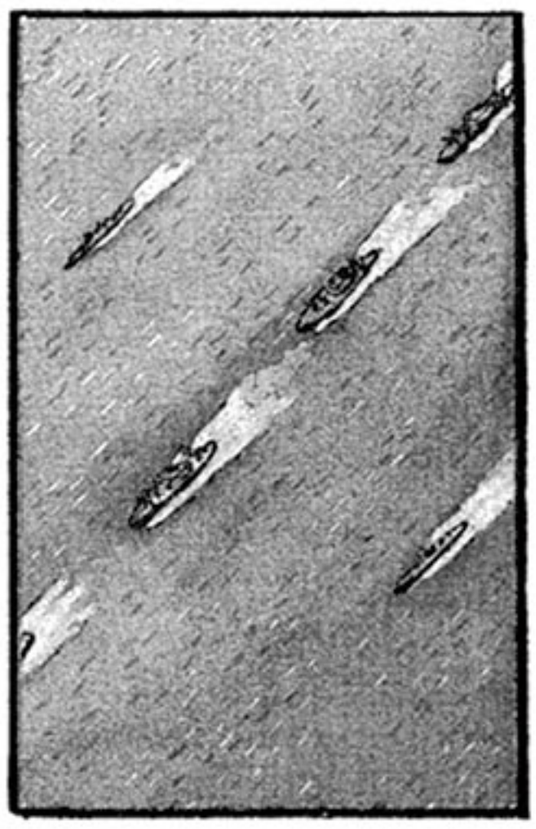
一九四三年(昭和一八)十一月五日、東京で大東亜会議がひらかれました。参加したのは日本、フィリピン、ビルマ、「満州国」、中国(南京国民政府)などの代表たちでした。

参加国の親和と大東亜の建設を、
世界に広くうったえるのがこの会議の目的であります。
すごい買いものの行列だね。
そんなにものが不足してるの？
売りおしみをする店もあるんだよ。高く売ろうとしてね…。
あ、武ちゃんとこの…。
実は、父が召集されることになりましたの。
…明日に、…いよいよ。
今日の夕ごはんには、せめて父の好物のおさしみでもと…。
うちに、こないだの配給の酒があります。おもちしましょう。
さ、あなた…。
みなに囲まれての最後の一献…。
うん、うまい。
最後だなんて、いやだわ。
はははは、ごめん。

お父さんが戦地にいる間、おまえが主人のつもりでな！
はい！

数日後――
バンザーイ
ああ
あの顔で
あの声で
手がら
たてよと
妻や子が
ザーザー
駅

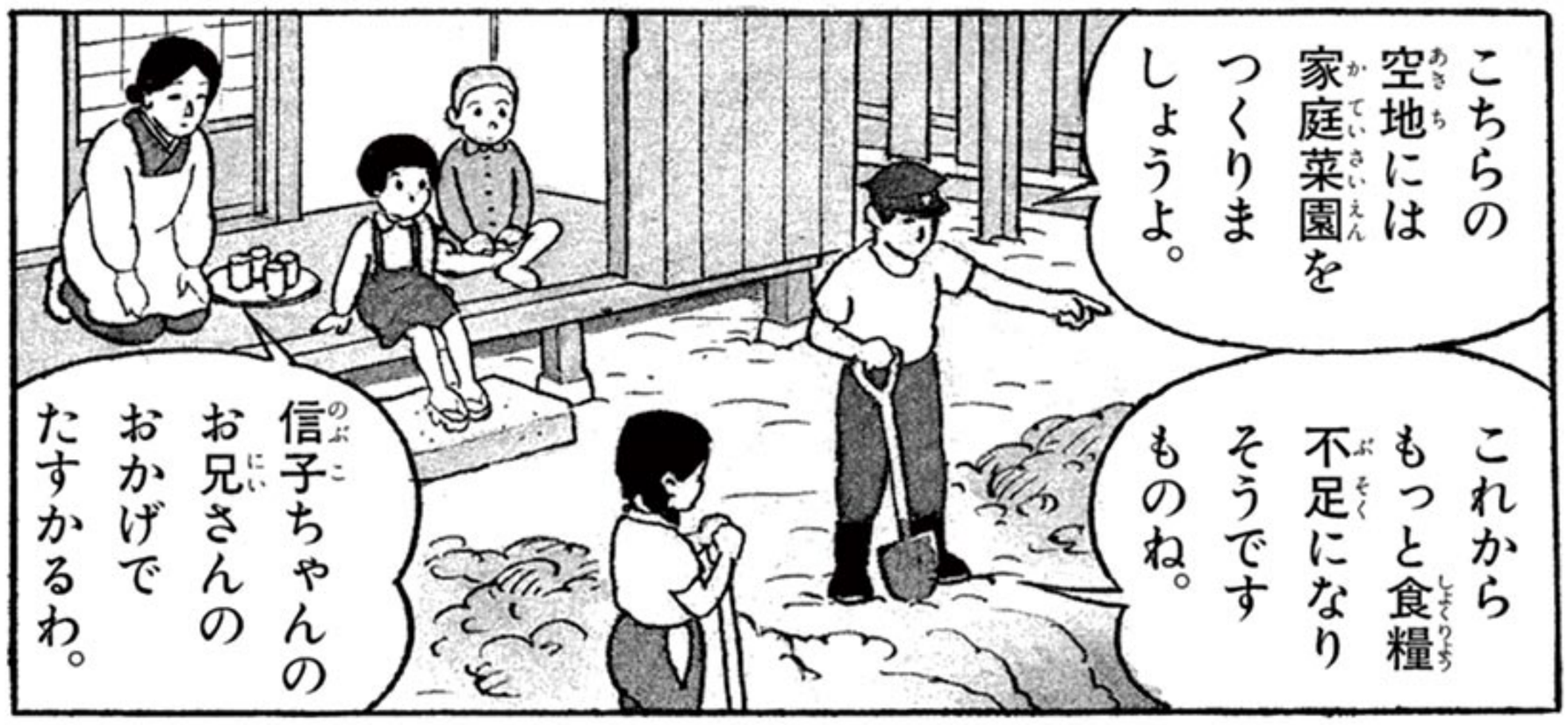
われわれはどこへおくられるんでしょうね。
南方だとうわさされてますが…。

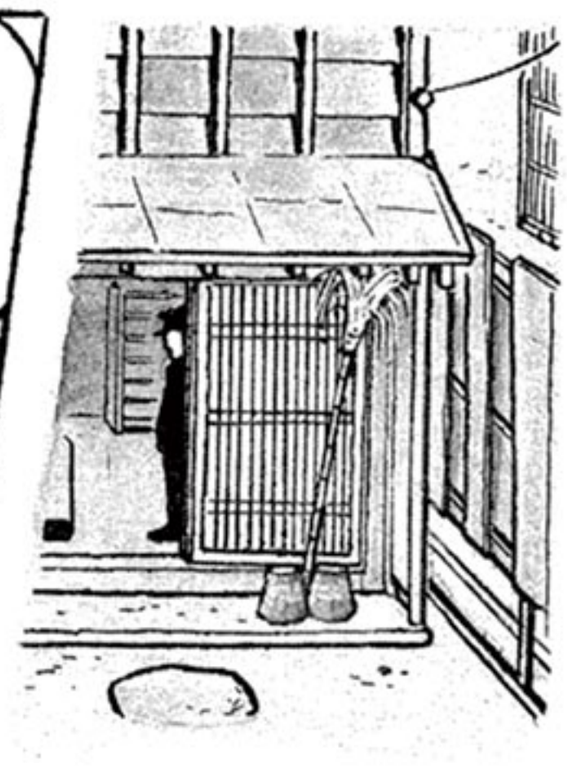


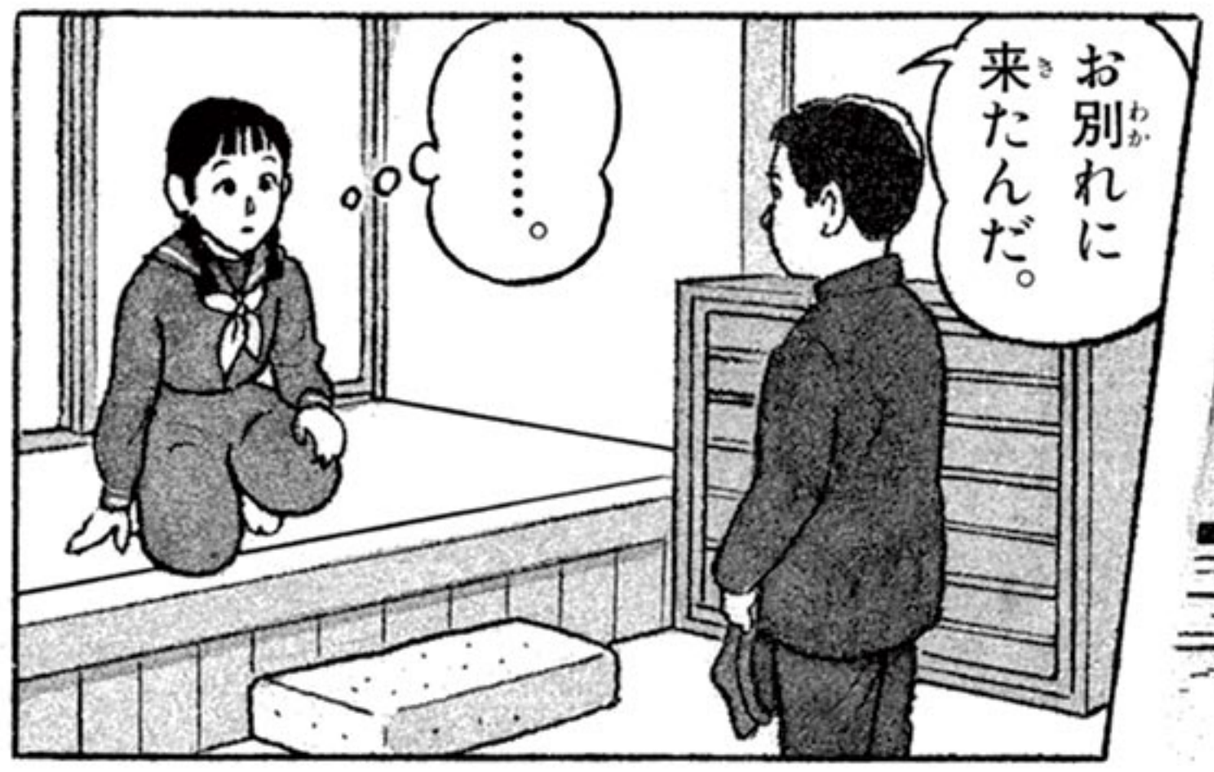
たった一せきの護衛艦でだいじょうぶかなあ。
敵の潜水艦に見つからないといいが…。

防空壕ができるのね。
空襲のとき、ここにかくれるんだね。

さあさ、ひと休みなさって。


こちらの空地には家庭菜園をつくりましょうよ。
これからもっと食糧不足になりそうですものね。
信子ちゃんのお兄さんのおかげでたすかるわ。





一九四三年十月、理工科以外の学生や、高等学校生徒などの*徴兵猶予が停止され、多くの若者たちが戦場にむかいました。学徒出陣です――

*徴兵猶予…兵役につく義務の時期をのばすこと。

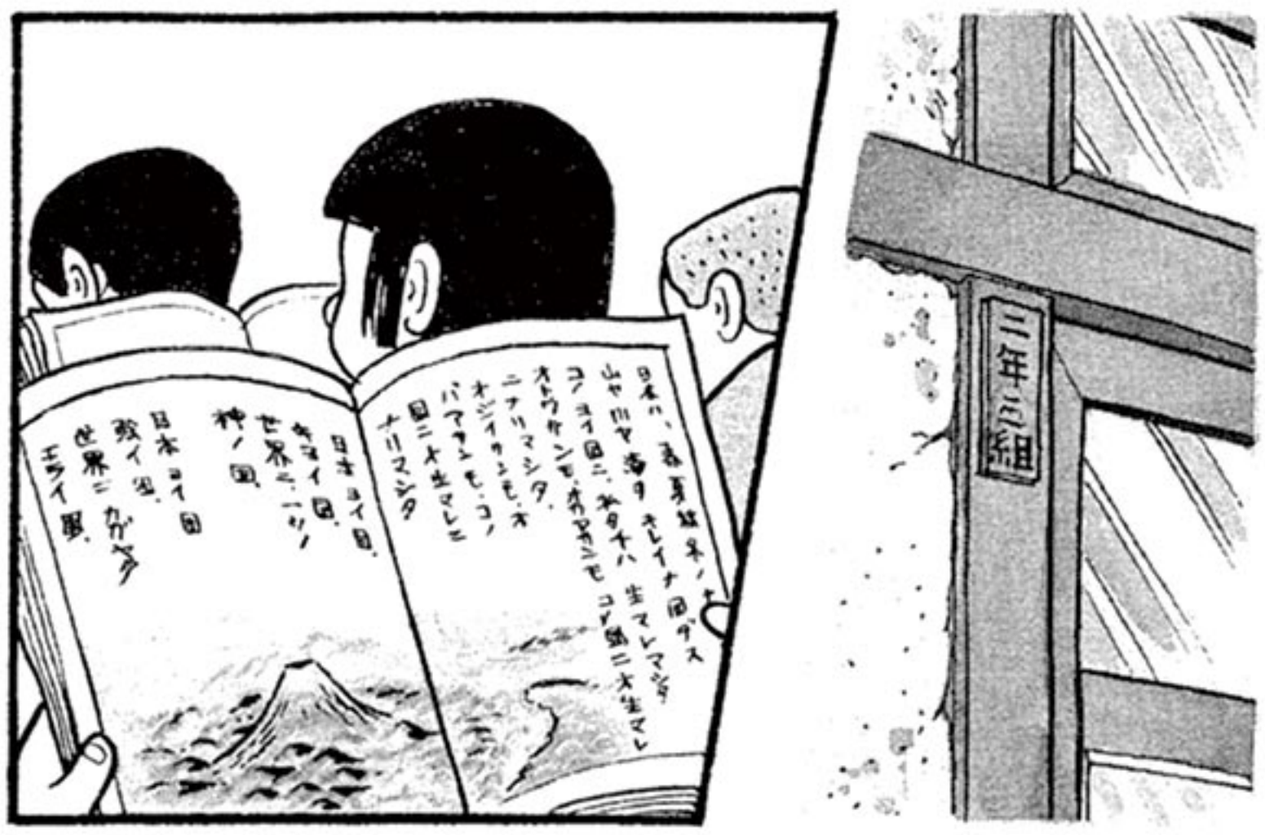
*国民学校…一九四一年から一九四七年までの小学校のよび名。

*蚊トンボ…複葉機のこと。主翼が上下二まいの戦闘飛行機。

*予科練…海軍の航空機のパイロットを養成する機関に所属する練習生。

予科練だと、飛行機にのるんだな。
はい、飛行士の白いマフラー、かっこいいです。

うむ、みんなえらいぞ、お国のために命をささげようというんだな。


三年三組

さあ、大きな声で修身の教科書を読みましょう。

＊修身…道徳。

日本ヨイ国強イ国。世界ニカガヤクエライ国……。
そのころ「小国民」とよばれた小学生たちも、このように学校の教育で戦争にまきこまれていったのです。

一方、「満州国」では日本に不足する鉄や石炭、農産物などの増産がおしすすめられていました。
おれたち中国人を安い賃金で働かせやがって！

今年も大収穫だぞ！
もともとこの土地はわれわれのものだったのに…。

また、台湾でもその主要産業を日本が独占し、現地人を日本軍に志願させ、やがては徴兵制をしくことになりました。

諸君もいよいよはえある皇軍の一員として…。

そして朝鮮では、日本による支配が、いっそうてっていされていきました。

米を全部出せ！

名前を日本ふうに改めろ。

日本の炭鉱で働くのだ！

徴兵制がしかれ、生産物や、強制連行により労働力がうばわれつづけました。

日本本土、中国、朝鮮や東南アジアの各地で兵士たちをなぐさめるため、若い女性を集めました。これらの中には、のちにいわれる「慰安婦」として働かされる人もいました。

一九四三年後半から翌年にかけ、日本軍は太平洋上の基地をアメリカ軍によって、つぎつぎとうばわれていきました。

「満州国」
朝鮮
日本
中華民国
沖縄島
小笠原諸島
硫黄島
台湾
マリアナ諸島
マリアナ沖海戦
サイパン島
フィリピン
グアム島
トラック諸島
パラオ諸島
ニューギニア
オーストラリア

一九四四年(昭和一九)六月、日本軍は*マリアナ沖海戦で、大打撃をこうむりました。

七月、*サイパン島の日本守備隊が全滅しました。

海軍司令長官 南雲忠一中将

全将兵に玉砕を命じる、私も自決する。

そして、島の民間人は

おい、あれを見ろ！

自殺だ。

バンザーイ

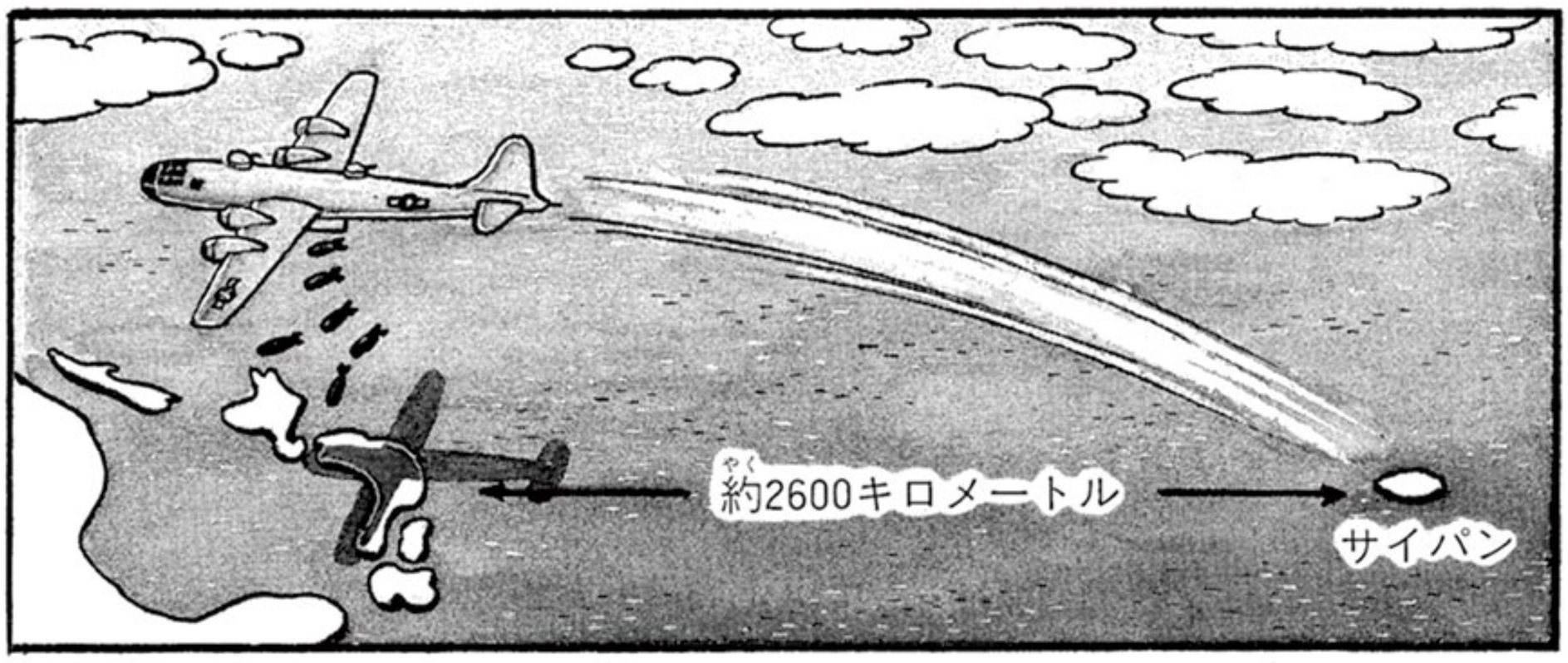
非戦闘員だぞ。

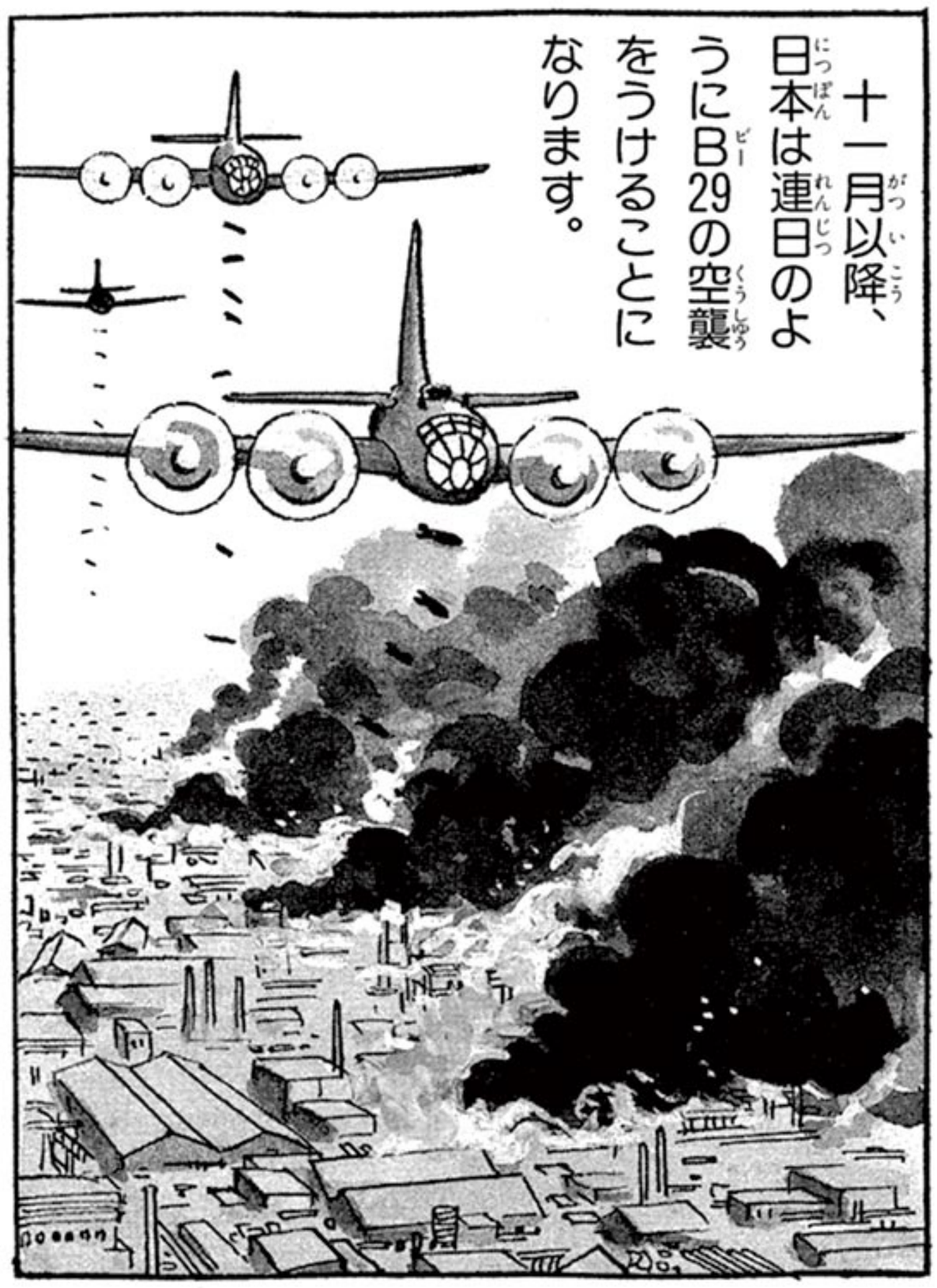
おそろしい…。

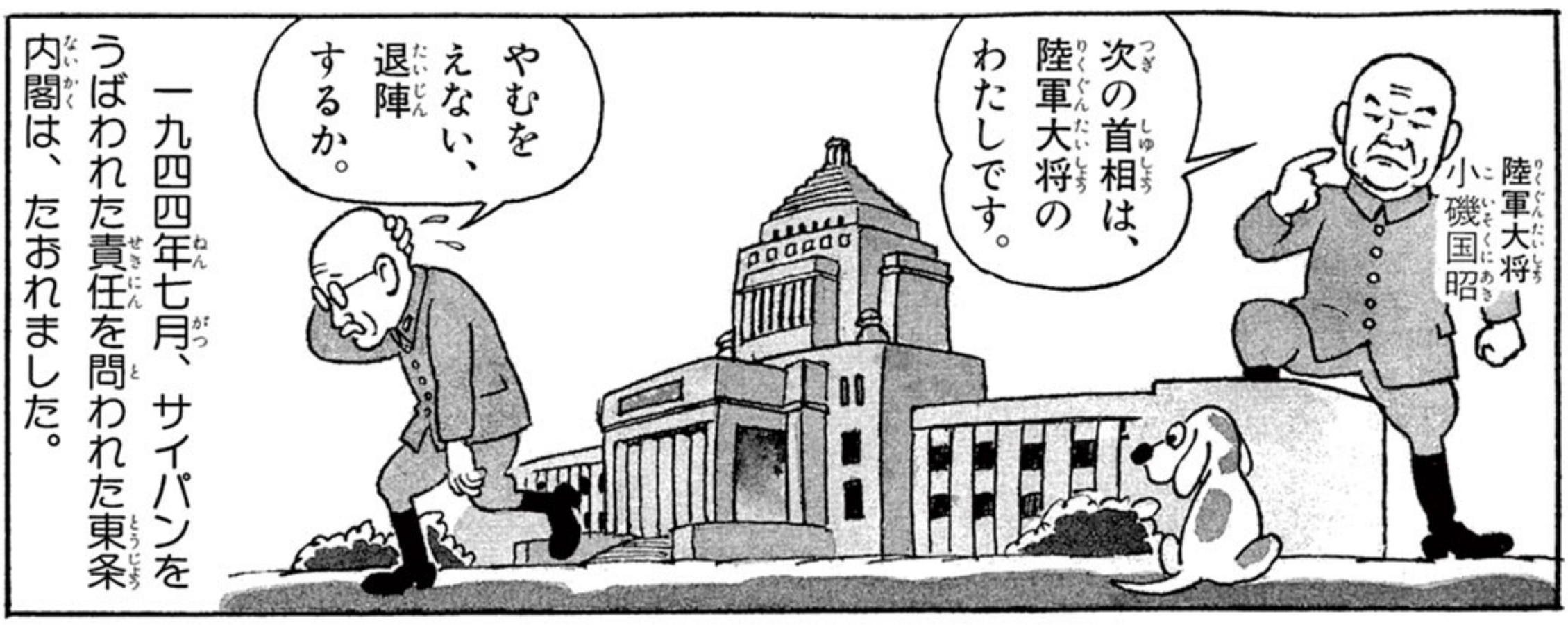
日本人はなぜ、すぐに死にたがるんだ。

*マリアナ…フィリピン海の東の諸島。*サイパン島…マリアナ諸島の南にある島。

アメリカ軍は、サイパンを占領したことで、補給基地なしで日本本土への空襲が可能になりました。





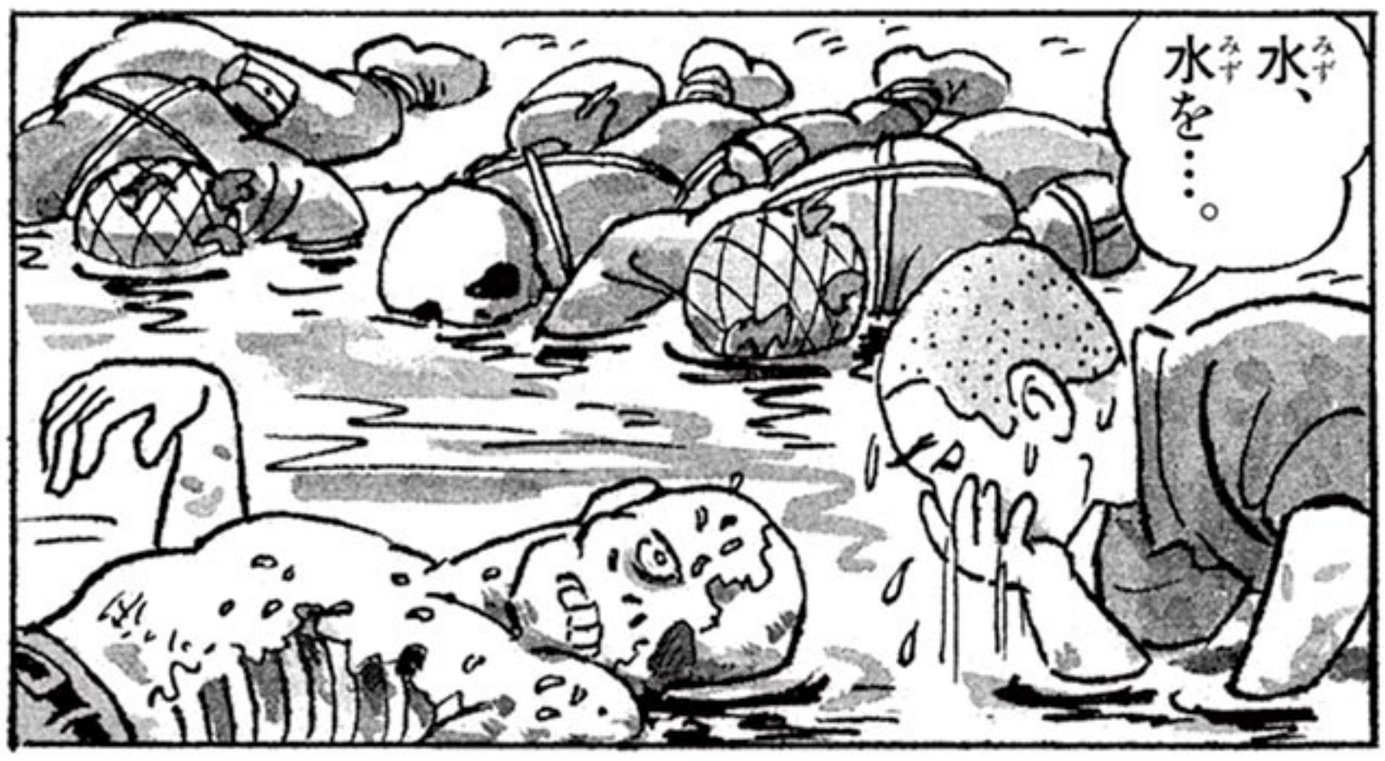


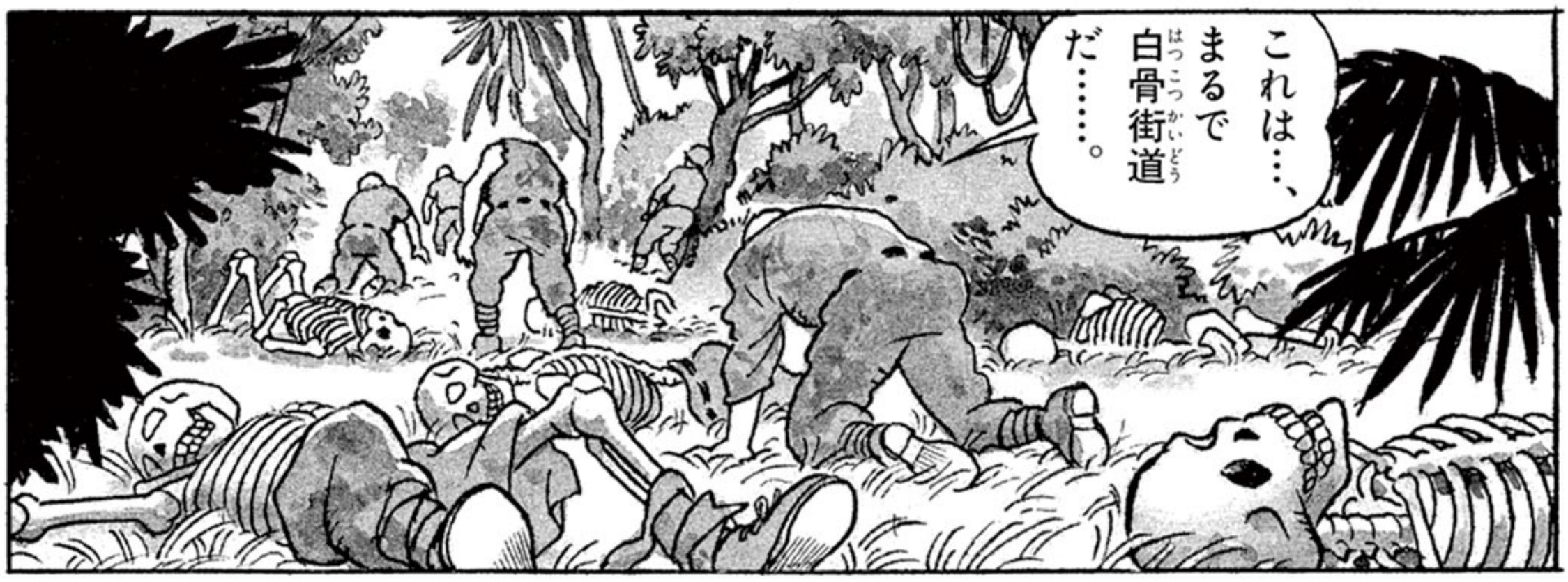
一九四四年七月、サイパンをうばわれた責任を問われた東条内閣は、たおれました。

この七月、ビルマの日本軍は、インド東部のインパール攻略に失敗、イギリス軍の追撃をうけ、悲さんな退却がはじまりました。

だれか手りゅう弾をくれ、死なせてくれ…。

うえと病気、まるで地獄だ…。





*ぞうすい…野菜などを入れてみそやしょうゆで味つけをしたかゆ。おじや。

武夫の国民学校では――

三年生から六年生までの生徒は、地方に*疎開することになった。

……東京では、空襲であぶないからね。

母ちゃん、姉ちゃんとはなれるの、さびしいなあ。

あたし、親せきの家に疎開することにしたの。

ぼく、学校のみんなと山の村へ行くことになった…。

体に気をつけてね！

行ってきまあす！

がんばってね！

ポー

うわあ、修学旅行みたいだ。

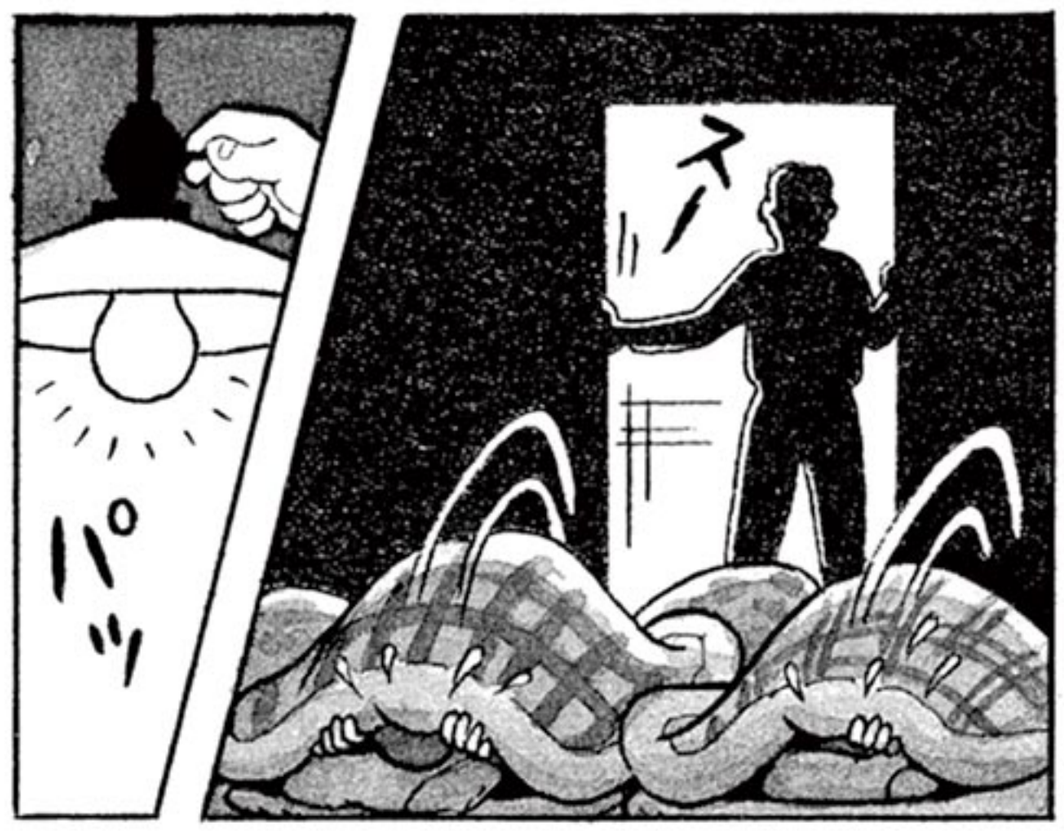
向こうで、腹いっぱい食べられるといいな。

なんだか心ぼそい…。

こうした学童疎開のうち、生徒が親せきや知人のもとに身をよせるのを「縁故疎開」。学校単位で地方に移住するのを「集団疎開」といいました。これは、一九四四年（昭和一九）八月ごろから行われました。

*疎開…戦争のとき、都会の住民や建物が地方へ移動すること。

*すいとん…小麦粉でつくった団子を入れた汁物。


スー
パッ

ヨシオはどこだ。
この部屋じゃありません。

どこにもいません。
もしかして…。

駅
おや、東京から来た子じゃないか。

そう、やっぱり、家に帰りたかったのね…。
でも、みんなもがまんしてるのよ。
エーン

境内をお借りして、畑をつくらせてもらえましょうか。
子どもたちの気もまぎれようし、食糧対策として名案じゃのう。
ふむ
ふむ

ドー!
そろそろ村の生徒たちが、慰問に来てくれる時間じゃぞ。

では、紙芝居「壮烈われらが戦車部隊長」と「アジアの夜明け」のはじまりはじまりー!

今日は、きみたちに郵便がとどいているぞ。
わーっ

姉ちゃんが見舞いに来てくれる…。
はい、西原。
ほれ、川田。
ワイ
ワイ

おれにはまだ一度も手紙がこない…。

わあ、お手玉だあ。

！

……。

いり豆だ。それにあめ玉…。

キョロ
キョロ

ポイ

やい、おまえひとりでずるいぞ。
ドキッ

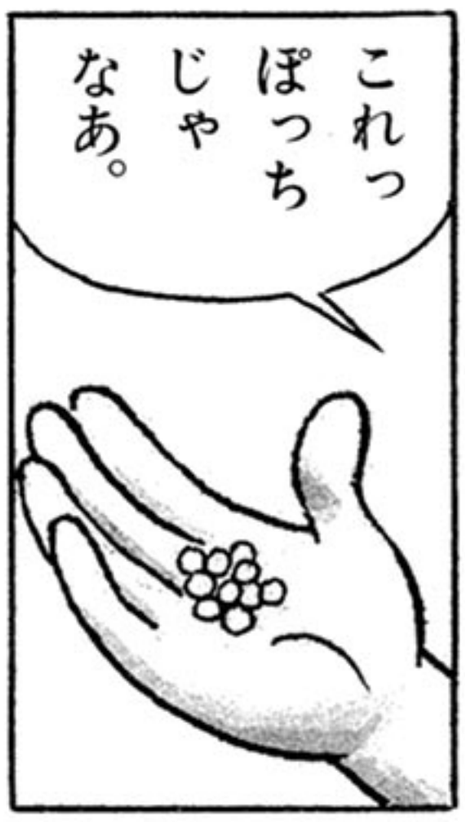
そんなものおくったりして、おまえの親は何を考えてるんだ。

おれにも
くれ！

おい、
やめな。
あんまり
いじめる
なよ。

ちぇっ、
みんなに
ばらすぞ。

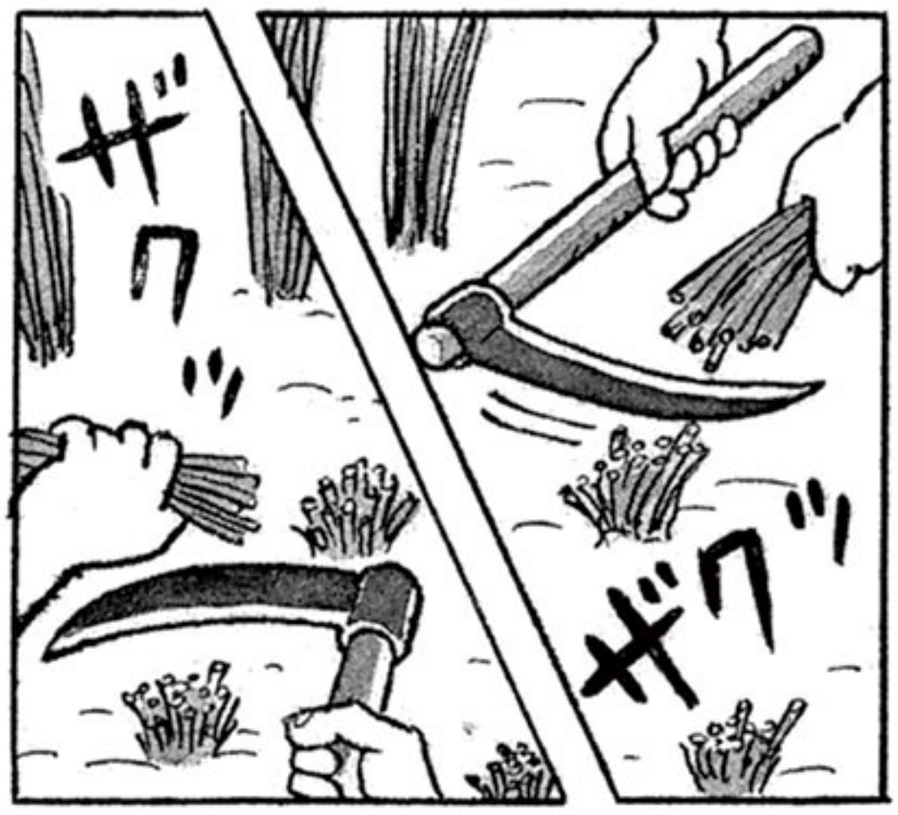
これ、
みんなに
わけて。


これっ
ぽっち
じゃ
なあ。

ポイ

うまい！

どう、
うまか
んべ。


ザク
ザク

おまえさん方のおかげで、えらく仕事がはかどりもうした。

さ、食べてくんろ。

こちらも、食糧不足でしょうに…。

ありがとうございます。

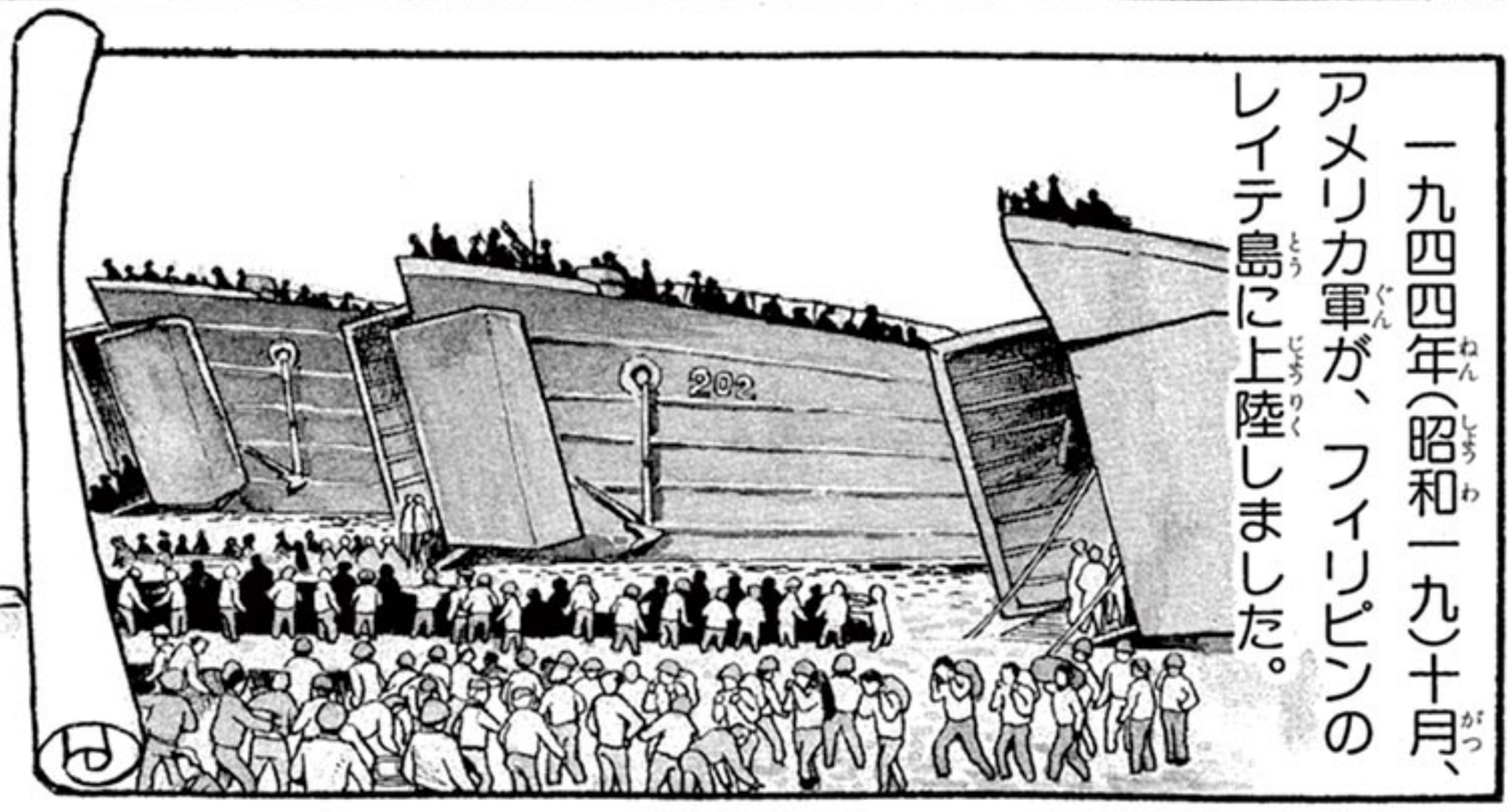
なあに、みんなはよう大きくなって、りっぱな兵隊さんになってもらわにゃあ。

女の子たちにも元気な赤ちゃん、どんどん生んでもらわにゃのう。

はははは…

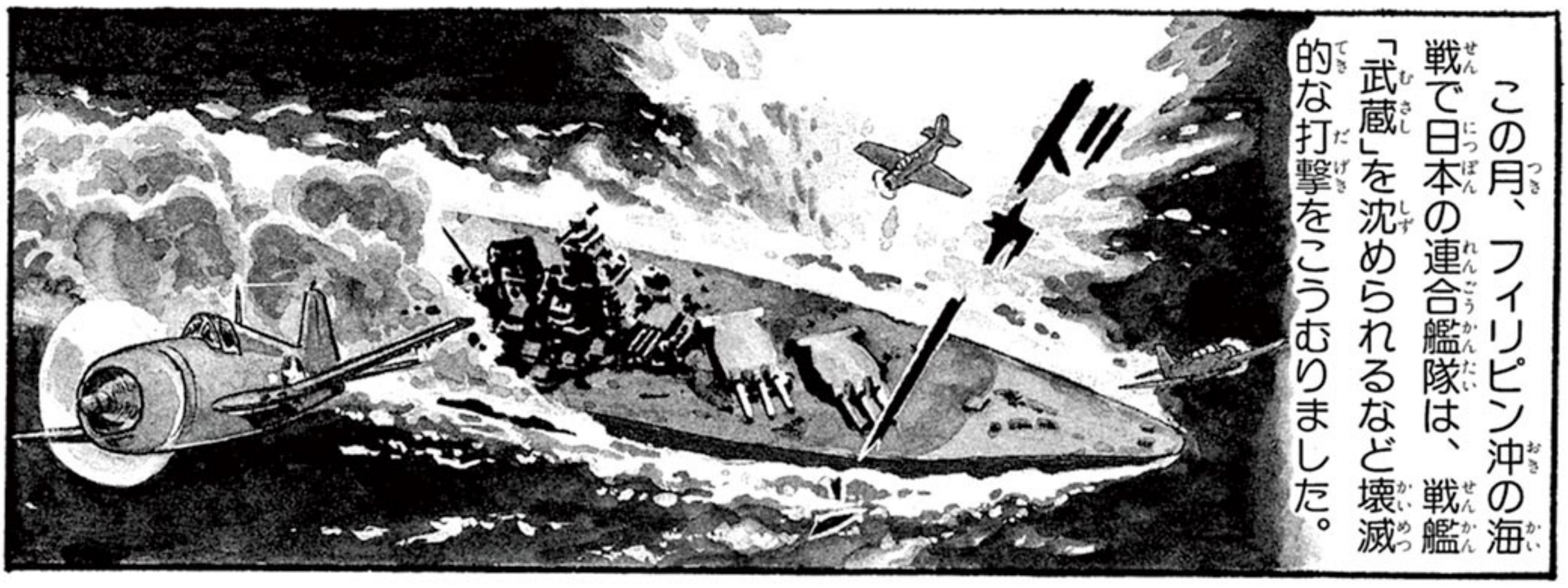
はははは…

一九四四年(昭和一九)十月、アメリカ軍が、フィリピンのレイテ島に上陸しました。

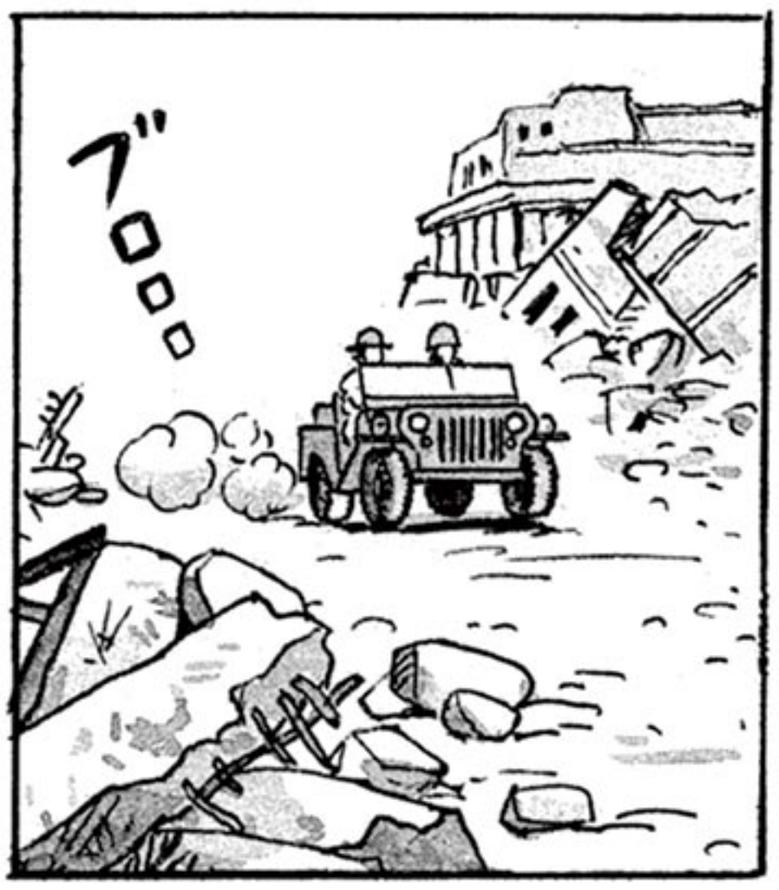


米軍司令長官
マッカーサー

フィリピンのみなさん、わたしは約束どおり帰ってきました。


この月、フィリピン沖の海戦で日本の連合艦隊は、戦艦「武蔵」を沈められるなど壊滅的な打撃をこうむりました。
ズザザ

一九四五年(昭和二〇)三月、マニラでは日米両軍の市街戦が行われました。
日本軍はいなくなったが、マニラはメチャメチャだ。

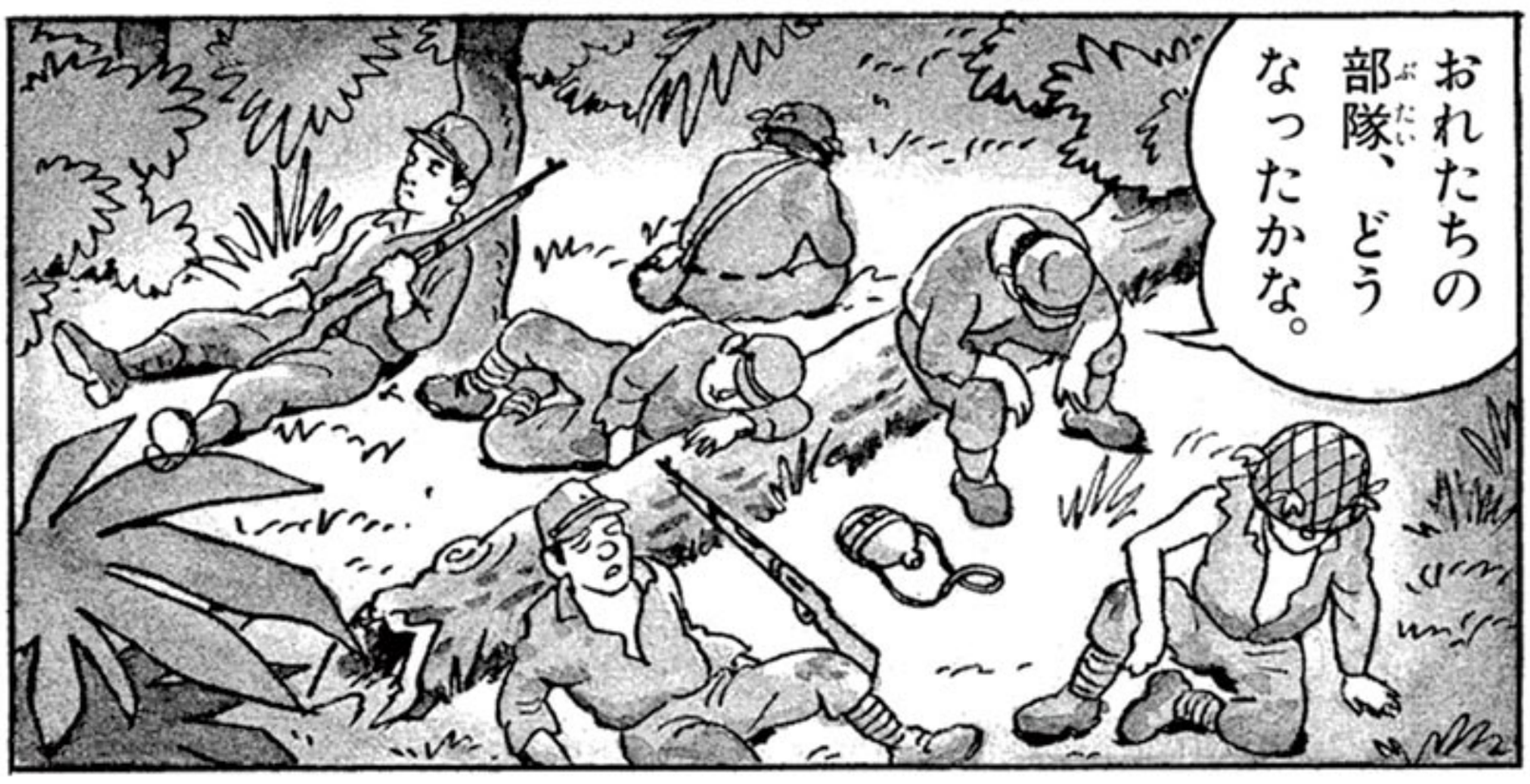

ブロロロ

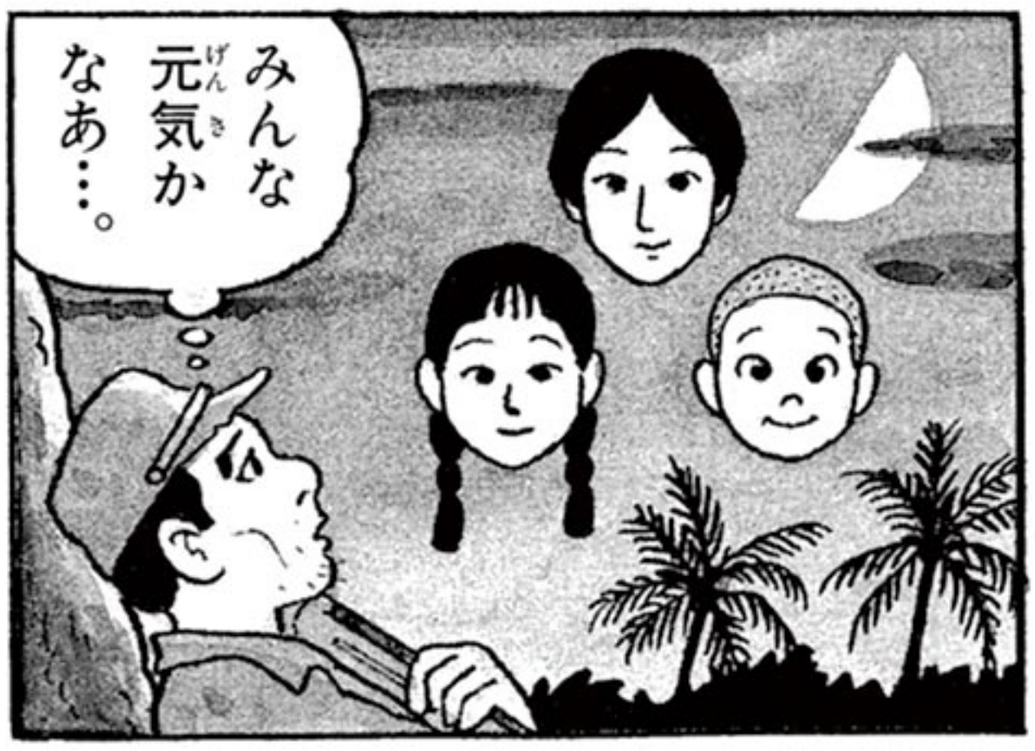
ぼくだよ、びっくりしたかい？
ま、元気だったの!?

日本軍は、あちこちの島で抵抗をつづけている。

ぼくも米軍の支援で、もうしばらくゲリラをやるつもりだ。

きっと帰って来てね。
そうしたら、結婚しよう。


おれたちの部隊、どうなったかな。


みんな元気かなあ…。

な、何だ!?
ゲリラらしいぞ。

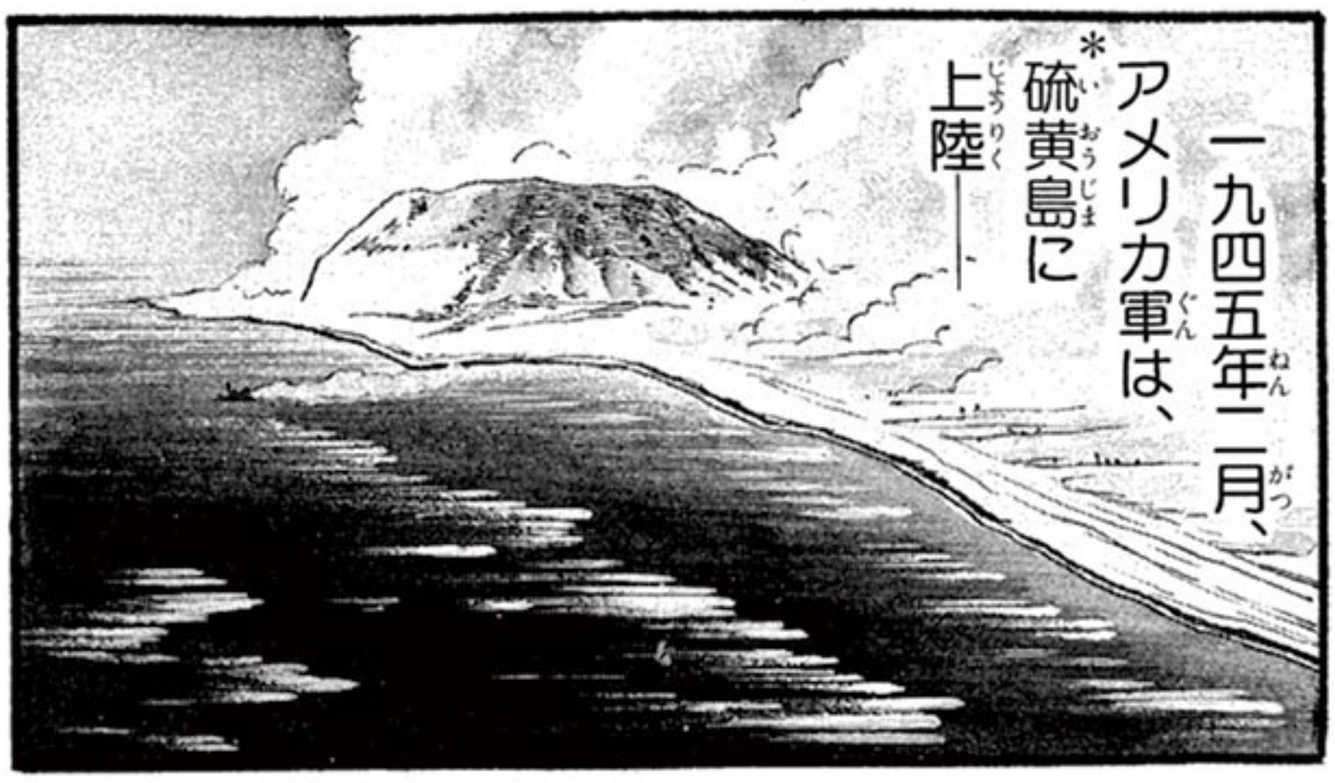
ここは危険だ。
もっと奥へにげろ。

何週間もさまよいつづけている…。
食い物がほしい!

ハアハア

マラリアでもうだめだ。
しっかりしろ。
バタッ

しかたない、先に行くぞ。



*硫黄島…小笠原諸島にある島。現在の正式な読み方は「いおうとう」。

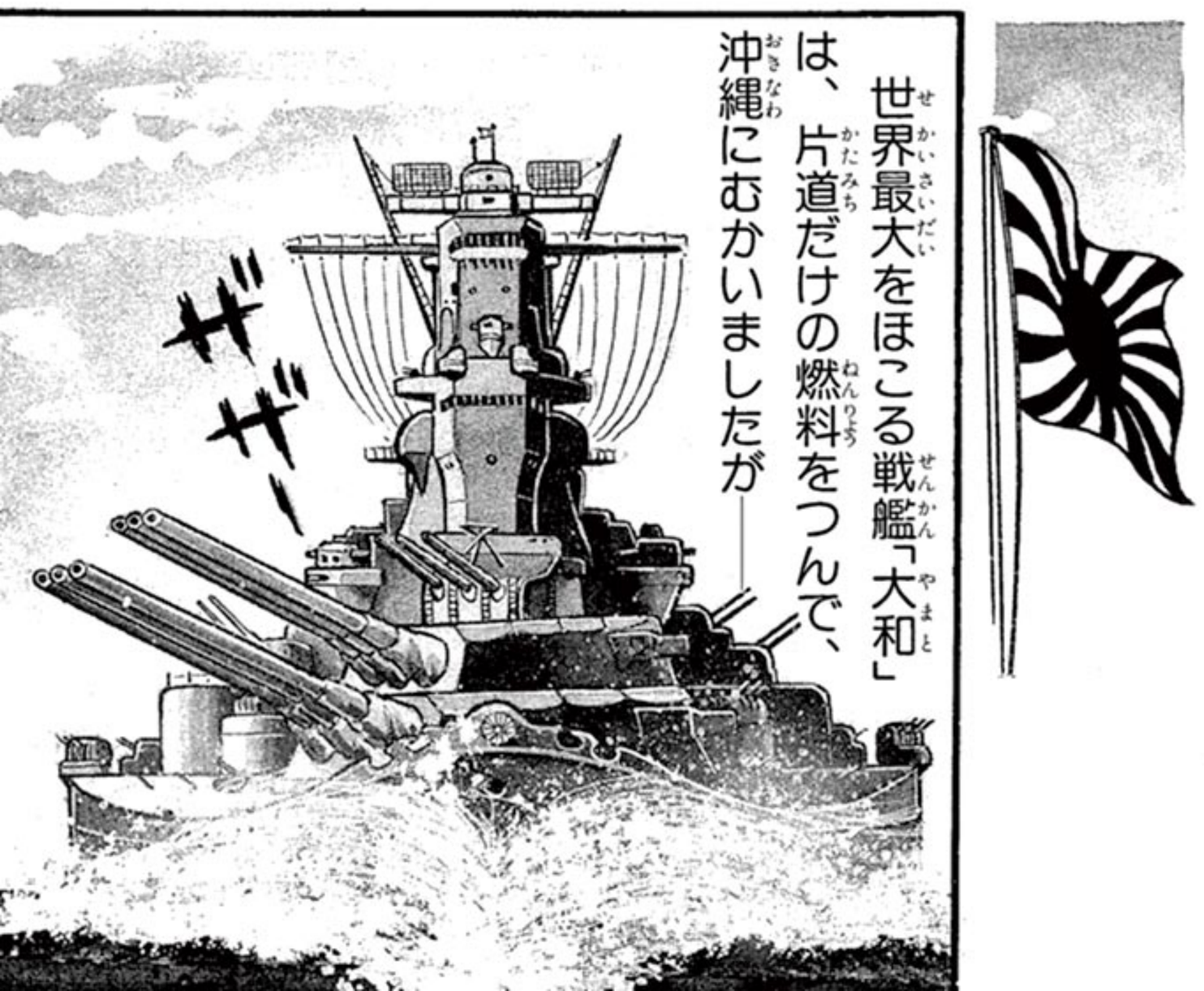
*下町…台東区・中央区・江東区などの土地の低い地域。

この三月九日から十日にかけての空襲では、下町に大きな被害をうけました。死者十万、焼失家屋二十六万九千にものぼりました。

ゴーッ
ドカーン
ドカーン
キャーッ

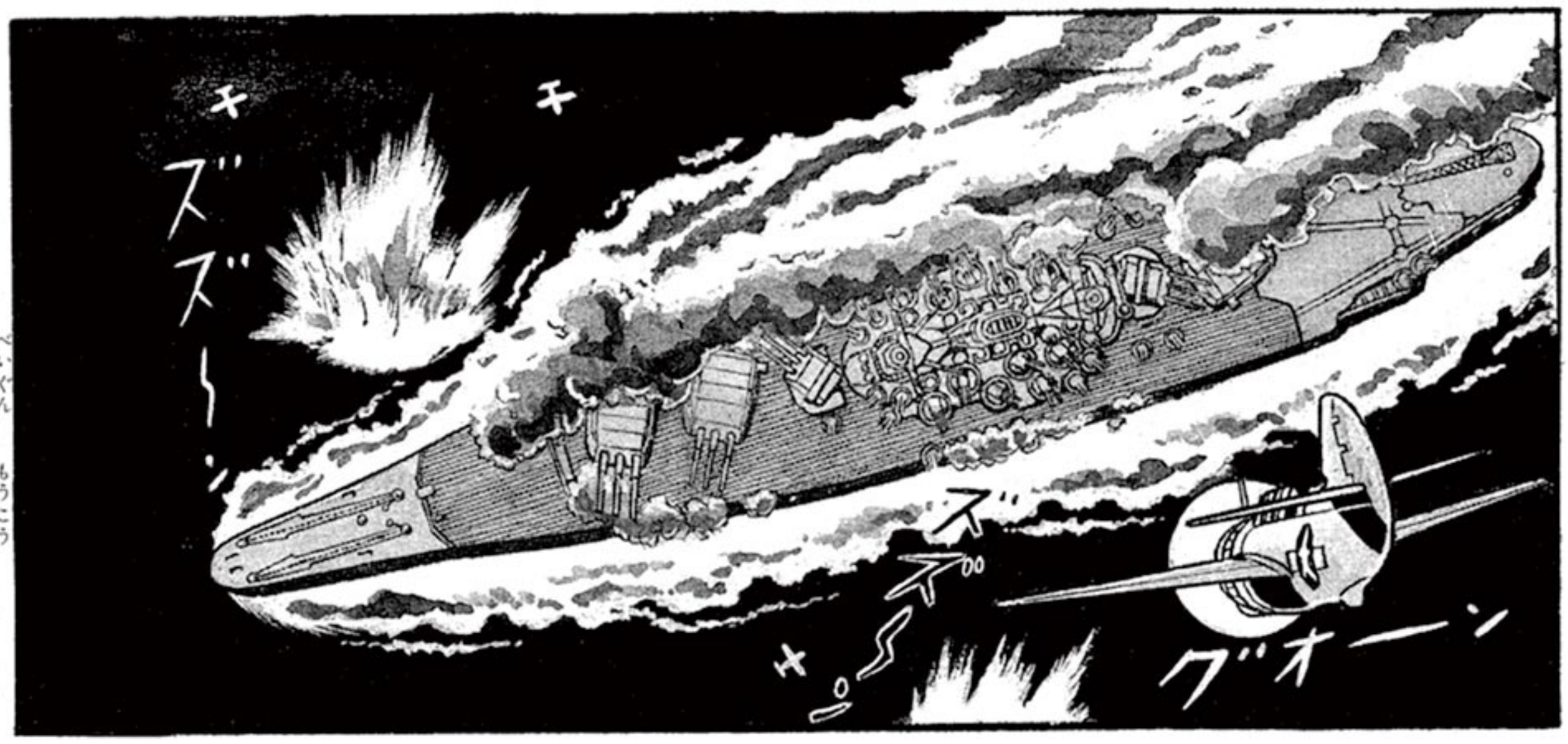
その後、米軍機は大都市だけではなく、中都市もねらうようになり、福井市のように家屋の九割を焼かれるところさえ出ました。

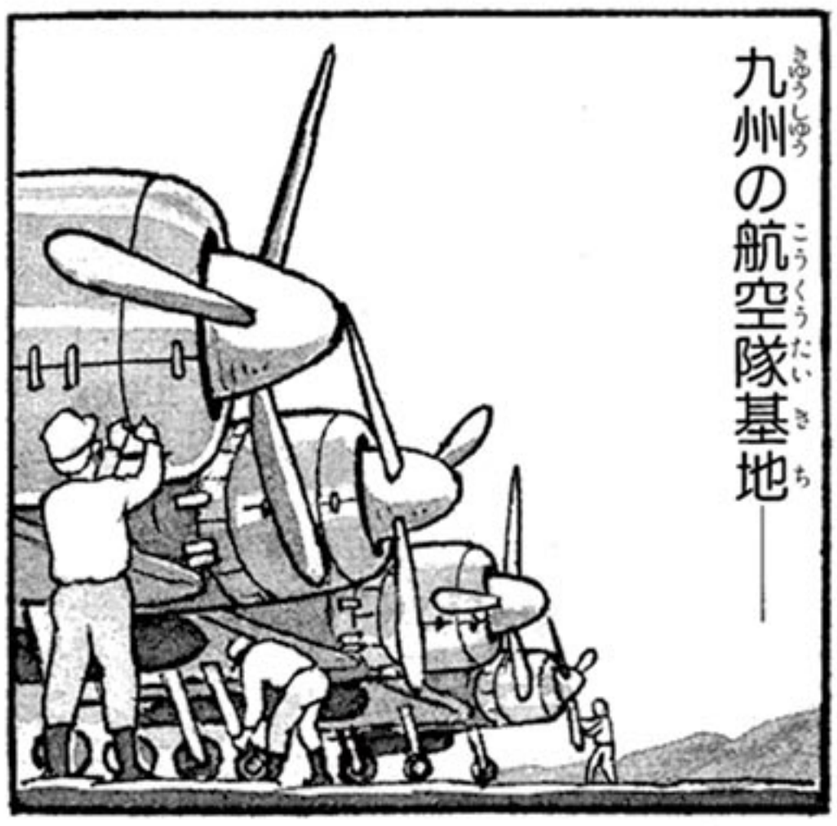
四月一日、米軍は沖縄本島の中部に上陸しました。

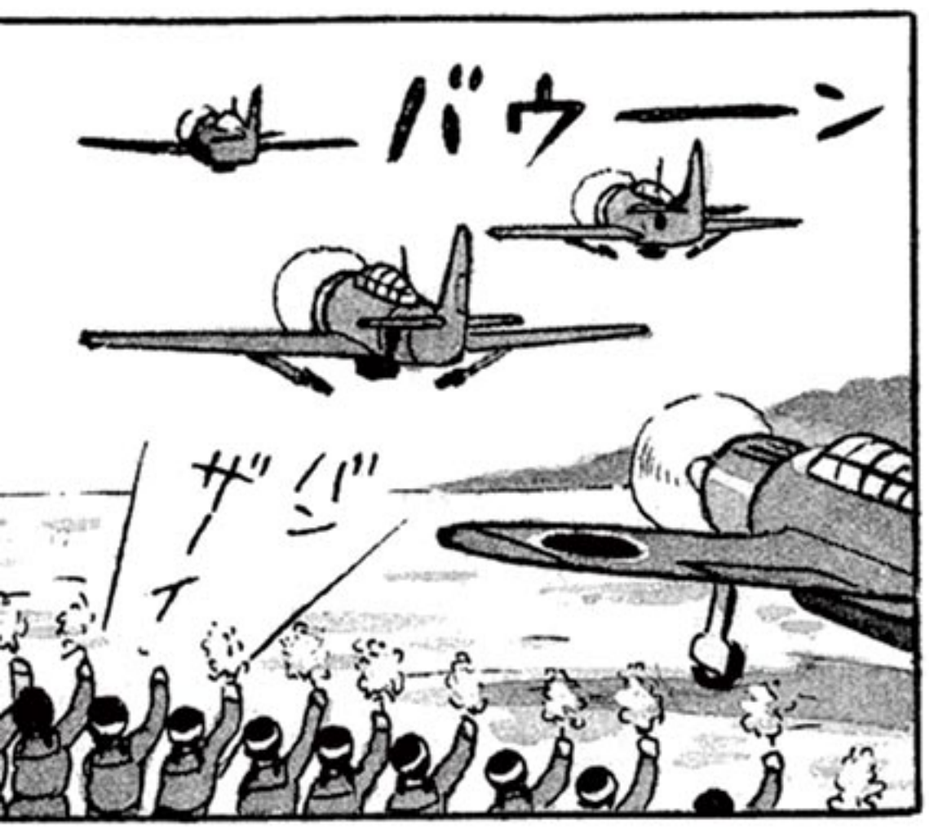


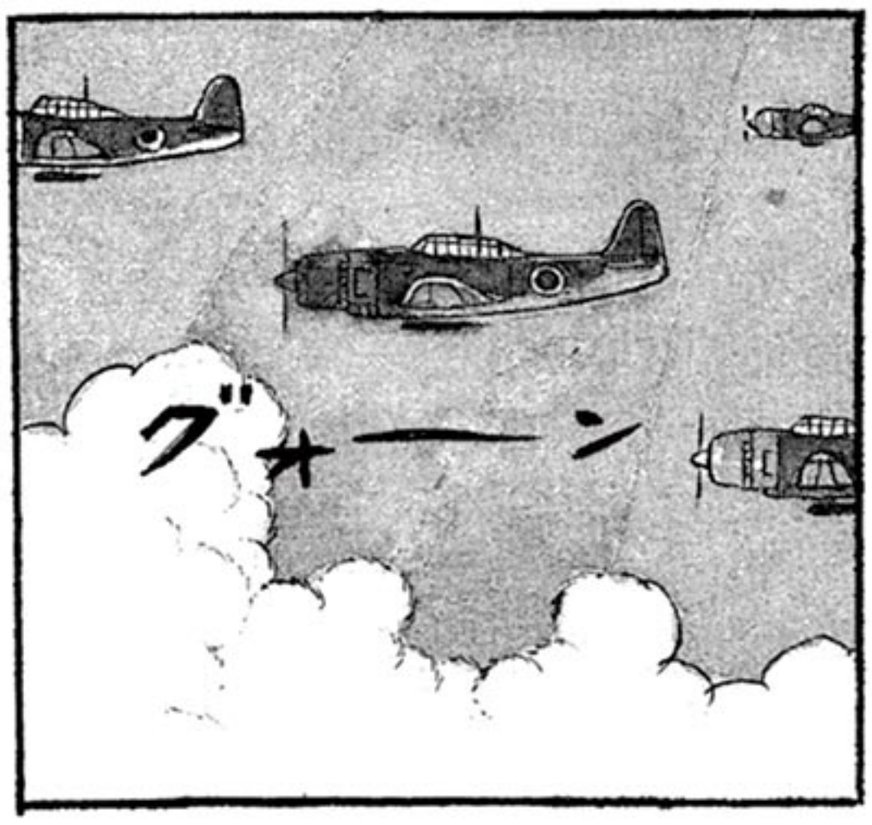
世界最大をほこる戦艦「大和」は、片道だけの燃料をつんで、沖縄にむかいましたが——

とちゅう、米軍の猛攻にあい、沈没しました。

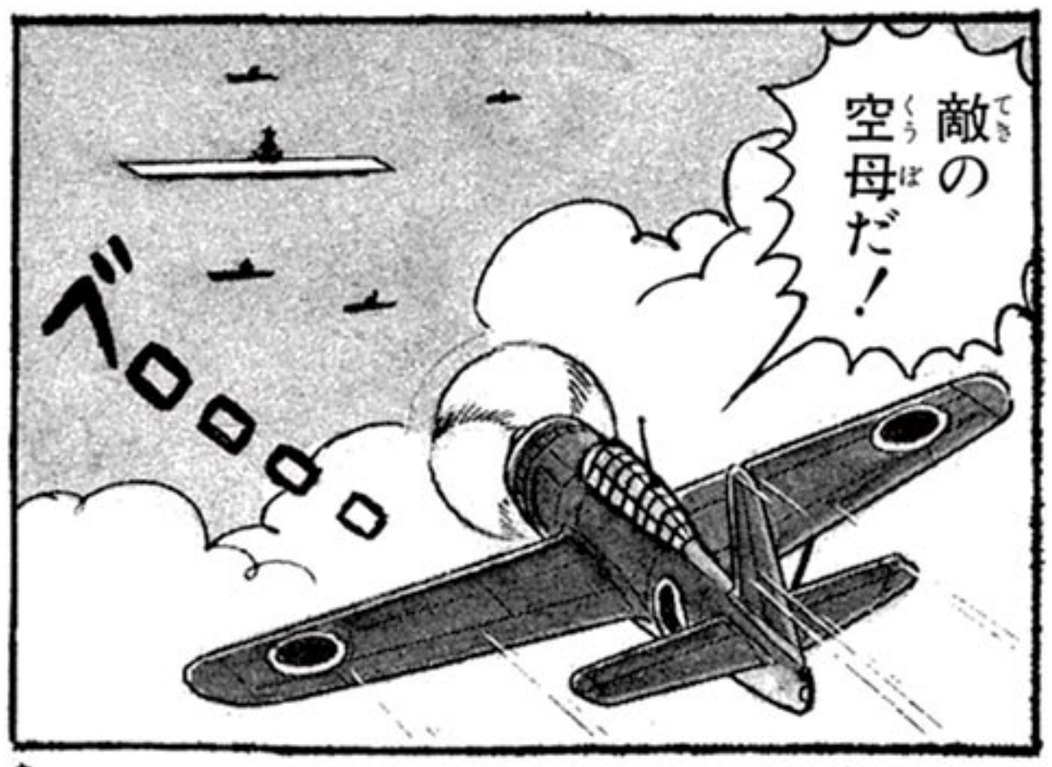


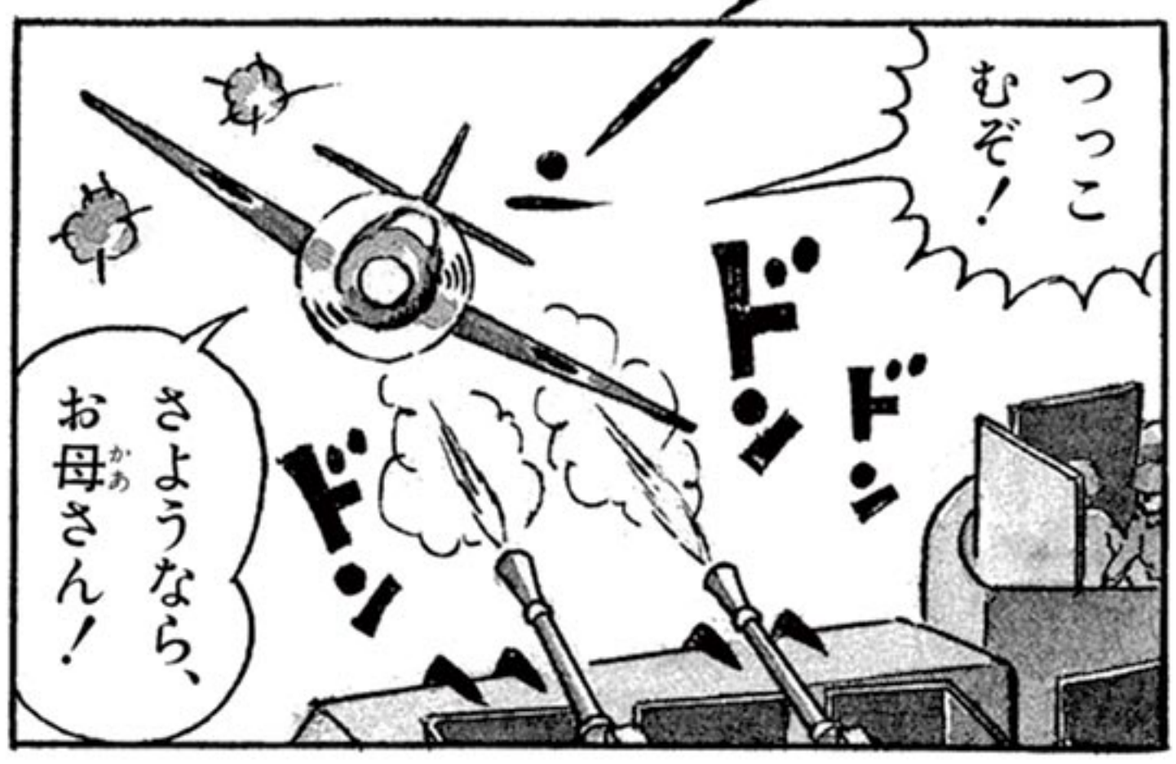






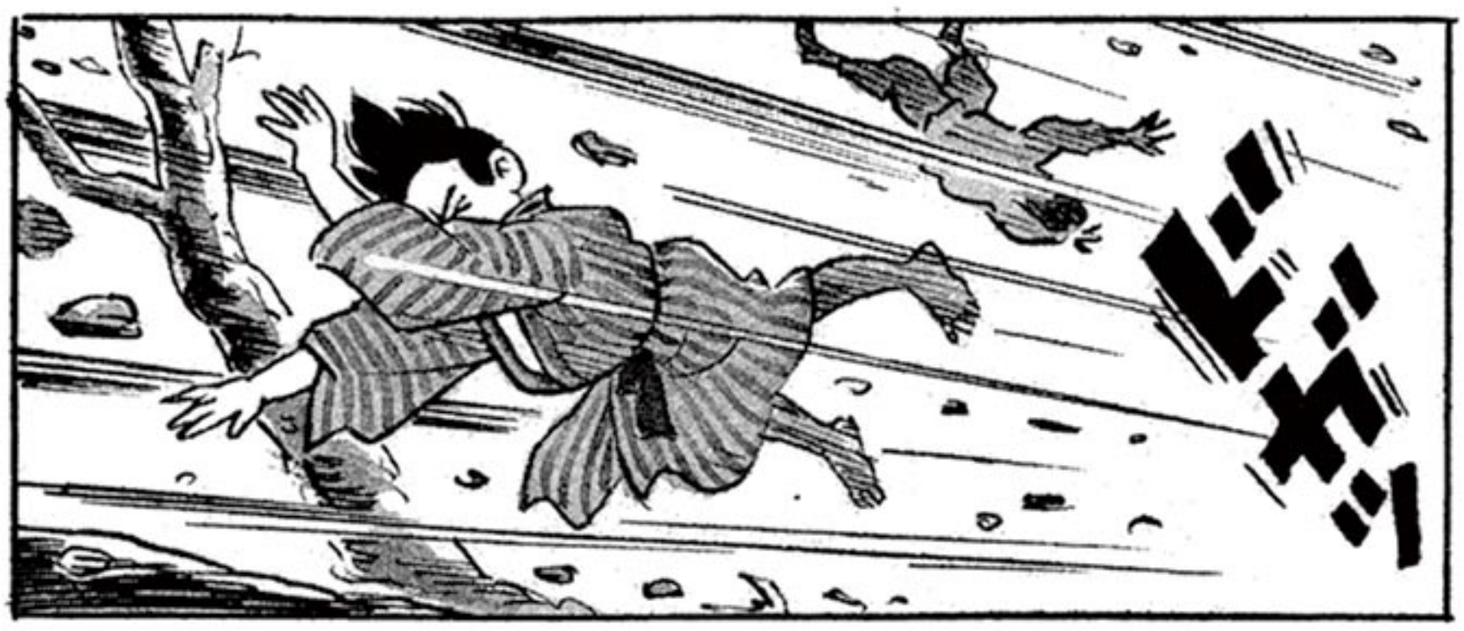
*特攻隊…爆弾をつけて敵艦に体あたりする決死特別攻撃機隊。神風特別攻撃隊。


敵の空母だ！
ベロロロ


つっこむぞ！
ドン
ドン
さようなら、お母さん！

ドカーン

沖縄本島では——
ゲンゴ


ドッ

ドカ

まるで、鉄の暴風だ。
ボーン
ヒュー

よし、おじいさんとにげよう。
エーン

くそ、無差別爆撃をやりやがって!!

沖縄の戦闘は、米軍の圧倒的な優勢のもと、およそ三か月つづきました。一般人が戦いにまきこまれ、悲さんな最期をむかえました。

住民の中には、強いられて集団自決する者、軍の足手まといとして虐殺される者もありました。

学童のぎせいも出ました。前年八月、沖縄からの疎開船「対馬丸」が米潜水艦に沈められ、学童七百人以上が死ぬという事件もありました。

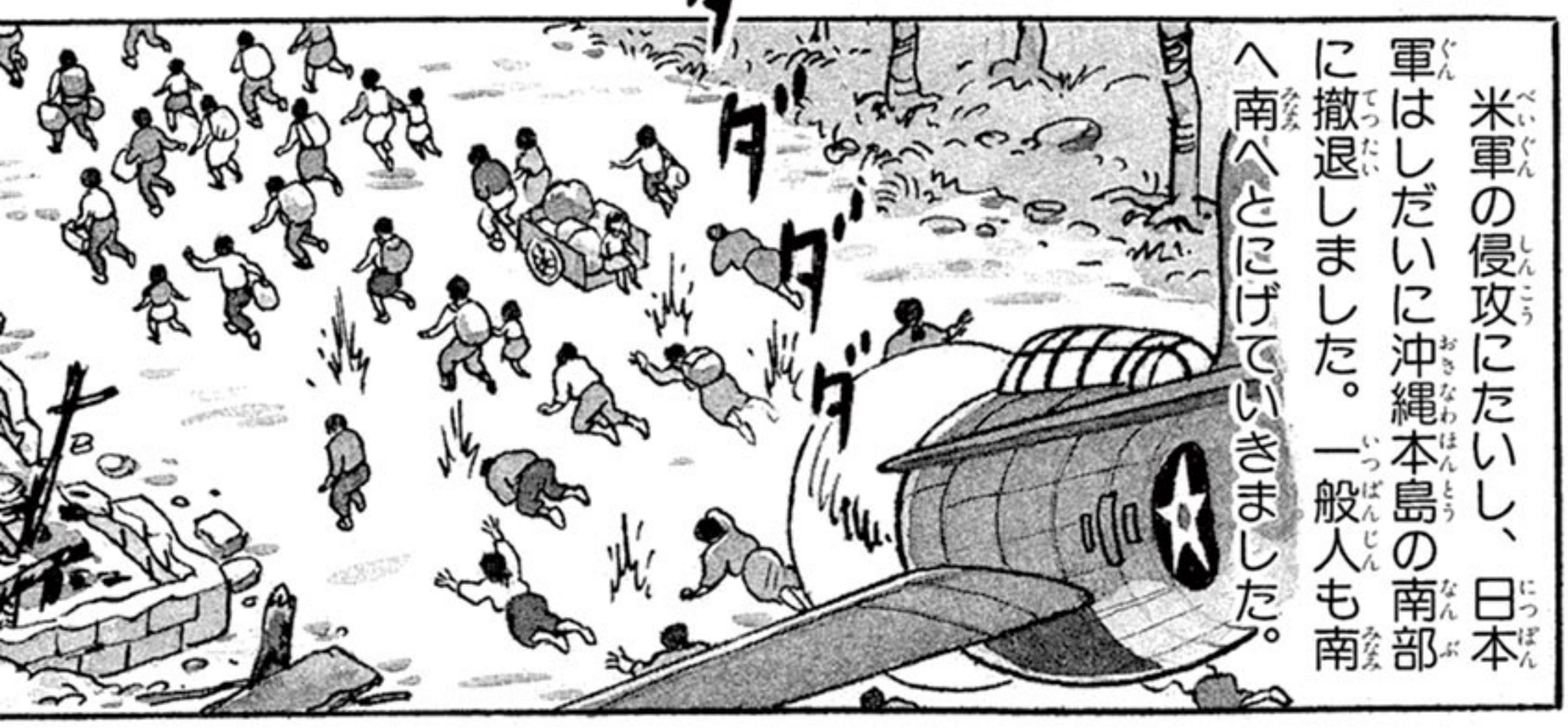
中学生や、師範学校、農林学校、工業学校生たちは「鉄血勤皇隊」に組織され、銃をとって戦いました。

女学生たちは「女子学徒隊」として、従軍看護婦になりました。「ひめゆり部隊」がもっとも知られています。

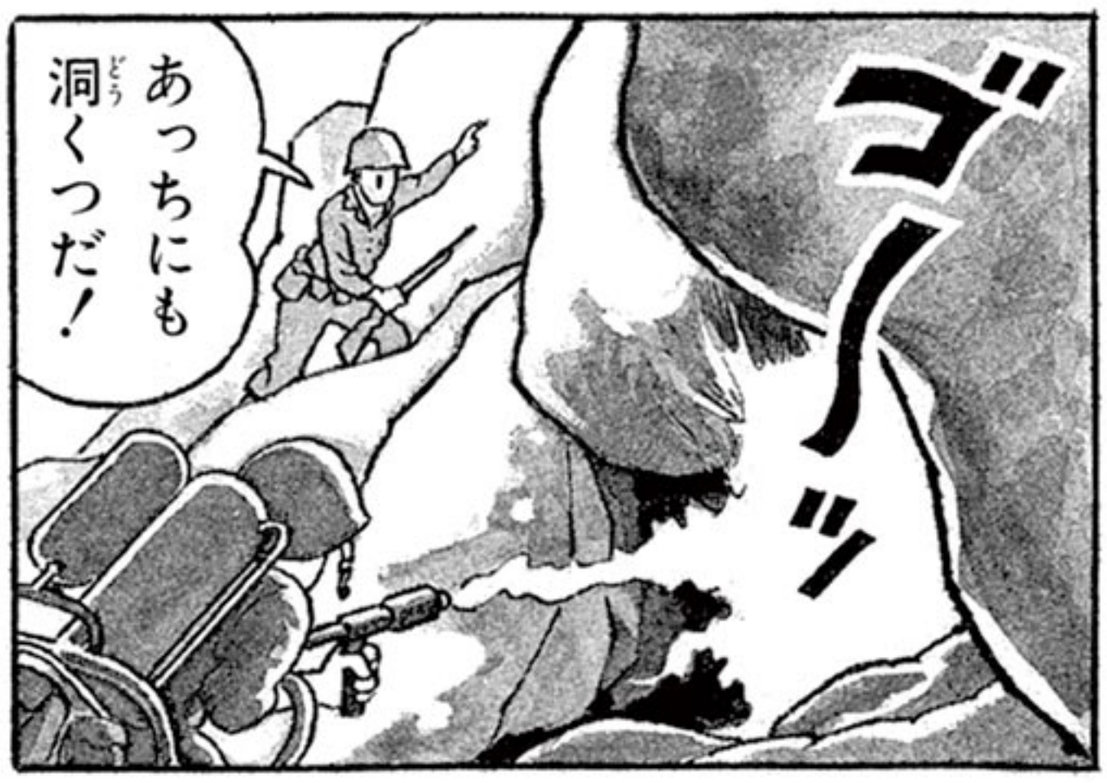
*首里…沖縄本島の那覇市の東方にある都市。（現在は那覇市内です）。

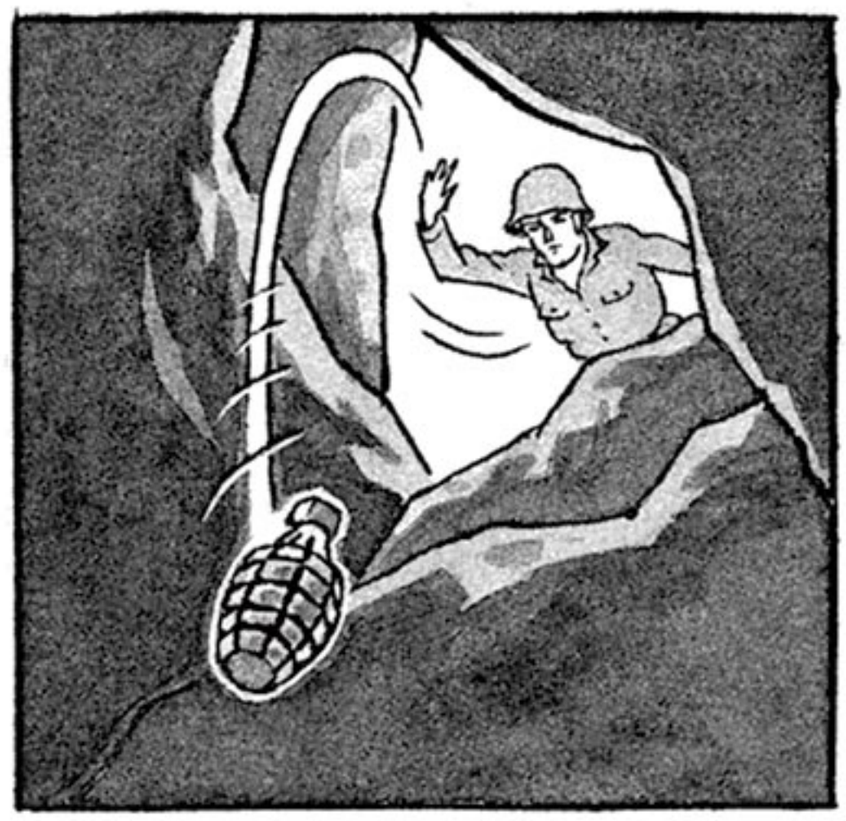
*摩文仁…沖縄本島南部に位置する。

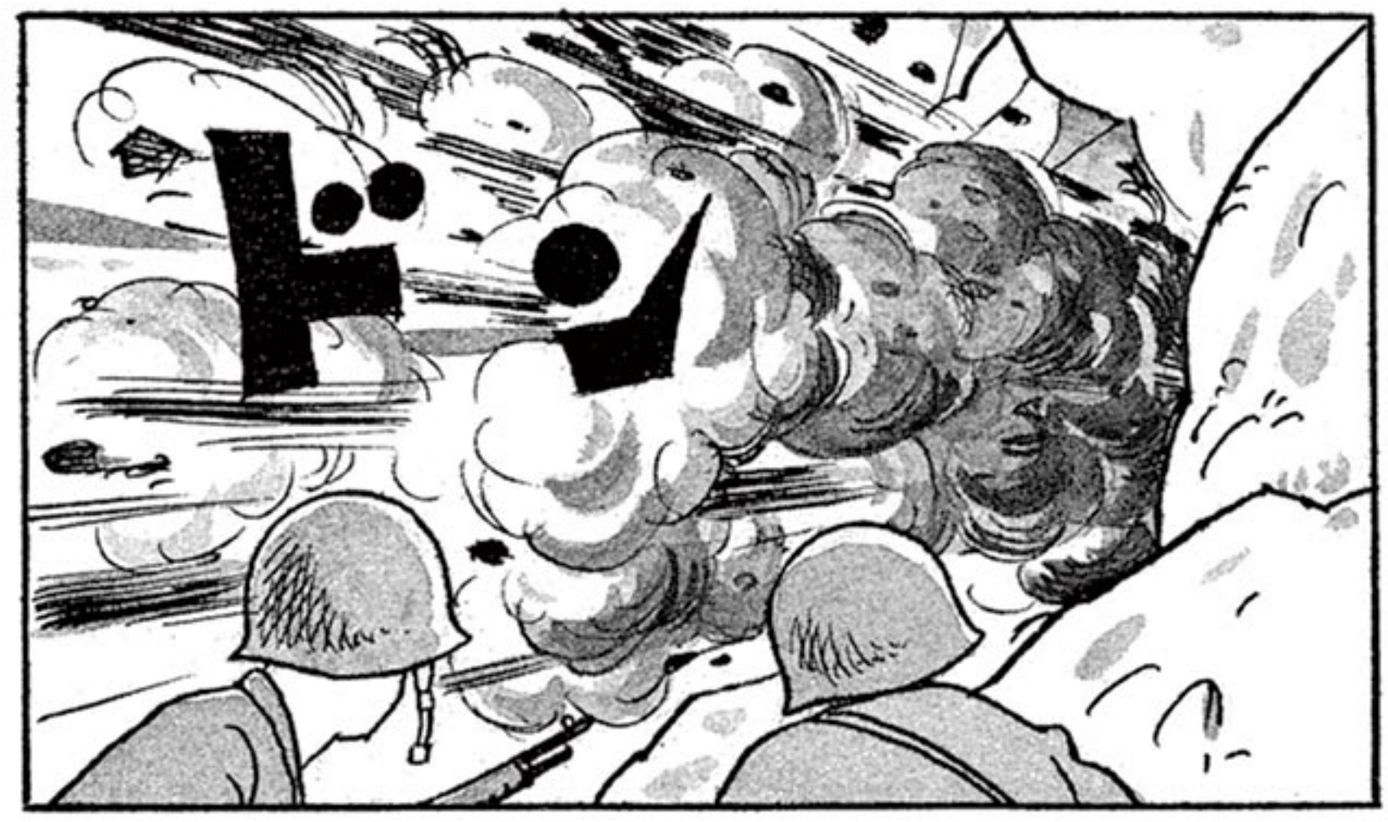
きみたちのことは、先生にまかせなさい！


ダダダダダ
米軍の侵攻にたいし、日本軍はしだいに沖縄本島の南部に撤退しました。一般人も南へ南へとにげていきました。

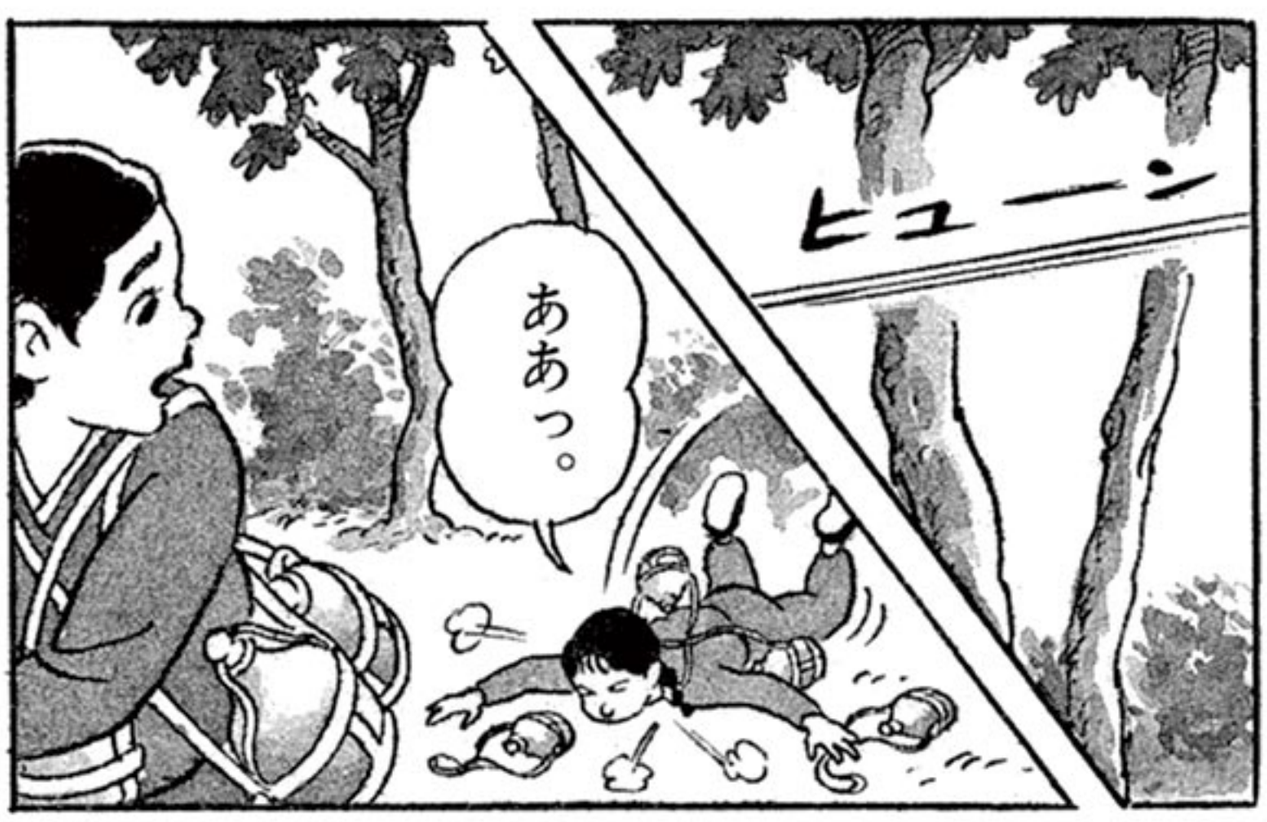
この地方には「ガマ」とよばれる自然の洞くつが多く、軍も住民もその中にたてこもりました。
ここは軍が使用する、出て行け！
そ、そんな！


ゴーッ
あっちにも洞くつだ！





バガーン
ハア
ハア


ヒューン
ああっ。

しっかりして！

わーっ

水をもってきたわ。
お、無事だったか。
ご苦労さま！

もう、食糧もなくなった…。今日の配給だ。

みなさん、「女子学徒隊」は解散との軍の命令が出ました…。
あすはここを出て、それぞれ自由に行動してください。

ええっ！ここを出たら殺されます。
どこへ行けばいいんでしょうか!?

今夜がみんなとの最後ね。
……。
ねえ、みんなで歌いましょう！

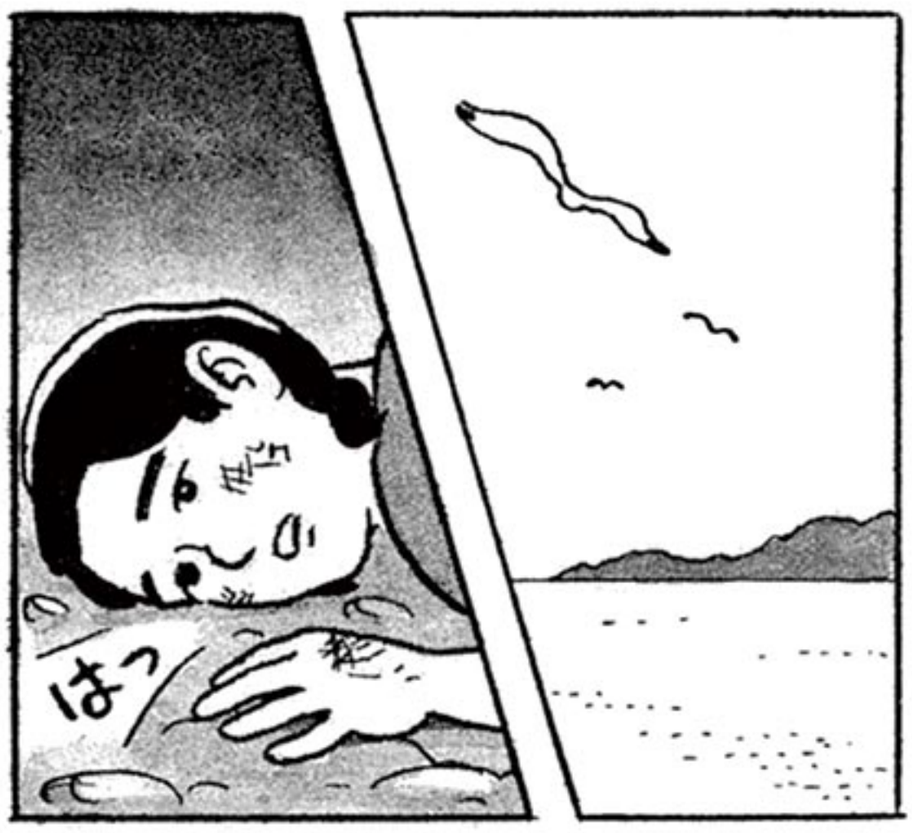
うさぎお〜いし
かのやま〜〜

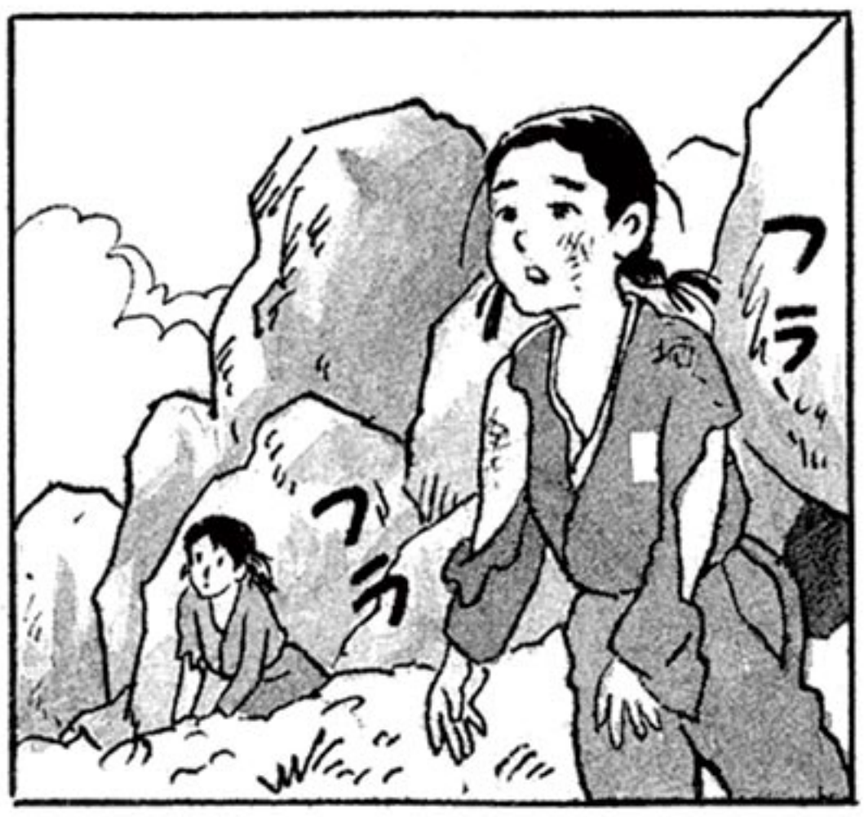
もうすぐ夜明けね。
しっ！外に足音が…。

コノ壕ニ
ヒトハ イマセンカ
イタラ出テキナサイ

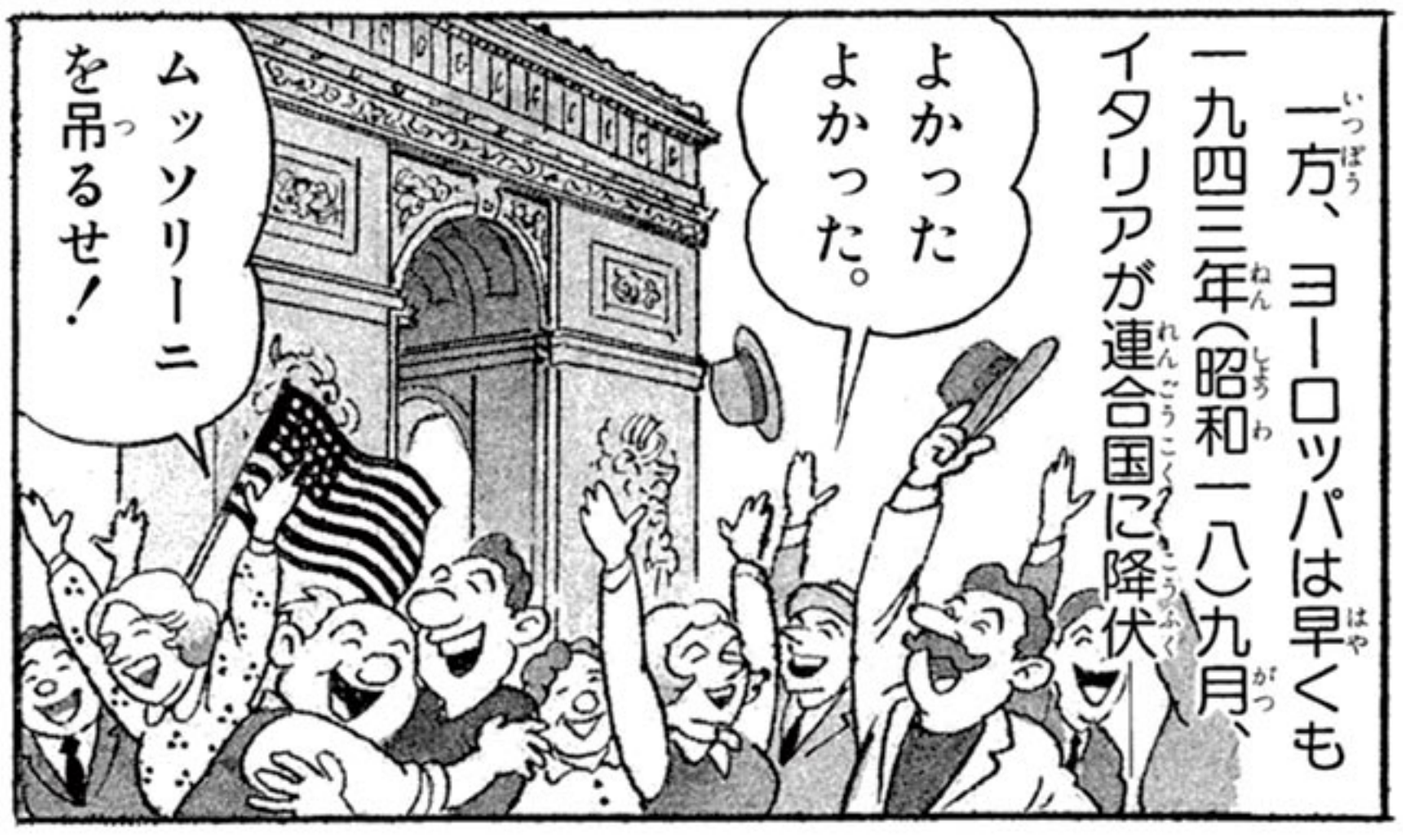
スグニ出テオイデ
出テコナイト爆破シマス
……。
もうおわりね。

ドガン


はっ



たびかさなる空襲、物価高、食糧難、軍部や政府への不信。このころになると国民の間には、戦争をいやがる気持ちがずいぶん高まっていきました。



一方、ヨーロッパは早くも一九四三年(昭和一八)九月、イタリアが連合国に降伏

一九四五年(昭和二〇)四月にはヒトラーが自殺し、ドイツも連合国に降伏しました。

＊宣言…これを「ポツダム宣言」という。

七月、ドイツのポツダムで米・英・ソの首脳が会議をひらきました。

米大統領＊トルーマン

日本にたいし、無条件降伏の要求を宣言しましょう。

ソ連首相スターリン

わが国には、いまだ日本との中立条約が生きています。

英国首相チャーチル

では、米・英・中の名で＊宣言を出しましょう。

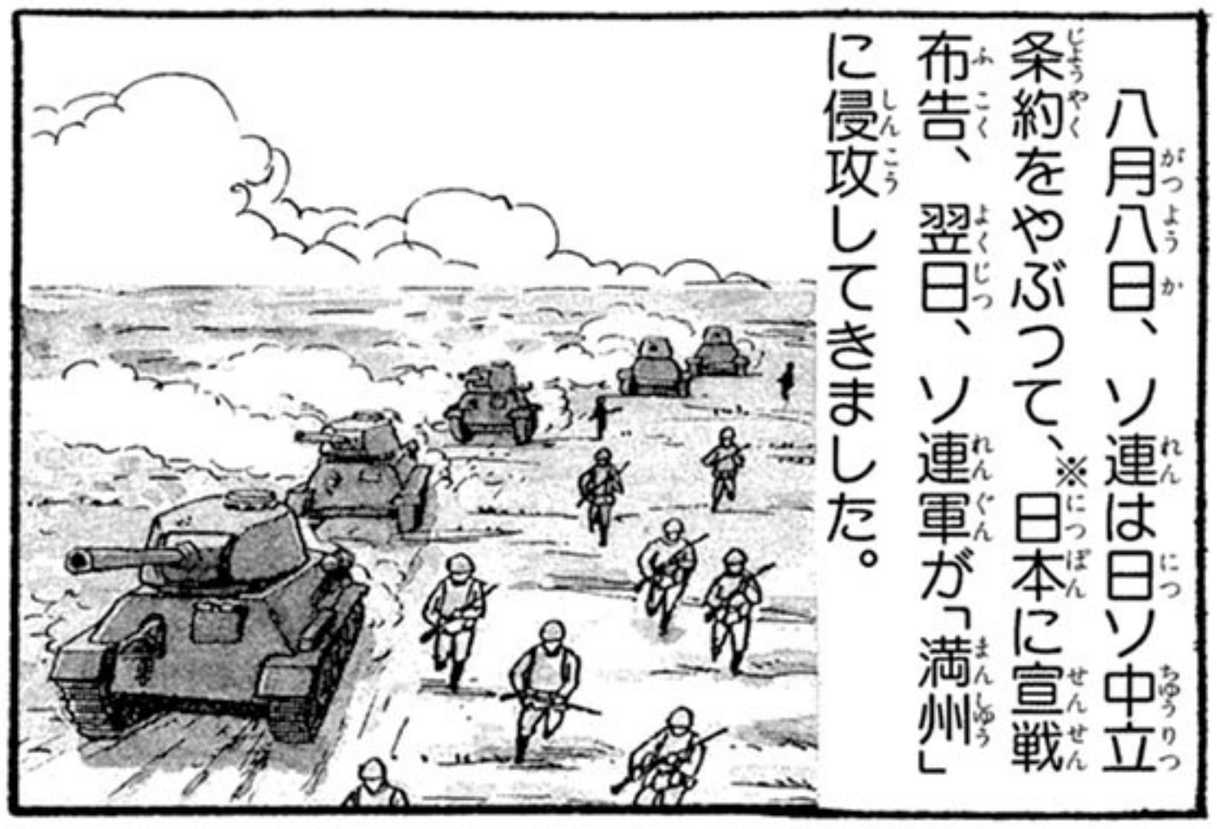
もし、日本が要求をうけ入れなかったら？

てっていてい的に破壊するのみですな。

＊トルーマン…ローズベルト大統領は一九四五年四月になくなり、トルーマンがあとをついだ。

日本は「ポツダム宣言」を黙殺しました。そして八月六日——

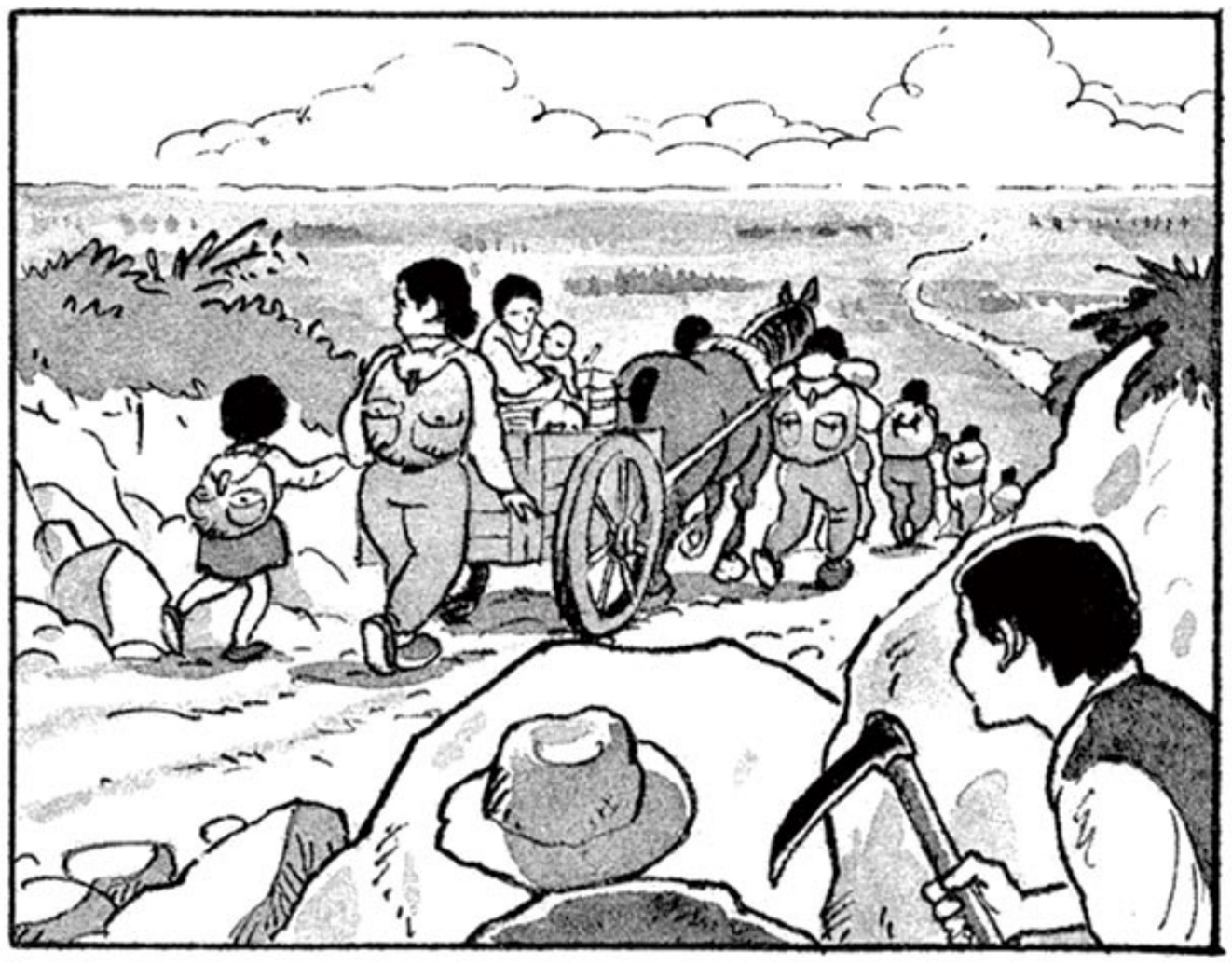
アメリカによって、世界ではじめて原子爆弾が広島に投下されました。死傷者およそ二十四万人——



八月八日、ソ連は日ソ中立条約をやぶって、※日本に宣戦布告、翌日、ソ連軍が「満州」に侵攻してきました。

※日本政府は、6月以降、ソ連参戦を防ぐため必死で対ソ工作をしていた。

八月九日、長崎にも原爆が投下されました。死傷者は十二万以上――



無条件降伏か、本土決戦か。八月九日から十日にかけて御前会議がひらかれ、十四日、最終的にポツダム宣言をうけ入れることがきまりました。

八月十五日――

ギラ ギラ ジ ジ

正午から重大放送があるそうよ。

パチ

*朕、深く世界の大勢と帝国の現状とにかんがみ…。

陛下のおことばだわ。

え!?

四国にたいし、その共同宣言を受諾する旨……朕は、帝国と共に終始東亜の解放に…。

よく聞こえんな。

陛下は、もっとがんばって戦うよう、わたしたちをはげましていらっしゃるのよ。

いや、ちがうぞ!

くそっ、降伏したのか!

ううっ、陛下にもうしわけない。

…朕は、時運のおもむくところ、たえがたきをたえ、しのびがたきをしのび……。

…総力を将来の建設にかたむけ…。

ま、負けたのか。

ガヤ ピーピー

戦ひ抜かう大東亞戰!

*朕が意を体せよ。

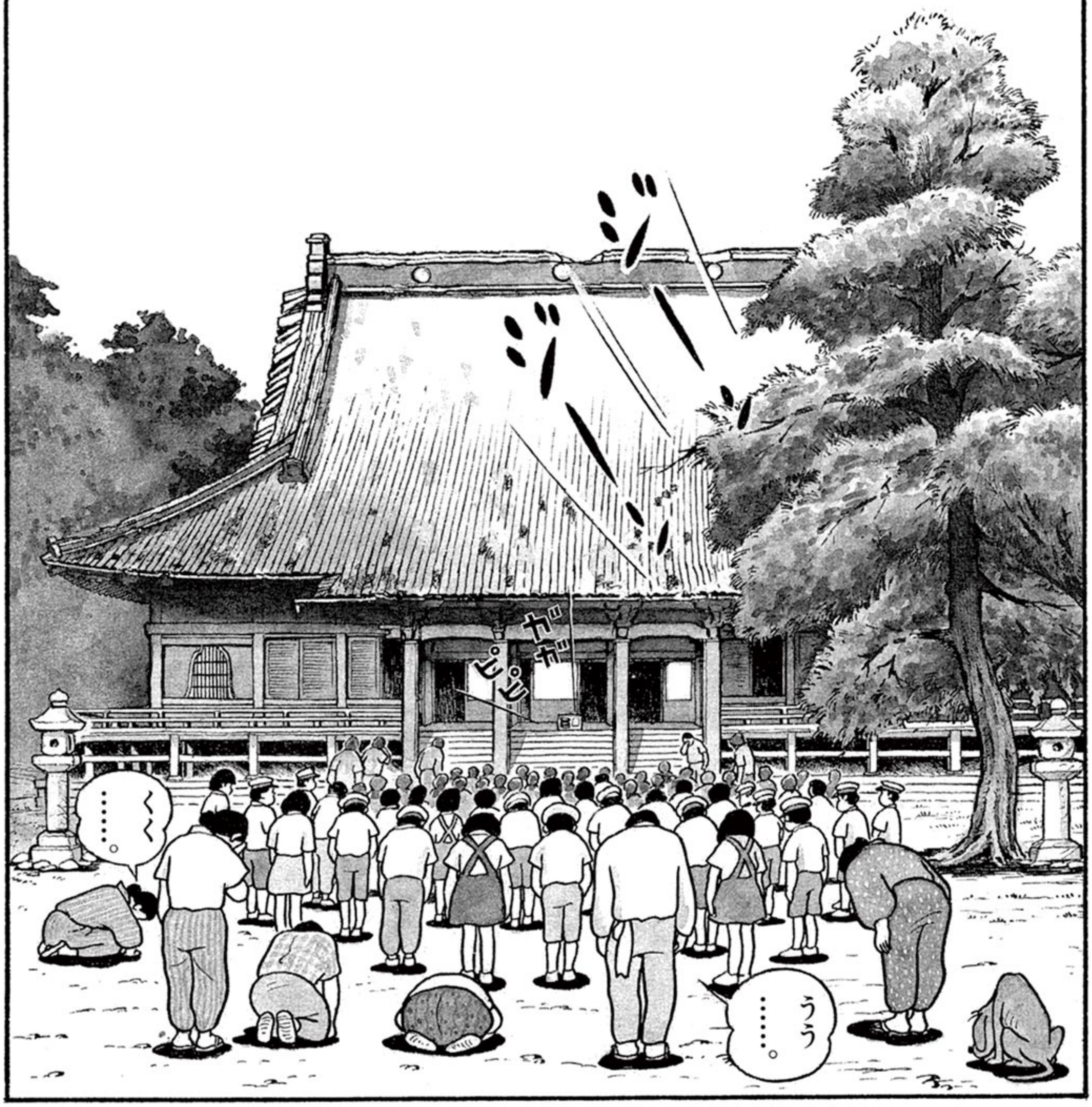
*朕…天皇が自分をさしていうことば。われ。

*朕が意を体せよ…われのいうことを、よく心にとめてまもりなさい。

こうして、日本は降伏しました。

真珠湾攻撃から四年、この戦争の遠因となった「満州事変」から数えると十五年間の長い苦しい戦争でした。三百万人以上もの日本人と二千万人以上といわれるアジアの諸民族、連合国の兵士たちの生命がうしなわれました。「大日本帝国」はくずれさり、中国や東南アジア諸国への侵略もおわりました。

敗戦を機会に日本はどのようにかわっていくのでしょうか。



小学館 eBooks

おうちの方へ

戦争と降伏

京都教育大学名誉教授　高山博之

大正から昭和に続く長い不景気の中で、日本の大陸侵出は強まり、国内では軍国主義の風潮がしだいに高まっていきました。

「十五年戦争」という言葉があります。「満州事変」、日中戦争、太平洋戦争と、日本は15年間も血みどろの対外戦争を続け、そして敗戦を迎えたのです。しかし、この大きな破局は、それまでの近代化路線への反省を生み、新しい平和な日本を誕生させるきっかけになりました。

今日の平和と繁栄を、国際協調を基調に、さらに発展させるためには、「十五年戦争」の時代を改めてしっかり見つめ直すことが大切です。

●第1章「中国への侵略と二・二六事件」

金融恐慌に続く世界恐慌。深刻な不景気と中国における国民政府の動向に危機感を深めた軍部は、ついに「満州事変」、上海事変をひきおこしました。国際連盟は、これを日本の侵略として非難しましたが、日本は連盟を脱退し、「満州」の植民地化を策して、かいらい政権の「満州国」を建設するとともに、ソ連とも対峙します。

国内では、軍部の勢いが強まり、五・一五事件や二・二六事件がおこって、政党政治は葬り去られ、軍部独裁へ進みます。自由主義や社会主義への弾圧も強化され、言論・思想が厳しく統制される暗い時代になりました。軍国主義の恐ろしさをしっかり読みとらせましょう。

●第2章「日中戦争」

「満州」植民地化をめぐる日中両国の対立が深まり、ついに日中戦争が始まりました。政府の不拡大方針をよそに、現地では全面戦争に発展、南京大虐殺などの日本軍の残虐行為もおこされたのです。中国では、国民政府と共産党が同盟

して抵抗を続け、戦いは泥沼化しました。

他方、ヨーロッパでは、ドイツの侵略によって第二次世界大戦が始まりました。日中戦争打開を図って東南アジアに侵攻した日本は、米英との対立を深め、孤立を恐れて独・伊と軍事同盟を、ソ連とは中立条約を結びました。日本は、破滅の日米戦にふみ込むのです。中国に対する加害の事実をしっかり見つめさせましょう。

●第3章「太平洋戦争」

一九四一年（昭和16）12月8日、永く記憶すべきこの日、太平洋戦争が始まりました。日中戦争が泥沼化した状態のままに、戦線はアジア・太平洋へと拡大し、ヨーロッパの戦争とも結びついて世界大戦に発展しました。

初めの8か月ほど優勢だった日本軍は、物量を誇る連合国軍の反撃にあってしだいに劣勢に立たされ、国民生活も苦しくなります。

大戦の原因を多角的にとらえ、地図を参照しつつ戦争の実相をつかませましょう。

●第4章「日本の降伏」

日本は、植民地解放のための「大東亜戦争」と称して、広い地域を占領しましたが、ガダルカナル戦を境に敗退しはじめました。

各地の島で日本軍が全滅し、やがて本土も空襲にさらされ、国民生活は極度に窮乏、学童疎開も行われます。

そして、ついに沖縄の激戦、広島・長崎への世界最初の原子爆弾投下、ソ連の「満州国」侵入と次つぎと悲劇が拡大し、大日本帝国は破滅しました。

戦火に倒れたたくさんの人びと、極限状態のなかで生き抜いた人びと、疎開の子どもたちなどの悲しみや苦しみに思いを馳せながら、悲惨な戦争の意味と平和の重みを考えさせたいものです。

児玉幸多
Kouta Kodama

歴史を漫画で説明しようというのはかなり冒険である。しかし、文字で読んでも、耳から聞いても、人それぞれに頭の中ではその光景を絵に描いているのである。それが子供たちの頭の中で全くの絵空事にならないように、今の歴史研究の段階では、このくらいのところまでは漫画にすることができるのではないかという試みがこの企画である。

それぞれの専門研究家の指導によって一巻ごとの構成を決め、作図や文章表現も考慮しているので、誤った知識を得る恐れはないと思う。そして、多分、大人が読んでも、あるいは見ても、十分に楽しみながら日本歴史の学習ができるのではないかとも考えている。遺跡の発掘、奈良の大仏の鋳造、天守閣の構築、それらの一つ一つにも、専門家の新しい研究成果が判りやすく盛りこまれているからである。楽しみながら正確な知識が得られることを願う次第である。

小学館 eBooks
学習まんが　少年少女 日本の歴史　第 20 巻　アジアと太平洋の戦い

2015 年 3 月 27 日　電子書籍版発行
監　修　児玉幸多
まんが　あおむら 純
発行人　伊藤 護
発行所　株式会社　小学館
〒101-8001
東京都千代田区一ツ橋 2-3-1
s-ebook@shogakukan.co.jp

底　本　2014 年 12 月 23 日　増補版第 23 刷発行

©SHOGAKUKAN 2015 ISBN978-4-09-298120-1

※ご注意
本作品の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および
有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。
個人利用の目的以外での複製など違法行為、もしくは第三者への譲渡をしますと
著作権法、その他関連法によって処罰されます。

小学館 eBooks

重要年代をかんたんに早おぼえ
電子版特典
日本の歴史
パノラマ年表
年代早おぼえ/滝沢てるお
小学館版　学習まんが
少年少女日本の歴史
小学館

■旧石器時代から室町時代

旧石器時代

今から二〇〇万年前

日本列島の骨格ができる。〈フワワっと　列島できたゾ　二〇〇万年前〉 200

このころより、採集・かりと漁の生活がはじまる。

四万～二万九〇〇〇年前

ナウマンゾウ狩りをした。〈旧石器人　ナウマンゾウを　煮てまんねん〉 2000

縄文時代

一万五〇〇〇年～一万一〇〇〇年前

狩りと採集の生活をおくる。〈縄文土器に　貝や木の実が　入っちまんねん〉 1000

このころより、農耕生活がはじまる。

二八〇〇年～二四〇〇年前

稲作が伝わり、全国に広がる。〈稲作は　西のほうから　大陸から〉 2400

弥生時代

二〇〇〇年前ころ

身分の差ができ、小国家ができる。〈小国家　生まれてどれも　似てんねん〉 2000

五七

倭の奴国王が金印をさずかる。〈こんな金印　はじめて見たと　奴国王〉 57

このころより、日本が統一にむかう。

二三九

卑弥呼が魏に使いをおくる。〈魏の国王　卑弥呼に返事の　文くれた〉 239

三〇〇年前後

古墳や埴輪がつくられはじめる。〈よく見ておれ　これが埴輪の　つくり方〉 300

(大和)時代

五世紀中ごろ

倭の五王の時代になる。〈倭の五王　席をなかなか　離れられず〉 5世紀中

このころ、統一王朝ができる。(大和朝廷)

古墳

四〜五世紀ごろ　渡来人が技術や文化を伝える。〈大陸の　技術わしにも　よこせーよ〉　4〜5世紀

五二七　磐井戦争が起こる。〈朝廷に　そむきその後に　泣く磐井〉　527

五三八　百済の聖明王が仏教を伝える。〈百済から　きた仏像に　ご参拝〉　538

飛鳥時代

天皇中心の国づくりをめざす。

五九三　聖徳太子が摂政となる。〈厩戸の　皇子いくさは　きらいなり〉　593

六〇四　聖徳太子が十七条の憲法を制定する。〈十七条　太子の声を　録音し〉　604

六〇七　聖徳太子が小野妹子を隋へおくる。〈むれなして　隋へとわたる　妹子たち〉　607

六三〇　第一回めの遣唐使をおくる。〈船室で　蒸されてわたる　遣唐使〉　630

六四五　蘇我氏がほろびる（大化の改新）。〈悪いムシ　ころして　大化の　改新だ〉　645

六六三　大和朝廷の軍勢が白村江でやぶれる。〈白村江で　ムム惨敗！　の　日本勢〉　663

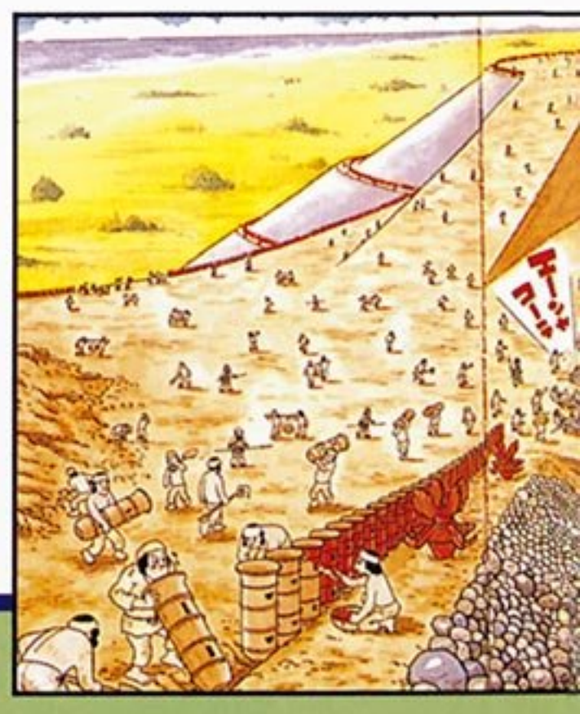
六七二　壬申の乱が起こる。〈壬申の乱　ムッなにごとと　大友皇子〉　672

六九四　持統天皇が都を藤原京にうつす。〈藤原京　都に向くよ　飛鳥より〉　694

律令政治がはじまる。

七〇一　大宝律令を制定する。〈唐にならい　大宝律令　名はいいね〉　701

七〇八　和同開珎がつくられる。〈日本の　お金になれや　和同開珎〉　708



奈良時代

七一〇　元明天皇が都を平城京にうつす。〈都なら　奈良がいいワと　平城京〉 710

七一二　『古事記』ができる。〈できたての『古事記』に　ペーパー　ナイフ入れ〉 712

七二九　藤原光明子が聖武天皇の皇后になる。〈光明子　なに苦労なく　皇后に〉 729

このころ、国をまもる力があるとして、仏教が強く信仰される。

七四一　国分寺・国分尼寺建立の詔を出す。〈国分寺　建てて供える　梨ひとつ〉 741

七四三　墾田永年私財法を公布する。〈農民の　悲しみ深い　私財法〉 743

七五二　東大寺大仏の開眼供養会をおこなう。〈大仏は　長うにこやか　いつまでも〉 752

七五四　鑑真が来日し、戒律を伝える。〈鑑真さま　長うよろしく　ご指導を〉 754

七六六　道鏡が法王となる。〈道鏡は　南無ろくでなしと　お告げあり〉 766

桓武天皇らが、律令政治のたてなおしにつとめる。

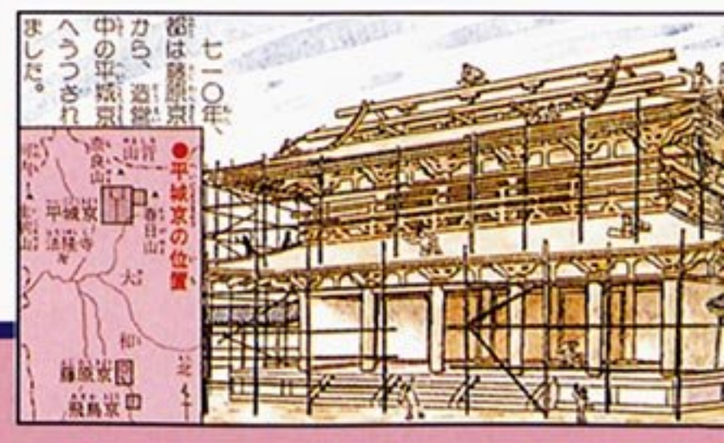
七九四　桓武天皇が都を平安京にうつす。〈平安京　カーブなくして　ごばんの目〉 794

八〇一　坂上田村麻呂が蝦夷平定を進める。〈田村麻呂　「蝦夷をやれい」と　大号令〉 801

八〇六　最澄、空海が新しい仏教を開く。〈最澄と　空海祈り　空晴れむ〉 806

九〇一　菅原道真が大宰府に流される。〈道真は　暗い気持ちで　大宰府へ〉 901

九三五　平将門の乱が起こる。〈将門は　くさいゾ　反乱しそうだゾ〉 935



平安時代

藤原氏が全盛期をむかえる。（摂関政治の全盛期）

一〇一六　藤原道長が摂政となる。〈道長の　摂政祝い　むせび泣く〉 101 6

十一世紀はじめ　『枕草子』、『源氏物語』が書かれる。〈いい本は　十一世紀　はじめころ〉 11

一〇五一　前九年の役を源氏がしずめる。〈前九年　どすこい源氏が　白星だ〉 1051

一〇五三　平等院鳳凰堂が完成する。〈鳳凰堂　ゴミひとつない　美しさ〉 10 53

院政がはじまり、藤原氏がおとろえる。

一〇八六　白河上皇が院政をはじめる。〈院政を　「どうやろうか」と　白河上皇〉 1086

一一二四　奥州藤原氏が中尊寺金色堂を建てる。〈金色堂　人びとふして　おがみます〉 1124

一一五六　保元の乱が起こる。〈保元の乱で　源平対立　いいころだ〉 1156

一一五九　平治の乱が起こる。〈平治の乱　平家の人びと　強弓で勝つ〉 11 59

平氏がさかえる。

一一六七　平清盛が太政大臣となる。〈平家に　あらざる人びと　ろくなことなし〉 1167

一一七三　平清盛が日宋貿易を発展させる。〈清盛は　いい波こえて　宋と貿易〉 1173

一一八〇　源頼朝が挙兵する。〈いいやつを　集めて頼朝　兵をあげ〉 1180

一一八五　平氏が滅亡する。〈もういいや　ここが最期の　壇ノ浦〉 1185

鎌倉時代

武家政治がはじまる。

一一八九　源義経が藤原泰衡に討たれる。〈人びとは　九郎義経の　死をいたみ〉 1189

一一九二　源頼朝が征夷大将軍に任じられる。〈頼朝よ　いい国つくれ　鎌倉で〉 1192

一二〇三　執権政治がはじまる。〈時政は　執権政治で　ひとにらみ〉 1203

一二一九　将軍実朝がころされ、源氏がほろぶ。〈源氏消え　世は北条の　人にいく〉 1219

一二二一　承久の乱が起こる。〈承久の　乱は幕府の　人に〉 1221

一二二一　六波羅探題がおかれる。〈いつ不意に　ケチをつけるか　六波羅探題〉 1221

一二三二　北条泰時が御成敗式目を制定する。〈悪い人　罪にするのも　御成敗〉 1232

一二五三　日蓮が法華宗（日蓮宗）をおこす。〈日蓮は　一時ゴミだと　島流し〉 1253

一二七四　元・高麗軍が北九州をおそう。〈元寇の　人船酔いで　戦えず〉 1274

鎌倉幕府がますますおとろえていく。

一二九七　永仁の徳政令が出される。〈徳政令　ひにくな結果で　すぐ廃止〉 1297

一三三一　楠木正成が倒幕の兵をあげる。〈倒幕だ　いざさい配を　楠木に〉 1331

一三三一　吉田兼好の『徒然草』ができる。〈書きあげた　徒然草に　いざサイン〉 1331

一三三三　鎌倉幕府がほろぶ。〈幕府消え　エッサッサッサ　さあ踊れ〉 1333

南北朝時代

一三三四　建武の新政がはじまる。〈建武だと　はりきる人の　ひとみ見よ〉 1334

南北朝の動乱がはじまる。

一三三六　南北朝の動乱がはじまる。〈京を見る　ひとみ寒かろ　後醍醐帝〉 1336

一三三八　足利尊氏が征夷大将軍となる。〈尊氏の　ひとみさわやか　大将軍〉 1338

一三九七　足利義満が北山に金閣を建てる。〈金閣は　歴史に残る　ヒット作なり〉 1397

一四〇四　足利義満が勘合貿易をはじめる。〈勘合船　明の品だよ　人寄れよ〉 1404

一四二八　正長の土一揆が起こる。〈土一揆で　人夜逃げやめ　楽になり〉 1428

室町時代

応仁の乱が起こり、下克上の世となる。

一四六七　応仁の乱が起こる。〈京は荒れ　人の世むなし　応仁の乱〉 1467

一四八二　足利義政が東山に山荘を造営する。〈東山に　銀閣建てた　足利義政〉 1482

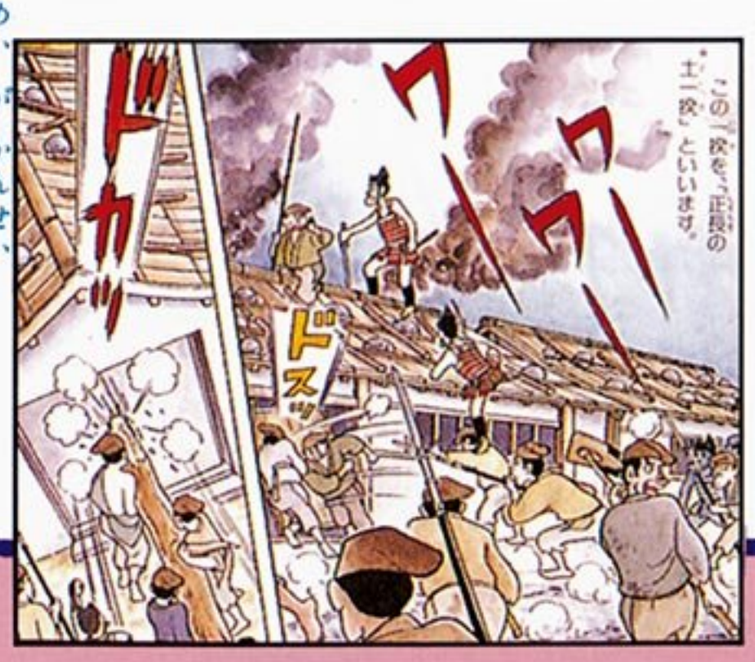
一四八五　山城国一揆が起こる。〈国人の　闘志はゴーだ　国一揆〉 1485

一四八六　雪舟が『山水長巻』を完成させる。〈雪舟は　偉大な人よ　休むことなく　名画完成〉 1486

一四八八　加賀の一向一揆が守護をほろぼす。〈一向宗　ヤーヤーさわぐ　加賀一揆〉 1488

各地で戦国大名の活やくがはじまる。

一四九五　北条早雲が小田原城に入る。〈早雲の　意欲ごういん　小田原城へ〉 1495



室町時代
戦国時代

安土桃山時代

一五四三　ポルトガル人が鉄砲を伝える。〈鉄砲の　一号予算で　やっと買い〉 1543

一五四九　ザビエルがキリスト教を伝える。〈ザビエルの　来日以後よく　宣教師くる〉 1549

キリスト教が急速に広まり、南蛮貿易も発展する。

一五六〇　織田信長が今川義元をやぶる。〈桶狭間　ゆだんしてるゾ　今ごろは〉 1560

一五六一　武田信玄と上杉謙信がたたかう。〈敵なんか　イチコロだい　と川中島へ〉 1561

一五七三　室町幕府がほろぶ。〈信長に　追われる義昭　以後なみだ〉 1573

一五七五　信長が武田勝頼をやぶる。〈長篠で　人こなごなの　鉄砲隊〉 1575

一五八二　少年使節をローマにおくる。〈少年使節　床屋にいって　まずおしゃれ〉 1582

一五八二　信長が光秀に討たれる（本能寺の変）。〈本能寺　以後やつの名は　むほん人〉 1582

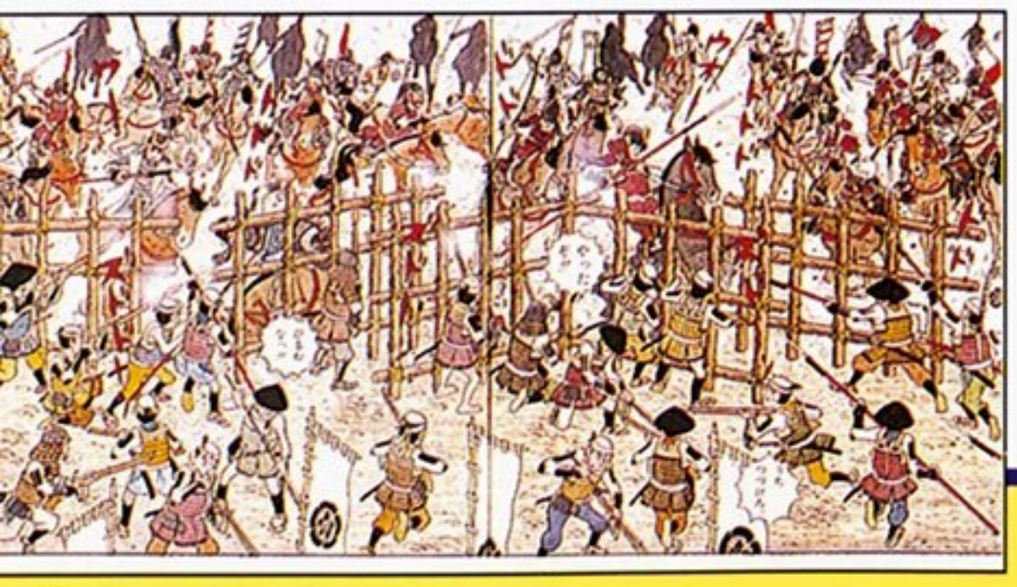
一五八五　秀吉が関白となる。〈関白の　威光はいつしか　国じゅうに〉 1585

一五八八　刀狩りがおこなわれる。〈刀狩り　以後は刃物は　もてないゾ〉 1588

一五九〇　豊臣秀吉が全国統一を完成する。〈秀吉が　一国　まるまる　天下統一〉 1590

わが国の封建制度が確立される。

一五九二　秀吉が朝鮮に出兵する（文禄の役）。〈秀吉軍　異国に出かけ　大苦戦〉 1592



■江戸時代から平成時代

一六〇〇　関ヶ原の戦いが起こる。〈関ヶ原　人むれをなし　大合戦〉 **1600**

一六〇三　徳川家康が江戸幕府を開く。〈征夷大将軍　家康こそは　ヒーローさ〉 **1603**

幕藩制社会の形づくりがすすむ。

一六一三　全国にキリスト教の禁止令を出す。〈キリストの　ひろい御こころ　禁止され〉 **1613**

一六一五　大坂夏の陣で豊臣氏がほろぶ。〈夏の陣　タヌキと知らず　トロイこと〉 **1615**

一六一五　武家諸法度が制定される。〈武家諸法度　異論は以後は　許さぬゾ〉 **1615**

幕府が鎖国をすすめる。

一六三五　幕府が海外渡航、帰国を禁止する。〈日本にいろ　鎖国だ帰国も　禁止する〉 **1635**

一六三五　家光が参勤交代の制度を確立する。〈参勤交代　体は疲労　道ゴツゴツ〉 **1635**

一六三七　島原の一揆が起こる。〈島原の　人むざんなり　やぶれたり〉 **1637**

一六四一　オランダ商館を長崎の出島にうつす。〈オランダ人は　出島にいろよ　一か所に〉 **1641**

一六四九　慶安の御触書が出される。〈御触書　武士は顔いろ　よくなりぬ〉 **1649**

一六五七　江戸で明暦の大火が起こる。〈明暦の　大火で灯ろう　こなごなに〉 **1657**

一六八七　生類憐みの令が出される。〈人はそっと　していろやナ　生類憐みの令〉 **1687**

一六八九　松尾芭蕉が『奥の細道』の旅に出る。〈芭蕉、曽良　疲労はくるし『奥の細道』〉 **1689**

江戸時代

一七〇九　新井白石が「正徳の治」をはじめる。〈正徳の治　それでも人びと　なお苦し〉 170 9

一七一六　徳川吉宗が享保の改革をはじめる。〈吉宗しか　享保の改革　いないだろう〉 171 6

一七四二　公事方御定書が定められる。〈御定書　吉宗という人なしに　作れまい〉 174 2

一七七二　田沼意次が老中となる。〈意次は　金しだいなり　なにごとも〉 17 72

一七七四　杉田玄白らが『解体新書』を出版する。〈『解体新書』の　翻訳みごと　非難なし〉 1774

一七八三　天明の大きんがはじまる。〈大ききん　浅間の噴火に　人なやみ〉 1783

一七八七　松平定信が寛政の改革をはじめる。〈非難され　やな顔された　寛政の改革〉 17 87

欧米諸国の来航と一揆の増加で幕府がゆらぐ。

一七九二　ロシアが通商をもとめる。〈ラックスマンを　異なる国の人と　追い返し〉 179 2

一七九八　本居宣長が『古事記伝』を完成する。〈『古事記伝』　好きな人なら　くやまず読める〉 17 98

一八〇〇　伊能忠敬が蝦夷地を測量する。〈忠敬の　地図に感心　ヒャーオーオーー〉 18 00

一八〇八　フェートン号事件が起こる。〈フェートン号　日本の人は　オヤびっくり〉 18 08

一八〇八　間宮林蔵がカラフトを探検する。〈カラフトの　地図に線を　引っぱれや〉 1808

一八二五　幕府が異国船打払令を出す。〈異国船　打払えと幕府　いやに強情だ〉 1825

一八三七　大塩平八郎の乱が起こる。〈人はみな　わしにつづけと　大塩平八郎〉 1837

一八三九　蛮社の獄が起こる。〈つかまえろ　蛮社の一派　策略で〉1839

一八四一　水野忠邦が天保の改革をはじめる。〈天保の改革　ねらいはよいが　きびしすぎ〉1841

一八五三　ペリーが来航して開国をせまる。〈黒船に　いやァ降参と　幕府いい〉1853

一八五四　日米和親条約がむすばれ、開国する。〈鎖国の戸は　こうして開く　和親条約〉1854

尊王攘夷運動がもりあがっていく。

一八五八　日米修好通商条約がむすばれる。〈通商条約　「いやご破算」と　朝廷反対〉1858

一八五八　安政の大獄がはじまる。〈反幕府　一派を小屋へ　安政の大獄〉1858

一八六〇　大老井伊直弼が暗殺される。〈水戸浪士　「井伊やろうめ」と　切りつける〉1860

一八六三　薩英戦争が起こる。〈薩英戦争　一夜で無惨　歯がたたず〉1863

一八六四　四国連合艦隊が下関を攻撃する。〈長州藩　大砲一発　虫の息〉1864

一八六六　薩長連合が成立し倒幕に向かう。〈薩長は　ひとつやムズムズ　腕が鳴る〉1866

一八六七　将軍徳川慶喜が大政奉還をおこなう。〈徳川の　人はむなしき　大政奉還〉1867

一八六八　戊辰戦争が起こる。〈王政復古　徳川たおし　いばろうや〉1868

維新政治がはじまる。

一八六八（明治一）　五箇条の御誓文が出される。〈御誓文で「ひとつやろうや」　新政府〉1868

明治時代

一八六九（明治二）版籍奉還がおこなわれる。〈版籍奉還　1869　「いや」とムクれる　お殿さま〉

一八七一（明治四）岩倉具視一行が欧米視察に出発する。〈学ぶこと　1871　ひとつやないゾ　欧米視察〉

一八七二（明治五）学制が発布される。〈学制発布　1872　人はなにより　まず勉強〉

一八七二（明治五）東京―横浜間に鉄道が開通する。〈鉄道開通　1872　いやなニオイの　煙はき〉

一八七三（明治六）地租改正がはじまる。〈地租改正　1873　いやならみんなで　一揆だゾ〉

一八七三（明治六）西郷隆盛や板垣退助らが辞職する。〈西郷の　目にいっぱいの　1873　なみだかな〉

一八七四（明治七）「民撰議院設立建白書」が提出される。〈民撰議院　1874　たてていやな世　たてなおし〉

一八七七（明治一〇）西南戦争が起こる。〈薩摩の人は　1877　泣き泣き惜しむ　西郷どん〉

一八八一（明治一四）国会開設の詔勅が出される。〈一番はやい　1881　政党はどこ　国会開設〉

一八八三（明治一六）鹿鳴館ができる。〈そとはやみ　1883　中はまばゆい　鹿鳴館〉

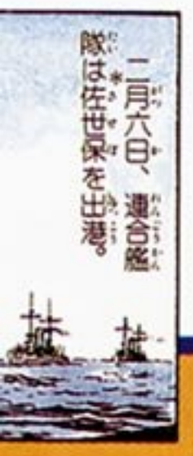
一八八五（明治一八）内閣制度ができる。〈内閣制度　1885　できて一派は　ごきげんね〉

立憲政治がはじまる。

一八八九（明治二二）大日本帝国憲法が発布される。〈号外も　1889　いち早く出る　憲法発布〉

一八九四（明治二七）イギリスとの条約改正に成功する。〈ロンドンで　1894　いやァ苦心して　条約改正〉

一八九四（明治二七）日清戦争が起こる。〈中国の　1894　人は苦しむ　日清戦争〉



大正時代

一八九五（明治二八）
三国干渉がおこなわれる。〈独・仏・露 一やくごういん 三国干渉〉 1895

一九〇一（明治三四）
田中正造が天皇に直訴する。〈足尾銅山 鉱毒ひどく おいら死にそう〉 1901

一九〇二（明治三五）
日英同盟がむすばれる。〈日英同盟 遠くは日本に まかせよう〉 1902

一九〇四（明治三七）
日露戦争が起こる。〈日露戦争 勝った日本は 得をした〉 1904

一九〇五（明治三八）
ポーツマス条約がむすばれる。〈国民が ひどく怒った ポーツマス条約〉 1905

一九一〇（明治四三）
韓国併合がおこなわれる。〈日韓併合 日本ひどく いわれるさ〉 1910

一九一一（明治四四）
関税自主権を回復する。〈うまくいく いい条約に 改正だ〉 1911

大正デモクラシーの時代となる。

一九一二（大正一）
第一次護憲運動が起こる。〈護憲運動 得意になって 胸にバラ〉 1912

一九一四（大正三）
第一次世界大戦がはじまる。〈第一次大戦 いくさにいく人 死ぬなかれ〉 1914

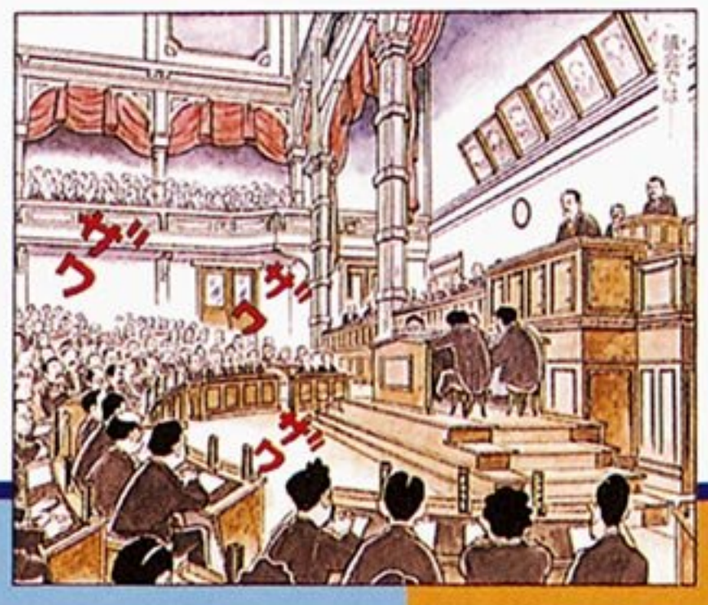
一九一五（大正四）
中国に、二十一か条の要求を出す。〈中国よ のめ！ 二十一か条の 一句一語を〉 1915

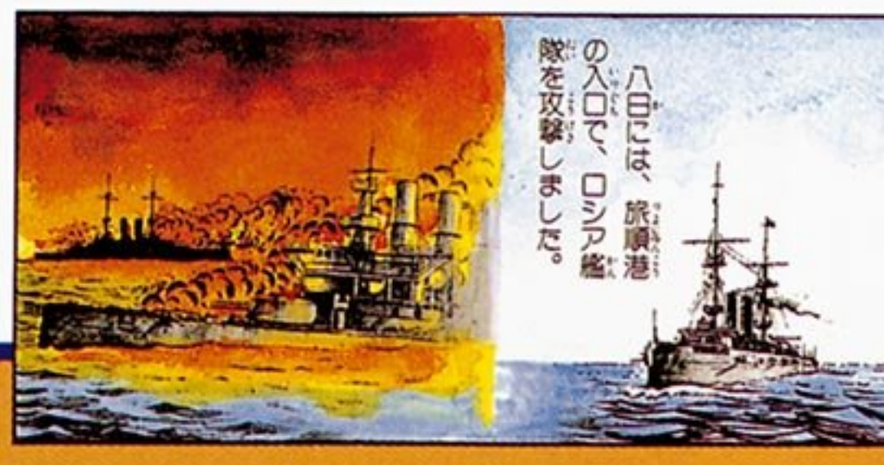
一九一八（大正七）
米騒動が起こる。〈米騒動 遠く富山や 京都でも〉 1918

一九一八（大正七）
原敬内閣ができる。〈原内閣 道いく人は だれも支持せず〉 1918

一九一九（大正八）
普通選挙運動がさかんとなる。〈デモ隊が 町をいくいく 普選要求〉 1919

一九二〇（大正九）
国際連盟が発足する。〈世界じゅう 平和でいくには 国際連盟〉 1920





時代

一九二一（大正一〇）
ワシントン会議が開かれる。〈戦艦はいくつもいらぬと　ワシントン会議〉 1921

一九二三（大正一二）
関東大震災が起こる。〈大震災　遠くに見える　火の海が〉 1923

一九二五（大正一四）
治安維持法と普通選挙法の公布。〈普選より　とくにこわいぞ　治安維持法〉 1925

一九二七（昭和二）
金融恐慌が起こる。〈金融恐慌　ガタガタふるえる　いくじなし〉 1927

一九三一（昭和六）
「満州事変」が起こる。〈満鉄爆破　犯人は日本の　人くさい〉 1931

軍部が台頭し、日本は戦争への道をたどる。

一九三二（昭和七）
五・一五事件が起こる。〈五・一五　いくさにかたむく　日本の運命〉 1932

一九三三（昭和八）
日本が国際連盟を脱退する。〈連盟を　引く身みじめな　松岡洋右〉 1933

一九三六（昭和一一）
二・二六事件が起こる。〈ひどく寒い　雪の東京　二・二六事件〉 1936

一九三七（昭和一二）
日中戦争がはじまる。〈日中戦争　いくさ長びき　泥沼へ〉 1937

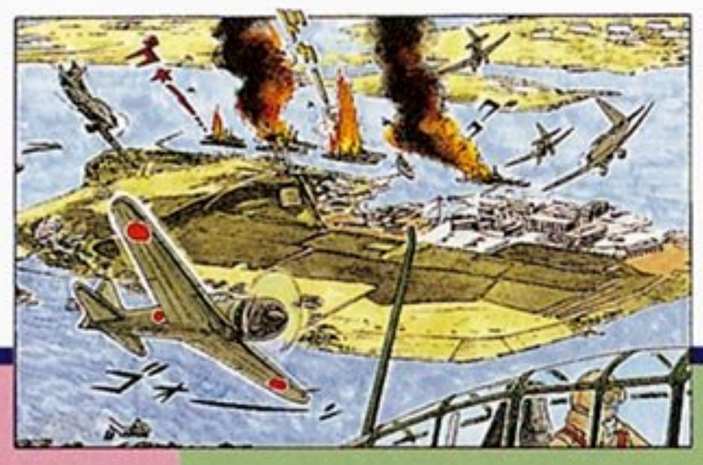
一九四〇（昭和一五）
日独伊三国同盟がむすばれる。〈日独伊　むすんだ特使は　松岡洋右〉 1940

一九四一（昭和一六）
太平洋戦争がはじまる。〈トラトラトラ　はじめはひどく　よいニュース〉 1941

一九四五（昭和二〇）
ポツダム宣言を受諾する。〈終戦だ　平和でいくよ　これからは〉 1945

連合国の指導のもとで日本の民主化がすすめられる。

一九四五（昭和二〇）
GHQによる占領政策がはじまる。〈民主主義で　いくよこれから　GHQ〉 1945



一九四六（昭和二一）　日本国憲法が公布される。〈人間でいくよむかしの　神さまやめて〉　1946

一九四七（昭和二二）　教育基本法、学校教育法が公布。〈教育法　いくよなにより　民主主義〉　1947

一九四九（昭和二四）　湯川秀樹がノーベル賞を受賞。〈研究に　いく夜苦しみ　ノーベル賞〉　1949

一九五〇（昭和二五）　朝鮮戦争が起こる。〈日本からも　飛びいく号令　朝鮮戦争〉　1950

一九五一（昭和二六）　サンフランシスコ平和条約に調印。〈日米の　安保条約　ひどくごういん〉　1951

一九五六（昭和三一）　日本が国際連合に加盟する。〈国力が　ついていくころ　国連加盟〉　1956

一九六〇（昭和三五）　日米新安全保障条約に調印する。〈国会へ　いくむれさけぶ　「安保反対」〉　1960

一九六四（昭和三九）　東京オリンピック大会が開催される。〈ひと苦労　したかいあって　五輪成功〉　1964

一九六七（昭和四二）　四日市ぜんそく患者が訴訟をおこす。〈四日市　大気がひどく　胸さわぎ〉　1967

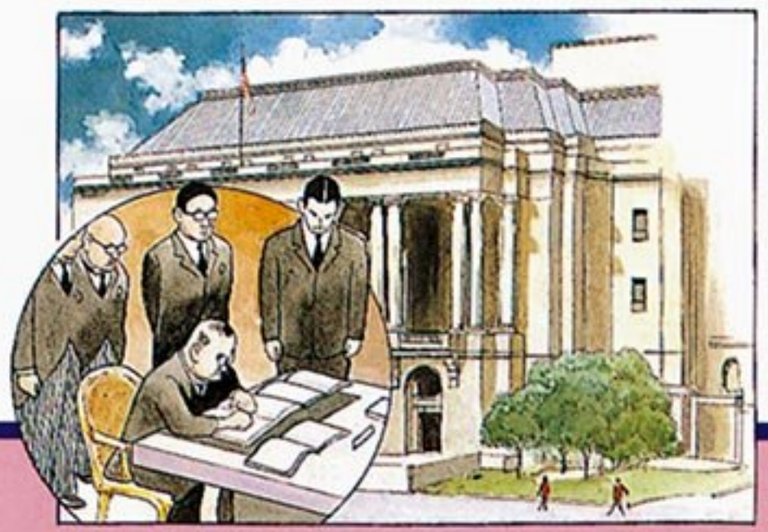
一九七一（昭和四六）　沖縄返還協定が調印される。〈返還だ　もう沖縄は　遠くない〉　1971

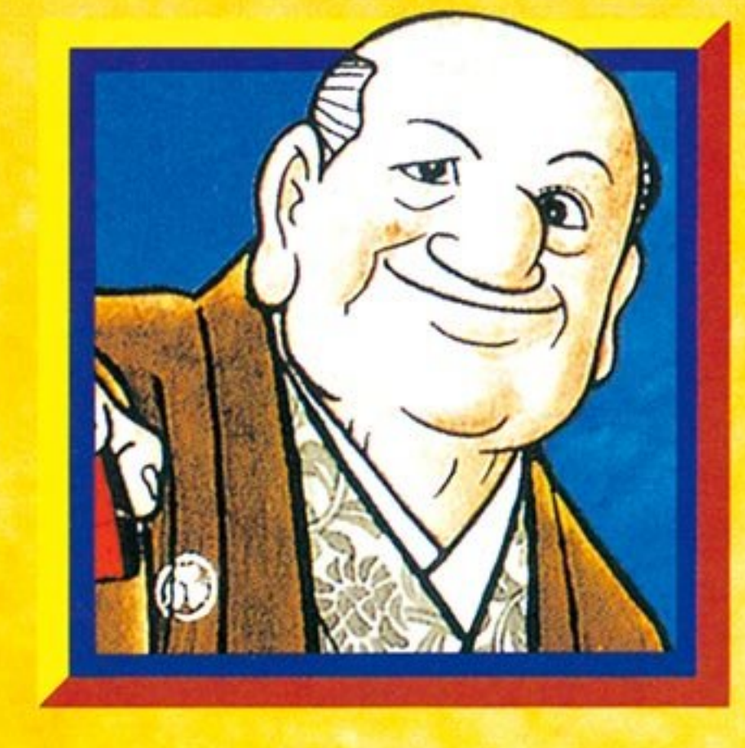
一九七二（昭和四七）　日中国交回復の共同声明が出される。〈パンダいく　なにとぞヨロシク　国交回復〉　1972

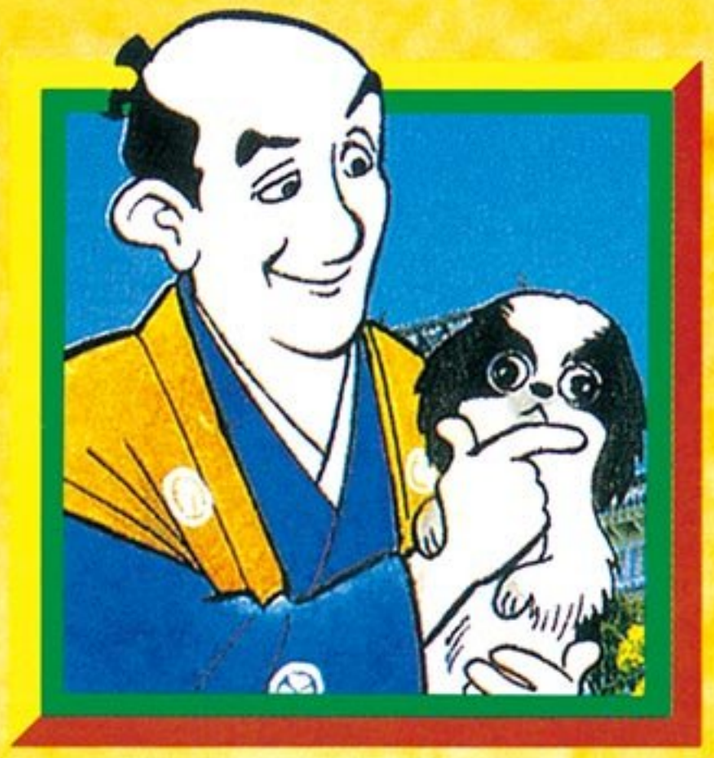
一九七三（昭和四八）　石油ショックが起こる。〈石油ショック　ひろがっていく　波のごと〉　1973

一九七九（昭和五四）　東京サミットが開催される。〈サミットで　警戒ひどく　泣く市民〉　1979

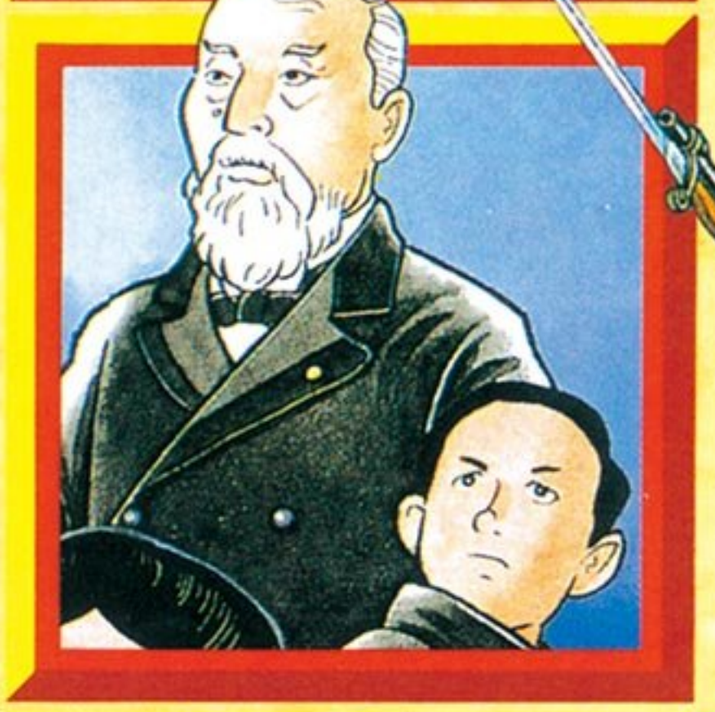
一九八九（平成一）　「昭和」から「平成」になる。〈「昭和」は遠く　歯車回り　「平成」へ〉　1989







小学館



小学館版 学習まんが
少年少女 日本の歴史
電子版特典